

変動する地域社会の中の子どもと学校

— 子どもの問題行動の比較文化的研究 —

(平成10年度～平成12年度科学研究費補助金研究成果報告書)

福島大学附属図書館



2002年3月

基盤研究B(2)

課題番号10045001

研究代表者 昼田 源四郎

(福島大学教育学部)

目次

はじめに	・・・昼田源四郎・・・1
1. 対象と方法	・・・昼田源四郎・・・1
2. 調査地域の概要と学区の地域特性	・・・高野岳彦・・・3
3. 結果	
3-1 生徒用アンケート（生活・学習）	・・・松崎博文・・・13
3-2 生徒用アンケート（問題行動）	・・・昼田源四郎・・・28
3-3 教師用アンケート	・・・中野明德・・・54
3-4 保護者用アンケート	・・・初澤敏雄・・・64
4. 全体のまとめと考察	・・・昼田源四郎・・・83
おわりに	・・・昼田源四郎・・・87
研究組織・交付決定額	・・・88
既刊研究報告一覧	・・・89
【資料】	
1. 調査結果（表）	
生徒用アンケート	・・・90
教師用アンケート	・・・113
保護者用アンケート	・・・123
2. アンケート用紙	
日本語版	・・・138
英語版	・・・150

はじめに

学校内外での子どものいわゆる「問題行動」は、先進諸国が共通に抱える困難な教育的課題の一つであり、いま早急に対処が迫られている大きな社会問題でもある。

1998年4月から2001年3月までの3年間、われわれ福島大学教育学部（以下、福大と略記）と米国の姉妹校・ミドルテネシー州立大学教育学部（以下、MTSUと略記）の共同研究グループは、科学研究費の補助を受け、子どもの問題行動に関する日米比較研究をおこなった。国際的な比較研究は、子どもの問題行動に関して、①それぞれの国の社会文化的背景につよく規定される側面と、②文化や国情の違いを超えて、個々の問題行動・個人の成長過程・集団の力動などに内在するある程度普遍的な側面を、同時に明らかにできる利点がある。かつて、いじめや不登校はわが国特有の病理であり、その原因は日本の文化や教育制度の特異性にあるとする不毛な議論が続いたが、実証的な国際比較研究を積重ねることで、こうした混乱の多くは回避できる。

「問題行動」という言葉は多義的で、外延も広い。本研究であつかう「問題行動」の範囲には疾患や障害に伴う問題行動（たとえば常同行為、多動、異食など）は含まない。また、非行の一部は扱っているが、刑法犯や交通犯罪などは除外している。基本的には教育現場で問題になっているイジメ・不登校・校内暴力など、比較的頻度の多い「日常的」な問題行動を主たる研究対象としている。

われわれの共同研究は、1) 相互に訪問し、現地のカウンセラーなど関係者からの聞き取り調査と資料収集、および2) 日米でのアンケート調査からなる。1) については、すでに発表済み（巻末「既刊研究報告一覧」）なので、本報告書では2) アンケート調査の結果について記載する。

1. 対象と方法

この調査は、子どもの問題行動について、生徒、教師、保護者を対象に日米でアンケート調査をおこない、日米での問題行動の発生実態とそれについての各グループの認識を探ることを目的としている。

1-1. アンケート用紙

調査にもちいたアンケート用紙は、資料として巻末に掲載してある。まず福大側で日本語版の原案を

作り、その英語版をもとにMTSU側と協議を重ねた。その協議の結果を盛り込んだ修正英語版をもとに福大側で議論し改訂日本語版をつくり、改訂日本語版から翻訳作成した改訂英語版をもとにMTSU側と再度、詰めの協議をおこなうという作業を数回おこなって日本語版、英語版の最終版を完成させた。

アンケート用紙は人権やプライバシーに十分配慮して作成したが、念のため日本では調査を受け入れた福島市の中学校長会に、米国では調査を受け入れたナッシュビル市の各中学校長に事前にアンケート用紙（生徒用、保護者用、教師用）を見てもらい、意見を聴いた。その結果、福島市では特に修正意見はなかったが、ナッシュビル市ではいくつかの項目が望ましくないとの指摘を受け、英語版からは削除した。（削除した項目については「結果」のなかで言及し、資料の図表のなかでも明記してある。削除した項目以外は、日本語版、英語版は基本的には同一の質問項目から成り立っている。）

1-2. サンプリングと調査の方法

福島市内の公立中学校に在籍する中学2年生と、ナッシュビル市（米国テネシー州）の公立中学校に在籍する8年生（日本の中学2年生に相当）を調査対象とした。

福島市内には調査時点で公立中学校が20校あるが、そのうち2校は2学年が1学級以下の小規模校のため調査対象から除いた。2学年が複数学級（2～8学級）ある残りの18校から、学級数の4分の1をランダムに選び出し、その学級の生徒全員を調査対象とした。各対象校の2学年の学級数を4で割り、四捨五入して学級を選択したので、実際の抽出学級数は1学級の学校が12校、2学級の学校が6校となった。その結果、調査対象として抽出された学級数は24学級、抽出された生徒数は884人となった。

福島市での調査は2000年7月に実施した。各対象校に生徒用、保護者用、教師用アンケート用紙とそれを入れる封筒、および実施手順を記したマニュアルを一括送付し、回収後に一括して返送してもらう留め置き法をとった。調査対象の生徒に生徒用アンケート用紙の記入をもとめたほか、生徒に保護者用アンケート用紙1枚と封筒を持たせ、保護者に記入してもらったものを学校に持ち帰らせて担任が回収した。教師用は調査対象校の、管理職をふくむ全教員に記入してもらった。生徒用、保護者用、教師用のアンケートはすべて無記名とし、記入後はアンケ

ート用紙と共に配った無記名の封筒に自分で封をして提出してもらい、匿名性が保てるように配慮した。

ナッシュビル市での調査は、学期の関係で 2001 年 2 月に実施した。ナッシュビル市には 8 学年をもつ公立のミドルスクールが、調査時点で 27 校ある。アンケート調査への協力は各学校長の裁量にゆだねられ、7 校から協力の申し出があった。7 校の 8 年生全員の数は 1,376 名であり、福島市と調査数をそろえるため、全員を調査対象とした。また、対象生徒の保護者に保護者用アンケート用紙を配布、7 校の全教員に教師用アンケート用紙を配布し、回答をもとめた。抽出方法が異なるほかは、配布から回収まで、福島市とおなじ手順でおこなった。なお、7

校はランダムに選ばれたものではないが、地区・生徒数・学校のプログラム内容などで特別な偏りはなく、ほぼナッシュビル市の公立中学校を代表していることを確認している。

1-3. 回収結果

福島市でのアンケートの回収数(回収率)は、生徒からは 837 (94.7%)、教師からは 357 (59.2%)、保護者からは 760 (85.9%) であった(表 S1)。

ナッシュビル市でのアンケートの回収数(回収率)は、生徒からは 800 (58.1%)、教師からは 148 (45.4%)、保護者からは 280 (20.3%) であった(表 S1)。

表 S1 回収結果

対象	福島市			ナッシュビル市		
	人数	回収数	回収率	人数	回収数	回収率
生徒	884	837	94.7	1,376	800	58.1
教師	603	357	59.2	326	148	45.4
保護者	884	760	85.9	1,376	280	20.3

2. 調査地域の概要と学区の地域特性

2-1. 福島市の概要と学区の地域特性

2-1-1. 福島市の地域性

福島市は、東京の北方約250kmに位置する（Fig. 2-1-1）人口約29万の都市である。市域の西半部は1800m級の険しい奥羽山脈に、東部と南部は300m前後の阿武隈の丘陵地にかかり、それらに囲まれて福島盆地あるいは信達盆地と呼ばれる平地が広がる。人々の居住空間となっているのはこの平地部と丘陵地部に限られる（Fig. 2-1-2）。

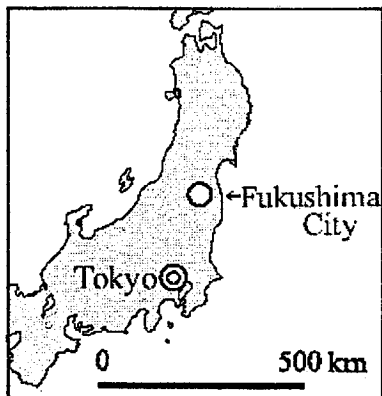


Fig. 2-1-1 Location of Fukushima City

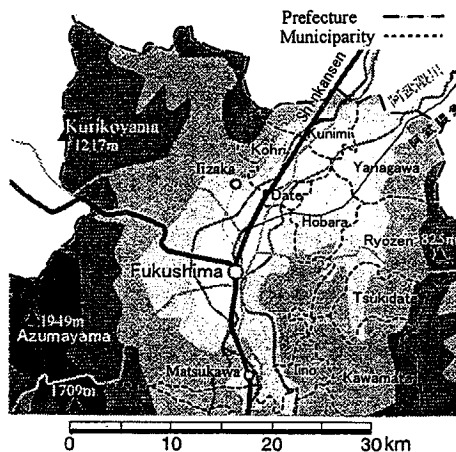


Fig. 2-1-2 Fukushima City and Vicinity
Bold line : Shinkansen

域内の農村では近世以降養蚕業が盛んになり、福島はその集散と関連産業の集中する商工業都市として発達した。明治以降、新しい地方自治体「福島県」の成立とともにその行政機関が置かれ、また太平洋側から日本海側に分岐する幹線鉄道の開設によって交通拠点としての機能も加わった。今日では養蚕業と関連産業はほとんど消滅したが、近隣農村は全国有数の果樹生産地域に変身を遂げ、福島市の農村中心機能も発展的

に維持されてきた。また福島市は、日本国土の幹線にありかつ東京から日帰り可能な距離に位置して、高度経済成長期以降には工場進出も進んだ。

ところで福島市（Fig. 2-1-3）の市域面積746 km²は日本の自治体の中では最も広い部類に入るが、広い市域を持つにいたったのは、全国で広域合併の機運が高まった昭和40年頃に、福島盆地を占める信夫郡の全町村を順次合併したことに起因している。このため、市域には性格の異なる地域や集落が含まれることになった。市の人口約28万人の中には、多くの非都市人口も含まれる。これらの地域の地域性を説明することは、本研究の対象である中学校の各学区の特徴を説明することにもなるために詳細は次節に送り、まずは人口と市街化の動向を概述する。

福島市は、前述のような諸機能の集積と有利な立地条件もあって戦後一貫して人口を増加させ、市街地を拡大し続けてきた。まず1950年頃から、中心市街地の北西に伸びる鉄道「飯坂線」沿線に住宅団地の開発が続いて宅地化が進展した。幹線国道沿線にも市街化が進展し、中心市街地から北へ伸びる国道4号の沿線には1960年代から諸施設の立地が続き、同じく13号の沿線にも1970年の信夫山トンネル掘削以降、市街化が進展した。中心市街地の南方は、戦前から工場地帯であったが、同地内を通る国道4号が1972年に新バイパス化されて以降、さらなる市街化の進展がみられ、幹線型商業施設の立地も進んで、今では恒常的に交通渋滞が発生するような商業幹線となっている。

1970年頃からは大規模な宅地開発も行われるようになった。中心市街地から約8km南の丘陵地に1968年「蓬萊ニュータウン」の開発が始まり、新市街地の形成は今も続いている。さらに中心市街地西方の野田・笹木野地区では、1989年に大規模な区画整理事業が完成し、1998年3月の新バイパス福島西道路の開通もあいまって、市内では現在最も活発に大型商業施設を伴う新市街地の形成が続いている。

他方、こうした市街地の外縁的拡大は中心市街地の人口を一貫して減少させてきた。すなわち、1970年に50,771人だった中心市街地（中央地区）の人口は、2000年には32,041人にまで減少した。このような中心市街地の空洞化は、福島市に限らず、今日の全国の多くの地方都市が抱えている地域問題でもある。

2-1-2. 中学区の特徴

2001年度現在、福島市には20の公立中学校がある（Fig. 2-1-3）。それらの学区の地域性と1970年以降の



Figure 2-1-3 Central Part of Fukushima City
 (A~T : Middle Schools)

1 2 3 4 5
 km

規模の変遷を **Table 2-1-1** にまとめて示した。1970年代に、 α と β の2校が統合されてP中学校が創設され、また郊外に開発された大規模住宅団地内にR中学校が創設された。

学区の地域性はだまかには都市部と農村部とに分けられようが、福島市の中学区はその両方の地域性を含んでいるものも多くて、端的に説明することは容易ではない。しかし筆者のみるところ、主に学区内の土地利用の構成からいくつかまとめてみることもできるようだ。以下、各学区の地域性について概観する。

①中心市街地：福島市の中心業務地区を学区とするのは、**I, J, K**の3校である。中心商店街、官庁街、飲食街、幹線業務地区、密集市街地などを学区内に含んでいる。ただし**K**中学区は、中心市街地の南に広がる大規模工場地帯と、市街化で消滅しかかっている若干の農業地帯を含んでいる。

②都心周辺市街地：**L**と**M**の学区には、中心市街地に隣接した密集住宅地と、市街地と農業的土地利用が混在した地帯を広く含む。

③近郊混住地区：**D, E, F, G, H**の各学区は、中心市街地から北に伸びる幹線交通路沿いに早くから住宅地化の進展をみるとともに、近年の新たな幹線道路の整備によって新たな宅地化も続いている。また、**D**と**E**の学区には近郊農村地域も広く含まれる。

④新興市街地+近郊農村：**N**学区と**O**学区は近郊農村地帯と大規模区画整理地や住宅団地の開発地が含まれて、複合的な性格をもつ。**O**学区内には、高速道路のインターチェンジに接続する幹線国道沿いの商業地、および小規模な商業集積をもつ旧城下集落・大森が含まれる。

⑤郊外大規模住宅団地：蓬萊地区は既述の通り1970年から入居が順次開始されたニュータウンであり、**R**中学校がここを学区とする。開発初期からほぼ一世代経過した現在では、学齢の進行で入学児童生徒数の減少を招いている。

⑥純農村：**A, P, Q, S**の各学区は、景観や土地利用からみて農地と山林が大半を占め、小規模な工業団地もみられるものの、純農村地帯と規定できる。

(注) ここで注意すべきは「純農村」の性格である。日本の場合、遠隔地を除けば、純農村地帯でも農業専業世帯はまれで、大多数は通勤によって都市的職業につく家族員を含む兼業農家であって、その子供たちも都市文化と遮断されているわけではない。しかし景観や土地利用において農村的である点で、子供の生活環境に都市部とは異なるバックグラウンドとなっているといえる。

⑦飯坂町：飯坂町は福島盆地の北西端に古来から発達した温泉歓楽集落であり、福島と鉄道で結ばれている。**B・C**の両中学校は、この町を東西に折半し、温泉街と背後の農村を広く含む学区を有している。

⑧松川町：松川町は、福島盆地とは丘陵地を隔てた小盆地と周囲の丘陵地を含む旧自治体で、1966年に吸収合併されて福島市に属することとなった。**T**中学校は、この旧松川町の行政域をそのまま含む広域の学区を持ち、松川市街地のほか、大規模住宅団地、大工場、純農村と、多様な環境を含んでいる。

2-1-3. 生徒数の変遷にみる諸特徴

次に、**Table 2-1-1** に示した1970年以降の生徒数の変遷から読み取れる特徴を考察する。まず、福島市全体では、1985年にピークを迎えた後の減少が顕著である。これは同期間の全国的趨勢である少子化が、福島でも同様であったことを示す。

変化のパターンには、1985年前後をピークとするもの、1970年代をピークとするもの、そして2000年まで増加していたもの、の3パターンに分けられる。これらは、少子化の自然減と住宅地化の社会増とのかねあいによっているといえる。すなわち、1985年前後に最大となった地区は、この時期まで市街化・宅地化が続いた地区(**D, E, G, H, N, R, P**)であった。他方、85年前後のピークが1970年代の最大時に比べて弱かった地区は、宅地化がそれほど活発ではなかった山間部(**A, S**)、宅地化の余地のなかった旧市街地の地区(**I, K, M**)、空洞化圧力の強かった温泉街地区(**C**)であった。95年に最大となった**O**は南福島駅付近での住宅開発がこの時期に顕著であった。また、2000年にピークとなった**L**では、幹線道路の開通に伴う新たな市街地化が今も続いている。

2-1-4. 対象中学校の選定

以上の公立中学校のうち、**A**と**S**の2校は、今回の調査対象からは除いた。これは、両校は1学年1クラスの小規模校で、1校から対象学級をランダムに選ぶというサンプリング原則に合致しないためである。

なお福島市には、以上の公立中学校のほか、いずれも中心市街地内に立地する国立と私立の中学校が1校ずつあり、それぞれ498人、253人の生徒が就学している(2001年度)。両校の通学範囲は市内全域をカバーしていて公立校とは性格を異にしていることもあり、本研究の対象とはしていない。

表2-1-1 福島市の中学校と校区の地域性,および生徒数,学級数,教員数の推移

Table 2-1-1 Middle Schools in Fukushima City and the Regional Backgrounds of Their School Districts

Middle School	Founded Year	Regional Backgrounds *1					Number of Enrollment *2					Change Ratio 85-00	学級数 Classes		教員数 Teachers			
		Inner City	Old Residence mixed	Industrial mixed	New Residence	Old Local Town	1970	1975	1980	1985	1990		1995	2000	1970	2000	1970	2000
A	1947						165	128	74	86	62	18	28	6	3	11	11	
B	1947					○	366	308	306	358	272	246	193	10	6	18	17	
C	1947					◎	525	459	418	440	390	285	243	14	7	22	18	
D	1947		○				293	272	298	437	462	447	324	9	11	16	25	
E	1959		○				1,132	1,255	1,457	1,179	1,043	849	831	28	23	42	42	
F	1984		○							688	564	493	402		13		26	
G	1947		○	◎		○	547	590	677	995	1,027	917	832	13	23	26	48	
H	1947		○				746	768	799	949	864	722	699	19	19	32	37	
I	1947		○			◎	706	655	560	582	508	404	341	18	11	32	27	
J	1947		○			◎	724	862	966	892	779	629	586	20	16	32	30	
K	1947		◎			○	332	358	438	576	548	507	590	9	16	16	32	
L	1947		○			◎	1,068	1,086	826	903	820	798	737	26	23	43	43	
M	1947		◎			○	769	708	665	674	566	512	435	20	13	32	26	
N	1947					◎	405	436	500	618	595	500	442	12	13	20	32	
O	1959		○			○	589	507	520	724	847	930	894	15	24	25	44	
P	1979					◎			458	828	911	751	574		17		33	
α	1947					◎	419							11		20		
β	1947					◎	162							6		11		
Q	1971					◎	438	411	411	477	487	419	349		10		26	
R	1962					◎	432	410	369	397	356	315	290	13	9	21	24	
S	1947					◎	133	95	66	87	89	72	61	4	3	8	9	
T	1964		○			◎	797	697	579	633	630	562	509	20	15	31	30	
福島市計 City Total ⇒							10,310	10,032	10,387	12,523	11,820	10,376	9,360	273	275	458	580	

注 *1 地域特性 ... ◎:よりよくあてはまる, ○:よくあてはまる *2 生徒数の下線太字は最大値, 太字は極大値。
Notes *1 Regional Backgrounds ... ◎:better fit, ○:fit *2 Underlined Bold:Main peak, Bold:Sub peak

2-2. ナッシュビルの概要と学区の地域特性

2-2-1. ナッシュビルの地域性

ナッシュビルはテネシー州中部の中心都市で (Fig. 2-2-1), 1843 年以来, 州の恒久州都に指定されている。一帯は, カンバーランド川がアパラチア背後の台地を開析して形成した約 100km 四方の浅い盆地状をなしており, ナッシュビルはこの盆地北部のカンバーランド川岸に開かれた交易拠点を起源としている。この地は, アパラチア越えてきた開拓者たちが最初に見出したブルーグラスの繁る放牧適地となり, 定住者をひきつけて発展した。南北戦争時には, 両勢力の境界部に位置する州内の各地とともに激戦地となった。

南北戦争後, 初の黒人大学として, また黒人霊歌を全米に広めた合唱団の母校として著名なフィスク大学をはじめ, 初の黒人医科大学 Mehary Medical College など多くの高等教育機関が創立され, 「南部のアテネ」と称された。プロテスタント教派の本部も多く立地し「プロテスタントのヴァチカン」とのニックネームもある。そしてこれら以上にナッシュビルを有名にしているのは音楽産業である。アパラチアの山間地で歌われたカントリー音楽が, 市内の Ryman 会館で 1943 年から 74 年まで毎週末催されたコンサートのライブ放送で全米に送り出され, 「ナッシュビル・サウンド」として世界に知れわたった。

2-2-2. 人口属性の比較

基本的な人口統計について, 福島との比較でまとめたのが Table 2-2-1 である。人口はナッシュビルが福島のはほぼ 2 倍, 自治体の面積も約 2 倍で, 人口密度は同程度となるが, しかし福島市域の 3 分の 2 は居住不適の吾妻の山地帯で占められているから, 可住地だけでみれば福島の方が 3 倍の人口密度ということになる。

年齢構成は, 18 歳未満人口率は同程度だが, 高齢人口率は福島の方がはるかに高い。世帯・家族のサイズとも, ナッシュビルのほうが分解が進んでいる。顕著な違いがみられるのは母子家庭の比率であり, ナッシュビルで全世帯の 1 割が母子世帯というのは, 日本の常識からすれば驚くべきことに違いない。

ナッシュビルの人種構成は, 白人と黒人で占められ, 大都市や西海岸諸州で見られるようにアジア系やヒスパニックを混じえた多様性は少ないといえる。ただしそうしたマイノリティーの集中地区が皆無というわけではなく, 都心の南東セクターにはメキシコ系や西アジア系移民の集まる地区が存在している。

ところで, ナッシュビル市は 1963 年, 市街地外縁のダビッドソン郡と同一自治体を結成した。本稿では「ナッシュビル」とだけ記している。この合併は, 高所得者層の都心部から郊外への転出が続いて生じた財政的苦境を打開するためであったという。1989 年の所得統計では, 世帯所得の中央値が, ナッシュビル \$ 28,377, テネシー州 \$ 24,807, 全米平均が \$ 30,056 であった。

Table 2-2-1 Comparative Demographic Characteristics of Nashville and Fukushima

	Nashville - Davidson	Fukushima		Nashville - Davidson	Fukushima	
Population	(2000)	569,891	291,118	(2000)	(1995)	
	(1995)	530,796	285,754	Households	237,405	97,254
	(1980)	477,811	262,837	Population in Households	545,726	281,111
(Change Ratio 80-00)	19.3	10.8	Average Household Size	2.30	2.89	
Age	(2000)	(1995)	Family Households	138,106	72,851	
under 18	126,447	61,032	Population in families	408,548	256,461	
(/Population,%)	22.2	21.4	Average Family Size	2.96	3.52	
65 and over	63,444	43,423	No Husband Female			
(/Population,%)	11.1	15.2	Householder with Children	23,407	2,211	
Race	(2000)		under 18			
White Alone	381,783	-	(/Household, %)	9.9	2.3	
(/Population,%)	67.0	-				
Black Alone	147,696	-				
(/Population,%)	25.9	-				
Hispanic (all races)	26,091	-				
(/Population,%)	4.6	-				

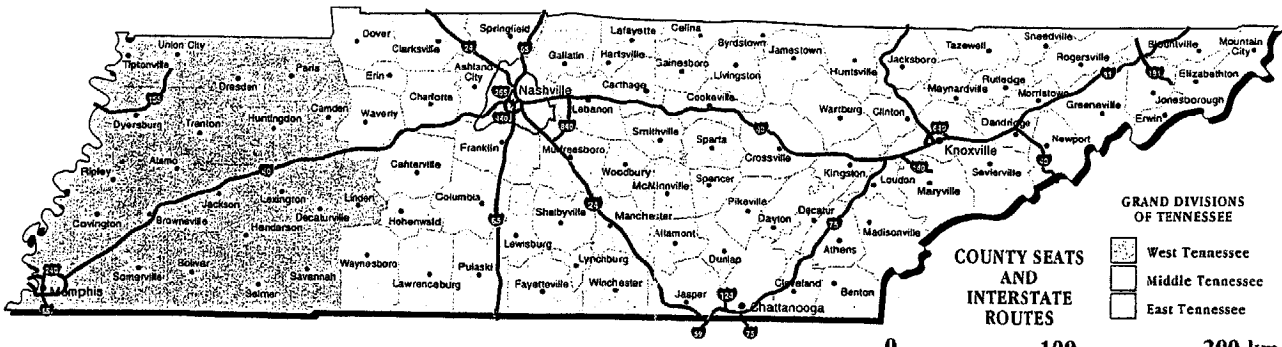


Figure 2-2-1 Location of Nashville in the State of Tennessee



Figure 2-2-3 Detailed Map of Nashville - Davidson County

他方、1人あたり所得では、ナッシュビル\$15,195、テネシー州\$12,255、全米平均\$14,420ドルであった。しかるに、ナッシュビルには比較的恵まれた小人数世帯が多いということが示唆される。しかしながら隣接郡を含んだ大都市圏でみると Fig. 2-2-2 のようになる。

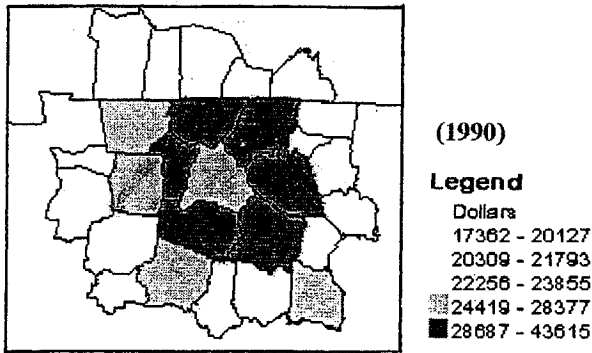


Fig. 2-2-2 Median Income in Nashville MSA

これは、高所得者層が合併ダビッドソン郡のさらに外側を指向したか、または市街地部に低所得層が増加したかのいずれかまたは両方を意味することになる。

2-2-3. 地域構造：サブエリアの特徴

ナッシュビルの市街地 (Fig. 2-2-3) は、カンバーランド川西岸の都心部を中心に、約 13~14km 程度の広がりがある。しかし、地図上で密集街路の市街地にみえる場所でも、建物密度は低く、都心から約 10km 南に位置する農業博物館のあたりは緑豊かな緩起伏の近郊農村のような景観が混じる。また、北西部への市街地拡大がみられないのは、等高線から判読されるように地形的制約による。ここはナッシュビル盆地の北西端にあたる。

ナッシュビル内部の居住区の性格について、ダビッドソン郡計画局のホームページから把握した「サブエリア」(Fig. 2-2-4) の地域情報と、現地共同研究者である Phill Waldrap 教授からの教示による居住者の社会経済階層に関する情報をまとめたのが Table 2-2-2 である。以下、簡単に各サブエリアの地域性をまとめておく。

(1) 地形条件： 北部のサブエリア No.1 と 2、西部の No.6 で傾斜がきついという記述がみえるほかは、ほとんどが level, flat, gentle などと表現されているように平坦ないしはなだらかな地形である。

(2) 土地利用： No.1 と 2 が農村地帯、No.3, 4, 6, 13 が都市的土地利用が半分程度、その他の多くは市街地帯である。そのほか、空港に近い東部の No.5, 13, 14 には工業地区がみられる。また、No.13 の東縁にある Percy Priest 湖畔はレクリエーション地帯となっている。

(3) 社会経済的特性： 一般的にいて、都心地区 (サブエリア 9) の北、東、および南方のセクターに経済水準の低い地区が、南西セクターには高所得者層が多い。しかし多くのサブエリアは、住宅地の開発年代に対応した多様なクラスの住民が混じり合っている。各サブエリアの特徴は以下の通りである。

- ・サブエリア 1 … 郊外開発には向かない地区。住民の社会経済階層は中程度。
- ・サブエリア 2 … 主な階層は中の下。南ほど低所得。
- ・サブエリア 3 … 荒れていることで知られる高校がある。中の下。
- ・サブエリア 4 … 古い住宅地に高級住宅地区が混在。
- ・サブエリア 5 … 地区内の高校は低学力で荒れ気味。
- ・サブエリア 6 … 中の下から中位階層が主で、南西部に中上層。

Fig. 2-2-4 Subareas and Middle Schools

Rimmed Number : Subarea
 Alphabet : Middle School
 (Only identifiable schools on the webpage of www.tennessean.com/schools/ are shown.)

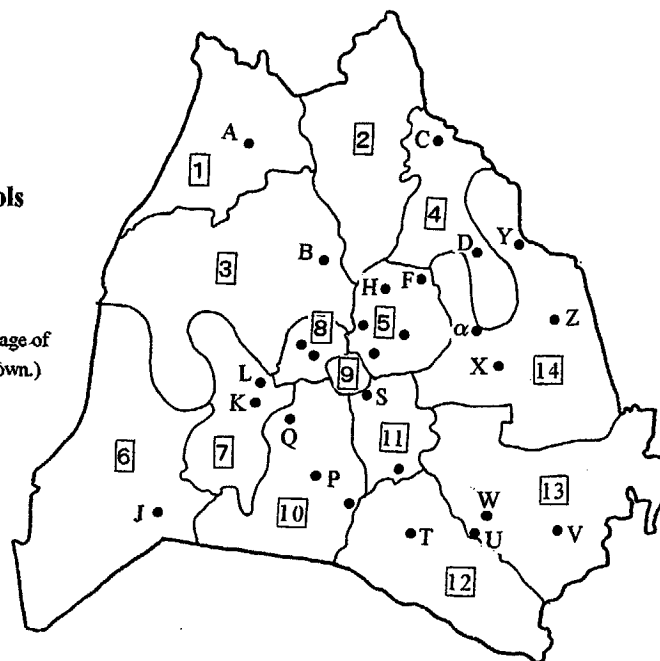


Table 2-2-2 Profiles of Nashville's Subareas

sub-area	Physical Feature	Land Use	Communities	Socioeconomic Status	Public Middle Schools - Sampled
1	1) moderate sloping land in the northwestern half; 2) steeply hillside in the southeastern half	farm & unused 40%; urban use 8%; single family lots 50%	Forest Grove, Joelton, Marrowbone, Germantown Hill	Lower middle to Middle	1 - 0
2	forested steep slopes and narrow ridges and valleys	predominantly rural, suburban residence, light industrial areas	Bellshire, Dalemere, Union Hill, Parkwood	Lower to Lower Middle	0 - 0
3	1) gently rolling level land in the southeast; 2) steep hillside in the remainings	residential 54%, farm and residential zoned 37%	Bordeaux, Whites Creek, Scottsboro, Haynes Hights, Bell Bend, Trinity Hills	Lower to Lower Middle	1 - 1
4	predominantly level, floodplains of the Cumberland River	residential 55%, agriculture 28%, industrial 10%	Goodlettsville, Neely's Bend, Madison, Rivergate	Middle to Upper	2 - 1
5	1) mostly flat and gently rolling; 2) floodplain along the Cumberland River	residential 60%, commercial, industrial, and service 30%	Maplewood, Inglewood, Riverside, Dalewood, Rosebank, East Nashville	Lower	5 - 2
6	1) land suitable for urban use is less than 30%; 2) steep slopes and flood plain account for 70%	residential 50%, vacant or farm land 40%	Old Hickory Boulevard, Bellevue, Pasquo, Poplar Creek, Harpeth Valley	Lower to Middle	2 - 1
7	1) primarily level and gently rolling, 2) sloped lands in Knob Hill and West Meade, 3) flood-plains along rivers	dominantly residential, ranging from the large-lot suburbs of Hillwood and West Meade to the more urban neighbourhoods of Sylvan, with scattered multi-family complexes	Belle Meade Highlands, Elkins Park, Hillwood, Sylvan Hights, West Meade, Nations-Urbandale	Lower middle to Very Wealthy	1 - 0
8	located directly north of downtown, generally flat floodplain along the Cumberland River	various urban uses including residence, community facilities, office, commercial and industrial	Germantown, Fisk Neighborhood, Buena Vista	Lower to Lower Middle	2 - 0
9	predominantly level along the Cumberland River	governmental, financial, and commercial center	Rutledge Hill is emerging community	Mixed CBD	0 - 0
10	mostly flat to rolling terrain	Highly urbanized to the north, becoming suburban and finally rural in the hill area.	Whitland, Music Row, Hillsboro, Edgehill, Melrose, Glendale, Lealand	Mixed	3 - 0
11	generally flat	older mixed use area with about one-third is residential and the same % is commercial and vacant	Woodbine, Paragon Mills, Glenciff	Lower	2 - 0
12	gently rolling or level with more steep land is in the southeast	about 64% of the parceled area is residential	Cane Ridge, Paragon Mills, Crieve Hall, Brentwood	Mixed	1 - 0
13	most level with gentle slopes	residential 40%, community facilities 12%, commercial and industrial 11%; lake side recreational area	Antioch, Priest Lake, Mt View, Smith Spring, Una	Lower to Middle	3 - 1
14	mostly gentle sloping terrain with broad floodplain	Almost half of the area is currently developed as mixed residential. Pennington Bend area includes entertainment complex. Industrial and office concentrated in Airport and Hermitage area.	Pennington Bend, Donelson, Old Hickory, Hopewell, Lakewood, Hermitage, North Percy Priest	Mixed	4 - 1

Source : www.nashville.org/mpc/planning.html, and suggestion from a co-worker of MTSU

Note : "Middle School" in this study is defined as the schools which have 8th Grade.

- ・サブエリア 7 … 中下～上層まで混在。
- ・サブエリア 8 … かつて富裕な住宅地区だったが、老朽化とともに衰退地区に変貌。黒人のために設立された3つの大学が立地。
- ・サブエリア 9 … ナッシュビル都心部で居住人口は少ない。衰退地区やホームレスが多いが、高所得者用高層アパートも増加中。
- ・サブエリア 10 … 年々富裕階層が増加しつつある地区で、特にヴァンダービルト大学周辺の地区には中上層が集まる。音楽産業の多くもこのエリアに集積。
- ・サブエリア 11 … メキシコと中米諸国からの移民やブルーカラー層が多い。
- ・サブエリア 12 … 様々な住民層用のアパートが集まる団地が混在。Brentwood の周辺は大都市圏内で最も富裕な居住区の1つであり、他方、南東端の地区は

下～中下層の居住区。

- ・サブエリア 13 … クルド人、アジア系、メキシコ系の移民が多く、ブルーカラー層が占める割合が大きい。
- ・サブエリア 14 … 古くからの住宅地区。古い住宅地は中下～中クラスが集まる傾向があるが、Percy Priest湖の沿岸には中上層の居住地区がある。

2-2-4. 学校制度と調査対象中学校

(1) 学校制度

ナッシュビルは、公立学校制度 (Public School System) を南部で初めて実現した自治体として知られる。1998年、ナッシュビルの公立学校は単一の運営体 Metropolitan Nashville Public Schools を結成し、学年編成体系をそれまでの「K-4, 5-6, 7-8, 9-12」という細分された体制から、「5-6」と「7-8」を統合した体系 (要す

Table 2-2-3 "Middle Schools" in Nashville

Middle School	Sub-area	Number of Students by Grade					Attendance Rate (%)	Average Score of TCAP*	Number of Staff		
		G5	G6	G7	G8	Total			Adm	Class	Others
A	1	106	125	200	158	589	94	39.6	2	34	28
B	3			252	212	464	95	30.8	2	32	30
C	4	99	94	145	102	440	94	41.5	1	25	19
D	4	204	169	210	147	730	93	37.5	2	40	28
E	5	65	58	267	240	630	92	34.6	2	39	32
F	5			238	243	481		27.1	1	46	
G	5	186	149	143	141	619	97	87.5	2	34	20
H	5	241	228	76	39	584	95	30.2	2	37	32
I	5			242	177	419	89	27.2	2	17	37
J	6	169	133	153	147	602	93	57.0	2	38	26
K	6	144	94	152	110	500		47.2	1	31	27
L	7	58	76	139	129	402	91.5	30.8	1	15	30
M	8	186	179	125	81	571	96	48.1	2	38	23
N	8	201	199	57	33	490	96	50.2	2	35	26
O	10	142	141	51	56	390	98	63.4	2	44	25
P	10			220	189	409	94	64.5	1	26	28
Q	10			118	114	232	92	31.0	1	24	25
R	11	117	132	391	355	995	93	34.0	3	59	40
S	11	221	212	170	180	783	94	39.0			
T	12			338	344	682	95	53.0	2	43	28
U	13	239	278	233	216	966		41.9	2	32	28
V	13	181	129	269	253	832	94.5	39.8	2	49	33
W	13	280	290	261	210	1,041					
X	14	219	191	194	171	775		38.5	2	42	25
Y	14	95	97	187	182	561	93	47.8	2	34	23
Z	14	184	149	191	168	692	94	46.6	2	43	30
α	14	147	120	186	165	618	93	45.4	2	40	32
TOTAL		3,484	3,243	5,208	4,562	16,497	2,066	41.8	45	897	675

Notes (1) "Middle school" in this study is defined as the schools which have 8th Grade.

(2): Schools shown in bold letters are the participated schools in this research.

(3) TCAP: Tennessee Comprehensive Assessment Program (see "www.tennessean.com/schools/2001countydata/")
The scores shown are the average of the following five subjects; Reading, Language, Math, Science, Social Studies.

るに5・4・4制)への移行を進めている。

本研究の対象である「ミドルスクール」とは、通常、5-8の4学年をもつ学校であるが、6-8, 7-8というケースもある。またテネシー州では、一般的にはカウンティごとにSchool District(学校行政の地域単位)を形成しているが、伝統的に力の強い市では市単独でSchool Districtを持つ。それはSpecial School Districtと呼ばれて小学校だけを管轄するが、その多くがK-6の学年構成を持つので、ミドルスクールと学年構成が重なる。また、ミドルスクールの名を冠しながらも、学年編成の変更で現在は5学年以下しかもたない場合もある。要するに、どれが日本の中学校に相当するかは、学校ごとの学年編成をみないと判断できない。

いま第8学年を持つ学校を「ミドルスクール」と定義すると、2001年11月現在、ナッシュビルではミドルスクール名を持つ公立学校37校のうち、24校がこれに該当する。それ以外に第8学年を持つ公立学校が3校あるので、合計27校が日本の中学校に相当する「ミドルスクール」ということになる。ナッシュビルの都市計画局とSchool Boardのホームページから把握し得たそれらの分布をFig. 2-2-4に、各校の属性をTable 2-2-3に示した。

ミドルスクール名以外の3校には「マグネットスクール」2校が含まれる。マグネットスクールには、複数のサブエリアにまたがる広域から集まる優秀な生徒が集まる。このほか第8学年の生徒が学ぶ公立学校として「オルタナティブ・スクールがあるが、これは通常の学校から一時的に数週間程度入学して学ぶ教育機関なので、上の表には含めていない。また、これら公立学校のほかにナッシュビルにはAcademyやキリスト教教派の名を冠したミッション系などの多数の私立校がある(小・中あわせて57校)。富裕層の子弟や優秀な生徒はこれらの私立校を選択するケースが通例である。

(2) 調査対象

アンケート調査への協力はあくまでも学校の自発的決定に委ねたために、27校中7校からの協力にとどまった(Table 2-2-3)。回答者も任意協力であり、ランダム抽出とはいえませんが、母集団と比べて意図的な偏りはないともいえる。

(3) バス通学制度とその解体

1960年代後半から、ナッシュビルでは人種構成の均衡を保つために、居住地区外の学校にまでバスで通学させる制度(busing)が実施されてきた。しかし近年、学校の質を高めるために近隣地区を越えた広い地域から様々な生徒を入学させるマグネットスクールと大規

模コンプレヘンシブ・ハイスクールが設立されてきた。こうしたことが、バス通学システムを解体させる主要因となった。そのため今日では、一定の学区内の学校に通学する形態となっている。しかしながら、学区数はナッシュビルでわずか9つであるために、徒歩可能な範囲をはるかに越える距離をバス通学する生徒もまだ存在している。それでも往時と比べれば長距離通学は大幅に減った。そのため、サブエリアの社会経済状況が、地区内の公立学校の質と深い関連を再び持つようになってきているといえる。

(4) 学力レベル

Table 2-2-3には、全米統一学力試験TCAPの成績を示してある。これは主要5科目を対象とする試験で、全米平均を50とする偏差値で示されている。表から明らかなように、ナッシュビルの公立学校は非常に低い点数レベルにある。これは先述のように、富裕で優秀な生徒の多くが私立校を選択する結果である。表中で高い得点を示している学校は、2つのマグネットスクール(G, O)と、富裕層の多いサブエリア6や10の地区に集まっている。

調査協力を得た7校の学力レベルは、最高水準のマグネットスクールを別格として、40点代から20点代までばらついている。サブエリア5からは2校が調査対象となったが、1つはそのマグネットスクール、他の1つはドラッグ問題を抱えた低所得地区にある低学力の学校であった。

要するに、被験者には多様な学力水準の生徒が含まれているといえるだろう。

【資料】

3-1 生徒用アンケート（生活・学習）

Q1 あなたの性別はどちらですか。

【福島市】

福島市内全域の公立中学校 20 校から小規模校 2 校を除いた、18 校が調査対象校に選ばれた。この 18 校から学校規模に応じて、ランダムに 24 学級の中学 2 年生（884 名）が調査対象となり、837 名から回答が得られた（回収率 94.7%）。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市では、日本の中学 2 年に相当する 8 学年生が在籍する 24 校の中から 7 校が選ばれ、その該当校の全員（1376 名）が調査対象となった。その結果、800 名から回答が得られた（回収率 58.1%）。

【両市間の比較】

両市における回答者数及びその性別構成は表 Q1 の通りで、ほぼ同数の回答が得られた。日米合わせて 1600 名を超える中学 2 年生から回答が得られた。

表 Q1. 回答者数とその内訳

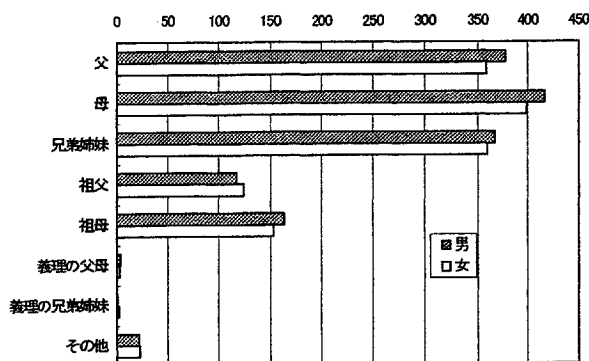
	福島市		ナッシュビル市	
	人数	%	人数	%
男	426	50.9	387	48.4
女	406	48.5	396	49.5
不明	5	0.6	17	2.1
計	837	100.0	800	100.0

Q2 現在あなたが一緒に住んでいるのはどなたですか。

（複数回答）

【福島市】

男子の同居家族は、多い順に①母親（97.7%）、②父親（88.8%）、③兄弟姉妹（85.9%）、④祖母（38.2%）、⑤祖父（27.4%）、⑥その他（3.3%）、⑦義理の父母（0.9%）、⑧義理の兄弟姉妹（0.2%）の順であった。女子では、①母親（98.3%）、②兄弟姉妹（88.9%）、③父親（87.4%）、④祖母（37.6%）、⑤祖父（27.3%）、⑥その他（4.2）、⑦義理の父母（0.7%）、⑧義理の兄弟姉妹（0.5%）の順であった。

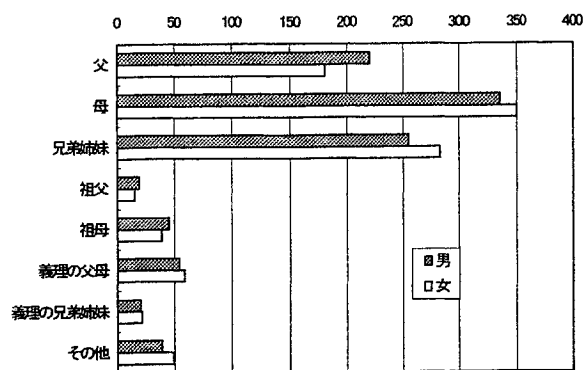


図Q2-1.同居家族(福島市)

福島市全体では、①母親との同居（98.0%）が一番多く、以下、②父親（88.5%）、③兄弟姉妹（87.5%）、④祖母（37.8%）、⑤祖父（27.4%）、⑥その他（3.8%）、⑦義理の父母（0.8%）、⑧義理の兄弟姉妹（0.4%）の順になっていた。祖父母いずれかとの同居が約三分の一を占めているが、義父母や義兄弟姉妹との同居は極端に少ない。

【ナッシュビル市】

男子では、多い順に①母親（83.7%）、②兄弟姉妹（64.0%）、③父親（55.2%）、④義理の父母（13.7%）、⑤祖母（11.4%）、⑥その他（10.1%）、⑦義理の兄弟姉妹（4.7%）、⑧祖父（4.9%）となっていた。女子では、①母親（88.6%）、②兄弟姉妹（71.9%）、③父親（45.6%）、④義理の父母（14.9%）、⑤その他（12.4%）、⑥祖母（9.9%）、⑦義理の兄弟姉妹（5.3%）、⑧祖父（3.8%）の順であった。そして全体では、①母親（86.3%）、②兄弟姉妹（67.9%）、③父親（50.4%）、④義理の父母（14.2%）、⑤その他（11.1%）、⑥祖母（10.6%）、⑦義理の兄弟姉妹（5.2%）、⑧祖父（4.3%）の順で、同居していた（表 S-Q2 参照）。



図Q2-2.同居家族(ナッシュビル市)

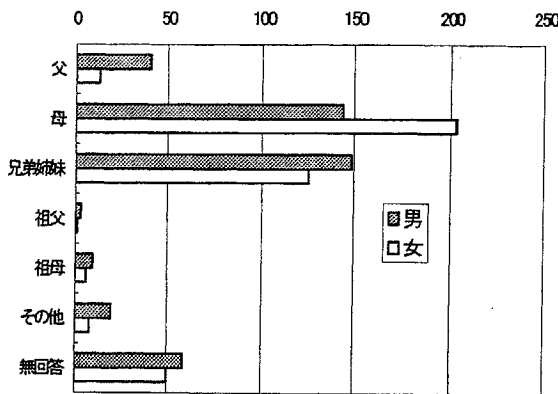
【両市間の比較】

同居家族は、父、母、兄弟姉妹、祖父、祖母については福島市の場合が多かった。逆に、義理の父母、義理の兄弟姉妹、その他の人についてはナッシュビル市の場合が多く、いずれも両市間に有意差が見られた。特に顕著な違いは父親との同居率で、福島市の 88.5% に対してナッシュビル市は 50.4% と 38 ポイントも少なかった。同様に福島市の場合は祖父との同居率が 27.4%、祖母との同居率が 37.8% だったのに対して、ナッシュビル市の場合はそれぞれ 4.3% と 10.6% と大きな違いが見られた。逆に、義理の父母との同居率は福島市の 0.8% に対してナッシュビル市ではその 17 倍以上の 14.2% であった。同様に義理の兄弟姉妹との同居率は、福島市の 0.4% に対して、ナッシュビル市ではその 13 倍の 5.2% であった。さらに「その他の人」についても福島市の 4.2% に対して、ナッシュビル市ではその 2.6 倍の 11.1% であった（表 Q2 参照）。

Q3 家族で一番話しやすい人は誰ですか。(複数回答)

【福島市】

男子は話しやすい相手を、上位から①兄弟姉妹(34.9%)、②母親(33.7%)、③父親(9.6%)、④その他(4.7%)、⑤祖母(2.6%)、⑥祖父(0.7%)の順で挙げていた。同様に女子は、①母親(50.0%)、②兄弟姉妹(31.0%)、③父親(3.2%)、④その他(2.0%)、⑤祖母(1.5%)、⑥祖父(0.2%)の順で挙げていた。福島市全体では、①母親(41.7%)、②兄弟姉妹(32.9%)、③父親(6.5%)、④その他(3.3%)、⑤祖母(2.0%)、⑥祖父(0.5%)の順で、話しやすい相手を挙げていた。父親については男女間で有意差が見られ、男子が女子よりも多く挙げていた。



図Q3-1-一番話しやすい人(福島市)

福島市では女子の50.0%、男子の33.7%が一番話しやすい相手として母親を挙げていた。次は兄弟姉妹で男子の34.9%、女子の31.0%の者が挙げていた。父親を挙げた者は少なく、男子の9.6%、女子の3.2%のみであった。そして祖父母を挙げた者は両者を合わせても2.5%であった。

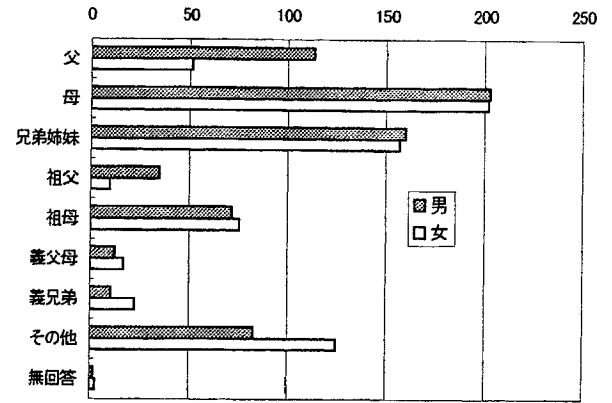
【ナッシュビル市】

男子は、上位から①母親(51.0%)、②兄弟姉妹(40.7%)、③父親(28.4%)、④その他(20.5%)、⑤祖母(18.2%)、⑥祖父(8.6%)、⑦義理の父母(3.4%)、⑧義理の兄弟姉妹(2.3%)の順で挙げていた。同様に女子は、①母親(51.0%)、②兄弟姉妹(39.6%)、③その他(31.8%)、④祖母(19.3%)、⑤父親(12.9%)、⑥義理の兄弟姉妹(5.8%)、⑦義理の父母(4.3%)、⑧祖父(2.5%)の順であった。

全体では、①母親(50.6%)、②兄弟姉妹(39.6%)、③その他(26.3%)、④父親(21.1%)、⑤祖母(18.7%)、⑥祖父(5.7%)、⑦義理の兄弟姉妹(4.3%)、⑧義理の父母(3.8%)の順で、話しやすい相手を挙げていた。父親と祖父については男女間で相違が見られ、男子が女子よりも有意に多く挙げていた。

ナッシュビル市では男女とも51.0%の者が、同様に

話しやすい相手として母親をトップに挙げていた。次の兄弟姉妹については男子の40.7%、女子の39.6%の者が挙げていた。さらに「その他の人」を男子の20.5%、女子の31.8%の者が挙げていた。その次に祖母で、男子の18.2%、女子の19.3%の者が挙げており、祖父と合わせると、男子の26.8%、女子の21.8%の者が祖父母を一番話しやすい人に挙げていた。



図Q3-2-一番話しやすい人(ナッシュビル市)

【両市間の比較】

福島市、ナッシュビル市共に母親が一番話しやすい相手として挙げられており、全体で福島市の41.7%に対してナッシュビル市は51.3%であった。次に兄弟姉妹を挙げており、全体で福島市の32.9%に対してナッシュビル市は39.6%であった。以下、父親、祖父、祖母、義父母、義兄弟姉妹、その他の人のいずれにおいても、ナッシュビル市の方が福島市よりも有意に多く相談相手として挙げていた。

両市の顕著な違いは、福島市では父親を一番話しやすい相手として挙げた者は男女合わせても6.5%のみだったのに対して、ナッシュビル市ではその3倍の21.1%であった。同様に「その他の人」を挙げた者が福島市では3.3%だったのに対して、ナッシュビル市ではその7倍の26.5%であった。さらに祖父母を一番話しやすい人として挙げた者は、福島市ではほとんどいなかったが、ナッシュビル市では祖父を5.7%、祖母を18.7%の者が挙げていた。

その一方で、福島市では無回答者が男子で13.4%、女子で12.3%と全体の1割を超えていた。それに対して、ナッシュビル市の場合は男女とも1%未満で、両市間に大きな違いが見られた(表Q3参照)。

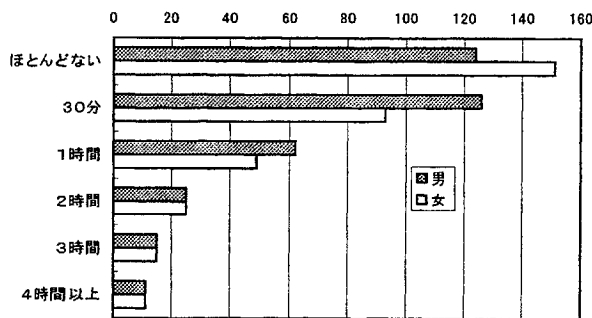
Q4 あなたは、次の人と平日に平均すると一日どのくらい話をしますか。(Q2の回答者に限る)

【福島市】

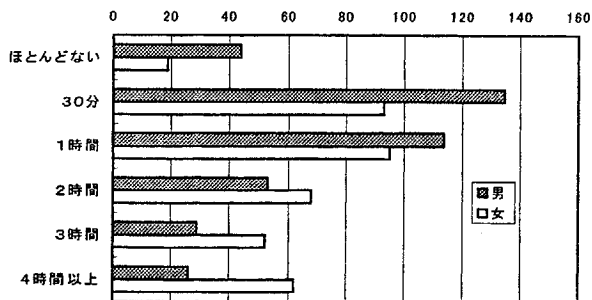
男子では父親との平均会話時間は、多い順に①30

分(33.3%)、②1時間(16.4%)、③2時間(6.6%)を上位に挙げていた。同様に、母親とは①30分(32.5%)、②1時間(27.4%)、③2時間(12.7%)、兄弟姉妹とは①30分(27.0%)、②1時間(20.4%)、③2時間(13.4%)の順に挙げていた。さらに祖父とは①30分(37.6%)、②1時間(13.7%)、③2時間(3.4%)、祖母とは①30分(38.0%)、②1時間(10.4%)、③2時間(8.0%)の順になっていた。福島市では、いずれの相手とも一日の会話時間は多い順に、①30分、②1時間、③2時間となっていた。

一方、会話がほとんどないと回答した者の相手は、①祖父(52.0%)、②祖母(37.4%)、③父親(32.8%)、兄弟姉妹(18.0%)、母親(10.6%)の順になっていた。



図Q4-1.父親との会話時間(福島市)



図Q4-2.母親との会話時間(福島市)

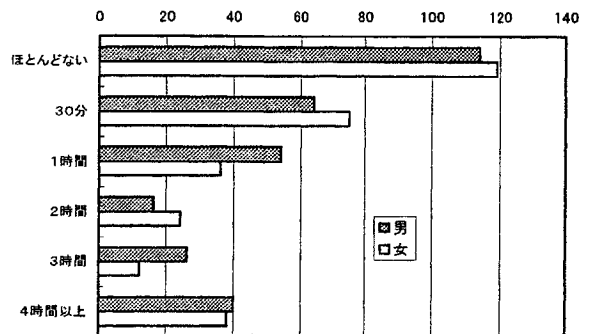
女子では、父親との会話時間は上から①30分(26.0%)、②1時間(13.7%)、③2時間(7.0%)の順であった。同様に母親との会話時間は①1時間(23.8%)、②30分(23.3%)、③2時間(17.0%)、兄弟姉妹との会話時間は①30分(21.4%)、②1時間(18.9%)、③4時間以上(18.1%)の順であった。さらに祖父とは①30分(25.8%)、②1時間(5.6%)、③2時間(4.0%)、祖母とは①30分(31.4%)、②2時間(10.5%)、③1時間(9.8%)の順であった。男子と違って、女子は相手により会話時間の順序に差が見られた。

また女子で会話がほとんどないと回答した者の相手は、①祖父(57.3%)、②父(42.2%)、③祖母(39.9%)、④兄弟姉妹(11.7%)、⑤母(4.8%)の順であった。なお、母親については0.1%水準で、兄弟姉妹については1%水準で男女間に有意差が見られた(表Q4参照)。

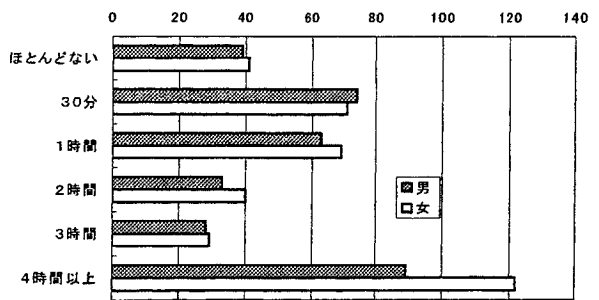
【ナッシュビル市】

男子では、父親との会話時間は上から①30分(29.1%)、②1時間(24.5%)、③4時間以上(18.2%)の順であった。同様に母親とは①4時間以上(26.6%)、②30分(22.1%)、③1時間(18.8%)、兄弟姉妹とは①4時間以上(32.9%)、②30分(21.2%)、③1時間(15.3%)の順であった。さらに祖父とは①30分(8.3%)、②1時間(4.7%)、③2時間(2.3%)、祖母とは①30分(17.3%)、②1時間(9.0%)、③2時間(4.4%)の順であった。

そしてほとんど会話がな相手には、上から①父親(51.8%)、②祖父(39.5%)、③祖母(30.2%)、④兄弟姉妹(28.6%)、⑤義理の兄弟姉妹(23.5%)、⑥義理の父母(23.5%)、⑦母親(11.6%)の順で挙げていた。



図SQ4-3.父親との会話時間(ナッシュビル市)



図Q4-4.母親との会話時間(ナッシュビル市)

女子は、同様に父親との会話時間は①30分(41.7%)、②4時間以上(21.1%)、③1時間(20%)の順で上位に挙げていた。母親とは、①4時間以上(34.9%)、②30分(20.3%)、③1時間(19.7%)、兄弟姉妹とは①4時間以上(35.9%)、②30分(20.4%)、③1時間(18.3%)の順で上位に挙げていた。祖母との会話時間は①30分(15.2%)、②1時間(8.1%)、③4時間以上(5.3%)、義理の父母とは①30分(5.3%)、②1時間(3.8%)、③2時間(2.0%)の順で同様に挙げていた。

そしてほとんど会話のない相手としては、上から①父親(66.1%)、②祖父(37.1%)、③祖母(26.0%)、④義理の父母(23.7%)、⑤義理の兄弟姉妹(21.0%)、⑥家庭内の他の大人(20.5%)、⑦兄弟姉妹(19.0%)、⑧母親(11.7%)の順で挙げていた。

【両市間の比較】

両市共に父親との会話が少なく、特に女子の場合は

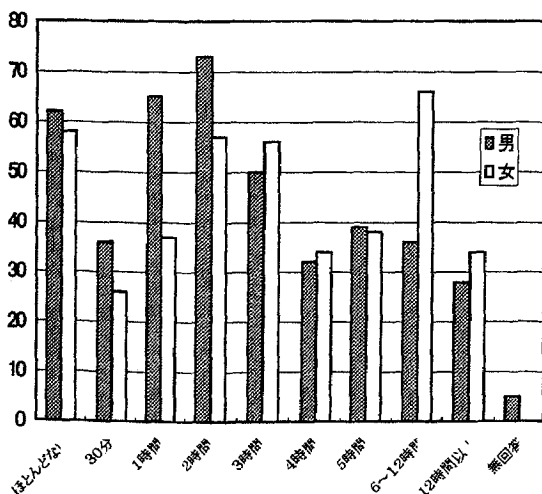
「ほとんどない」と回答した者が福島市で 42.2%、ナッシュビル市で 66.1%に達していた。逆に両市共に母親との会話が一番多く、福島市の場合は男子で 30 分、女子で 1 時間と回答した者が一番多かった。これに対してナッシュビル市では、男女とも母親と 4 時間以上会話をすると回答した者が最も多く、それぞれ 26.6%と 34.9%であった。次に兄弟姉妹との会話が多く、福島市では 30 分から 1 時間と回答した者が一番多かったのに対して、ナッシュビル市では、母親と同様に 4 時間以上と回答した者が男子で 32.9%、女子で 35.9%と、全体の三分の一もいた。また福島市では祖父母のいずれかと同居している者が全体で 65.2%を占めていたが、男女とも祖父母との会話はほとんどなく、あっても 30 分と回答した者が一番多かった。

なお、父親、母親、兄弟姉妹、祖父については 0.1%水準で、祖母については 5%水準で、両市間に有意差が見られた。つまり、ナッシュビル市の方が福島市の場合より、これらの人との平日の会話時間が長いと言える(表 Q4 参照)。

Q5 休日に家族と一緒に何かをして過ごす時間は、平均して一日どのくらいですか。

【福島市】

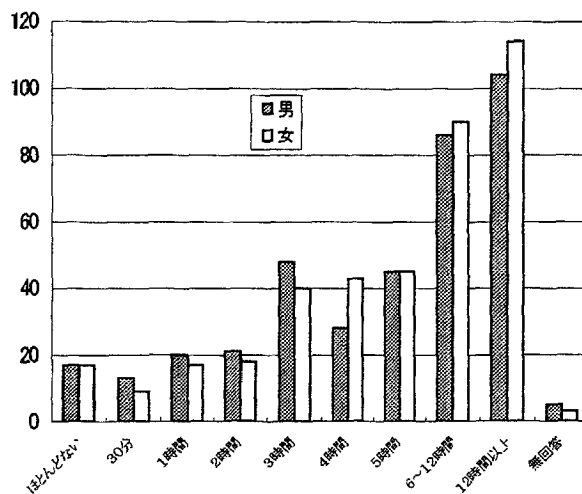
男子は、上から①2 時間 (17.1%)、②1 時間 (15.2%)、③3 時間 (11.7%)の順で挙げていた。女子は、①6~12 時間 (16.3%)、②2 時間 (14.0%)、③3 時間 (13.8%)の順で挙げていた。男女を合わせた全体では上位から、①2 時間 (15.5%)、②3 時間 (12.7%)、③1 時間 (12.3%)、④6~12 時間 (12.2%)、⑤5 時間 (9.2%)、⑥4 時間 (7.9%)、⑦30 分 (7.5%)、⑧12 時間以上 (7.4%)の順であった。なお、男女間には 5%水準で有意差が見られ、男子よりも女子の方が家族と一緒に過ごす時間が多かった。



図Q5-1.休日(家族と過ごす時間(福島市))

【ナッシュビル市】

男子は、上から①12 時間以上 (26.8%)、②6~12 時間 (22.2%)、③3 時間 (12.4%)、④5 時間 (11.6%)の順で挙げていた。同様に女子は、①12 時間以上 (28.8%)、②6~12 時間 (22.7%)、③5 時間 (11.4%)、④4 時間 (10.9%)、⑤3 時間 (10.1%)の順で挙げていた。そして全体では上から、①12 時間以上 (28.3%)、②6~12 時間 (22.0%)、③3 時間 (11.4%)、④5 時間 (11.3%)、⑤4 時間 (9.0%)、⑥2 時間 (4.9%)、⑥1 時間 (4.9%)、⑧30 分 (2.8%)の順で挙げていた。なお、男女間に有意差はなく、家族と過ごす時間に性差は見られなかった。



図Q5-2.休日(家族と過ごす時間(ナッシュビル市))

【両市間の比較】

福島市の場合は、1 時間~3 時間という回答が一番多かったが、ナッシュビル市の場合は 6 時間~12 時間あるいはそれ以上という回答が一番多かった。逆に家族と一緒に過ごす時間がほとんどないと回答した者は、福島市の男子で 14.8%、女子で 14.3%、全体で 14.7%であった。これに対してナッシュビル市の男子で 4.4%、女子 4.3%、全体で 4.4%と、福島市の三分の一以下であった。また両市間には 0.1%水準で有意差が見られ、男女とも福島市に比べてナッシュビル市の生徒の方が、家族と一緒に過ごす時間が長いことが示された(表 Q5 参照)。

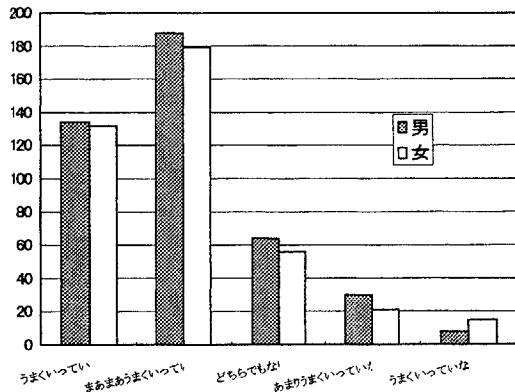
Q6 あなたの家の家族関係はうまくいっていると思いますか。

【福島市】

家族との関係が「うまくいっている」と回答した者は男子で 31.5%、女子で 32.5%であった。「まあまあ、うまくいっている」と回答した者は男子で 44.0%、女子で 44.1%であった。「うまくいっている」、「まあまあ、うまくいっている」を合わせると、男子の 75.5%、

女子の 76.6%と、四分の三の者は肯定的な回答をしていた。

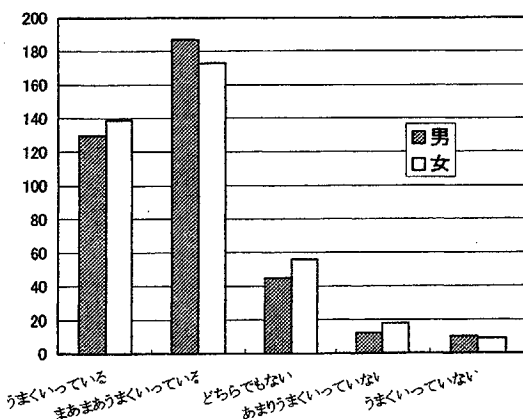
逆に、家族と「うまくいってない」と回答した者は、福島市の男子で 2.1%、女子で 3.7%と女子の方が多かった。これに「あまり、うまくいっていない」を加えると、男子で 9.1%、女子で 8.9%となり、否定的な回答は約 1 割を占め男女ほぼ同じであった。



図Q6-1. 家族関係(福島市)

【ナッシュビル市】

家族との関係が「うまくいっている」と回答した者は男子で 33.5%、女子で 35.1%であった。「まあまあ、うまくいっている」と回答した者は男子が 48.2%、女子が 43.7%であった。そして、「うまくいっている」、「まあまあ、うまくいっている」を合わせると、男子で 81.7%、女子で 78.8%となり、約 8 割が肯定的な回答をしていた。



図Q6-2. 家族関係(ナッシュビル市)

逆に、家族と「うまくいってない」と回答した者は、男子で 2.6%、女子で 2.3%と男女に差はなかった。これに「あまり、うまくいっていない」を加えると、男子で 5.7%、女子で 6.8%となり、福島市の場合より否定的な回答が若干少なかった(表 Q6 参照)。

【両市間の比較】

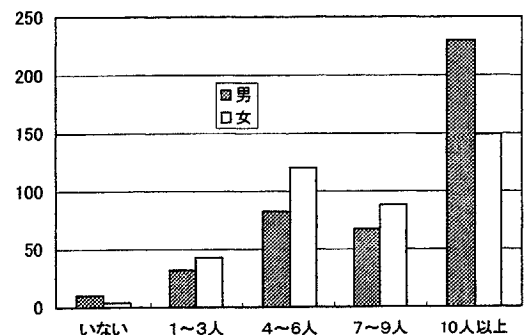
両市とも家族との関係は概ね良好で、両市間に有意差は見られなかった。しかし、「うまくいってない」

「あまりうまくいってない」を合わせた数は福島市では男女とも約 9%で、ナッシュビル市の男子約 6%、女子約 7%より若干多かった。いずれにしても、肯定的な回答が両市とも四分の三強を占め、家族関係は両市とも概ね良好であった。

Q7 現在あなたが付き合っている親しい友達は何人くらいいますか。(複数回答)

【福島市】

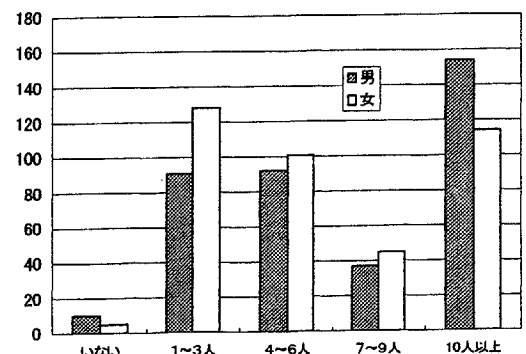
男子では、上から①「10人以上」(54.1%)、②「4~6人」(19.4%)、③「7~9人」(15.9%)、女子では、①「10人以上」(36.7%)、②「4~6人」(29.6%)、③「7~9人」(21.7%)の順で回答していた。なお、男女間には 1%水準で有意差が見られ、親しい友人が「いない」と回答した者は、男子で 2.3%、女子で 1.0%と男子の方が多かった。逆に、「10人以上」と回答した者は男子に多かった。



図Q7-1. 親しい友人数(福島市)

【ナッシュビル市】

男子は、上から①「10人以上」(39.8%)、②「4~6人」(23.9%)、③「1~3人」(23.6%)の順で回答していた。同様に女子は、①「1~3人」(32.6%)、②「10人以上」(28.8%)、③「4~6人」(25.7%)の順で回答していた。「いない」と回答した者は、男子で 2.6%、女子で 1.3%と、福島市同様男子に多かった。しかし、男女間に有意差は見られなかった。



図Q7-2. 親しい友人数(ナッシュビル市)

【両市間の比較】

男女を合わせた全体では、福島市の場合、上から①「10人以上」(45.8%)、②「4~6人」(24.4%)、③「7~9人」(18.6%)の順であった。ナッシュビル市の場合は、①「10人以上」(34.4%)、②「1~3人」(27.5%)、③「4~6人」(25.0%)の順であった。友人数「1~3人」、「7~9人」、「10人以上」については両市間に有意差が見られ、「1~3人」についてはナッシュビル市の方が、「7~9人」、「10人以上」については福島市の方が多かった。そして両市とも総じて女子より男子の方が、付き合っている友人数を多く挙げていた。

これに対して、親しい友達が「いない」と回答した者は、福島市の男子で2.3%、女子で1.0%、ナッシュビル市の男子で2.6%、女子で1.3%と、両市とも男子に多く、女子の2倍であった(表Q7参照)。

Q8 Q7 で答えたあなたがつきあっている親しい友達はどこで知り合った人ですか。(複数回答)

【福島市】

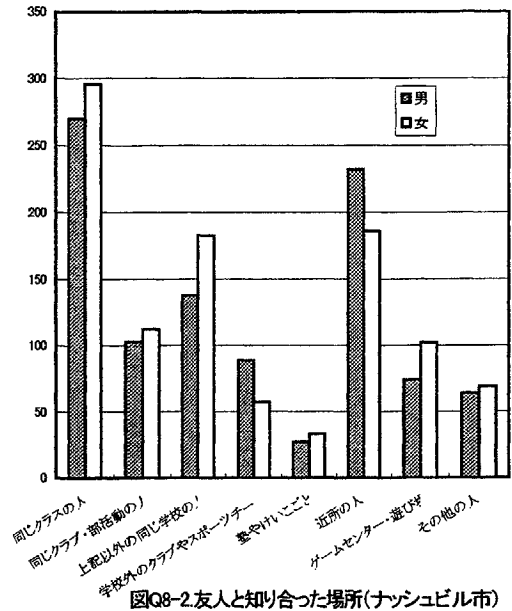
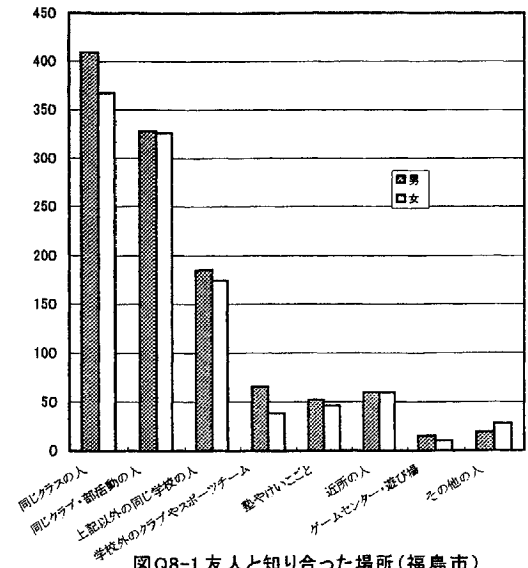
男子では、上から①「同じクラスの人」(96.0%)、②「同じクラブや部活の人」(77.0%)、③上記以外の「同じ学校の人」(43.4%)、④「学校以外のクラブやスポーツチームで知り合った人」(15.3%)、⑤「近所の人」(14.1%)、⑥「塾やけいこごとで知り合った人」(12.2%)の順で挙げていた。同様に女子は、①「同じクラスの人」(90.4%)、②「同じクラブや部活の人」(80.3%)、③上記以外の「同じ学校の人」(42.9%)、④「近所の人」(14.5%)、⑤「塾やけいこごとで知り合った人」(11.3%)、⑥「学校以外のクラブやスポーツチームで知り合った人」(9.4%)の順で挙げていた。

「ゲームセンターや遊び場」で知り合った者は意外に少なく、男子で3.5%、女子で2.5%であった。ちなみに男女間に有意差はなかった。

【ナッシュビル市】

男子では、上から①「同じクラスの人」(69.8%)、②「近所の人」(59.9%)、③「同じ学校の人」(35.7%)、④「同じクラブや部活の人」(26.6%)、⑤「クラブやスポーツチームで知り合った人」(23.0%)、⑥「ゲームセンターや遊び場で知り合った人」(19.1%)の順であった。女子では同様に、①「同じクラスの人」(74.7%)、②「近所の人」(47.0%)、③「同じ学校の人」(46.2%)、④「同じクラブや部活の人」(28.3%)、⑤「ゲームセンターや遊び場で知り合った人」(25.8%)、⑥「その他の人」(17.4%)の順で挙げていた。

「塾やけいこごとで知り合った人」は少なく、男子



で7.0%、女子で8.3%であった。また、「学校以外のクラブやスポーツチームで知り合った人」については、男子が女子より有意に多かった(表Q8参照)。

【両市間の比較】

福島市、ナッシュビル市のいずれも男女ともに付き合っている親しい友人として、「同じクラスの人」が一番多かった。特に福島市の場合は男子で96.0%、女子で90.4%と、ナッシュビル市よりも20ポイントほど多く両市間に有意差があった。同様に「同じクラブや部活の人」も福島市の方が、男子で77.0%、女子で80.3%と、ナッシュビル市よりも有意に多かった。

逆に、「近所の人」はナッシュビル市の方が、男子で59.9%、女子で47.0%と福島市よりも有意に多かった。同様に、「学校以外のクラブやスポーツチーム」、「ゲームセンターやその他の遊び場」、「その他の人」についてもナッシュビル市の方が有意に多かった。

これに対して「同じ学校の人」は、両市間に有意差はなく、福島市の場合もナッシュビル市の場合もほぼ同様の約40%であった。

「ゲームセンターや遊び場」で知り合った者は、全体で福島市の場合3.0%に過ぎなかったが、ナッシュビル市の場合はその7倍以上の22.6%もいた。また、「その他の人」も福島市の場合4.5%だったのに対してナッシュビル市の場合はその3倍以上の17.1%もいて、親しい友人を学校以外からも広く得ていることが分かる。唯一、「塾やけいこごとで知り合った人」については、福島市の場合が男子12.2%、女子11.3%で、ナッシュビル市の男子7.0%、女子8.3%よりも有意に多かった。

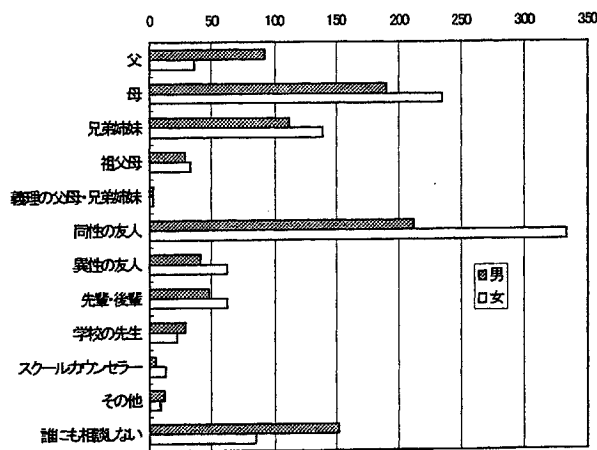
福島市の場合学校を中心に親しい友人を獲得しているが、ナッシュビル市の場合学校に限らず、それ以外の場でも親しい友人を多く得ており、交友関係や活動範囲の広さが同われる。

Q9 あなたは友人関係や家族関係の悩みは誰に相談しますか。(複数回答)

【福島市】

悩み事の相談相手として、男子は上から①「同性の友人」(49.5%)、②「母親」(44.6%)、③「兄弟姉妹」(26.3%)、④「父親」(21.6%)、⑤先輩(9.4%)の順で挙げていた。同様に女子は、①「同性の友人」(82.0%)、②「母親」(57.6%)、③「兄弟姉妹」(34.2%)、④「異性の友人」(15.3%)、⑤先輩(11.8%)の順で挙げていた。

相談相手として「父親」を男子が女子よりも有意に多く挙げていた。逆に、「母親」と「同性の友人」については、女子が男子よりも有意に多く挙げていた。

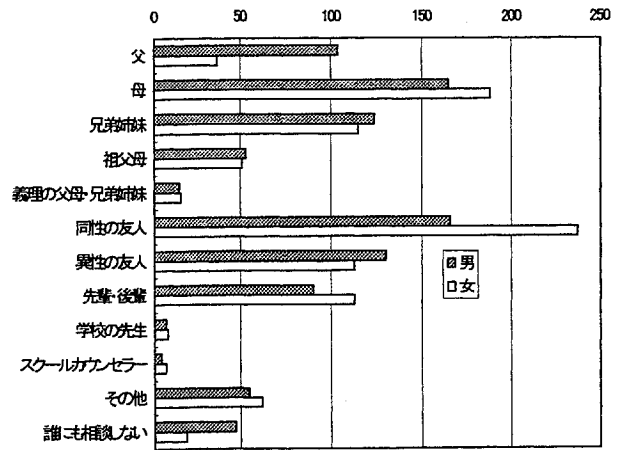


図Q9-1. 悩みの相談相手(福島市)

そして「誰にも相談しない」と回答した者は、男子で35.7%、女子で20.9%と男子が女子よりも有意に多かった。

【ナッシュビル市】

男子は、①「同性の友人」(42.9%)、②「母親」(42.6%)、③「異性の友人」(33.6%)、④「兄弟姉妹」(32.0%)、⑤「父親」(26.9%)、⑥先輩(19.6%)の順で上位に挙げていた。同様に女子は、①「同性の友人」(59.8%)、②「母親」(47.5%)、③「兄弟姉妹」(29.0%)、④「異性の友人」(28.5%)、⑤「先輩」(24.0%)、⑥祖母(11.6%)の順で挙げていた。男女間で差が見られたのは「父親」、「同性の友人」、「その他」、「誰にも相談しない」で、「父親」を除いていずれも女子の方が男子よりも有意に多く挙げていた(表Q9参照)。



図Q9-2. 悩みの相談相手(ナッシュビル市)

【両市間の比較】

両市とも、男女共通して「同性の友人」を一番多く相談相手として挙げていた。特に福島市の女子の場合は82.0%とナッシュビル市のそれを20ポイント以上も上回っており、有意な差が見られた。次に多かったのが「母親」で、「父親」は両市とも共通して少なかった。ただし男子の場合は、両市とも相談相手に父親を挙げた割合が女子よりも有意に多く、福島市で21.6%、ナッシュビル市で26.9%と、いずれも女子の2倍以上であった。また両市を比較して特徴的なのは、相談相手に「異性の友人」を挙げた者が、ナッシュビル市では男子で33.6%、女子で28.5%と上位を占めていた。これに対して福島市の場合、男子でその三分の一の9.4%、女子で二分の一の15.3%にとどまっておらず、両市間に有意な差が見られた。さらに祖父母を相談相手に挙げた者もナッシュビル市の方が有意に多く、特に祖母については福島市の4.8%に対して、その2倍以上の10.6%であった。さらに、「親戚の大人」、「先輩」、「その他」を挙げた者もナッシュビル市の方が福島市よりも有意に多かった。

ところで相談相手に学校の教師を挙げた者は、福島市の男子で6.6%、女子で5.2%、ナッシュビル市の男

子で1.8%、女子で2.0%と両市共に非常に少なく、男女合わせても福島市で6.0%、ナッシュビル市で2.0%に過ぎなかった。しかもナッシュビル市の方が福島市よりも有意に少なかった。

そして、「誰にも相談しない」と回答した者が、福島市では男子で35.7%、女子で20.9%だったのに対して、ナッシュビル市では男子の12.1%、女子の4.8%に過ぎなかった。全体ではナッシュビル市の8.4%に対して、福島市ではその3倍の28.7%で、福島市が有意に多かった。特に福島市の男子の場合は、三分の一の者が誰にも相談しないで1人で悩みを抱えている。しかも日米共通して、女子よりも男子の方が有意に多く「誰にも相談しない」で、孤独に耐えている(表Q9参照)。

Q10 あなたは親しい友達とのつきあいのなかで、どんなことをしていますか。

【福島市】

男子の場合、「よくある」と回答したのは、多い順に①「一緒に遊んで過ごす」(66.9%)、②「お互いの家に行き来する」(43.9%)、③「学校や他の友人の不満や悩みを話す」(19.7%)、④「異性のことを話す」(18.3%)、⑤「電話で話す」(17.1%)、⑥「お金や物を貸し借りする」(14.4%)、⑦「将来のことを話す」(11.5%)の順であった。同様に女子では、①「一緒に遊んで時間を過ごす」(65.8%)、②「学校や他の友人の不満や悩みを話す」(49.5%)、③「異性のことを話す」(44.8%)、④「電話で話す」(42.6%)、⑤「お互い

の家に行き来する」(28.1%)、⑥「家や親の不満や悩みを話す」(21.4%)、⑦「将来のことを話す」(11.1%)であった。

男女間で有意差が見られた項目は表Q10-1の通りで、「お互いの家に行き来する」だけは男子に多かった。それ以外の「電話で話す」「異性のことを話す」「家や親の不満や悩みを話す」「学校や友人の不満や悩みを話す」は女子の方が有意に多かった。

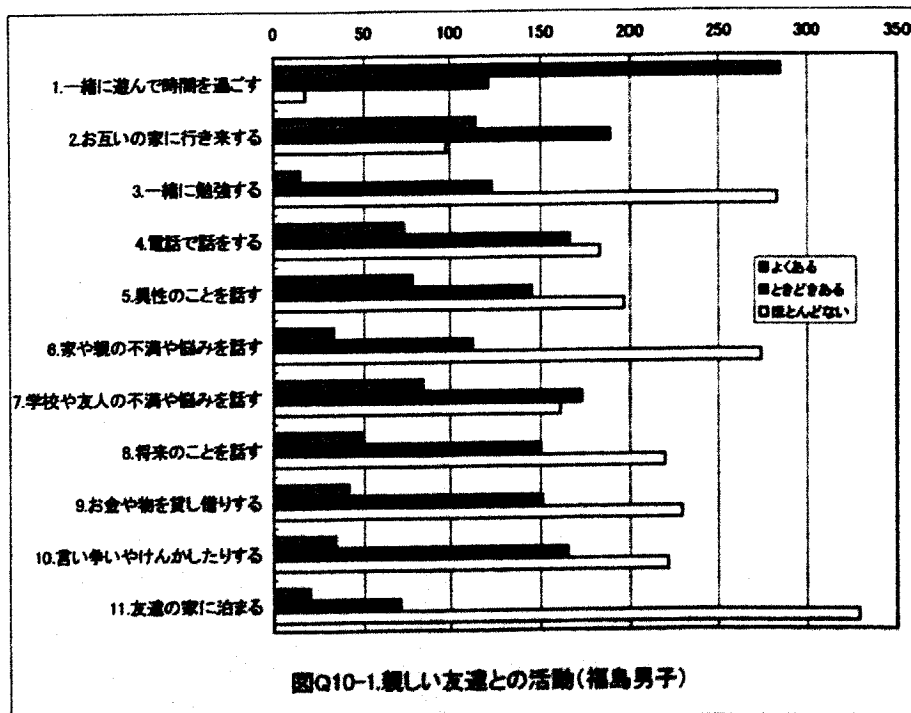
【ナッシュビル市】

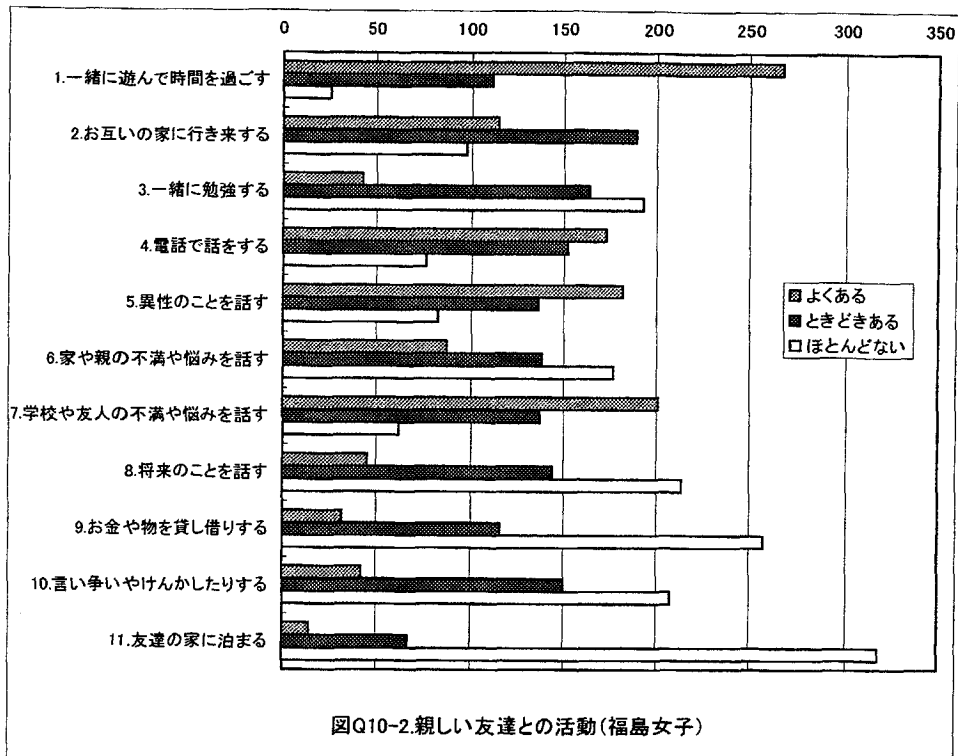
男子では、同様に多い順に①「一緒に遊んで時間を過ごす」(44.4%)、②「異性のことを話す」(42.4%)、③「電話で話す」(41.3%)、④「お互いの家に行き来する」(34.6%)、⑤「学校や友人の不満や悩みを話す」(33.1%)、⑥「将来のことを話す」(31.3%)、⑦「友達の家泊まる」(25.6%)を上位に挙げていた。同様に女子では、①「電話で話をする」(65.2%)、②「異性のことを話す」(55.8%)、③「お互いの家に行き来する」(39.6%)、④「一緒に遊んで時間を過ごす」(37.1%)、⑤「学校や友人の不満や悩みを話す」(33.8%)、⑥「友達の家泊まる」(33.6%)、⑦「将来のことを話す」(32.8%)を上位に挙げていた。

男女間では、「電話で話をする」と「家や親の不満や悩みを話す」については有意差が見られ、男子より女子が多かった(表Q10-1参照)。

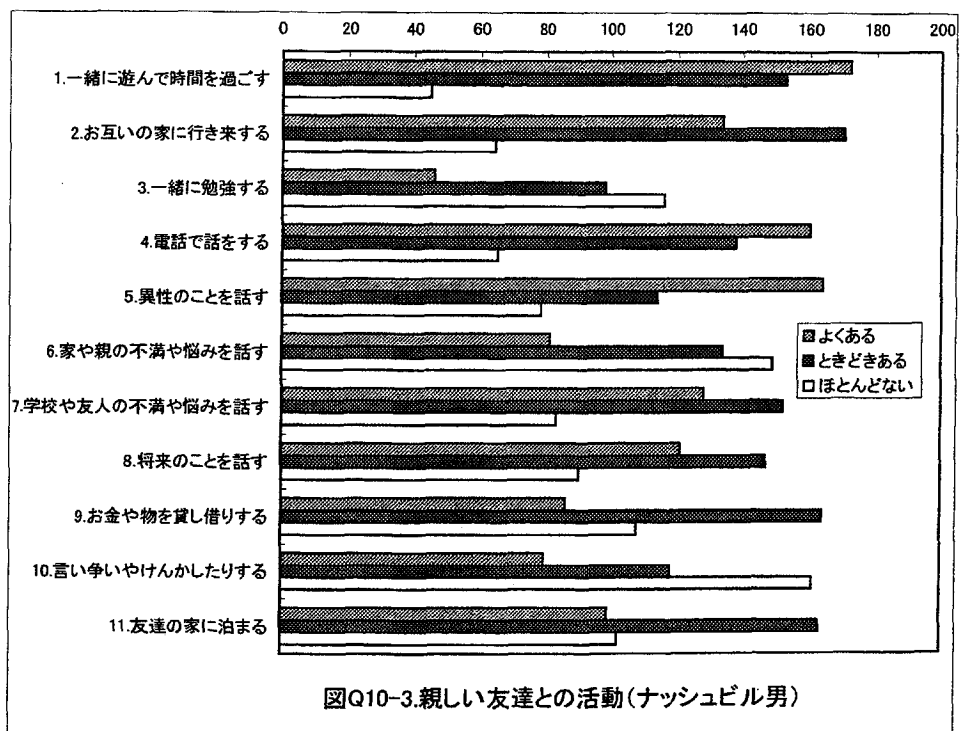
【両市間の比較】

両市間に有意差が見られた項目は表Q10-2の通りで、男子は両市とも「一緒に遊んで過ごす」ことが一番多かった。女子は福島市の場合は「一緒に遊んで過ごす」





図Q10-2.親しい友達との活動(福島女子)

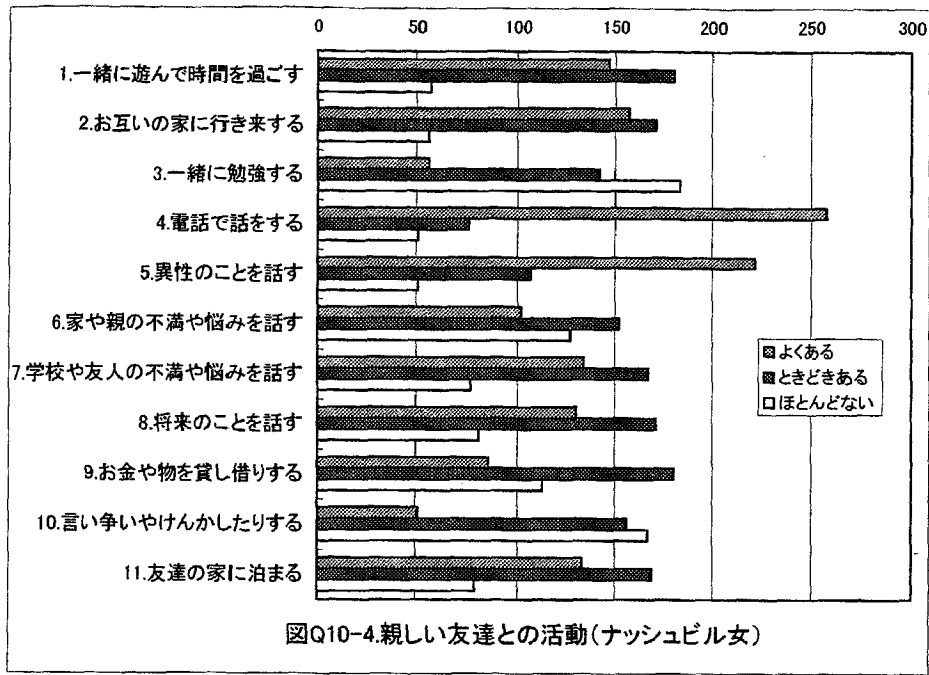


図Q10-3.親しい友達との活動(ナッシュビル男)

表Q10-1.男女間に有意差が見られた項目

	福島市(Fukushima)			ナッシュビル市(Nashville)			備考
	p<.001	p<.01	p<.05	p<.001	p<.01	p<.05	
2.お互いの家に遊びに行き来する				○			男>女
4.電話で話をする	○			○			女>男
5.異性のことを話す	○						女>男
6.家や親の不満や悩みを話す	○			○			女>男
7.学校や他の友人の不満や悩みを話す	○						女>男

注)備考の男>女は男が女よりも有意に多いことを表す。



表Q10-2.日米間に有意差が見られた項目

	有意差の水準			備考
	p<.001	p<.01	p<.05	
1.一緒に遊んで時間を過ごす	○			日>米
3.一緒に勉強する	○			米>日
4.電話で話をする	○			米>日
5.異性のことを話す	○			米>日
6.家や親の不満や悩みを話す	○			米>日
7.学校や他の友人の不満や悩みを話す			○	日>米
8.将来のことを話す	○			米>日
9.お金や大切な物を貸し借りする	○			米>日
10.言い争ったりけんかしたりする	○			米>日
11.友達の家泊まる	○			米>日

注)備考の日>米は、日本(福島市)が米国(ナッシュビル市)よりも有意に多いことを表す。以下同様。

が一番多かったが、ナッシュビル市の場合は「電話で話す」、「異性のことを話す」ことの方がより多かった。また「友達の家泊まる」は、「よくある」「ときどきある」を合わせると、男子は福島市が21.4%なのに対して、ナッシュビル市ではその3倍の67.7%に達していた。女子も、同様に福島市が20.0%なのに対して、ナッシュビル市の場合は3倍以上の76.3%に達しており、ナッシュビル市では気軽に友達の家外泊している。また「物の貸し借り」も、男女とも福島市よりもナッシュビル市の方が有意に多かった。さらに「将来のことを話す」も福島市よりナッシュビル市の場合が有意に多く、より濃密な友人関係を結んでいる。

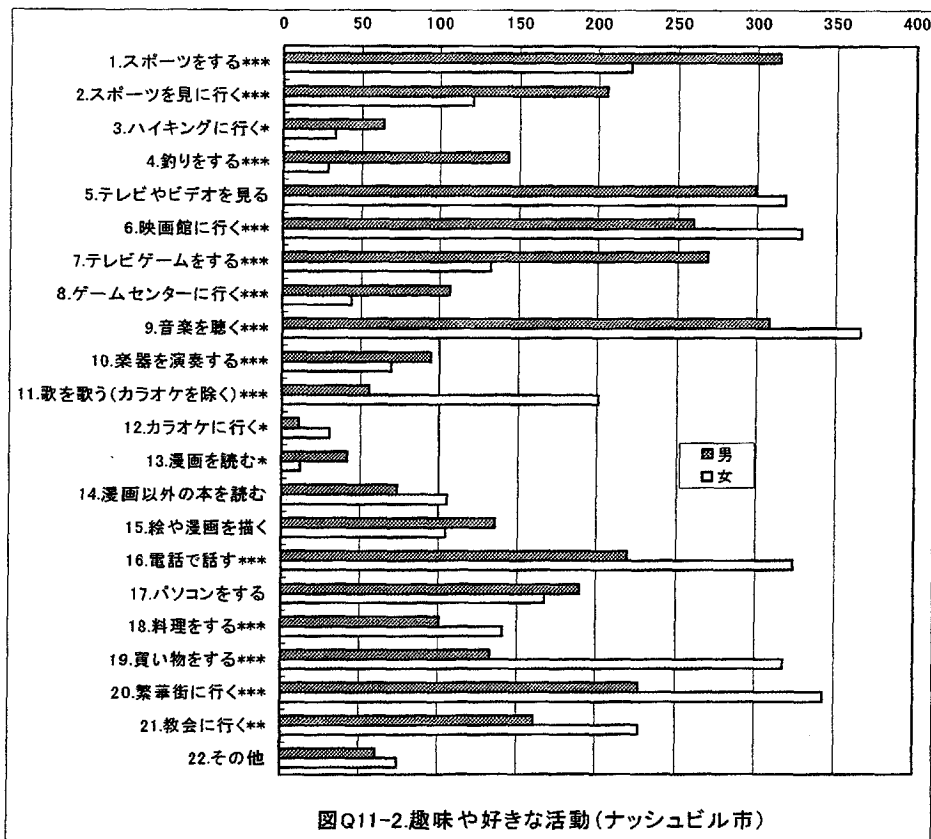
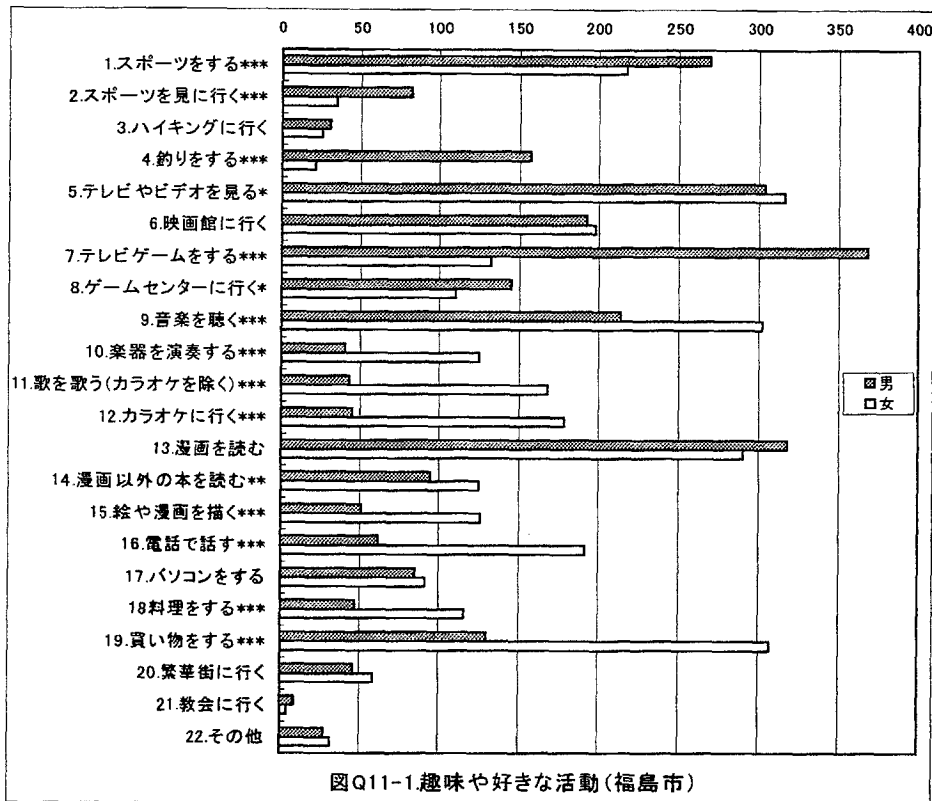
一方、「家や親の不満や悩みを話す」ことが、「ほとんどない」と回答した者は、福島市の男子で64.3%、女子で43.6%と、ナッシュビル市よりも有意に多かった。前記のQ9でも見られたように、福島市の男子の場合、多くの者が悩みを誰にも相談出来ない孤独な状況におかれていることが伺われる(表Q10参照)。

Q11 あなたの趣味や好きな活動は何ですか。(複数回答)

【福島市】

男子では多い順に①「テレビゲームをする」(86.4%)、②「漫画を読む」(74.6%)、③「テレビやビデオを見る」(71.4%)、④「スポーツをする」(68.5%)、⑤「音楽を聴く」(50.2%)が上位5位を占めていた。同様に女子は、上位から①「テレビやビデオを見る」(77.8%)、②「買い物をする」(75.6%)、③「音楽を聴く」(74.3%)、④「漫

画を読む」(71.4%)、⑤「スポーツをする」(53.7%)の順であった。男女合わせた全体では、①「テレビやビデオを見る」(74.7%)、②「漫画を読む」(73.25)、③「音楽を聴く」(61.8%)、④「スポーツをする」(61.3%)、⑤「テレビゲームをする」(60.0%)の順で上位5位を占めていた。男女別では、「スポーツをする」「スポーツを見に行く」「釣り」「テレビゲーム」については、有意に男子が多かった。逆に、「音楽を聴く」「楽器を演奏する」「歌を歌う」「絵や漫画を描く」「電話で話す」「料理」「買い物」は、有意に女子が多かった。



注) *は男女間の有意差を表す。

***p<.001, **p<.01, *p<.05

【ナッシュビル市】

男子では、①「スポーツをする」(81.1%)、②「音楽を聴く」(79.6%)、③「テレビやビデオを見る」(77.3%)、④「テレビゲームをする」(69.5%)、⑤「映画館に行く」(67.2%)が、上位5位となっていた。同様に女子は、①「音楽を聴く」(92.2%)、②「繁華街に行く」(86.6%)、③「映画館に行く」(82.8%)、④「電話で話す」(81.8%)、⑤「テレビやビデオを見る」(80.3%)、⑥「買い物をする」(80.3%)が上位5位を占め、いずれも80%を超えていた。男女を合わせた全体では、①「音楽を聴く」(85.8%)、②「テレビやビデオを見る」(78.3%)、③「映画館に行く」(75.3%)、④「繁華街に行く」(72.8%)、⑤「電話で話す」(69.5%)が上位5位を占め、「スポーツをする」(68.5%)はわずかな差で6位だった。男女別では、「スポーツをする」「スポーツを見る」「テレビゲーム」「ゲームセンター」「漫画を読む」が有意に男子に多かった。逆に、「映画館に行く」「音楽を聴く」「歌を歌う」「カラオケ」「電話で話す」「買い物」「教会へ行く」は、有意に女子の方が多かった。

表Q11-1.日米間に有意差が見られた項目

	有意差の水準			備考
	p<.001	p<.01	p<.05	
1.スポーツをする		○		米>日
2.スポーツを見に行く	○			米>日
3.ハイキングに行く	○			米>日
6.映画館に行く	○			米>日
7.テレビゲームをする		○		日>米
8.ゲームセンターに行く	○			日>米
9.音楽を聴く	○			米>日
11.歌を歌う(カラオケを除く)	○			米>日
12.カラオケに行く	○			日>米
13.漫画を読む	○			日>米
15.絵や漫画を描く	○			日>米
16.電話で話す	○			米>日
18.料理をする	○			米>日
19.買い物をする			○	米>日
20.繁華街に行く	○			米>日
21.教会に行く	○			米>日

注)備考の米>日は、米国(ナッシュビル市)が日本(福島市)よりも有意に多いことを表す。

【両市間の比較】

両市共に「テレビゲーム」「スポーツ」「釣り」といった屋外での活動は男子に多く、逆に「音楽を聴く」「楽器を演奏する」「歌を歌う」「絵や漫画を描く」「料理」等の屋内での活動や、「買い物」は女子

の方が有意に多かった。日米間で比較すると、「スポーツをする」「スポーツを見に行く」「釣り」「映画」「音楽を聴く」「歌を歌う」「電話で話す」「料理」「買い物」「繁華街に行く」「教会に行く」の11項目は、有意にナッシュビル市の方が多かった。逆に福島市の方が多かったのは、「テレビゲーム」「ゲームセンター」「カラオケ」「漫画を読む」「漫画を描く」の5項目であった。両市を比較すると、ナッシュビル市の方がより健康的で多様な趣味や余暇活動をしていることが分かる。

特に日米の文化的背景の相違を反映しているものとして、「漫画を読む」や「カラオケに行く」は福島市に多く、逆に「教会に行く」はナッシュビル市に多く、両市間に相違が見られた。

Q12 あなたは家庭で毎日、平均してどのくらい勉強していますか。(複数回答)

【福島市】

男子は多い順に、①「1時間」(37.6%)、②「30分」(25.3%)、③「2時間」(16.2%)の順であった。女子も、①「1時間」(39.7%)、②「30分」(21.2%)、③「2時間」(17.2%)の順であった。逆に「ほとんどしていない」と回答した者は、男子で19.0%、女子で17.0%であった。なお、男女間には有意差は見られなかった。

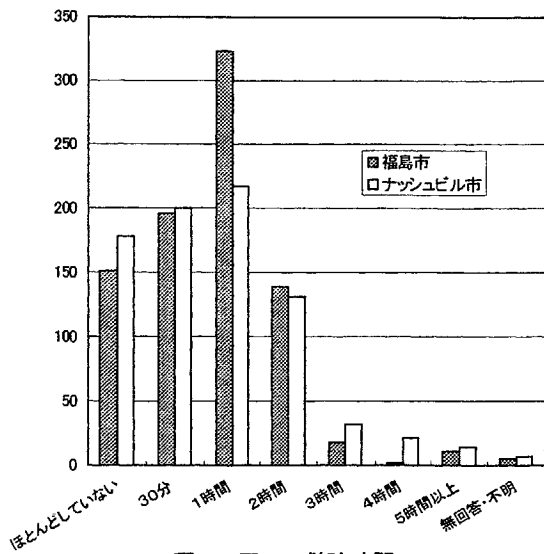
【ナッシュビル市】

男子が①「1時間」(27.9%)、②「30分」(25.6%)、③「2時間」(16.6%)の順であった。女子も①「1時間」(26.0%)、②「30分」(25.3%)、③「2時間」(19.2%)の順であった。同様に「ほとんどしていない」と回答した者は男子で23.5%、女子で21.0%だった。勉強時間には男女とも大差はなく、福島市同様、男女間に有意差は見られなかった。

【両市間の比較】

平均勉強時間は両市ともほとんど変わらなかった。両市とも男女共通して一番多かったのは「1時間」という回答で、福島市の男子で37.6%、女子で39.7%、ナッシュビル市の男子で27.9%、女子で26.0%と福島市の方が10ポイントほど多かった。2時間以上勉強すると回答した者は、福島市の男子で18.5%、女子で21.4%、ナッシュビル市の男子で21.7%、女子で21.7%とほぼ同数であった。ところが、3時間以上勉強している者は福島市の3.2%に対して、ナッシュビル市は8.2%で、ナッシュビル市の方が有意に多かった。そして勉強を「ほとんどしていない」

と回答した者は、福島市全体で 17.9%、ナッシュビル市全体で 22.3%と、福島市の方が少なかった(表 Q12 参照)。



図Q12.平日の勉強時間

小括

同居家族は福島市もナッシュビル市も母親との同居が一番多かったが、父親との同居は福島市の方がナッシュビル市より 38 ポイントも高く有意に多かった。福島市でも単身赴任等で父親の同居率は母親より 10 ポイント低かった。ナッシュビル市の父親との同居率の低さは、むしろ両親の離婚等によるものではないかと思われる。両市の第二の相違点は祖父母との同居率である。福島市では祖父母との同居、いわゆる三世大家族が全体の三分の一を占めていたのに対して、ナッシュビル市では 1 割未満で有意に少なかった。逆に、義理の父母または義理の兄弟姉妹との同居率は福島市では双方を合わせても 1%に過ぎなかったのに対して、ナッシュビル市では双方を合わせると全体の約 3 割にも達して、有意に多かった。これは両親の再婚等に伴う新しい家族形態(構成)になっているケースが多いためと思われる。

以上のことから、福島市が血縁関係による直系家族を中心に構成されているのに対して、ナッシュビル市では単身の親や義理の父母・兄弟姉妹からなる複合家族で構成されているといえる。要するに、直系家族中心の福島市に比べて、ナッシュビル市では結合家族が比較的に多く、家族の構成メンバーがより複雑になっているといえる。

家族の中で一番話しやすい人として、両市共に母親をトップに、次に兄弟姉妹を多く挙げていた。父親については、両市とも男子が女子よりも有意に多

く挙げており、同性である父親を話し相手に挙げていた。しかも、ナッシュビル市の場合は福島市の 3 倍も挙げていて有意に多かった。このことから、父親との関係は福島市に比べてナッシュビル市の方がより濃厚であると言える。福島市より同居率は低いが、その中で緊密な関係が結ばれているといえる。逆に福島市では、同居はしていても父子関係は希薄で、存在感のない父親像が浮かんでくる。

さらに祖父母を話しやすい人として挙げたのは福島市ではほとんどいなかったが、ナッシュビル市では祖父母を話し相手に挙げた者が有意に多かった。しかもナッシュビル市では男子が、同性である祖父を有意に多く話し相手に挙げていた。このことから、ナッシュビル市の場合は核家族化が進んでいる中でも、家族の繋がりは福島市に比べてより密接であるといえる。逆に福島市の場合は祖父母との三世代同居が多いにもかかわらず、家族の横の繋がりは希薄になっているといえる。要するに、同居していてもほとんど相手にされない福島市の父や祖父母に対して、別居していても話し相手として頼りにされているナッシュビル市の父や祖父母像が見えてくる。

そして特記すべきことは、福島市では無回答者が全体の 1 割以上もいて、このことが取りも直さず家族関係の希薄化を暗示しているようである。

平日の会話時間については、父親、母親、兄弟姉妹、祖父母のいずれとも、ナッシュビル市の方が有意に多かった。特徴的なことは、両市共に父親との会話が非常に少ないことである。特に女子の場合は福島市で 4 割、ナッシュビル市で 6 割以上の生徒が父親との会話が「ほとんどない」と回答していた。その反面、両市共に母親との会話が一番多く、会話時間は福島市の男子で 30 分、女子で 1 時間と回答した者が最も多かった。これに対してナッシュビル市では 4 時間以上と回答した者が最も多く、男女とも三分の一を占めていた。兄弟姉妹との会話でも、福島市では 30 分から 1 時間と回答した者が一番多かったが、ナッシュビル市では母親同様に 4 時間以上と回答した者が最も多く、男女とも 3 割を超えていた。また福島市の場合は祖父母との同居者が多いにもかかわらず、会話はほとんどなく、あっても 30 分と回答した者が一番多かった。

これらのことから、福島市よりもナッシュビル市の方が家族関係がより緊密で、そのために会話時間も長くなっているといえる。

休日に家族と過ごす時間についても、男子は福島

市では2時間から1時間というのが一番多かった。これに対してナッシュビル市では12時間以上と、6～12時間と回答した者が一番多かった。逆に「ほとんどない」と回答した者が、福島市ではナッシュビル市の3倍もいた。

一方女子は福島市では6～12時間と回答した者が一番多く、男女間に有意差が見られた。ナッシュビル市では男子と同様に12時間以上と回答した者が一番多かった。男女合わせた全体でも福島市の場合には1～3時間と回答した者が全体の約4割を占めていたが、ナッシュビル市では6～12時間、あるいはそれ以上と回答した者が約半数を占めていた。

この結果から、家族と過ごす時間についてもナッシュビル市の方が有意に長く、家族とより密接に触れ合っているといえる。先述したようにナッシュビル市の生徒の方が福島市の生徒に比べて家族と過ごす時間が多いために、必然的に家族との会話時間も多くなっているといえる。これに対して、福島市の生徒は平日における家族との会話が少ない上に、休日に家族と過ごす時間も少なく、一段と家族関係が希薄化しているといえる。

家族との関係では福島市もナッシュビル市も「うまくいっている」「まあまあうまくいっている」を合わせると約8割で、両市間に差はなかった。逆に「うまくいってない」と回答した者も、両市とも男女合わせて約3%で同じであった。このことから、家族関係は両市共に概ね良好で、総じてうまくいっているといえる。家族関係が希薄化している中で、総じて肯定的な回答をしているということは、生徒たちが冷めた目で家族を捉えているとも言える。

現在付き合っている友人数については、両市とも男女共通して「10人以上」という回答が一番多かった。しかも福島市の場合が有意に多かった。さらに福島市の場合、男子の方が有意に多かった。逆に親しい友人が「いない」と回答した者は、両市とも約2%で両市間に差は見られなかった。このことから、両市ともに友人数は比較的に多く、交友関係の幅は両市共にかなり広いといえる。

親しい友人と知り合った場所は、両市とも「同じクラス」の中で知り合ったケースが最も多かった。次に福島市では「同じクラブや部活」と回答した者が多かったが、ナッシュビル市では「近所の人」と回答した生徒が多かった。「ゲームセンターや遊び場」で知り合った者は、福島市の場合男女合わせても約3%だったのに対して、ナッシュビル市では

その7倍以上の20%を超えていた。さらに、「その他の人」を挙げた者も、ナッシュビル市では福島市の3倍であった。

要するに学校(クラス・部活)を中心に友人関係を結んでいる福島市に対して、ナッシュビル市の場合には学校以外の場からも友人を得ており、活動範囲や交友関係の幅が福島市よりも広いといえる。

悩み事の相談相手としては日米共に「同性の友人」を挙げた者が一番多く、母親がそれに続いていた。父親を相談相手として挙げた者は、両市とも男子は女子の2倍以上で、有意に多かった。裏を返せば、女子と父親との関係が非常に希薄であると言える。またナッシュビル市では男子の3割強、女子の3割弱が相談相手に「異性の友人」を挙げていたが、福島市ではその三分の一から二分の一で有意に少なかった。このことから、ナッシュビル市の場合が男女間の交際もオープンで広く、ごく一般的に行われていることが分かる。

そして相談相手に学校の教師やスクールカウンセラーを挙げた者は両市共に非常に少なく、これらの専門家が意外に生徒たちに相手にされず、敬遠されていることが分かる。生徒にとっては、こうした専門家よりは、ごく親しい身近な人が相談相手になりやすく、気軽に相談できるのであろう。

問題なのは、「誰にも相談しない」と回答した者で、ナッシュビル市では1割弱%だったのに対して福島市ではその3倍もいた。特に福島市の男子の場合は三分一以上の者が、悩み事を誰にも相談しないで1人で抱え込んでいる実態が明らかになった。しかも両市共に、女子よりも男子の方が有意に多く、誰にも相談しないで孤独に耐えている状況が明らかになった。こうした孤独な生徒に対するサポートが必要である。

親しい友人との活動で、「お互いの家に遊びに行き来する」は福島市では男子が有意に多かった。逆に、「電話で話す」「異性のことを話す」「家や親の不満や悩みを話す」「学校や他の友人の不満や悩みを話す」は女子が有意に多かった。一方ナッシュビル市では、「電話で話す」「家や親の不満や悩みを話す」のみが女子に有意に多かった。両市とも共通して、「電話で話す」「家や親の不満や悩みを話す」は女子の方が有意に多く、友人同士で話し合うことによってストレスを発散しているものと思われる。

日米(両市)間で有意差が見られたのは10項目で、「一緒に遊んで過ごす」「学校や友人の不満や悩

みを話す」の2項目は福島市の方が有意に多かった。逆に、「一緒に勉強する」「電話で話す」「異性のことを話す」「家や親の不満や悩みを話す」「将来のことを話す」「金や物を貸し借りする」「言い争ったりケンカしたりする」「友達の家泊まる」の8項目についてはナッシュビル市の方が有意に多かった。このことから、ナッシュビル市の方がより緊密で広範な友人関係を結んでいると言える。

趣味や好きな活動は、男子では、上位5位内に「テレビゲームをする」「テレビやビデオを見る」「スポーツをする」「音楽を聴く」が両市とも共通して入っていた。日米間で相違が見られたのは、福島市では2位に「漫画を読む」が挙げられていたのに対して、ナッシュビル市では5位に「映画館に行く」が入っていた。女子では、「テレビやビデオを見る」「買い物をする」「音楽を聴く」が両市とも共通して上位5位以内に入っていた。福島市ではこれに加えて、「漫画を読む」と「スポーツをする」が入っていた。ナッシュビル市では、同様に「繁華街に行く」「電話で話す」が5位以内に入っていた。

男女間で有意差が見られたのは、両市とも共通して、「スポーツをする」「スポーツを見に行く」「釣り」「テレビゲーム」については男子が有意に多かった。逆に、「音楽を聴く」「電話で話す」「買い物をする」は女子が有意に多かった。ナッシュビル市ではこれに加えて、「繁華街に行く」「教会に行く」が有意に女子に多かった。

日米（両市）間で有意差が見られたのは16項目で、「テレビゲーム」「ゲームセンター」「カラオケ」「漫画を読む」「絵や漫画を描く」の5項目は福島市の方が有意に多かった。これに対して、「スポーツをする」「スポーツを見に行く」「ハイキング」「映画」「音楽を聴く」「歌を歌う（カラオケを除く）」「電話で話す」「料理」「買い物」「繁華街に行く」「教会に行く」の11項目はナッシュビル市の方が有意に多かった。

両市共に男子は屋外での活動が多く、逆に女子は屋内での活動や「買い物」「繁華街に行く」が多かった。さらに日米の文化的な背景の相違を反映していると思われるものには、福島市では漫画を読んだりカラオケに行く生徒が多く、逆に教会に行くのはナッシュビル市の生徒が圧倒的に多かった。福島市で繁華街に行く生徒が少なかったのは、調査の対象となった生徒の居住地が市内全域にわたっていることと、福島市自体が小規模都市で繁華街そのものが

少ないためと思われる。

総じて両市共に、スポーツをしたりハイキングや釣りに行くといった屋外で活動する生徒よりも、家でテレビやビデオを見たり、テレビゲームをしたり、音楽を聴いたり、パソコンや料理をしたり、電話で友達と話したりする等の、屋内で活動する生徒が多いことが分かる。

平日の勉強時間は、両市とも一番多かったのは男女共通して「1時間」という回答であった。次に、「30分」、「2時間」の順で両市とも共通していた。「1時間」は福島市の方が有意に多かったが、「3時間以上」は逆にナッシュビル市が多かった。一方、ほとんど勉強していない生徒は福島市で18.0%、ナッシュビル市で22.3%とそれぞれ全体の約2割で、両市間に大差はなかった。中学2年生ということもあるかも知れないが、意外に勉強時間は少なく、とりたてて福島市の生徒が勉強に追われて忙しいとは言えないようである。

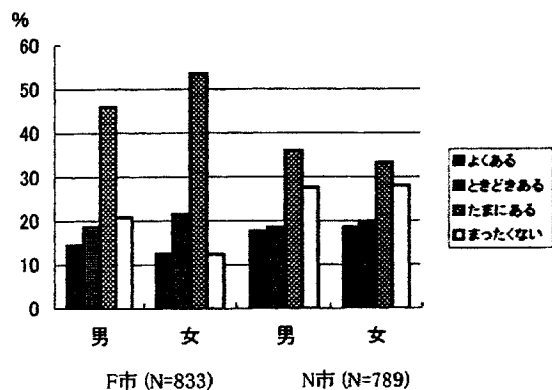
3-2 生徒用アンケート（問題行動）

「無回答、不明」を含めたアンケートの集計結果は、巻末の付録に収録してある。

各問ごとに、福島市とナッシュビル市間の「無回答、不明」が大きく変動しているので、本節では「無回答、不明」を除いた有効回答にもとづき記載する。なお、Q13 からQ21 までの検定はカイ2乗検定によるもので、(***)は0.1%水準、(**)は1%水準、(*)は5%水準の危険率をしめす。

Q13 あなたは中学生になってから、学校に行くのがいやになったことがありますか。

図Q13 学校に行くのが嫌になること



【福島市】

この問いに対し「よくある」と答えたのは13.6%（男14.6%、女12.6%）で、「ときどきある」が20.0%、「たまにある」が49.6%、「まったくない」が16.7%（男20.8%、女12.4%）となる。性差があり、「よくある」も「まったくない」も、ともに男子に多い(**)。「よくある」「ときどきある」を足すと33.6%（男33.2%、女34.1%）の生徒が、不登校気分を共有している。とくに注目すべきは、学校に行くのがいやになることが「よくある」と答えている13.6%の男女生徒である。この生徒たちは、不登校気分をもちつつも登校をつづけているが、不登校のきっかけとなる不快な出来事があったり、登校を動機づけている要因が減少するなどの状況の変化により、容易に不登校に陥る可能性の高い不登校予備軍と考えることができる。

【ナッシュビル市】

「よくある」という回答は18.3%（男17.8%、女18.7%）であり、「ときどきある」19.3%、「たまにある」34.6%、「まったくない」27.8%となる。性差はない。「よくある」「ときどきある」を合わせると37.6%

（男36.4%、女38.6%）の生徒が、不登校気分を共有している。性差はない。

【両市間の比較】

両市の中学生間で、ともに3～4割弱の生徒が不登校気分を共有している点は共通しているが、両市間ではグループ構成に差がある(***)。ナッシュビル市の場合、「よくある」「ときどきある」という不登校気分の高い群と「たまにある」という中間群、不登校気分が「まったくない」という群がほぼ3等分されている。それに対し福島市の場合、不登校気分の高い群はナッシュビル市と同様の比率だが、中間群が半数近くもあり、不登校気分が「まったくない」という群が全体の17%にすぎず、ナッシュビル市の28%と比べて少ないことが注目される。換言すれば、程度には差があるものの、「学校に行くのが嫌だ」という不登校気分をもつ生徒の割合が福島市では8割以上と多いことがわかる。

Q14 学校に行くのがいやになったのは、どういう理由からですか。（複数回答）

この問については、福島市では全員が回答したが、ナッシュビル市での回答には29.6%もの無回答があった。それぞれの%は、有効回答をした生徒のうち、各項目に○をつけた生徒の比率を示している。

【福島市】

学校に行くのがいやになった理由を複数回答で聞いた結果が、表Q14である。男女全体で多い順に並べると、①「勉強がきらい」29.2%（男28.4%、女30.0%）がもっとも多く、②「友だちとうまくいかない」25.3%（男14.9%、女36.1%）、③「先生がきらい」22.7%（男21.2%、女24.3%）、④「体の調子がわるい」21.8%（男20.9%、女22.7%）、⑤「特に理由はない」20.8%（男22.9%、女18.7%）の順になる。「友だちとうまくいかない」(***)、「授業がわからない」(**)という理由をあげるのは、男子より女子のほうが多い。

福島市の中学生が学校に行くのが嫌になる主な理由は、1) 勉強嫌いや学習困難（勉強がきらい、授業がわからない）、2) 学校内での対人関係の困難（友だちとうまくいかない、先生がきらい）、3) 校則や部活動への不満や負担（校則に不満がある、学校の部活動が負担）などであり、イジメや学校恐怖・親との分離不安・対人恐怖などの神経症的理由は少ない。「体の調子がわるい」「特に理由はない」「その他」など、明確な理由はないが学校に行くのが嫌だという生徒が少なくとも1～2割程度いる。この内にはかなりの数の無気力や息学傾向をもつ者が含まれている可能性があり、

表Q14 学校に行くのが嫌になった理由（複数回答）

	F市 (N=837)				N市 (N=562)				両市の比較
	男	女	性差	計	男	女	性差	計	
友だちにいじめられる	4.7	4.2		4.5	13.9	10.1		12.0	***
友だちとうまくいかない	14.9	36.1	***	25.3	23.4	24.8		24.1	
先生がきらい	21.2	24.3		22.7	50.9	47.8		49.4	***
勉強がきらい	28.4	30.0		29.2	52.0	48.6		50.3	***
授業がわからない	11.5	18.3	**	14.8	20.9	29.5	*	25.2	***
学校に行くのがこわくて不安	2.8	3.7		3.3	6.2	4.0		5.1	
人と話すのがこわい	2.6	3.7		3.1	4.0	2.5		3.3	
体の調子がわるい	20.9	22.7		21.8	11.7	9.7		10.7	***
家庭がおもしろくない	2.4	3.2		2.8	6.2	9.7		8.0	***
学校の外におもしろいことがある	4.9	5.7		5.3	42.5	32.7		37.6	***
親と離れたくない	0.0	0.2		0.1	7.0	7.2		7.1	***
校則に不満がある	14.6	16.9		15.7	35.2	34.9		35.0	***
学校の部活動が負担	12.2	15.8		13.9	5.5	2.2	*	3.8	***
特に理由がない	22.9	18.7		20.8	25.6	25.5		25.6	
その他	10.8	13.1		11.9	15.8	26.6	**	21.2	***

学校ぎらいの理由が不明確なだけに、対応が難しい生徒群と推測される。

【ナッシュビル市】

男女全体で多い順に並べると、①「勉強がきらい」50.3%（男52.0%、女48.6%）、②「先生がきらい」49.4%（男50.9%、女49.4%）、③「学校の外におもしろいことがある」37.6%（男42.5%、女32.7%）、④「校則に不満がある」35.0%（男35.2%、女34.9%）、⑤「特に理由はない」25.6%（男25.6%、女25.5%）、などとなる。性差があり、「授業がわからない」は女子に多く（*）、「部活動が負担」は男子に多い（*）。

ナッシュビル市では、学校に行くのが嫌になる主な理由は、1)勉強嫌いや学習困難（勉強がきらい、授業がわからない）、2)学校内での対人関係の困難（友だちとうまくいかない、先生がきらい）、3)校則への不満（校則に不満がある）のほか、4)「学校の外におもしろいことがある」が4割弱もあることが目立つ。

【両市間の比較】

福島市でもナッシュビル市でも、「勉強がきらい」や「授業がわからない」ことが、学校ぎらいの第1の理由としてあげられている。「勉強がきらい」「授業がわからない」という理由をあげる生徒の割合は、福島市よりもナッシュビル市のほうが多い（***）。「先生がきらい」なことも学校ぎらいとなる大きな要因で、福島市では2割強、ナッシュビル市では約5割にものぼる。「先生がきらい」という割合も、ナッシュビル市のほうが多い（***）。福島市、ナッ

ユビル市ともに4人に1人の生徒が「友だちとうまくいかない」ことを学校ぎらいの理由にあげており、友人関係も重要な要因であることがうかがえる。

「学校の外におもしろいことがある」という理由は、福島市が5.3%であるのに対し、ナッシュビル市では37.6%と7倍ちかくもあるのが注目される。学校の外の「おもしろいこと」が具体的にどういことを指すのか、未調査でわからない。「校則に不満がある」が、福島市よりもナッシュビル市で2倍以上も多いことは、意外な結果である。福島市において「学校の部活動が負担」というのが13.9%ある。これも部活動のあり方を考えるうえで、無視できない数といえる。

福島市、ナッシュビル市に共通して「授業がわからない」「先生がきらい」「勉強がきらい」という学校側が改善する余地のある要因と、「友人関係の困難」という、最近の子どもに指摘されている対人的スキルの低下による生徒側の要因が重なりあって「学校ぎらい」を生み出していることが示唆される。

Q15 学校に行くのがいやになったとき、あなたはどうしましたか。

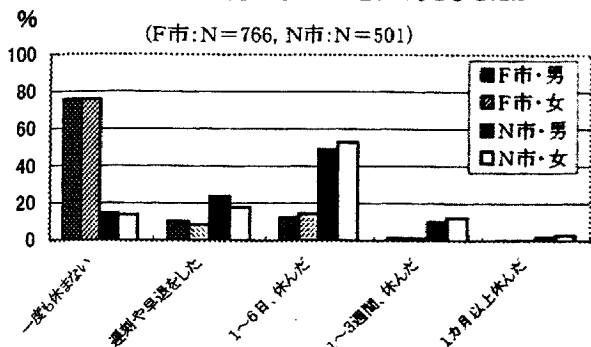
「学校に行くのが嫌になった」という不登校気分が、実際の不登校という行動選択にどう関係するかを調べるための設問である。

【福島市】

この間に対して、①「一度も休んだことがない」という回答が75.6%（男75.5%、女75.7%）でも

っとも多く、②「1～6日くらい休んだ」13.3% (男12.4%、女14.3%)、③「遅刻や早退をしたが、休まなかった」9.4% (男10.3%、女8.5%) がこれに次ぐ。④「1～3週間くらい休んだ」と答えた生徒は1.4% (1.5男%、女1.3%)、⑤「1ヶ月以上休んだ」は0.3% (男0.3%、女0.3%) にすぎない。性差はない。

図Q15 学校が嫌になったとき、どうしましたか



【ナッシュビル市】

有効回答のなかでは、①「1～6日くらい休んだ」が51.1% (男49.2%、女52.9%) でもっとも多く、②「遅刻や早退をしたが、休まなかった」20.6% (男23.6%、女17.8%) がこれに次ぐ。さらに③「一度も休んだことがない」14.4% (男14.9%、女13.9%)、④「1～3週間くらい休んだ」11.4% (男10.3%、女12.4%)、⑤「1ヶ月以上休んだ」2.6% (男2.1%、女3.1%) と続く。性差はない。

【両市間の比較】

福島市とナッシュビル市の生徒の間には、不登校気分に対する反応の仕方に大きな差がある。福島市では、学校が嫌になっても「一度も休んだことがない」「遅刻や早退をしたが、休まなかった」を合わせて85.0%の生徒が登校を続けているのに対し、ナッシュビル市では両方を合わせても35.0%に過ぎず、「1～6日くらい休んだ」という生徒の割合が福島市の約3.8倍、「1～3週間休んだ」が約8.1倍、「1ヶ月以上休んだ」が8.7倍とはるかに多い(図Q15)。この結果でみるかぎり、福島市の生徒のほうがナッシュビル市の生徒よりも、学校に行くのが嫌になっても我慢よく登校を続けている様子うかがえる。ただ、無理をしているぶん福島市の生徒はストレスを溜め込んでいる可能性も高く、生徒のメンタルヘルスや問題行動との関連から懸念される。

Q16 中学生になってから、あなたはクラスの中で次のようないじめを経験しましたか。

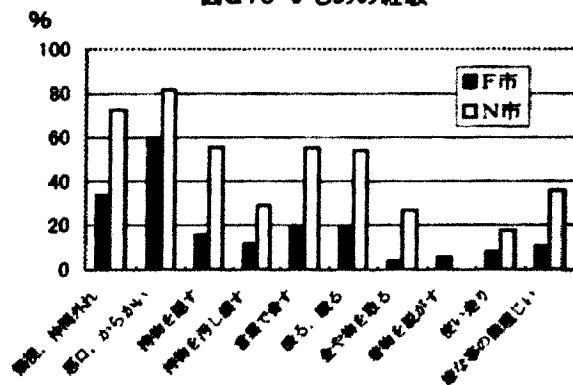
【福島市】

図Q16は、どういう形態のイジメを経験したことがあるかを示している。

福島市の中学生が体験したいじめは、①「悪口を言ったり、からかう」59.8% (男61.3%、女58.2%) がもっとも多く、②「無視したり、仲間はずれにする」34.0% (男31.1%、女37.3%)、③「殴ったり、蹴ったりする」19.3% (男32.9%、女5.1%)、④「言葉で脅す」19.2% (男25.6%、女12.5%)、⑤「持ち物を隠す」15.9% (男19.3%、女12.3%) の順になる。

もっとも多いいじめの形態である「悪口、からかい」では有意な性差はない。女子に多いのは「無視したり、仲間外れにする」(男:女=1:1.2)であり、男子の方に多いのは「殴ったり、蹴ったりする」(男:女=6.5:1)、「言葉で脅す」(男:女子=2.0:1)、「持ち物を隠す」(男:女=1.6:1)、「持ち物を汚したり壊す」(男:女=7.5:1)、「人が嫌がることを無理にさせる」(男:女=1.4:1)、「使い走りをさせる」(男:女=2.2:1)、「着ている物を脱がす」(男:女=3.5:1) などである。女子では「無視、仲間はずれ」といった精神的ないじめが多いのに対し、男子では「殴る・蹴る」「着ている物を脱がす」といった身体的な暴力が多い傾向がある。

図Q16 いじめの経験



【ナッシュビル市】

いじめの形態で多い順に並べると、①「悪口を言ったり、からかう」81.5% (男85.9%、女77.6%) がもっとも多く、②「無視したり、仲間はずれにする」72.4% (男72.3%、女72.6%)、③「持ち物を隠す」55.4% (男64.0%、女47.5%)、④「言葉で脅す」55.2% (男59.6%、女51.2%)、⑤「殴ったり、蹴ったりする」54.0% (男61.3%、女47.3%) と続く。なお、「着ている物を脱がす」は英語版では除外した。

表Q16 中学生になってから、クラスの中で次のようないじめを経験しましたか

いじめの形態	性別	F市 (N=783-791)				性差	N市 (N=629-729)				両市の比較
		した	された	両方ある	計		した	された	両方ある	計	
無視, 仲間外れ	男	16.3	4.5	10.3	31.1]***	30.7	17.2	24.4	72.3	
	女	15.0	12.7	9.6	37.3		27.9	15.8	28.9	72.6	
	計	15.6	8.5	9.9	34.0		2	9.2	16.5	26.7	
悪口, からかい	男	27.4	10.5	23.4	61.3		25.9	13.1	46.9	85.9]***
	女	24.4	14.1	19.7	58.2		22.4	17.2	38.0	77.6	
	計	25.9	12.3	21.6	59.8		24.1	15.2	42.2	81.5	
持物を隠す	男	5.5	7.8	6.0	19.3]***	27.4	14.7	21.9	64.0]***
	女	1.8	9.7	0.8	12.3		15.4	12.2	19.9	47.5	
	計	3.7	8.8	3.4	15.9		2	1.1	13.4	20.9	
持物を汚し壊す	男	4.0	5.6	6.6	16.2]***	12.6	13.2	9.4	35.2]***
	女	2.1	5.1	0.3	7.5		10.9	9.5	3.2	23.6	
	計	3.1	5.3	3.4	11.8		1	1.7	11.3	6.1	
言葉で脅す	男	9.0	8.3	8.3	25.6]***	19.3	14.3	26.0	59.6	
	女	4.1	4.6	3.8	12.5		19.1	12.2	19.9	51.2	
	計	6.6	6.5	6.1	19.2		1	9.2	13.2	22.8	
殴る, 蹴る	男	10.2	7.2	15.5	32.9]***	25.0	8.7	27.6	61.3]**
	女	1.0	1.8	2.3	5.1		19.4	8.5	19.4	47.3	
	計	5.7	4.6	9.0	19.3		2	2.1	8.6	23.3	
金や物を取る	男	0.5	3.3	0.8	4.6		13.9	11.5	6.2	31.6]*
	女	0.3	2.3	0.8	3.4		6.7	10.7	5.4	22.8	
	計	0.4	2.8	0.8	4.0		10.1	11.1	5.8	27.0	
着物を脱がす	男	2.8	3.0	3.3	9.1]***	N市では除外				
	女	0.5	1.3	0.8	2.6						
	計	1.6	2.2	2.0	5.8						
使い走り	男	4.8	2.5	3.8	11.1]**	9.2	7.2	6.5	22.9]*
	女	1.6	2.1	1.3	5.0		5.9	3.6	4.2	13.7	
	計	3.2	2.3	2.6	8.1		7.5	5.2	5.2	17.9	
嫌な事の無理じい	男	3.8	4.0	4.5	12.3]*	16.5	8.4	13.5	38.4	
	女	1.3	5.7	1.8	8.8		13.1	8.7	11.7	33.5	
	計	2.6	4.8	3.2	10.6		1	4.7	8.6	12.6	

男女差については、一番多いいじめの形態である「悪口を言ったり、からかう」や、「無視したり、仲間外れにする」には性差がない。

男子に多い傾向があるのは「持ち物を隠す」(男:女=1.3:1)、「持ち物を汚したり壊す」(男:女=1.5:1)、「殴ったり、蹴ったりする」(男:女=1.3:1)、「お金や物を取る」(男:女=1.4:1)、「使い走りをさせる」(男:女=1.7:1)などである。

【両市間の比較】

いじめの種類や、どういいういじめが多いかという点では、両市間ともきわめて似かよっている。

いじめを経験したという回答は、福島市よりナッシュビル市の中学生のほうが1.4~6.8倍も多い。福島市にくらべナッシュビル市でとくに多いのは、「金や物を取る」(6.8倍)、「持ち物を隠す」(3.5倍)、「人が嫌がることを無理にさせる」(3.4倍)、「言葉で脅す」(2.9倍)、「殴ったり、蹴ったりする」(2.8倍)などである。

福島市にくらべナッシュビル市では、いじめの形態に性差が少ないことも注目される。たとえば「殴ったり、蹴ったりする」「持ち物を汚したり壊す」という暴力的、破壊的ないじめは福島市では圧倒的に男子に多いが、ナッシュビル市では女子にも多い。

Q17 あなたは今のクラスの中で「いじめ」を目撃したとき、どのように振る舞いましたか。

【福島市】

いじめを目撃したとき、①「何もしなかった」60.6%(男58.6%、女62.8%)という回答がもっとも多く、②「とめようとした」16.4%(男20.1%、女12.2%)、③「大人に話した」10.5%(男7.1%、女14.4%)などが続く。④「面白がっていた」6.0%(男7.1%、女4.7%)、⑤「その場から逃げた」4.7%(男4.4%、女5.0%)、⑥「いじめに加わった」1.9%(男2.7%、女子0.9%)という回答は比較的すくない。

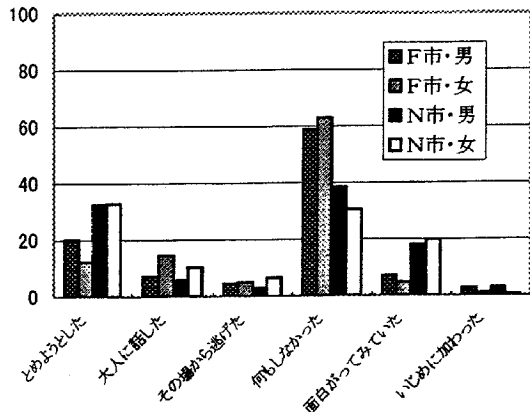
いじめを目撃したときの対処行動には性差があり (***)、男子では「とめようとした」(男:女=1.6:1)、「面白がってみていた」(男:女=1.5:1)が多いのに対し、女子では「大人に話した」(男:女=1:2.0)という答が多い。もっとも多い行動である「何もしなかった」には性差がみられない(男:女=1.1:1)。

【ナッシュビル市】

この問に対して、①「何もしなかった」という回答が34.3%(男38.4%、女30.5%)でもっとも多く、②「とめようとした」32.5%(男32.4%、女32.6%)、③「面白がってみていた」18.8%(男17.9%、女19.7%)がこれに続く。④「大人に話した」8.0%(男5.7%、女10.2%)、⑤「その場から逃げた」4.7%(男2.8%、女6.5%)、⑥「いじめに加わった」1.7%(男2.7%、女子0.9%)という回答はすくない。

「大人に話した」(男:女=1:1.8)、「その場から逃げた」(男:女=1:2.3)という回答は女子に多く、それ以外には顕著な性差はない。

Q17 いじめを目撃したとき、どう振舞ったか
(F市: N=685, N市: N=723)



【両市間の比較】

もっとも目をひくのは、福島市よりもナッシュビル市においては「何もしなかった」(F市:N市=1.7:1)という傍観者の態度が少なく、「とめようとした」(F市:N市=1:2)という積極的に介入しようとする行動が多いことである。その一方、「面白がってみていた」(F市:N市=1:3.1)と観客的な態度もナッシュビル市の中学生に目立つ。

換言すれば、福島市では6割の生徒がいじめに遭遇しても傍観者の態度をとり、2割弱の生徒が止めようとするというように、大多数の傍観者と少数の介入者というぐあいに大きく2群に分かれる。いっぽうナッシュビル市の場合は、3割の傍観者、止めようとする3割の介入者、面白がって見ている2

割の観客が三つ巴になって、いじめの場面に各人が積極的に関与する傾向がうかがえる。

Q18 中学生の次のような行為についてどのようにお考えですか。

この設問では、27項目にわたる、いわゆる「問題行動」について、中学生自身がどのような善悪の価値判断をしているかを調べている(表Q18-1、表Q18-2)。なお、現地の事情から、一部の質問項目を英語版から除外している。

1. 学校をさぼる 2. 学校にどうしても行けない【福島市】

いずれも不登校に関する設問であるが、「学校をさぼる」ことに対しては、「とても悪い」26.1%(男31.9%、女20.0%)、「悪い」44.5%を合わせると70.6%(男70.9%、女70.2%)の生徒が悪いという認識をしめす。いっぽう「学校にどうしても行けない」という場合については男女とも寛容で、「それほど悪くない」44.5%、「悪くない」31.5%(男31.2%、女31.9%)を合わせると76.0%(男72.7%、女79.6%)の生徒が悪くないと回答している。性差があり、不登校に関しては、女子のほうが男子よりも寛容な態度をしめす (***)。

【ナッシュビル市】

「学校をさぼる」ことに対しては、「とても悪い」39.1%(男40.1%、女38.3%)、「悪い」34.6%を合わせると73.7%(男73.2%、女74.3%)の生徒が悪いと答えている。いっぽう「学校にどうしても行けない」という場合については、「それほど悪くない」21.1%、「悪くない」24.5%(男29.3%、女20.1%)を合わせると45.6%(男子52.0%、女子39.6%)の生徒が悪くないと回答している。

学校をさぼることには男女とも7割以上が悪いことだとの認識をしめすが、どうしても行けないという場合には、男子のほうが女子よりも許容的な態度をしめす (***)。

【両市間の比較】

「学校をさぼる」ことについては、福島市でもナッシュビル市でも男女とも7割ちかい生徒が悪いことだという認識をしめしている。しかし、「学校にどうしても行けない」ことについては、福島市では「とても悪い」「悪い」を合わせて24.0%の生徒が悪いと答える一方、「それほど悪くない」「悪くない」を合わせて76.0%の生徒が、悪くないと認める態度をしめす。一方、ナッシュビル市では、「とても悪い」

表Q18-1 中学生の次のような行為について、どのように考えますか（その1）

1=とても悪い 3=それほど悪くない * p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001
2=悪い 4=悪くない

	性別	F市 (N=810-829)					N市 (N=728-751)					両市の比較
		1	2	3	4	性差	1	2	3	4	性差	
学校をさぼる	男	31.9	39.0	20.3	8.7]***	40.1	33.1	16.6	10.2		***
	女	20.0	50.2	24.6	5.2		38.3	36.0	18.5	7.2		
	計	26.1	44.5	22.4	7.0		39.1	34.6	17.6	8.7		
学校にどうしても行けない	男	13.4	13.9	41.5	31.2]***	27.6	20.5	22.7	29.3]**	***
	女	4.2	16.3	47.7	31.9		31.9	28.5	19.5	20.1		
	計	8.9	15.1	44.5	31.5		29.8	24.6	21.1	24.5		
学校で他人をいじめる	男	56.5	36.3	5.0	2.1		44.7	31.0	14.5	9.8]*	***
	女	61.3	33.5	3.7	1.5		54.6	28.4	9.3	7.7		
	計	58.9	35.0	4.4	1.8		49.8	29.7	11.8	8.7		
授業中、席を離れる	男	33.6	45.2	16.9	4.3		19.9	24.2	33.4	22.5]***	***
	女	27.2	49.0	19.6	4.2		11.1	17.9	43.2	27.9		
	計	30.5	47.1	18.2	4.2		15.4	20.9	38.5	25.3		
騒いで授業を妨害する	男	44.8	39.8	11.6	3.8		28.6	35.3	23.2	12.9]***	***
	女	44.2	40.0	12.6	3.2		17.7	37.0	36.2	9.0		
	計	44.5	39.9	12.1	3.5		23.0	36.2	29.9	10.9		
友人を脅し暴力をふるう	男	64.3	30.5	3.3	1.9]***	52.6	25.9	11.1	10.3		***
	女	78.0	18.5	1.2	2.2		60.7	20.1	11.3	7.9		
	計	71.0	24.6	2.3	2.1		56.8	22.9	11.2	9.1		
先生を脅し暴力をふるう	男	63.7	26.6	5.2	4.5		64.5	12.1	9.6	13.8		***
	女	69.1	24.0	3.7	3.2		66.8	16.3	6.8	10.0		
	計	66.3	25.4	4.5	3.9		65.7	14.3	8.2	11.8		
学校の物を壊す	男	47.2	41.5	8.3	3.1		46.9	29.2	11.2	12.6		***
	女	45.1	45.1	7.6	2.2		40.5	33.3	15.6	10.6		
	計	46.1	43.2	8.0	2.7		43.6	31.3	13.5	11.6		
タバコを吸う	男	63.3	23.9	8.3	4.5		57.7	15.1	11.8	15.4		***
	女	63.1	27.1	6.7	3.2		59.2	18.7	11.1	11.0		
	計	63.2	25.5	7.5	3.9		58.5	17.0	11.4	13.2		
酒やビールを飲む	男	53.2	27.2	13.7	5.9		58.3	16.0	12.0	13.7		***
	女	53.4	28.6	14.0	3.9		63.8	13.4	10.2	12.6		
	計	53.3	27.9	13.9	4.9		61.1	14.6	11.1	13.1		
シンナーや薬を乱用する	男	81.0	13.6	2.9	2.6		65.4	12.1	8.2	14.4]*	***
	女	83.3	13.8	0.7	2.2		73.9	11.8	5.5	8.7		
	計	82.1	13.7	1.8	2.4		69.8	12.0	6.8	11.4		
麻薬や覚醒剤を使用する	男	81.0	13.5	3.1	2.4		57.3	18.0	10.4	14.3		***
	女	84.4	13.1	0.7	1.7		65.2	13.1	8.8	12.8		
	計	82.7	13.3	1.9	2.1		61.4	15.5	9.6	13.6		
ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る	男	32.8	26.0	22.7	18.6		英語版では除外					
	女	39.1	27.5	20.8	12.6							
	計	35.9	26.7	21.7	15.6							

「悪い」を合わせて 54.4%の生徒が悪いと答え、「それほど悪くない」「悪くない」を合わせた 45.6%を上まわっている。不登校に関しては、ナッシュビル市の生徒のほうが福島市の生徒よりも、いっそう厳しい見方をしている。

3. 学校で他人をいじめる

【福島市】

いじめに関しては、「とても悪い」58.9%（男 56.5%、女 61.3%）、「悪い」35.0%を合わせると 93.9%（男 92.8%、女 94.8%）もの圧倒的多数の生徒が悪いことだと答えている。一方、「それほど悪く

ない」4.4%、「悪くない」1.8%を合わせると 6.2%（男 7.1%、女 5.2%）の生徒が悪くないと回答していることが注目される。これは平均すると、各クラスに1～2人はいじめを肯定する男女生徒がいることを意味しており、いじめ発生の火種がどのクラスにも潜在していることを示唆している。性差はない。

【ナッシュビル市】

いじめに関しては、「とても悪い」49.8%（男 44.7%、女 54.6%）、「悪い」29.7%を合わせると 79.5%（男 75.7%、女 83.0%）の生徒が悪いことだと答えている。一方、「それほど悪くない」11.8%、

「悪くない」8.7% (男9.8%、女7.7%) を合わせると20.5% (男24.3%、女17.0%) もの生徒が悪くないと回答している。性差(*)があり、「悪くない」といじめを是認する態度は男子に多い(男:女=1.4:1)。

【両市間の比較】

福島市とナッシュビル市を比較して一番、目をひくのは、ナッシュビル市の中学生のあいだで、いじめを「悪くない」と肯定する生徒が約2割と多いことである。男子では福島市の3.4倍、女子で3.3倍にもなる。

4. 授業中に用もないのに席を離れる。5. 授業中に騒いで授業を妨害する。

ともに授業態度に関する設問である。

【福島市】

授業中に用もないのに席を離れることに関しては、「とても悪い」30.5% (男33.6%、女27.2%)、「悪い」47.1%を合わせると77.6% (男78.8%、女76.2%)の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」、「悪くない」4.2% (男4.3%、女4.2%)を合わせた悪くないという回答は22.4%(男21.2%、女23.8%)となる。

授業中に騒いで授業を妨害することについては、「とても悪い」44.5% (男44.8%、女44.2%)、「悪い」39.9%を合わせると84.4% (男84.6%、女84.2%)の生徒が悪いと述べている。授業中に席を離れること以上に、騒いで授業を妨害するほうが悪い行為だと多くの生徒が認識していることがわかる。性差はない。

【ナッシュビル】

授業中に用もないのに席を離れることに関しては、「とても悪い」15.0% (男19.9%、女11.1%)、「悪い」を合わせても36.3% (男44.1%、女29.0%)にすぎず、「それほど悪くない」38.5%、「悪くない」25.3% (男22.5%、女27.9%)の合計63.8% (男55.9%、女71.1%)の半分程度にすぎない。男子より女子のほうが、授業中に席を離れることを「悪くない」と答える者が多い(***)。

授業中に騒いで授業を妨害することについては、「とても悪い」23.0% (男28.6%、女17.7%)、「悪い」36.2%を合わせると59.2% (男63.9%、女54.7%)の生徒が悪いことだとの認識をしめす。その一方で、「それほど悪くない」12.1%、「悪くない」10.9% (男12.9%、女9.0%)を合わせると40.8% (男36.1%、女45.2%)もの生徒が悪くないと答え

ている。騒いで授業を妨害することについても、男子よりも、女子のほうが「悪くない」と回答している者が多い(***)。

【両市間の比較】

福島市では、授業中に用もなく席を離れることや、騒いで授業を妨害することは8割前後の大多数の生徒が悪いことだと認識している。しかし逆に言えば、2割前後の生徒が授業中に離席したり騒いで授業を妨害することを悪い行為だと認識していないわけで、あるいは学級崩壊の危険性もある深刻な事態とみるべきかもしれない。

ナッシュビル市では、授業中に用がなくても席を離れることを6割以上の生徒が是認し、騒いで授業を妨害することに関しても4割もの生徒が「悪くない」と回答している。ここに見られる両市間の違いが、たんに授業スタイルの違いを反映するものなのか、あるいは授業中の「荒れ」をしめすのかは、今回の調査結果だけでは判断できない。

6. 友人を脅したり暴力を振るう。7. 先生を脅したり暴力を振るう。8. 学校の物を壊す。

これらの設問では、友人や教師への言語的ないし身体的な暴力と、校内での器物損壊など、攻撃的行動についての認識を調べようとしている。

【福島市】

友人を脅したり暴力を振るうことは、「とても悪い」71.0% (男64.3%、女78.0%)、「悪い」24.6%を合わせると95.6% (男94.8%、女96.5%)の生徒が悪いと答えている。「それほど悪くない」2.3%、「悪くない」2.1%を合わせた悪くないという回答は4.4% (男5.2%、女3.4%)にすぎない。

先生を脅したり暴力を振るうことについては、「とても悪い」66.3% (男63.7%、女69.1%)、「悪い」25.4%を合わせると91.7% (男90.3%、女93.1%)が悪いと回答している。「それほど悪くない」4.5%、「悪くない」3.9%を合わせた悪くないという回答は8.4% (男9.7%、女6.9%)である。「悪くない」と答える者は男子でやや多いが、統計的に有意ではない。

学校の物を壊すことに関しては、「とても悪い」46.1% (男47.2%、女45.1%)、「悪い」43.2%を合わせると89.3% (男88.7%、女90.2%)の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」8.0%、「悪くない」2.7%を合わせた悪くないという回答は10.7% (男11.4%、女9.8%)である。「悪くない」と答える者は男子でやや多いが、統計的に有意では

ない。

【ナッシュビル市】

友人を脅したり暴力を振るうことに関して、「とても悪い」56.8%（男52.6%、女60.7%）、「悪い」22.9%を合わせると79.7%（男78.5%、女80.8%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」11.2%、「悪くない」9.1%（男10.3%、女7.9%）を合わせた悪くないという回答は20.3%（男21.4%、女19.2%）である。性差はない。

先生を脅したり暴力を振るうことについては、「とても悪い」65.7%（男64.5%、女66.8%）、「悪い」14.3%を合わせると80.0%（男76.6%、女83.1%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」8.2%、「悪くない」11.8%（男13.8%、女10.0%）を合わせた悪くないという回答は20.0%（男23.4%、女16.8%）である。「悪くない」という回答は男子で多いが、統計的に有意ではない。

学校の物を壊すことに関しては、「とても悪い」43.6%（男46.9%、女40.5%）、「悪い」31.3%を合わせると74.9%（男76.1%、女73.8%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」13.5%、「悪くない」11.6%（男12.6%、女10.6%）を合わせた悪くないという回答は25.1%（男23.8%、女26.2%）になる。性差はない。

【両市間の比較】

福島市の場合、対人的であれ対物的であれ、破壊的、攻撃的な行動を9割以上の生徒が悪いことだと答え、ナッシュビル市でも8割ちかい生徒が悪いと回答している。両市間の差として目立つ点は、暴力や破壊をまったく「悪くない」と答える生徒の割合である。福島市では暴力に対して「それほど悪くない」「悪くない」と肯定的に回答する生徒が5~10%程度であるのに対し、ナッシュビル市では20~25%程度にもおよび、福島市の2~4倍も多いことが注目される（***）。両市とも、対人的な暴力よりも、器物破壊といった対物的な暴力の方が「悪くない」と許容される傾向がある。

9. タバコを吸う。10. 酒やビールを飲む。

日本ではタバコや酒は20歳以下の未成年では禁じられているが、ナッシュビル市のあるテネシー州では21歳以下の飲酒と喫煙は禁じられている。ただし、選挙権は18歳から与えられる。

【福島市】

タバコを吸うことは、「とても悪い」63.2%（男63.3%、女63.1%）、「悪い」25.5%を合わせると

88.7%（男87.2%、女90.2%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」7.5%、「悪くない」3.9%（男4.5%、女3.2%）を合わせた悪くないという回答は11.4%（男12.8%、女9.9%）である。性差はない。

酒やビールを飲むことに関しては、「とても悪い」53.3%（男53.2%、女53.4%）、「悪い」27.9%を合わせると81.2%（男80.4%、女82.0%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」13.9%、「悪くない」4.9%（男5.9%、女3.9%）を合わせた悪くないという回答は18.8%（男19.6%、女17.9%）である。性差はない。

【ナッシュビル市】

タバコを吸うことに関しては、「とても悪い」58.5%（男57.7%、女59.2%）、「悪い」17.0%を合わせると75.5%（男72.8%、女77.9%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」11.4%、「悪くない」13.2%（男15.4%、女11.0%）を合わせた悪くないという回答は24.6%（男27.2%、女22.1%）となる。性差はない。

酒やビールを飲むことに対して、「とても悪い」61.1%（男58.3%、女63.8%）、「悪い」14.6%を合わせると75.7%（男74.3%、女77.2%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」11.1%、「悪くない」13.1%（男13.7%、女12.6%）を合わせた悪くないという回答は24.2%（男25.7%、女22.8%）である。性差はない。

【両市間の比較】

福島市でもナッシュビル市でも、5~6割の生徒は喫煙や飲酒を「悪い」としている。一方、福島市では喫煙や飲酒に肯定的な生徒は4~5%と少数であるのに対し、ナッシュビル市では許容的な群が約13%と3倍ほど多い（***）。

11. シンナーを吸ったり薬を乱用する。12. 麻薬や覚醒剤を使用する。

【福島市】

シンナーを吸ったり薬を乱用することに関しては、「とても悪い」82.1%（男81.0%、女83.3%）、「悪い」13.7%を合わせると95.8%（男94.6%、女97.1%）と圧倒的に多くの生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」1.8%、「悪くない」2.4%を合わせても「悪くない」という回答は4.2%（男5.5%、女2.9%）にすぎない。有意な性差はない。

麻薬や覚醒剤の使用に関しては、「とても悪い」82.7%（男81.0%、女84.4%）、「悪い」13.3%を

表Q18 中学生の次のような行為について、どのように考えますか（その2）

1=とても悪い 3=それほど悪くない * p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001
2=悪い 4=悪くない

	性別	F市 (N=810-829)					N市 (N=728-751)					両市の比較
		1	2	3	4	性差	1	2	3	4	性差	
夜中まで盛り場で遊ぶ	男	37.6	32.9	19.8	9.8		16.1	19.2	28.0	36.7		***
	女	39.7	36.0	17.0	7.4		11.9	18.8	31.7	37.6		
	計	38.6	34.4	18.4	8.6		13.9	19.0	29.9	37.2		
保護者に無断で外泊する	男	31.7	47.2	15.1	6.0		22.1	30.4	21.8	25.8		***
	女	36.0	44.2	17.5	2.2		23.0	31.7	26.6	18.7		
	計	33.8	45.7	16.3	4.1		22.5	31.0	24.3	22.1		
家出する	男	24.5	33.1	30.0	12.5]*	44.8	26.5	14.6	14.1		***
	女	21.8	38.9	28.5	10.9]*	45.5	30.3	13.3	10.9		
	計	23.1	35.9	29.2	11.7]*	45.1	28.5	14.0	12.4		
学校の中で人を殴ったり蹴ったりする	男	49.0	40.4	8.9	1.7]****	35.3	36.1	16.0	12.6		***
	女	66.4	29.4	2.7	1.5]****	38.3	35.6	17.9	8.2		
	計	57.6	35.0	5.8	1.6]****	36.8	35.9	17.0	10.3		
学校の外で人を殴ったり蹴ったりする	男	55.4	36.2	6.5	1.9]****	34.0	29.2	17.8	19.0]*	***
	女	70.1	27.4	1.0	1.5]****	38.6	27.2	22.2	11.9]*	
	計	62.7	31.9	3.8	1.7]****	36.4	28.2	20.1	15.3]*	
学校の中で人を脅してお金や物をとる	男	67.9	29.0	1.9	1.2]*	53.8	23.5	9.0	13.7		***
	女	77.3	21.2	0.5	1.0]*	59.9	23.0	9.2	7.9		
	計	72.5	25.2	1.2	1.1]*	56.9	23.2	9.1	10.7		
学校の外で人を脅してお金や物をとる	男	68.8	28.1	1.7	1.4]*	52.5	20.5	12.9	14.0]*	***
	女	77.7	20.8	0.5	1.0]*	58.3	24.5	8.4	8.7]*	
	計	73.2	24.5	1.1	1.2]*	55.5	22.6	10.6	11.3]*	
万引きする	男	67.5	27.9	2.4	2.2		54.6	21.7	9.0	14.6]*	***
	女	73.3	24.3	1.2	1.2		62.5	20.8	8.7	7.9]*	
	計	70.4	26.1	1.8	1.7		58.7	21.3	8.9	11.1]*	
他人の自転車に無断で乗る	男	57.6	30.8	9.6	1.9]****	28.0	29.1	23.8	19.0]***	***
	女	62.7	33.6	1.7	2.0]****	18.9	26.9	34.3	19.9]***	
	計	60.1	32.2	5.7	2.0]****	23.3	28.0	29.2	19.5]***	
オートバイや自動車を運転する	男	56.8	30.7	7.4	5.0]***	20.7	13.4	21.0	44.8		***
	女	66.4	26.9	4.2	2.5]***	17.2	11.4	27.8	43.6		
	計	61.6	28.8	5.8	3.8]***	18.9	12.4	24.5	44.2		
友達の服などを脱がす	男	56.8	30.7	7.5	5.1]****	英語版では除外					
	女	70.3	24.0	4.0	1.7]****	英語版では除外					
	計	63.4	27.4	5.7	3.4]****	英語版では除外					
異性と性的な関係をもつ	男	29.2	23.6	26.0	21.2		英語版では除外					
	女	26.8	26.1	26.6	20.6		英語版では除外					
	計	28.0	24.8	26.3	20.9		英語版では除外					
学校にナイフなどの凶器を持っていく	男	63.2	24.5	8.2	4.1		66.6	13.2	7.0	13.2		***
	女	64.8	26.6	6.0	2.7		74.3	10.0	6.6	9.1		
	計	64.0	25.5	7.1	3.4		70.6	11.5	6.8	11.1		
自殺する	男	67.2	16.3	6.5	10.0		英語版では除外					
	女	64.4	18.9	9.0	7.7		英語版では除外					
	計	65.9	17.6	7.7	8.9		英語版では除外					

合わせると 96.0% (男 94.5%、女 97.5%) と圧倒的に多数の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」1.9%、「悪くない」2.1%を合わせた悪くないという回答は 4.0% (男 5.5%、女 2.4%) にすぎない。「悪くない」という回答は男子に多いが、有意ではない。

【ナッシュビル市】

シンナーを吸ったり薬を乱用することに関しては、「とても悪い」69.8% (男 65.4%、女 73.9%)、「悪

い」12.0%を合わせた 81.8% (男 77.5%、女 85.7%) の生徒が悪いと回答している。その一方、「それほど悪くない」6.8%、「悪くない」11.4% (男 14.4%、女 8.7%) を合わせた悪くないという回答も 18.2% (男 22.6%、女 14.2%) にのぼる。「悪くない」という回答は男子が多い (*)。

麻薬や覚醒剤を使用することに関しては、「とても悪い」61.4% (男 57.3%、女 65.2%)、「悪い」15.5%を合わせると 76.9% (男 75.3%、女 78.3%)

の生徒が悪いと回答している。一方、「それほど悪くない」9.6%、「悪くない」13.6%（男14.3%、女12.8%）を合わせた悪くないという回答も23.2%（男24.7%、女21.6%）と多い。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では、シンナーや薬の乱用、あるいは麻薬や覚醒剤の使用に対して95%以上もの生徒が悪いことだと回答し、「悪くない」というのは約4%と少ない。一方、ナッシュビル市では「悪くない」とする生徒が23%と福島市の約6倍もあることが注目される。この結果からみれば、ナッシュビル市の中学生のほうが、薬物乱用や麻薬・覚醒剤の使用に対して、より許容的な態度をもっていることがうかがえる。

13.ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る。25.異性と性的な関係をもつ。

これらの設問は、ナッシュビル市の調査では除外した。いずれも中学生の性への態度を調べようとする設問である。

【福島市】

ポルノ雑誌やアダルトビデオを見ることについては、「とても悪い」35.9%（男32.8%、女39.1%）、「悪い」26.7%を合わせた悪いという回答は62.6%（男58.8%、女66.6%）にとどまる。「それほど悪くない」21.7%、「悪くない」15.6%（男18.6%、女12.6%）を合わせた悪くないという回答が37.3%（男41.3%、女33.4%）にのぼる。女子よりも男子で「悪くない」という割合が多いが、統計的に有意ではない。

異性と性的な関係をもつことに対しては、「とても悪い」28.0%（男29.2%、女26.8%）、「悪い」24.8%を合わせても52.8%（男52.8%、女52.9%）にすぎない。「それほど悪くない」26.3%、「悪くない」20.9%（男21.2%、女20.6%）を合わせると、悪くないという回答が47.2%（男47.2%、女47.2%）にのぼる。性差はない。

男女とも、ポルノ雑誌やアダルトビデオを見るのは6割強の生徒が「悪い」と答えたが、異性と性的な関係については5割弱が「悪くない」と答え、異性と性的な関係のほうがポルノ雑誌やアダルトビデオをみることよりも受容的、肯定的にとらえられている。

14.夜中まで盛り場で遊ぶ。15.保護者に無断で外泊する。16.家出する。

【福島市】

夜中まで盛り場で遊ぶことについては、「とても悪い」38.6%（男37.6%、女39.7%）、「悪い」34.4%を合わせると73.0%（男70.5%、女75.7%）が悪いと回答している。「それほど悪くない」18.4%、「悪くない」8.6%（男9.8%、女7.4%）を合わせた悪くないという回答は27.0%（男29.5%、女24.4%）である。「悪くない」という回答は男子に多い傾向があるが、有意ではない。

保護者に無断で外泊することに関しては、「とても悪い」33.8%（男31.7%、女36.0%）、「悪い」45.7%を合わせると79.5%（男78.9%、女80.2%）の生徒が悪いと回答している。一方、「それほど悪くない」16.3%、「悪くない」4.1%（男6.0%、女2.2%）を合わせた悪くないという回答は20.4%（男21.1%、女19.7%）にのぼる。

家出に関しては、「とても悪い」23.1%（男24.5%、女21.8%）、「悪い」35.9%（男33.1%、女33.9%）を合わせると59.0%（男57.6%、女60.7%）の生徒が悪いと回答している。一方で、「それほど悪くない」「悪くない」を合わせた悪くないという回答が40.9%（男42.5%、女39.4%）もある。性差はない。

夜中まで盛り場を遊ぶことや保護者に無断で外泊することよりも、家出することのほうを「悪くない」と是認する男女中学生が多いこと、また、その割合が4割余りと多いことが注目される。

【ナッシュビル市】

夜中まで盛り場で遊ぶことに関しては、「とても悪い」13.9%（男16.1%、女11.9%）、「悪い」19.0%を合わせても悪いという回答は32.9%（男35.3%、女30.7%）にすぎない。「それほど悪くない」29.9%、「悪くない」37.2%（男36.7%、女37.6%）を合わせた悪くないという回答が67.1%（男64.7%、女69.3%）もある。性差はない。

保護者に無断で外泊することについては、「とても悪い」22.5%（男22.1%、女23.0%）、「悪い」31.0%を合わせると53.5%（男52.5%、女54.7%）の生徒が悪いと回答している。一方で「それほど悪くない」24.3%、「悪くない」22.1%（男25.8%、女18.7%）を合わせた悪くないという回答は46.4%（男47.6%、女45.3%）もある。性差はない。

家出することに関しては、「とても悪い」45.1%（男44.8%、女45.5%）、「悪い」28.5%を合わせると73.6%（男71.3%、女75.8%）の生徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」14.0%、「悪くない」12.4%（男14.1%、女13.3%）を合わせた悪

くないという回答は26.4% (男28.7%、女24.2%)
にのぼる。性差はない。

【両市間の比較】

夜中まで盛り場で遊ぶ、保護者に無断で外泊する、
という事柄に対しては、ナッシュビル市の中学生の
ほうが許容的で5~7割近い生徒が「悪くない」と回
答しており、福島市での2~3割を大きく引き離し
ている (***)。しかし家出をするに関しては逆
転し、福島市では「悪くない」という回答が4割強
もあるのに対し、ナッシュビル市では「悪くない」
という回答は3割弱にとどまる (***)。

17.学校の中で人を殴ったり蹴ったりする。18.学校
の外で人を殴ったり蹴ったりする。

学校内外での暴力に関する設問である。

【福島市】

学校の中で人を殴ったり蹴ったりすることに關し
ては、「とても悪い」との回答が57.6% (男49.0%、
女66.4%) をしめ、「悪い」35.0%を合わせると
92.6% (男89.4%、女95.8%) の生徒が悪いと回答
している。「それほど悪くない」5.8%、「悪くない」
1.6%という回答は少ない。

学校の外で人を殴ったり蹴ったりすることに対し
ては、「とても悪い」62.7% (男55.4%、女70.1%)、
「悪い」31.9%を合わせると94.6% (男91.6%、女
97.5%) と圧倒的多数の生徒が悪いと回答している。
「それほど悪くない」3.8%、「悪くない」1.7%とい
う回答はきわめて少ない。性差があり、女子のほう
が校内、校外をとわず暴力に対しては否定的な態度
をしめす (***)。

【ナッシュビル市】

学校の中で人を殴ったり蹴ったりすることに關し
ては、「とても悪い」36.8% (男35.3%、女38.3%)、
「悪い」35.9%を合わせると72.7% (男71.4%、女
73.9%) の生徒が悪いと回答している。一方で「そ
れほど悪くない」17.0%、「悪くない」10.3% (男
12.6%、女8.2%) を合わせた悪くないという回答
が27.3% (男28.6%、女26.1%) もある。性差は
ない。

学校の外で人を殴ったり蹴ったりすることに対し
ては、「とても悪い」36.4% (男35.3%、女38.3%)、
「悪い」28.2%を合わせると64.6% (男63.2%、女
65.8%) の生徒が悪いと回答している。その一方で
「それほど悪くない」15.3%、「悪くない」15.3% (男
19.0%、女11.9%) を合わせた悪くないという回答
が35.4% (男36.8%、女34.1%) もある。「悪くな

い」という回答は男子が多い (*)。

【両市での比較】

一番目立つ両市間での差異は、暴力に対する許容
度である。福島市では、学校内外での暴力に対して
は男子では9割前後、女子では10割にちかい大多数
の生徒が暴力は「悪い」と否定的であり、「悪くない」
とする意見は少数である。一方、ナッシュビル市で
は、学校内外の暴力に対して「悪い」と否定的なの
は7割前後であり、男女をとわず3割前後が「悪く
ない」と暴力に対し許容的な態度をみせる。

19.学校の中で人を脅してお金や物をとる。20.学
校の外で人を脅してお金や物をとる。

学校内外での恐喝行為についての設問である。

【福島市】

学校の中で人を脅してお金や物をとることに關し
ては、「とても悪い」との回答が72.5% (男67.9%、
女77.3%) をしめ、「悪い」25.2%を合わせると
97.7% (男96.9%、女98.5%) もの圧倒的多数の生
徒が悪いと回答している。「それほど悪くない」
1.2%、「悪くない」1.2%という回答はきわめて少な
い。女子の方が男子よりも、やや否定的な態度をし
めす (*)。

学校の外で人を脅してお金や物をとることに關し
ても「とても悪い」73.2% (男68.8%、女77.7%)、
「悪い」24.5%を合わせると97.7% (男96.9%、女
98.5%) もの圧倒的多数の生徒が悪いと回答してい
る。「それほど悪くない」1.1%、「悪くない」1.2%
という回答はきわめて少ない。女子の方が男子より
も、やや否定的な態度をしめす (*)。

【ナッシュビル市】

学校の中で人を脅してお金や物をとることに對し、
「とても悪い」という回答が56.9% (男53.8%、女
59.9%) をしめ、「悪い」23.2%を合わせると80.1%
(男77.3%、女82.9%) の生徒が悪いと回答してい
る。一方で「それほど悪くない」9.1%、「悪くない」
10.7% (男13.7%、女7.9%) を合わせた悪くない
という回答が19.8% (男22.7%、女17.1%) もあ
る。「悪くない」というのは男子に多い傾向があるが
有意ではない。

学校の外で人を脅してお金や物をとることを、
「とても悪い」という回答が55.5% (男52.5%、女
58.3%) であり、「悪い」22.6%を合わせると悪いと
いう回答は78.1% (男73.0%、女82.8%) となる。
一方、「それほど悪くない」10.6%、「悪くない」
11.3% (男14.0%、女8.7%) を合わせた悪くない

という回答が21.9%（男26.9%、女17.1%）にのぼる。「悪くない」という解答は、男子が女子の1.6倍と多い（*）。

【両市間の比較】

学校の内であれ外であれ、人を脅してお金や物をとることを、福島市では圧倒的多数の中学生が「悪い」と認識し、「悪くない」という回答は2%にすぎない。ナッシュビル市においても、8割ほどの大多数の中学生が「悪い」と認識している一方、2割もの生徒が「悪くない」と回答していることが際立っている。「悪くない」という回答が、ナッシュビル市では福島市に比べ「学校の内」で8.6倍、「学校の外」で9.5倍も多い。

21.万引きをする。22.他人の自転車に無断で乗る。

【福島市】

万引きについては、「とても悪い」70.4%（男67.5%、女73.3%）、「悪い」26.1%を合わせると96.5%（男95.4%、女97.6%）の圧倒的多数の生徒が「悪い」と回答している。「それほど悪くない」1.8%、「悪くない」1.7%という回答はきわめて少ない。「悪くない」という回答は男子に多いが、有意な差ではない。

他人の自転車に無断で乗ることに関しては「とても悪い」60.1%（男57.6%、女62.7%）、「悪い」32.2%を合わせると92.3%（男88.4%、女96.3%）と大多数の生徒が「悪い」と回答している。「それほど悪くない」5.7%、「悪くない」2.0%を合わせた「悪くない」という回答は7.7%（男11.5%、女3.7%）である。「悪くない」という回答は男子で多く、女子の3.1倍となる（***）。

【ナッシュビル市】

万引きをすることについて、「とても悪い」58.7%（男54.6%、女62.5%）、「悪い」21.3%を合わせると80.0%（男76.3%、女83.3%）の生徒が「悪い」と回答している。一方で「それほど悪くない」8.9%（男9.0%、女8.7%）、「悪くない」11.1%（男14.6%、女7.9%）という回答も少なくない。「悪くない」という回答は男子に多い（*）。

他人の自転車に無断で乗ることについては「とても悪い」23.3%（男28.0%、女18.9%）、「悪い」28.0%を合わせても、「悪い」という回答は51.3%（男57.1%、女45.8%）にすぎない。反対に、「それほど悪くない」29.2%（男23.8%、女34.3%）、「悪くない」19.5%（男19.0%、女19.9%）という回答が目立つ。

【両市間の比較】

万引きについては、福島市で97%、ナッシュビル市で80%という大方の生徒が「悪い」ことだとの認識をしめす。両市の中学生とも、万引きは、脅して人から金品をとることと同程度に悪いことだとの認識があるようだ。ただ、ナッシュビル市では2割もの生徒が悪くないと回答しており、悪くないという回答が福島市の6倍も多い。

他人の自転車に無断で乗ることに対しても、万引きに比べると「悪い」という回答がやや低下するものの、福島市では9割以上の大多数の生徒が「悪い」ことだとの認識をしめす。一方、ナッシュビル市では他人の自転車に無断で乗ることの罪悪感は希薄なようで、「悪い」という回答と「悪くない」という回答がほぼ半々となっている。

23.オートバイや自動車を運転する。

テネシー州では、14~16歳で練習免許を取ることができる。この免許で小さなモーターバイクを昼間、かつ家の近くでのみ運転することが許可される。ただし、ナッシュビル市では、多くの学校がバイクで登校することは禁じている。

自動車については、16歳から限定免許を取得できる。これは昼間のみ運転可能といった限定付きの免許である。

【福島市】

オートバイや自動車を運転することに関して、「とても悪い」という回答が61.6%（男56.8%、女66.4%）あり、「悪い」28.8%を合わせると90.4%（男87.5%、女93.3%）という大多数の生徒が悪いと回答している。一方で「それほど悪くない」5.8%、「悪くない」3.8%を合わせると9.6%（男12.4%、女6.7%）の生徒がオートバイや自動車の運転を是認する態度をしめす。「悪くない」という回答は男子に多く、女子の1.9倍となる（**）。

【ナッシュビル市】

オートバイや自動車を運転することについて、「とても悪い」18.9%（男20.7%、女17.2%）、「悪い」12.4%を合わせても悪いという回答は31.3%（男34.1%、女28.6%）にすぎない。他方、「それほど悪くない」24.5%、「悪くない」44.2%（男44.8%、女43.6%）を合わせると68.7%（男65.8%、女71.4%）の生徒が「悪くない」と回答している。性差はない。【両市間の比較】

福島市では9割の生徒がオートバイや車の運転をするのは悪い事だと認識し、運転を全面的に「悪く

ない」と是認しているのは全体の4%弱にすぎない。一方でナッシュビル市においては、悪い事という認識をしめすのは約3割にすぎず、4割強が全面的に「悪くない」と肯定する態度をしめしている点が両市間の顕著な差である。日本以上に、車が日常生活に不可欠となっている車社会アメリカの現実を反映しているのであろう。

24. 友達の服などを脱がす。

表Q16でみるように、「着物を脱がす」といういじめの形態は男子に多く、1割程度の男子がこの種のいじめを体験している。この設問は、英語版では除外した。

【福島市】

友達の服などを脱がすことについて「とても悪い」という回答は63.4%（男56.8%、女70.3%）であり、「悪い」27.4%を合わせると90.8%（男87.5%、女94.3%）におよぶ大多数の生徒が悪いと回答している。一方で「それほど悪くない」5.7%、「悪くない」3.4%を合わせた「悪くない」という回答が9.6%（男12.6%、女5.7%）にのぼる。

25. 異性と性的な関係をもつ。

この問も、英語版からは除外された。

この問いに対して、「とても悪い」が28.0%（男29.2%、女26.8%）、「悪い」が24.8%であるのに対し、「それほど悪くない」が26.3%、「悪くない」が20.9%（男21.2%、女20.6%）と、否定派と肯定派がほぼ拮抗している。中学2年生という年齢を考えれば、性の開放化がすすみ、より低年齢化していることがうかがえる。

26. 学校にナイフなどの凶器を持っていく。

【福島市】

学校にナイフなどの凶器を持っていくことを、「とても悪い」と回答したのは64.0%（男63.2%、女64.8%）で、「悪い」の25.5%を合わせると89.5%（男87.7%、女91.4%）におよぶ大多数の生徒が悪いと回答している。一方で「それほど悪くない」7.1%、「悪くない」3.4%を合わせると10.5%が悪くない（男12.3%、女8.7%）と回答している。「悪くない」という回答は男子に多いが、有意ではない。

【ナッシュビル市】

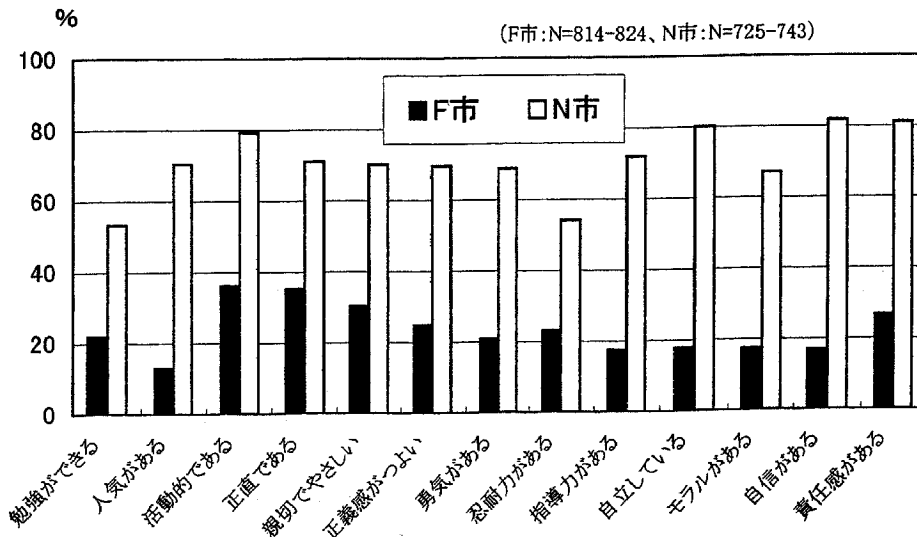
この間にたいし「とても悪い」70.6%（男66.6%、女74.3%）、「悪い」11.5%を合わせた悪いという回答は82.1%（男79.8%、女84.3%）である。一方、「それほど悪くない」6.8%、「悪くない」11.1%（男13.2%、女9.1%）を合わせると17.9%（男20.2%、女15.7%）の生徒が悪くないと回答している。「悪くない」という回答は男子に多いが、有意ではない。

【両市間の比較】

学校にナイフなどの凶器を持ち込むことを、「とても悪い」と答える割合は、男女ともナッシュビル市の方が多く、ナッシュビル市では7割の生徒が「とても悪い」と答えている。その一方で、まったく「悪くない」と考える生徒の割合が福島市では3.4%にすぎないのに対し、ナッシュビル市では11.1%と福島市の3倍以上にもなる。

福島市では、学校に凶器を持ち込むことに、「あまり悪くない」「悪くない」と是認する態度をしめす生徒は全体の1割程度にすぎないが、事態の深刻さか

図Q19 自分についての自己評価



表Q19. 現在の自分について、あてはまる番号に○をつけてください

1=当てはまる 3=どちらでもない 4=少し当てはまらない
2=少し当てはまる 5=当てはまらない

* p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001

	性別	F市 (N=814-824)			N市 (N=725-743)			両市の比較
		1+2	3	4+5 性差	1+2	3	4+5 性差	
勉強ができる	男	21.2	34.5	44.3	48.8	15.4	35.7	F:N= 1:2.4 ***
	女	22.7	33.7	43.4	57.4	14.8	27.8	
	計	21.9	34.1	43.8	53.3	15.1	31.6	
人気がある	男	14.9	45.8	38.7	69.7	13.8	16.5	1:5.4 ***
	女	10.9	46.3	42.4	71.4	11.7	16.9	
	計	12.9	46.1	40.4	70.5	12.7	16.8	
活動的である	男	36.7	31.3	32.2	81.0	10.5	8.5	1:2.2 ***
	女	35.8	27.7	36.3	77.8	10.4	11.8 ^{]*}	
	計	36.2	29.5	34.2	79.3	10.5	10.2	
正直である	男	36.5	35.6	27.5	66.1	22.9	11.0 ^{]*}	1:2.0 ***
	女	33.8	35.6	30.4	75.8	14.3	9.9	
	計	35.1	35.6	29.0	71.1	18.4	10.5	
親切でやさしい	男	26.4	46.9	26.6 ^{]*}	64.3	21.9	13.7 ^{]*}	1:2.3 ***
	女	34.2	41.1	24.5	75.7	14.4	9.9	
	計	30.2	44.0	25.6	70.2	18.0	11.7	
正義感がつよい	男	21.4	46.2	32.3	66.8	20.8	12.4	1:2.8 ***
	女	28.2	38.0	33.6	72.4	18.8	8.8	
	計	24.8	42.2	32.9	69.7	19.8	10.5	
勇気がある	男	20.0	46.2	34.0	66.9	19.5	13.5	1:3.3 ***
	女	21.8	37.6	40.4	70.5	19.6	9.8	
	計	20.8	42.0	37.1	68.8	19.6	11.6	
忍耐力がある	男	23.6	45.1	31.2	53.2	18.7	28.1	1:2.3 ***
	女	22.5	38.6	38.6	54.9	16.2	28.9	
	計	23.1	41.9	34.9	54.1	17.4	28.5	
指導力がある	男	16.8	36.4	46.6	71.9	14.2	13.9	1:4.1 ***
	女	18.0	31.8	50.0	72.2	15.9	11.9	
	計	17.4	34.1	48.3	72.0	15.1	12.9	
自立している	男	17.1	46.2	36.6 ^{]*}	76.4	14.5	9.1	1:4.5 ***
	女	18.6	36.0	45.2	83.6	10.3	6.1	
	計	17.8	41.2	40.8	80.1	12.3	7.6	
モラルがある	男	18.4	42.7	38.9	65.1	24.3	10.6	1:3.9 ***
	女	16.1	40.8	42.8	68.8	22.9	8.2	
	計	17.3	41.8	40.8	67.1	23.6	9.3	
自信がある	男	21.7	38.7	39.2	82.1	8.8	9.1	1:4.8 ***
	女	12.0	37.7	50.1 ^{]**}	81.3	7.6	11.1	
	計	16.9	38.2	44.6	81.7	8.2	10.1	
責任感がある	男	27.2	34.3	38.6	77.8	11.8	10.4	1:30 ***
	女	26.1	36.9	36.7	84.1	8.4	7.5	
	計	26.7	35.6	37.7	81.1	10.0	8.9	

らすれば無視できない割合といえる。ましてナッシュビル市では2割の生徒が肯定し、まったく悪いという認識をもっていない生徒が1割もいることは憂慮すべき事態といえる。

Q19 現在の自分自身について、あてはまる番号に○をつけてください。

これはセルフ・イメージを調べるための設問であるが、一般的に望ましいとされる特性13項目を列記の5段階で自己評価してもらうことで、各生徒の自己肯定感を測定できるように設計してある。

以下の記述では、1と2の回答を合算して「あてはまる」、3を「どちらでもない」、4と5の回答を合算して「当てはまらない」の3群に分けた。図Q19は、福島市(F市)とナッシュビル市(N市)の中学生が自分に「当てはまる」と肯定的に回答した%をしめしている。

図Q19から、一見して以下のような両市間の特徴が目につく。①福島市の中学生にくらべ、ナッシュビル市の中学生のほうがあらゆる面で肯定的に自己を評価している。福島市では自己肯定的な回答は2～3割程度にすぎないが、ナッシュビル市ではすべての質問項目で自分はすぐれていると肯定的に自己評価をしている生徒が5～8割と大多数をしめており、両市間の差は2.2～5.4倍にのぼる。②福島市の中学生では「活動的」「正直」「親切でやさしい」という自己評価は比較的高いが、「人気」「指導力」「自立」「モラル」「自信」といった項目では自己評価は低い。一方、ナッシュビル市では「活動的」「自立」「自信」「責任感」といった項目が高く、「勉強」「忍耐力」が他の項目に比較すると低い。③両市間で「当てはまる」という肯定的な回答の差が大きいものは、「人気」(F市:N市=5.4:1)、「自信」(4.8:1)、「自立」(4.5:1)、「指導力」(4.1:1)、「モラル」(3.9:1)、「勇気」(3.3:1)「責任感」(3.0:1)などである。また、④どの質問に関しても福島市では「どちらでもない」という回答が3～4割強と多数をしめるが、ナッシュビル市では「どちらでもない」という回答は1～2割程度と少ない。⑤福島市では、さまざまな点で自分は劣っていると否定的な自己評価をする生徒が3～5割にのぼるが、ナッシュビル市では1～3割程度と比較的少ない。

以下、各項目について検討する。

1. 私は勉強ができる。

これは勉強(academic skills)についての自己評価を聞いたものである。

【福島市】

この間に対して「当てはまる」という回答は21.9%にすぎず、「どちらでもない」が34.1%であり、「当てはまらない」が43.8%ともっとも多い。自分は「勉強ができる」という評価する者は男女とも2割程度にすぎず、4割以上の男女生徒が「自分は勉強ができない」と自己評価している。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が53.3%(男48.8%、女57.4%)でもっとも多く、「どちらでもない」が15.4%、「当てはまらない」が31.6%(男35.7%、女27.8%)である。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では、自分は勉強できると肯定的に自己評価している生徒は2割ほどで、4割以上の生徒は勉強ができないと否定的に評価している。一方、ナッシュビル市では、福島市に比べると2.4倍の5割強の生徒が、自分は勉強できると肯定的に評価している。その一方、「できない」と否定的に自己評価している生徒が3割以上いる。

2. 私はクラスで人気がある。

これはクラスの仲間から自分がどの程度、好意的に評価されていると思っているか、自身の認識について聞いている。これは、生徒自身の対人関係能力(social skills)に対する自信の程度を反映していると推定できる。

【福島市】

この間に対して「当てはまる」という回答は12.9%(男14.9%、女10.9%)にすぎず、1～13の設問の中でもっとも低い数値をしめす。「どちらでもない」46.1%、「当てはまらない」40.4%(男38.7%、女42.4%)という回答が多数をしめる。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が70.5%(男69.7%、女71.4%)ともっとも多く、「どちらでもない」12.7%、「当てはまらない」16.8%(男16.5%、女16.9%)は少ない。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では、自分がクラスで人気があると考えて

いる生徒は1割程度にすぎず、圧倒的に多数の生徒が自分は普通か、人気がないと答えている。これは多くの生徒が、自分はクラスの仲間からあまり好意的に評価されていないと自己評価し、対人関係に自信をもてないであることを示唆している。

一方、ナッシュビル市では、福島市に比べると7割強の生徒が、自分は人気があると肯定的な自己評価をしており、否定的な自己評価をしている生徒は2割以下と少ない。

3. 私は活動的である。

【福島市】

この問に対して「当てはまる」という回答は36.2%（男36.7%、女35.8%）で、「どちらでもない」が29.5%、「当てはまらない」が34.2%となる。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が79.3%（男81.0%、女77.8%）と最も多く、「どちらでもない」10.5%、「当てはまらない」10.2%は少ない。女子よりも男子のほうが、自分は活動的だと認知している（*）。

【両市間の比較】

福島市でも3～4割の生徒が、自分は活動的だと認知している。これは「正直である」という項目と並んで、もっとも「当てはまる」という生徒の割合が高い質問項目である。それでもナッシュビル市では8割ほどの生徒が自分は活動的だと認識しているのに比べると、福島市では少ない。

4. 私は正直である。

【福島市】

「当てはまる」という回答は35.1%（男36.5%、女33.8%）であり、「どちらでもない」が35.6%、「当てはまらない」が29.0%である。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が71.1%（男66.1%、女75.8%）と多く、「どちらでもない」が18.4%、「当てはまらない」は10.5%と少ない。男子より女子のほうが、自分は正直だと自己評価している割合が高い（*）。

【両市間の比較】

福島市では3～4割の生徒が、自分は正直だと自己評価をしているが、自分は正直ではないと評価している生徒が3割もいて、かなり厳しい自己評価をしている。一方、ナッシュビル市では7割の生徒が自分は正直だと肯定的な自己評価をしており、否定

的な評価は1割程度にすぎない。正直だという自己評価はナッシュビル市では女子に多いが、福島市では男子のほうに多い傾向がみられる。

5. 私は他人に親切でやさしい。

【福島市】

この問に対して「当てはまる」という回答は30.2%（男26.4%、女34.2%）であり、「どちらでもない」が44.0%、「当てはまらない」が25.6%である。男子より女子のほうが、自分は親切でやさしいと自己評価している割合が高い（*）。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が70.2%（男64.3%、女75.7%）と多く、「どちらでもない」が18.0%、「当てはまらない」が11.7%である。男子より女子のほうが、自分は親切でやさしいと自己評価している割合が高い（*）。

【両市間の比較】

両市とも、男子より女子のほうが、自分は親切でやさしいと自己評価している割合が高い。この結果は、女子には「親切でやさしい」ことを期待する社会的規範が、両市に共通して存在するためかもしれない。

6. 私は正義感が強い。

【福島市】

「当てはまる」という回答は24.8%（男21.4%、女28.2%）、「どちらでもない」が42.2%、「当てはまらない」が32.9%である。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が69.7%（男66.8%、女72.4%）と最も多く、「どちらでもない」19.8%、「当てはまらない」10.8%は少ない。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では「自分は正義感がつよい」と肯定的に認知している生徒は2～3割と少なく、むしろ否定的な自己評価をしている生徒が多い。それに対し、ナッシュビル市では7割の生徒が自分は正義感がつよいと肯定的に認知しており、否定的に認知している生徒は1割程度と少ない。

7. 私は勇気がある。

【福島市】

「当てはまる」という回答は20.8%（男20.0%、女21.8%）にすぎず、「どちらでもない」42.0%、「当てはまらない」37.1%という回答が圧倒的に多い。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が68.8%（男66.9%、女70.5%）と最も多く、「どちらでもない」19.6%、「当てはまらない」11.6%（男13.5%、女9.8%）は少ない。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では「自分は勇気がある」と肯定的に評価している生徒は2割と少なく、むしろ「勇気がない」と否定的に回答する生徒が4割弱もいる。一方、ナッシュビル市では7割近い生徒が自分は勇気があると自己評価している。

8. 私は忍耐力がある。

【福島市】

この問に対し「当てはまる」という回答は23.1%（男23.6%、女14.1%）にすぎず、「どちらでもない」41.9%、「当てはまらない」34.9%（男31.2%、女38.6%）という回答が多い。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が54.1%（男53.2%、女54.9%）と多く、「どちらでもない」が17.4%、「当てはまらない」が28.5%（男28.1%、女28.9%）となる。性差はない。

【両市間の比較】

この質問に対しても福島市に比べナッシュビル市の方が肯定的な回答が多い。ただナッシュビル市においては、ほとんどの質問項目にたいし否定的な回答は10%台ないしそれ以下であるのに対し、この忍耐力と勉強という点については自信のない生徒が多いようで、ともに3割前後の生徒が否定的な自己評価をしている。

9. 私はリーダーシップを発揮している。

【福島市】

「当てはまる」という回答は17.4%（男16.8%、女18.0%）と少なく、「どちらでもない」が34.1%、「当てはまらない」が48.3%と最も多い。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が72.0%（男71.9%、女72.2%）と多く、「どちらでもない」15.1%、「当てはまらない」12.9%は少ない。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では、「自分はリーダーシップを発揮している」と自己を認知している生徒は2割にも満たず、半数の生徒は自分には指導力はないと認識している。これに対し、ナッシュビル市では7割以上の生徒が

自分は指導力があると認識しており、きわだった差異がみられる。

10. 私は自立している。

【福島市】

「当てはまる」という回答は17.8%（男17.1%、女18.6%）にすぎず、「どちらでもない」41.2%、「当てはまらない」40.8%（男36.6%、女45.2%）という回答が多い。性差があり（*）、男子に比べ女子のほうが「自立していない」という回答が多い。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が80.1%（男76.4%、女83.6%）と最も多く、「どちらでもない」12.3%、「当てはまらない」7.6%は少ない。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では「自立している」という回答は2割にも達しないのに対し、ナッシュビル市の生徒の8割は、自分は自立していると自己評価しており、両市間で差がきわだっている。

11. 私は社会的なモラルを身につけている。

【福島市】

「当てはまる」という回答は17.3%（男18.4%、女16.1%）にすぎず、「どちらでもない」41.8%、「当てはまらない」40.8%という回答がはるかに多い。性差はない。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が67.1%（男65.1%、女68.8%）と多く、「どちらでもない」は23.6%、「当てはまらない」は9.3%と少ない。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では「自分はモラルを身につけている」という肯定的な自己評価をする生徒は2割にも満たず、否定的な自己評価をするものが4割と多いのに対し、ナッシュビル市では7割弱が「自分はモラルを身につけている」と肯定的な自己評価をして、否定的な自己評価は1割以下にすぎない。

12. 私は自分に自信がある。

【福島市】

この問に対し、「当てはまる」という回答は16.9%（男21.7%、女12.0%）と少なく、「どちらでもない」が16.9%、「当てはまらない」が44.6%（男39.2%、女50.1%）にもなり、「自分に自信がない」と答える生徒が4～5割にのぼる。性差があり、男子よりも女子のほうに「自信がない」という回答が多い（**）。

【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が81.7%（男82.1%、女81.3%）と圧倒的に多く、「どちらでもない」8.2%、「当てはまらない」10.1%は少ない。性差はない。

【両市間の比較】

両市間の差が大きく、福島市では「自分に自信がある」と答える生徒は2割にも達しないが、ナッシュビル市では8割以上の生徒が「自信がある」と答えている。

13. 私は自分の行動に責任をもてる。

【福島市】

この問に対し「当てはまる」という回答は26.7%（男27.2%、女26.1%）で、「どちらでもない」35.6%、「当てはまらない」37.7%という回答のほうが多い。性差はない。

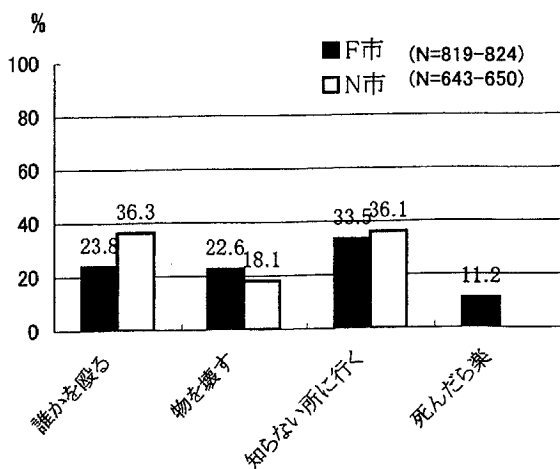
【ナッシュビル市】

「当てはまる」という回答が81.1%（男77.8%、女84.1%）と圧倒的に多く、「どちらでもない」10.0%、「当てはまらない」8.9%は少ない。性差はない。

【両市間の比較】

福島市では「自分の行動に責任をもてる」という回答は3割にも達しないのに対し、「責任をもてない」という回答が4割弱にも達する。ナッシュビル市の生徒の8割は、「責任をもてる」と回答しており、両市間の差が大きい。

図Q20 次のようにしたいと思うことが「よくある」



Q20. あなたは次のようなことをしたいと思ったことがありますか。

ここでは、暴力・破壊・逃避・自殺についての願望を質問している。願望があっても、いくつかの抑制因子がブレーキとなるので、そのまま行動化されるわけではない。ただ、これらの願望が高いほど行動化への動因が大きいので、きっかけがあれば行動化される可能性が高いといえる。また、これらの願望の高さは、日常生活でのフラストレーションやストレスの高さと関係すると予測される。

1. 思いきり誰かを殴ってみたいと思うことがある。

【福島市】

「よくある」23.8%（男29.5%、女17.8%）、「時々ある」35.2%を合わせると59.0%（男63.8%、女53.9%）が「思いきり誰かを殴ってみたいと思うことがある」と答えている。性差があり、「殴ってみたい」という回答は男子に多い (***)。

【ナッシュビル市】

「よくある」36.3%（男37.3%、女35.3%）、「時々ある」37.4%を合わせると78.5%（男78.5%、女78.5%）が「思いきり誰かを殴ってみたいと思うことがある」と答えている。性差はない。

【両市間の比較】

「思いきり誰かを殴ってみたい」という対人暴力への願望を、両市とも6～8割の生徒が共有している。とくに「よくある」という生徒が両市とも2割強～4割弱もあることが注目される。このグループは、潜在的には強い暴力・攻撃衝動をもっているもので、きっかけがあれば容易に抑制がはずれ対人暴力をおこす可能性がある群と考えられる。日米間で差があり、福島市よりナッシュビル市の生徒ほうが男女とも「よくある」という者が多い (***)。

2. 手あたりしだいに物を壊してみたいと思うことがある。

【福島市】

「よくある」22.6%（男24.7%、女20.3%）、「時々ある」29.1%を合わせると51.7%（男49.2%、女54.3%）が「手あたりしだいに物を壊してみたいと思うことがある」と答えている。性差があり、「よくある」は男子のほうが多いが、「時々ある」を含めたパーセントは女子のほうが高い (*)。

【ナッシュビル市】

「よくある」18.1%（男20.0%、女16.3%）、「時々ある」21.9%を合わせると40.0%（男44.2%、女

36.1%) が「手あたりしだい物を壊してみたいと思うことがある」と答えている。性差はない。

【両市間の比較】

「手あたりしだい物を壊してみたい」という器物損壊への願望は、福島市よりもナッシュビル市の生徒ほうが低い (***)。攻撃的行動の対象が、ナッシュビル市で対人暴力の方向をめざし、福島市ではより器物破壊に向かう傾向がうかがえる。

3. 誰も知らないところに行きたいと思うことがある。

【福島市】

「よくある」33.5% (男 32.8%、女 34.2%)、「時々ある」28.2%を合わせると 61.7% (男 58.9%、女 64.6%) が、「誰も知らないところに行きたいと思うことがある」と答えている。性差はない。

【ナッシュビル市】

「よくある」36.1% (男 35.4%、女 36.7%)、「時々ある」25.0%を合わせると 61.1% (男 63.0%、女 59.4%) が、「誰も知らないところに行きたいと思うことがある」と答えている。性差はない。

【両市間の比較】

両市とも3割以上の生徒が、誰も知らないところに行きたいと思うことが「よくある」と回答し、「時々ある」を含めると「誰も知らないところに行きたいと思うことがある」という現実逃避の感情を両市とも6割ほどの生徒が共有している。

4. 死んだら楽になれると思うことがある。

この間は英語版では削除された。

【福島市】

「よくある」11.2% (男 11.5%、女 11.0%)、「時々ある」14.8%を合わせると 26.0% (男 21.8%、女 30.5%) が、「死んだら楽になれると思うことがある」と答えている。性差があり、男子よりも女子のほうに死への逃避願望が多い (**)。もちろん願望が、自殺企図に直接結びつくわけではないが、1割強の中学生が、死んだら楽になれると思うことが「よくある」と答えているのは、無視できない。彼らの死のイメージが大人のそれとは異なり現実感を欠きがちだということを考慮してもなお、中学生の悩みの深さと孤独を反映した数字と解釈できる。

Q21. あなたは将来どんな大人になりたいですか。

将来、どんな大人になりたいか、「もっとも当てはまるものを一つだけ」選んでもらった。

【福島市】

①「お金や名誉よりも自分の好きなように生きたい」が 33.6% (男 32.6%、女 34.7%) でもっとも多く、ついで②「目立たないが人並みに暮らしていける人になりたい」14.6%、③「お金持ちになりたい」13.8%、④「世の中や社会のために役立つ人になりたい」13.1%、⑤「テレビに出るタレントのように有名になりたい」10.3%とつづく。⑥「偉い人になって、人の上にたちたい」という希望は 2.5% ときわめて少ない。

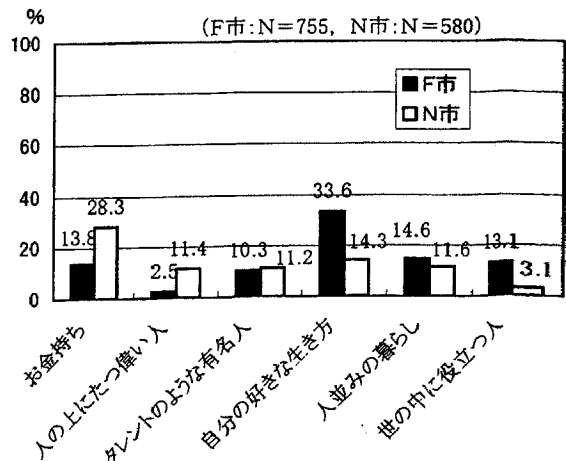
【ナッシュビル市】

①「お金持ちになりたい」28.3% (男 35.7%、女 20.6%) がもっとも多く、②「お金や名誉よりも自分の好きなように生きたい」14.3%、③「目立たないが人並みに暮らしていける人になりたい」11.6%、④「偉い人になって、人の上にたちたい」11.4%、⑤「テレビに出るタレントのように有名になりたい」11.2%の順で、⑥「世の中や社会のために役立つ人になりたい」3.1%はきわめて少ない。

【両市間の比較】

福島市では「自分の好きなように生きたい」が3割以上の支持をアツめ1番で、つぎに「目立たないが人並みの暮らし」がくる。中学生にとって、現代は夢をもちにくい時代なのかもしれない。ナッシュビル市では「お金持ちになりたい」が3割弱と1番人気で、「世の中や社会のために役立つ人」は3%程度と不人気である。「お金持ちになりたい」にせよ「自分の好きなように生きたい」にせよ、中学生の将来の夢としては悲しいほど現実的、かつ個人主義的で、「偉い人」「有名人」「世の中に役にたつ人」といった野心や使命感を述べる生徒は少ない。

図Q21 将来どんな大人になりたいですか



小 括

福島市でもナッシュビル市でも3～4割の生徒が不登校気分を共有している。ただ、福島市では多くの生徒が我慢して登校をつづけているため、不登校としては顕在化していない。学校に行くのが理由として、①勉強がきらい、②先生がきらい、③友だちとうまくいかない、が両市で共通していた。また、学校ぎらいの理由として、福島市では「身体の調子がわるい」、ナッシュビル市では「学校の外におもしろいことがある」という回答が目立った。

全般的に、福島市の中学生は高い規範意識と低い自己肯定感をもち、ナッシュビル市の中学生は低い規範意識と高い自己肯定感をもっている点が、顕著な差異として目をひいた。

福島市の中学生についていえば、かなり多くの生徒が勉強にも友人関係にも自信がないし、先生も好きではないが、我慢して登校はつづけている。「思いきり誰かを殴ってみたい」という、誰にぶつけて良いかわからない怒りと攻撃的な気分が心の奥底にあるが、厳格な規範意識で自己規制している。大きな野心や希望はとてども持てない。せめて「自分の好きな生き方ができればいい」と身の丈に合わせたささやかな夢をいだいているが、「いっそのこと死んだほうが楽だ」という思いが頭をよぎることもある。こうした先のみえない閉塞感のなかで毎日を送っている、中学生の息苦しさは垣間見える調査結果となった。

今回の調査は、福島市とナッシュビル市の中学生が抱えている問題行動の実態を把握することを目的としたもので、その原因や対処法を探るための調査として設計されていない。ただ、今後の研究への手がかりとするために、上述してきた各項目の調査結果を援用して不登校と暴力に関する回帰モデルを提示しておく。これは、あくまで作業仮説としての暫定的なモデルにすぎない。

回帰モデルで使用した変数について、簡単に説明しておく。

家族関係：これは生徒用アンケートのQ6「あなたの家族関係はうまくいっていると思いますか」という質問項目を、生徒自身が認知している家族関係の機能状態をあらわす指標として借用した。これは「1＝うまくいっている」から「5＝うまくいっていない」まで5段階の順序尺度となっている。

親友の数：Q7「現在あなたがつきあっている親

しい友人は何人くらいいますか」による、本人からみた親友の多寡である。これは「1＝いない」から「5＝10人以上」までの5段階である。

不登校気分：これはQ13「中学生になってから、学校に行くのがいやになったことがありますか」という問いに対する答えを、不登校気分を表現したものと捉えた。「1＝よくある」から「4＝まったくない」の4段階で表現されている。

学校ストレス：Q14で「学校に行くのが嫌になった理由」を聞いている。「1＝友だちにいじめられる」から「13＝学校の部活が負担」まで、いずれも学校に行くのが嫌だと思ふ理由であるが、いやな理由が数多い生徒ほど、学校をよりストレスの多い場と感じていると仮定して学校ストレスとした。ただ厳密に言えば、Q13に対する理由を聞いたのがQ13であり、質問時点で回答者が感じていたストレス度を示すものではない。

不登校：これはQ15「学校に行くのが嫌になったとき、どうしたか」という問いに対し、「1＝一度も休んだことがない」から「5＝1ヶ月以上休んだ」までの5段階を、不登校の程度とした。

規範意識：Q18は、すべて生徒の社会規範についての意識を聞いている。英語版で除いた「(13)ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る」を除外した「(1)学校をさぼる」から「(22)他人の自転車に無断で乗る」までの各項目の合計得点を規範意識の点数としている。各項目は「1＝とても悪い」から「4＝わるくない」までの4段階の順序尺度になっており、福島市でもナッシュビル市でも、各項目はお互いに正の相関があることが確認できている。

自己肯定感：Q19で、「(1)私は勉強ができる」から「(13)私は自分の行動に責任が持てる」まで、自己肯定感をしめす項目をならべてあり、それぞれ「1＝当てはまる」から「5＝当てはまらない」の5段階評価となっている。福島市でもナッシュビル市でも、この各項目とも相互に正の相関があり、すべて自己肯定感をしめすことが確認できている。さまざまな項目で「当てはまる」と肯定的に自己評価している生徒のほうが、「あてはまらない」という評価の多い生徒よりも自己肯定感が高いと仮定し、(1)から(13)までの合計点を自己肯定感の程度をしめす値とした。

攻撃性：Q20の「(1)思いきり誰かを殴ってみたい」「(2)手あたりしだい物を壊してみたい」の合計点を攻撃性の指標とした。それぞれの項目は、「1＝

よくある」から「4＝ない」までの4段階で評価されている。

1) 不登校への回帰モデル

上述の各変数から、表S1、表S2のような不登校気分と不登校への回帰モデルが想定できる。わかりやすく表示するために、暫定的なパスダイアグラムも提示した。

福島市においては、学校はできれば行きたくない不快刺激の場となっており、学校ストレスが生徒の不登校気分の形成にもっとも強く関与している。親友の数が多きほど、家族関係が良好なほど、自己肯定感が強いほど不登校気分は減少する傾向があるが、その影響は大きいものではない。不登校気分が直接的に不登校に結びつくわけではなく、多くの生徒が不登校気分を抱えながらも我慢して登校している。不登校気分から不登校にいたるには、この図で出発点のない矢印で表現した「外乱」が大きく関与している。この外乱がどのような要因から成立しているか、すなわち学校ストレス以外に、どんな要因が不登校の成立に大きく関与しているのか、その究明が今後の大きな研究課題である。

ナッシュビル市においても、学校ストレスが不登校気分や不登校に影響を与えるもっとも大きな要因であるが、福島市に比べるとその影響度は少ない。ナッシュビル市の不登校気分や不登校行動には、学校ストレス以外の要因が大きく関与していることがうかがえる。Q14で、ナッシュビル市では学校に行きたくない理由として、「学校の外におもしろいことがある」という回答が37.6%もあり福島市の5.3%をきわだった差をみせていたことから、登校への動機づけの程度が両市の生徒間で差がある可能性もある。

2) 暴力・破壊行動への回帰モデル

今回のわれわれのアンケートでは、暴力や破壊行動をしたかどうか、実際の経験をきく質問項目は用意しなかったため、攻撃性から実際の暴力・破壊行動へのパスに関するデータはない。

攻撃性がある閾値をこえて高まるか（たとえば怒りなど）、あるいは攻撃性を抑制する閾値（規範意識や衝動の抑制力）が低くなる時（たとえば集団心理やアルコール・薬物の使用など）、「攻撃性」が「暴力・破壊行動」に転化するというパスダイアグラムを想定した。

福島市では学校ストレスが攻撃性を高める主要な

因子であり、良好な家族関係、高い自己肯定感、つよい規範意識などは攻撃性を抑制する因子として働いている（図S3、表S5）。親友の数は攻撃性とは関連がなかったため、このパスダイアグラムからは除外した。

ナッシュビル市でも学校ストレスが攻撃性を高める方向で大きく寄与している。福島市と同様に、良好な家族関係、高い自己肯定感、つよい規範意識などは攻撃性を抑制する因子として働いている（図S4、表S6）。福島市に比べると、ナッシュビル市では規範意識があまり攻撃性への抑止力となっていない。Q18で見たように、対人暴力や器物破壊を「それほど悪くない」「悪くない」と是認する生徒がナッシュビル市では17～26%もあり、福島市の3～11%と比べてきわだちて多い。このように規範意識自体がナッシュビル市の中学生では低いため、ナッシュビル市では規範意識が抑止力としてあまり有効に機能していないのかもしれない。いずれにせよ、こうした結果は、信頼性や妥当性を確認した評価スケールを使って再調査する必要がある。

学校は子どもにとって主要な生活の場であり、友だちにも会える楽しい場でもあるが、同時に大きなストレスの場ともなっている。生徒が感じる学校ストレスが、ストレス場面を回避する逃避的な行動（不登校）にも、あるいはストレスを発散させてストレスに対処する攻撃的行動（暴力・破壊行動）にも大きく寄与しているようだ。

暫定的な回帰モデルであるが、不登校にせよ暴力・破壊行動にせよ、両市の生徒のあいだで現象として類似してはいても、その行動が生起する背景は大きく異なっていることが示唆された。この結果が正しいとすれば、どうぜん対処の仕方も、それに応じて異なったものとなる。

ナッシュビル市で生徒の問題行動を減らすためには、規範意識を高める教育活動を学校・家庭・地域が一体となって推進する必要があり、それが効果的だと思われる。しかし、福島市では生徒の規範意識はすでに十分に高いので、これ以上に規則で縛ったり規範意識を高めようと指導を強めたりすることは、かえって生徒の学校ストレスを高めて逆効果となる恐れがある。むしろ学校を今よりもストレスの少ない楽しい場に改善すること、生徒が自己肯定感や自己能力感を高められるような教育プログラムを実践すること、生徒一人ひとりが尊重され大切にされて

いるという実感をもて、それぞれの夢や希望を育んでいける環境を整えるため、家庭・学校・社会全体が協力して取り組むことが求められる。

なお、福島市とナッシュビル市で得られた調査結果が、そのまま日本全体、ましてアメリカ全体にただちに一般化できるかどうかはわからない。福島市の結果については、これから日本のほぼ全体を推測してもそう間違いはないだろうと思うが、そう断言するだけの根拠は今のところない。

【福島市における不登校】

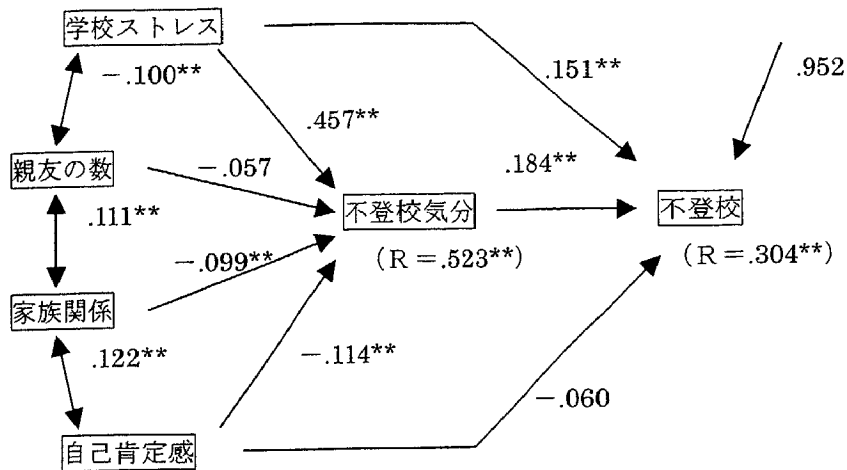


図 S 1 不登校気分と不登校に関する要因

表 S 1 不登校気分に関する回帰モデル

要 因	標準偏回帰係数 (β)	相関係数 (r)
学校ストレス	.457**	.476**
親友の数	-.057	-.143**
良好な家族関係	-.099*	-.211**
自己肯定感	-.114**	-.186**
重相関係数 (R)	.523**	

* $p < .05$ ** $p < .01$

表 S 2 不登校に関する回帰モデル

要 因	標準偏回帰係数 (β)	相関係数 (r)
学校ストレス	.151**	.241**
不登校気分	.184**	.246**
自己肯定感	-.060	-.112**
重相関係数 (R)	-.304**	

* $p < .05$ ** $p < .01$

【ナッシュビル市における不登校】

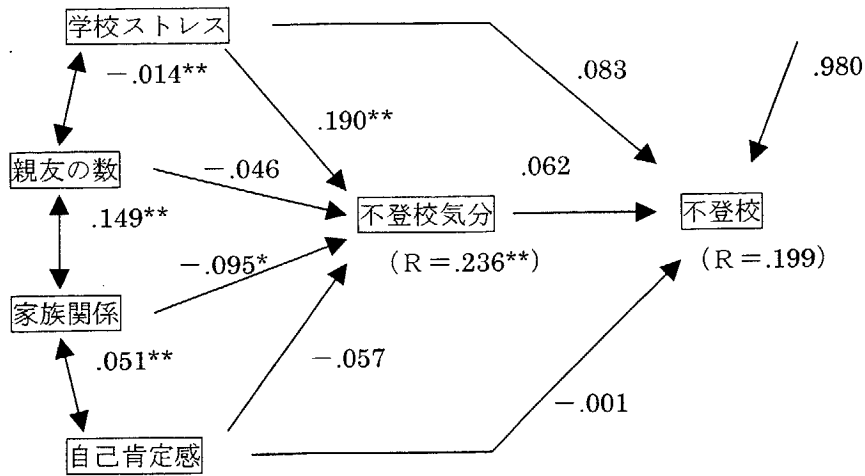


図 S 2 不登校気分と不登校に関する要因

表 S 3 不登校気分に関する回帰モデル

要 因	標準偏回帰係数 (β)	相関係数 (r)
学校ストレス	.190**	.212**
親友の数	-.046	-.003
良好な家族関係	-.095*	-.146**
自己肯定感	-.057	-.073
重相関係数 (R)	.236**	

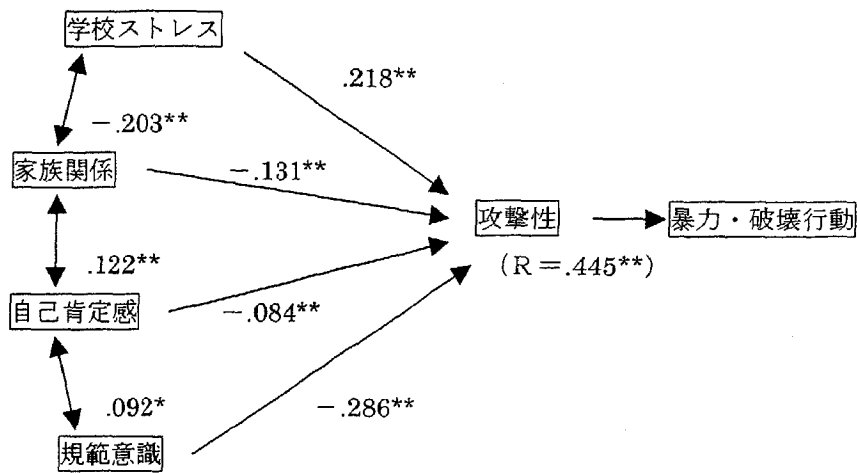
*p<.05 **p<.01

表 S 4 不登校に関する回帰モデル

要 因	標準偏回帰係数 (β)	相関係数 (r)
学校ストレス	.083	.116**
不登校気分	.062	.100**
自己肯定感	-.001	-.073
重相関係数 (R)	-.199	

*p<.05 **p<.01

【福島市における攻撃性】



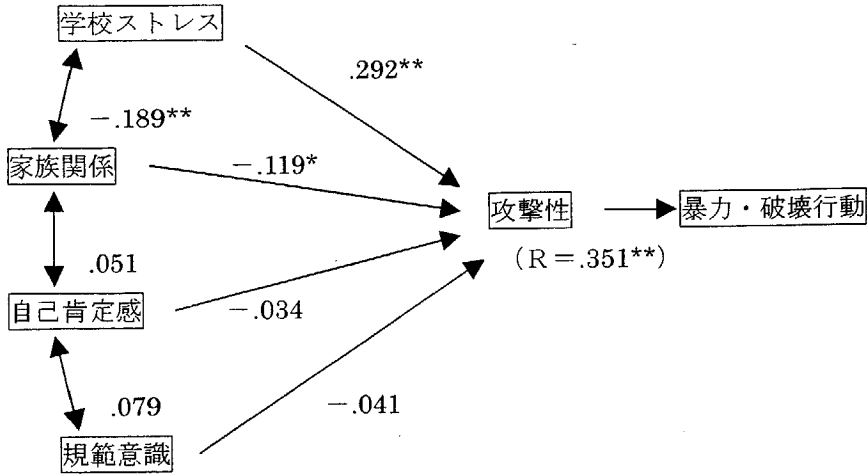
図S3 攻撃性に関する要因

表S5 攻撃性に関する回帰モデル

要因	標準偏回帰係数 (β)	相関係数 (r)
学校ストレス	.218**	.295**
良好な家族関係	-.131**	-.208**
自己肯定感	-.084**	-.026
規範意識	-.286**	-.350**
重相関係数 (R)	.445**	

* $p < .05$ ** $p < .01$

【ナッシュビル市における攻撃性】



図S 4 攻撃性に関する要因

表S 6 攻撃性に関する回帰モデル

要 因	標準偏回帰係数 (β)	相関係数 (r)
学校ストレス	.292**	.260**
良好な家族関係	-.119*	-.198**
自己肯定感	-.034	-.148**
規範意識	-.041	-.142**
重相関係数 (R)	.351**	

*p<.05 **p<.01

3-3 教師用アンケートの調査結果

この節では、子どもの問題行動に関して、中学生の教育にあたっている教師たちがどこを問題として、どう対処しているのか、問題行動の背景や今後の対策をどのように考えているのかを扱う。ここでも生徒や保護者の調査と同じく、福島市とナッシュビル市の教師を対象にしてアンケート調査を実施したので両市を比較しつつ、以下、その結果を報告する。

Q1-Q5. 回答者の概略

アンケートに協力して回答した教師は、福島市で357名、そのうち男性183名(51.3%)、女性174名(48.7%)であった。ナッシュビル市では148名が回答をよせ、そのうち男性42名(28.4%)、女性105名(70.9%)、不明1名(0.7%)であった。男女の分布をみると、有意にナッシュビル市では女性が多い(表T-Q1参照)。

何年生の担任をしているかをみると、担任をしているのは、福島市で中1・中2・中3の担任を合わせて57.7%である。ナッシュビル市では48.6%の者が担任をしているが、中3に相当する9学年の担任は少ない(表T-Q2)。主に何年生の授業を担当しているかをみても、ナッシュビル市では9学年の授業担当者はきわめて少なく、調査対象者になっていないことがわかる(表T-Q3)。

教職歴をみると、福島市では11~15年が24.6%と最も多く、6~20年で57.1%を占める。他方、ナッシュビ

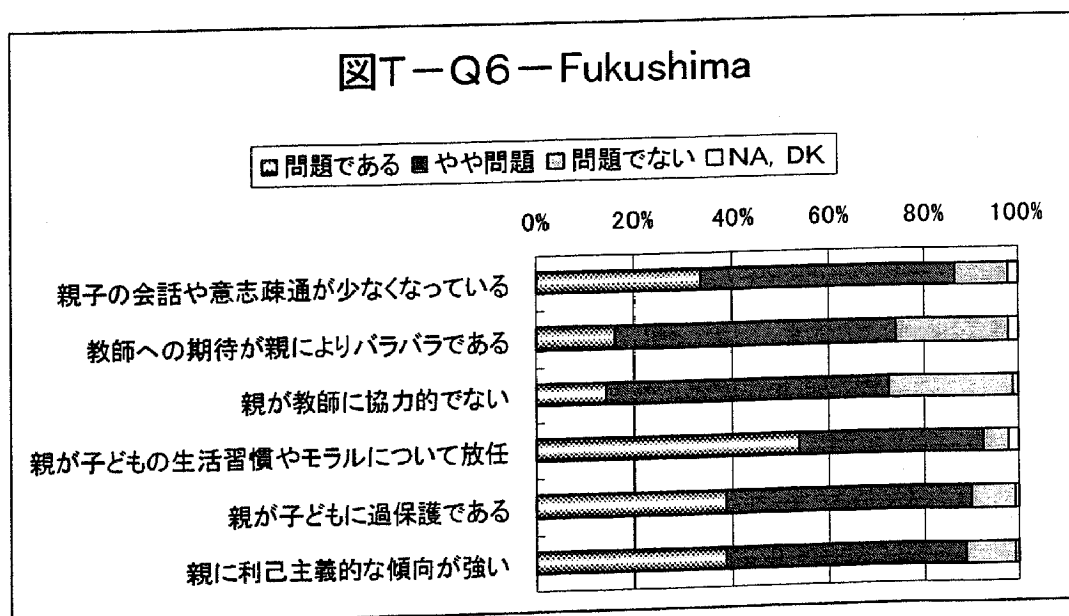
ル市では5年以内が31.1%と最も多く、10年以内で51.4%占め、有意にナッシュビル市の回答者の方が若い(表T-Q4)。

学校でどんな科目を担当しているかについては、ナッシュビル市では国語・社会・理科・特殊学級担任の担当者が有意に多く、福島市では外国語・養護教諭・管理職が有意に多い(表T-Q5)。この結果は、日米の教員配置の相違を示しているともいえ、興味深い。例をあげれば、アメリカでは特殊教育に力が入れているが、わが国では養護教諭が常勤しているという特徴がある。

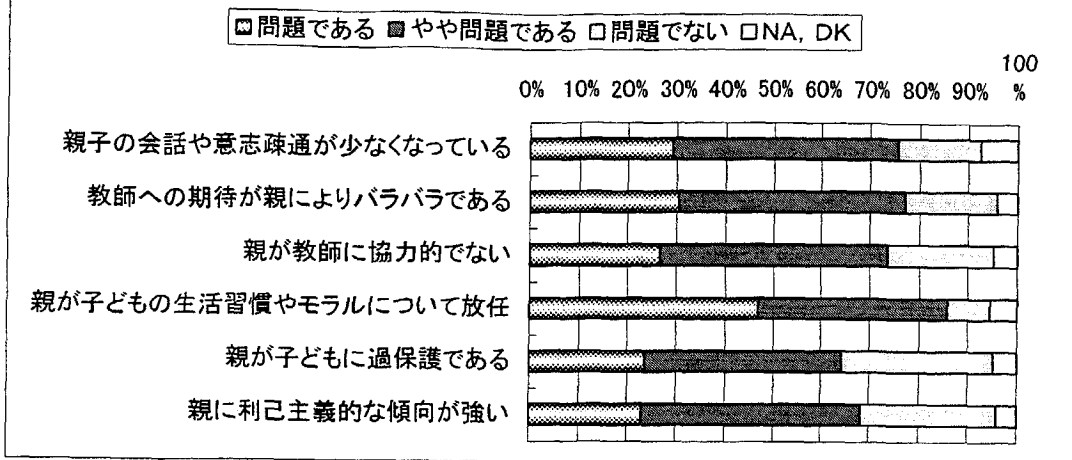
Q6. 教師は保護者をどうみているか

生徒の親(保護者)について、両市共に「親が子どもの生活習慣やモラルについて放任」を問題視する率は高く、また、「親子の会話や意志疎通が少なくなっている」も有意差はみとめられず、これらは両市に共通する問題であろう(図T-Q6)。

福島市の教師が特に問題にしているのは、ナッシュビル市に比べて有意に「親が子どもに過保護である」、「親に利己主義的な傾向が強い」と感じているということである(表T-Q6)。他方、ナッシュビル市の教師は、「教師への期待が親によりバラバラである」、「親が教師に協力的でない」ことについて問題視している。言い換えれば、福島市では親の養育態度を、ナッシュビル市では親と教師の連携の難しさを問題にしているといえよう。

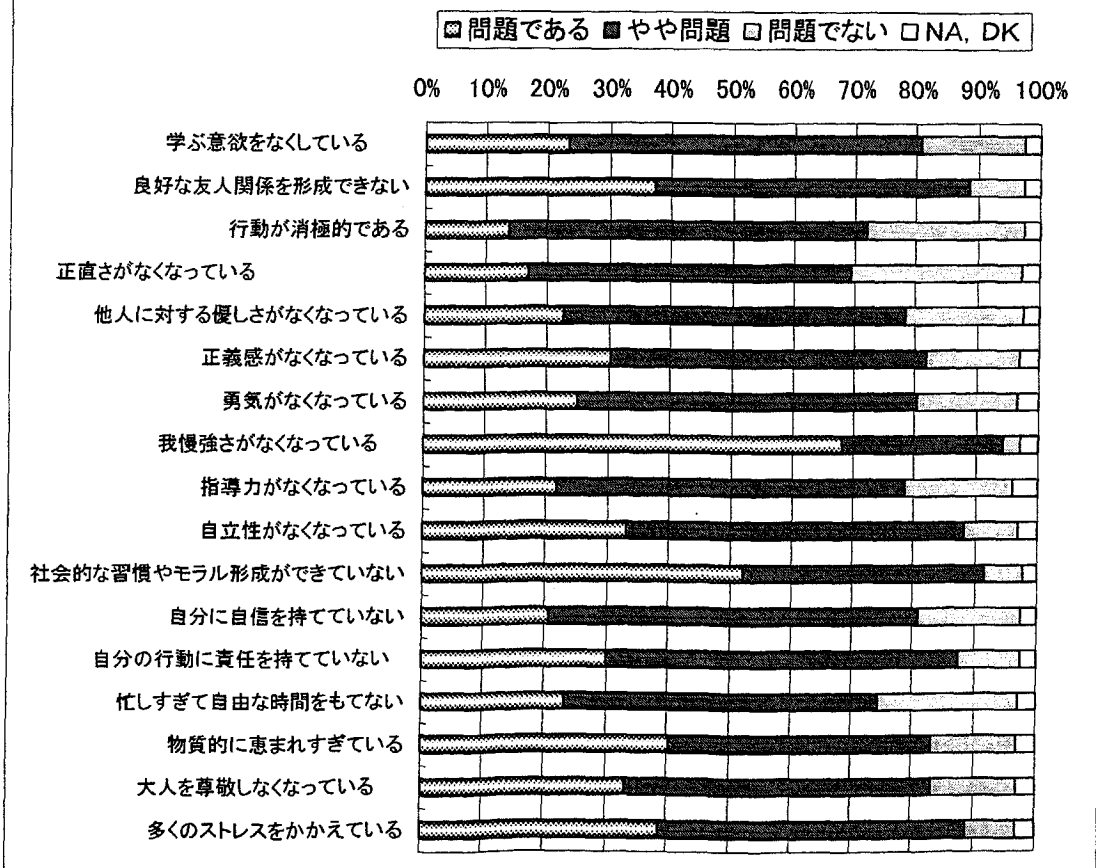


図T-Q6-Nashville



Q7. 生徒の生活実態をどうみているか

図T-Q7-Fukushima



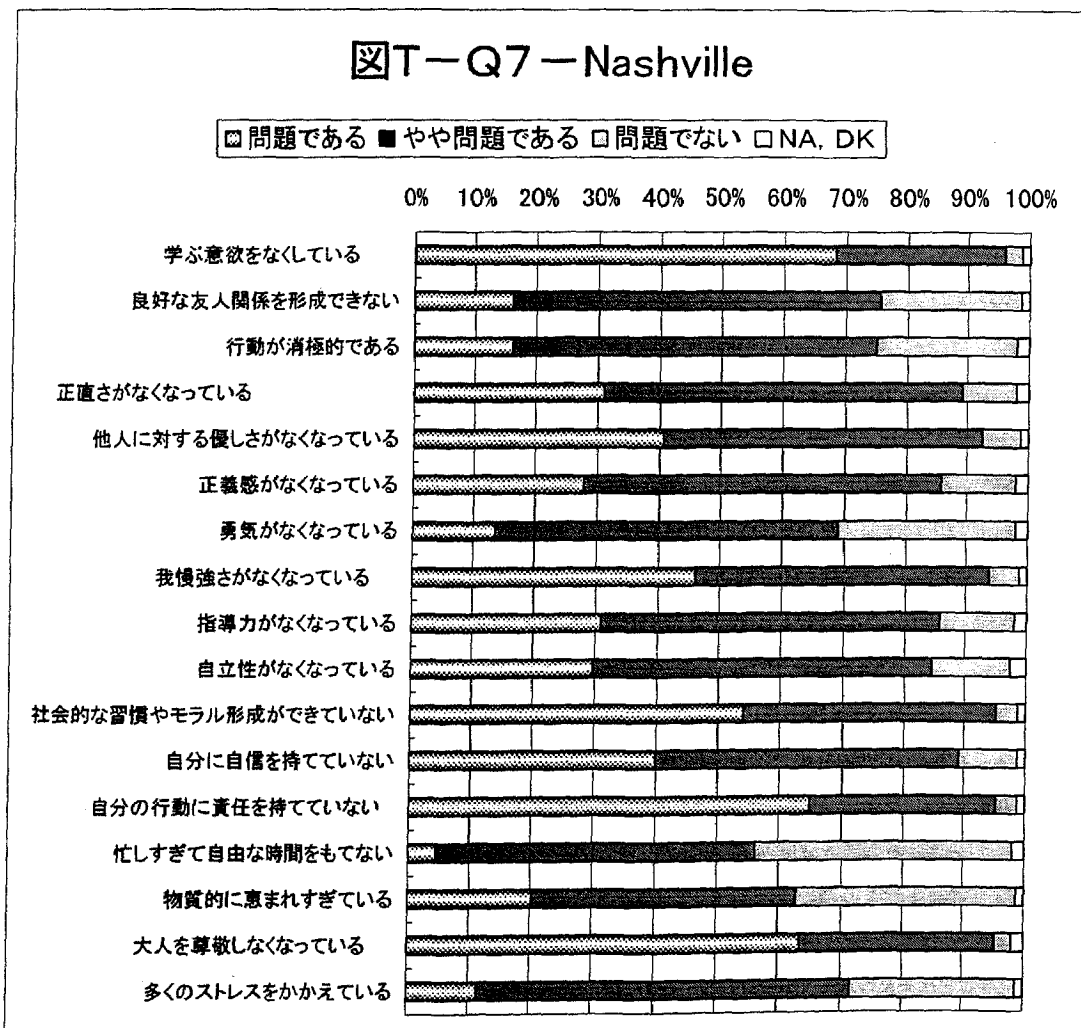
生徒の生活実態の中で、両市に差がないのは、「行動が消極的である」、「正義感がなくなっている」、「指導力がなくなっている」、「自立性がなくなっている」、「社会的な習慣やモラルの形成ができていない」の項目であった。(表T-Q7)。

一方、福島市の教師が有意に問題視しているのは、「我慢強さがなくなっている」、「良好な友人関係を形成できない」、「勇気がなくなっている」、「忙しすぎて自由な時間をもてない」、「物質的に恵まれすぎている」、「多くのストレスをかかえている」という項目である

(図T-Q7-Fukushima)。

他方、ナッシュビル市の教師は、「学ぶ意欲をなくしている」、「正直さがなくなっている」、「他人に対する優しさがなくなっている」、「自分に自信がもてない」、「自分の行動に責任を持ってない」、「大人を尊敬しなくなっている」ということを問題視する(図T-Q7-Nashville)。

ナッシュビル市では、生徒の人格面の変化を問題にしているのに対して、福島市では生徒を取り巻く環境の変化に適応できていないことも問題視している。



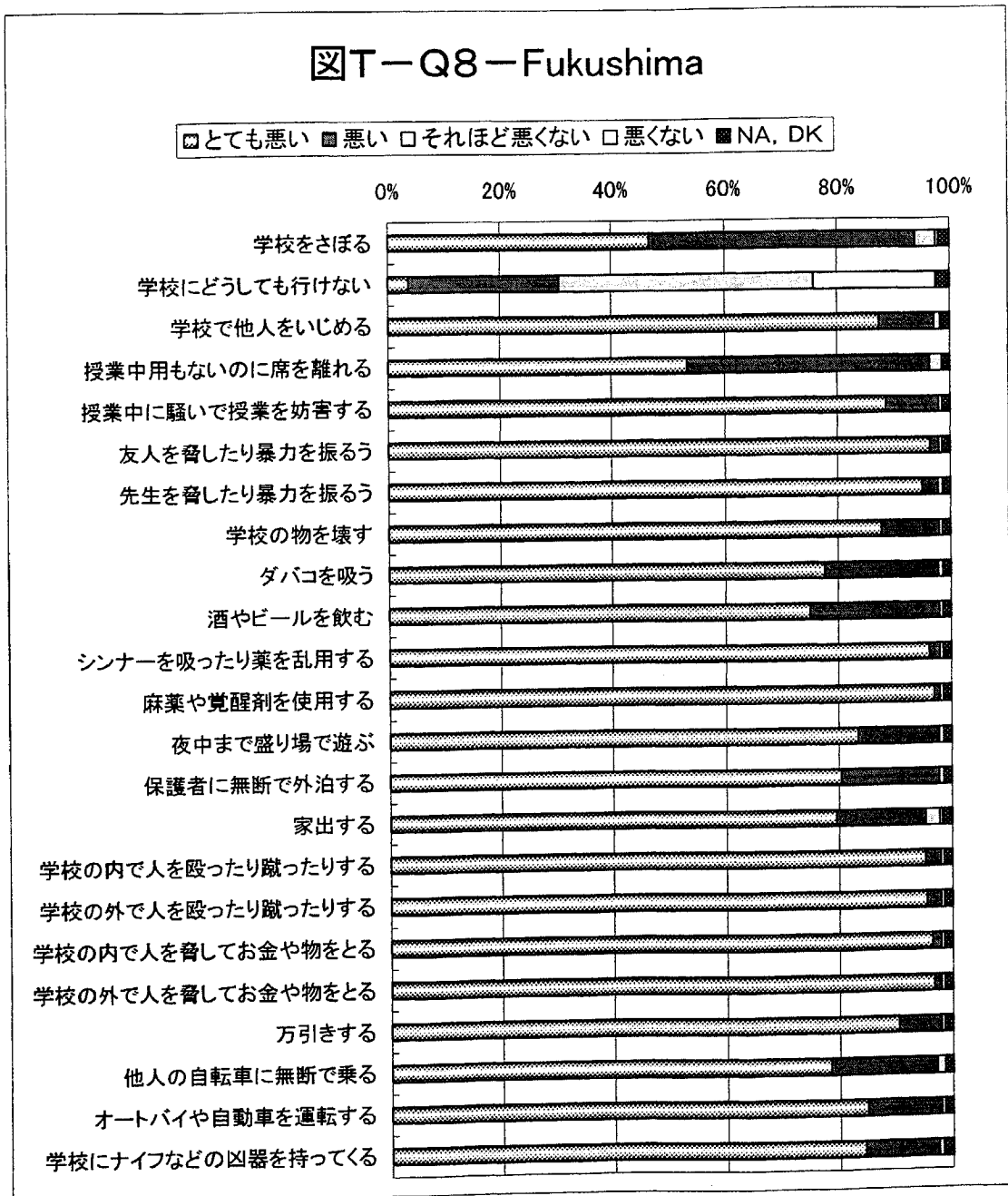
Q 8. 生徒の問題行動をどうみるか

この設問にあげられたすべての問題行動において、両市の教師の評価が有意に相違を示した(表T-Q 8)。特に、福島市の教師は「学校にどうしてもいけない」という項目だけには寛大な評価を示したが、それ以外の項目にはことごとく、「とても悪い」と厳しい評価をくだし、倫理観の強いことが伺われる(図T-Q 8-Fukushima)。不登校問題は特別に扱われているのであ

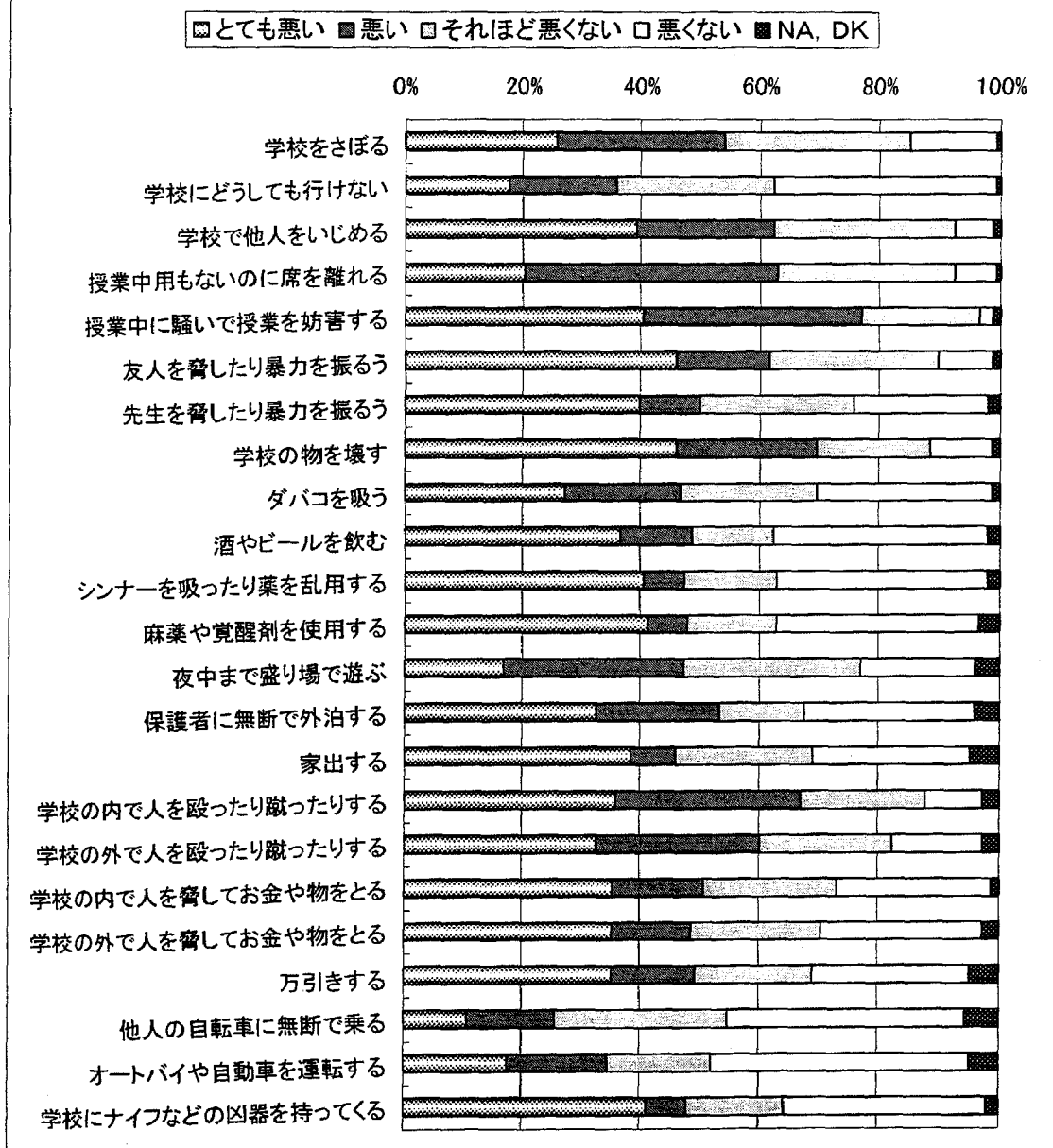
ろう。

ナッシュビル市の教師が比較的厳しい評価をくだしたのは、「授業中に騒いで授業を妨害する」、「友人を脅したり暴力を振るう」、「学校の物を壊す」、「シンナーを吸ったり薬を乱用する」、「麻薬や覚醒剤を使用する」、「学校にナイフなどの凶器を持ってくる」という項目であった。つまり、暴力と薬物乱用に対しては厳しいといえる(図T-Q 8-Nashville)。

図T-Q8-Fukushima



図T-Q8-Nashville



Q9. 生徒の問題行動に対して誰が対応すべきか

この設問にあげられたすべての問題行動において、福島市の教師はナッシュビル市と比べて、有意に「保護者」、「担任教師」、「学年主任・教育相談担当教員」、それに「養護教諭」が対応すべきであると考えている（表T-Q9）。養護教諭はわか国独自のものといっている人が多く、スクールカウンセラーの役割を期待されているといえよう。福島市の教師は、ナッシュビル市

のように問題行動の質を考慮して、それぞれの専門家が対応することを考えることよりも、ワンパターン化されて、共同の責任体制を重視しているといえる。

ナッシュビル市において、担任教師が特に対応すべき項目は、「クラスが崩壊状態にあること」であり、担任教師は学級経営に責任をもつべきとする考えであろう。注目すべきことは、「校長や教頭職の管理職」の役割で、ナッシュビル市では全般的に担任教師よりも管理職が問題行動に対応すべきとする傾向にある。ナッシュビル市の管理職が福島市のそれよりも対応すべき

とした項目は、「学校を無断でさぼること」、「いじめがあること」、「クラスが崩壊状態にあること」、「タバコを吸うこと」、「酒やビールを飲むこと」である。逆に、福島市の管理職がナッシュビル市よりも対応すべきとした項目は、「先生を脅かしたり暴力を振るうこと」、「夜中まで盛り場で遊んでいること」、「家出をすること」であり、これらは担任では責任が負えない問題であり、警察が対応すべき問題行動でもある。

警察が対応すべき問題行動をみると、福島市よりもナッシュビル市で問題にしているのは、「学校を無断でさぼること」、「学校にどうしてもいけないこと」、「生徒間で暴力行為があること」、「学校のを壊すこと」、「親に無断で外泊すること」である。特にナッシュビル市では、不登校問題には警察の関与を考えている点は注目すべき点であり、また、担任よりもスクールカウンセラーやスクールサイコロジストの関与すべきことがらと考えている。

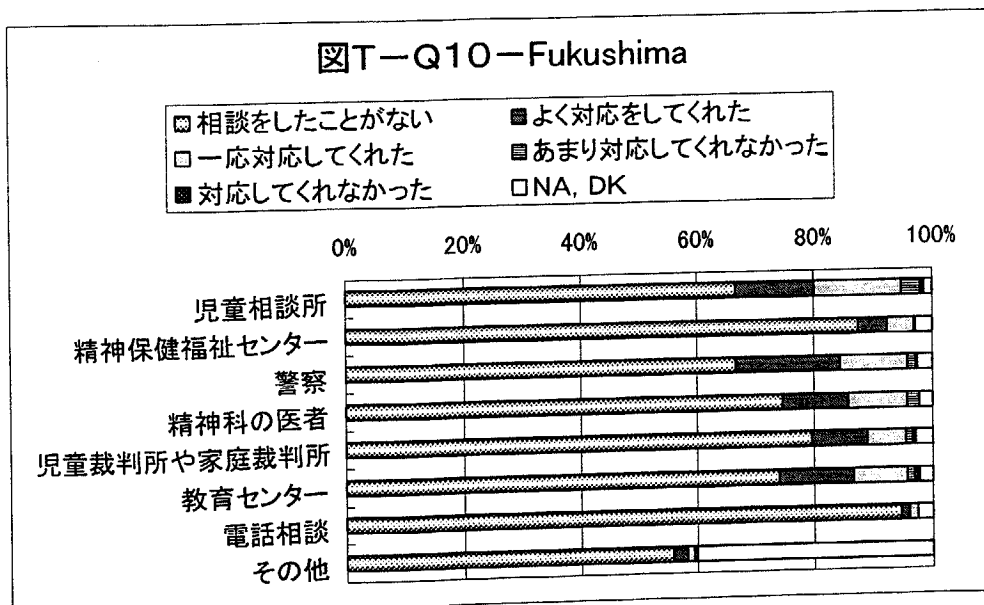
わが国ではスクールカウンセラーに比べてスクールサイコロジストが少ないが、ナッシュビル市では、スクールサイコロジストは専門的な立場からの対応を広く求められている。福島市ではスクールサイコロジストの役割を一部「児童相談所等の公立の相談所」が担うことが期待され、「生徒間で暴力行為がある」、「先生

を脅かしたり暴力を振るうこと」、「学校のを壊すこと」、「シンナーを吸ったり薬を乱用すること」、「覚醒剤や麻薬などの薬物を使うこと」といった問題には、ナッシュビル市よりも児童相談所が対応すべきとしている。

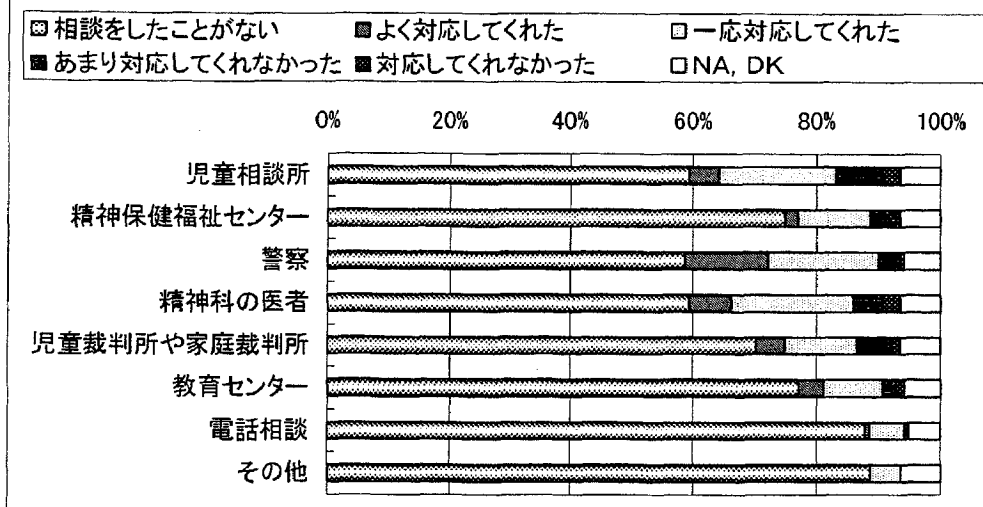
この他、教育センターは福島市の方が利用されており、教育委員会に関しては両市に大きな差はない。教育委員会について、福島市の方が有意に対応すべきとしたのが、「クラスが崩壊状態にあること」、ナッシュビル市の方が有意に対応すべきとしたのが、「学校を無断でさぼること」であった。

Q10. 学校で対処できない問題行動をどこで相談するか

この設問は学校の外にある社会資源を実際どの程度利用しているかを問うているが、全体的にみて、福島市の教師よりもナッシュビル市の教師の方が利用度が高いといえる(表T-Q10)。精神保健福祉センター、精神科医、児童相談所、家庭裁判所、電話相談においてはいずれもナッシュビル市の教師の方が利用度が高い。両市で有意な差がみられなかったのは、警察と教育センターであった。



図T-Q10-Nashville



Q11. 生徒の問題行動の理由をどう考えるか

生徒の問題行動の理由として、両市ともに、「子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなってきている」をあげる率が高く、また「子ども同士の相互関係に問題がある」という項目でも有意差みられなかった(表T-Q11)。つまり、規範意識の低下と人間関係の歪みは共通するところであろう。

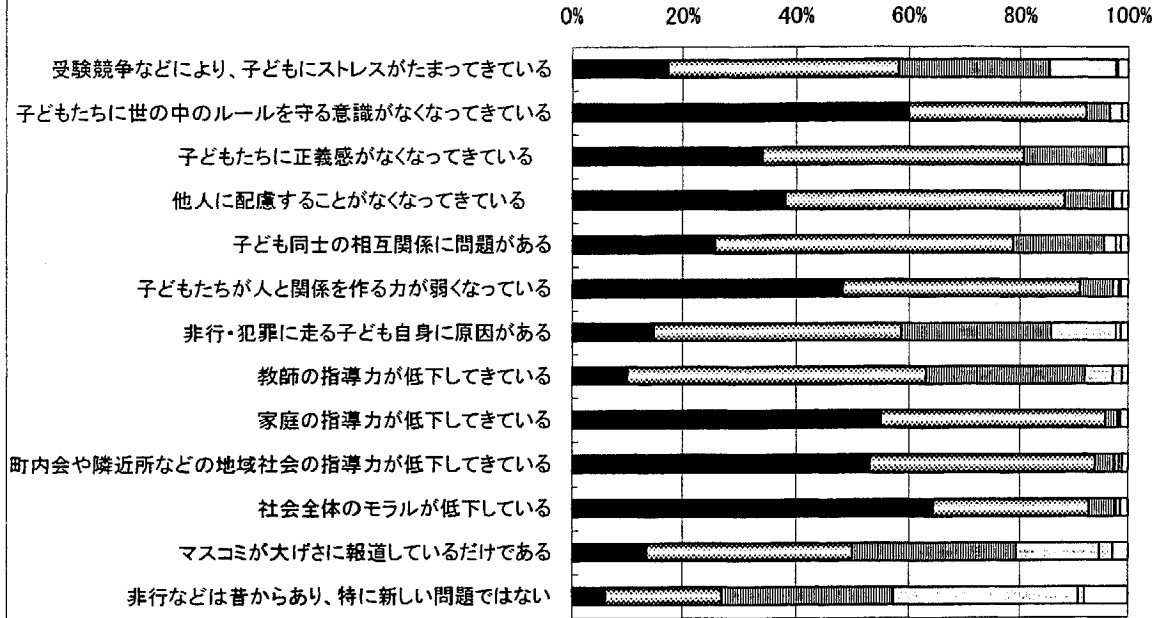
一方、福島市の教師が問題行動の理由として特にあげるのは、「子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている」、「教師の指導力が低下している」、「家庭の指導力が低下している」、「町内会や隣近所などの地域社会の指導力が低下してきている」、「社会全体のモラル

が低下している」、「受験競争などにより、子どもにストレスがたまってきている」である。人間関係の希薄さは、子どもの世界だけの問題ではなく、大人からさらに地域まで広がっているということであろう。

他方、ナッシュビル市の教師は問題行動の理由として、「子どもたちに正義感がなくなっている」、「他人に配慮することがなくなっている」をあげて、子ども自体の変化に注目している。同時に、ナッシュビル市では福島市よりも有意に「マスコミが大げさに報道しているだけ」、「非行などは昔からあり、特に新しい問題ではない」を指摘する人が多く、生徒の問題行動は今さら問題にする事柄でないという人が多い。

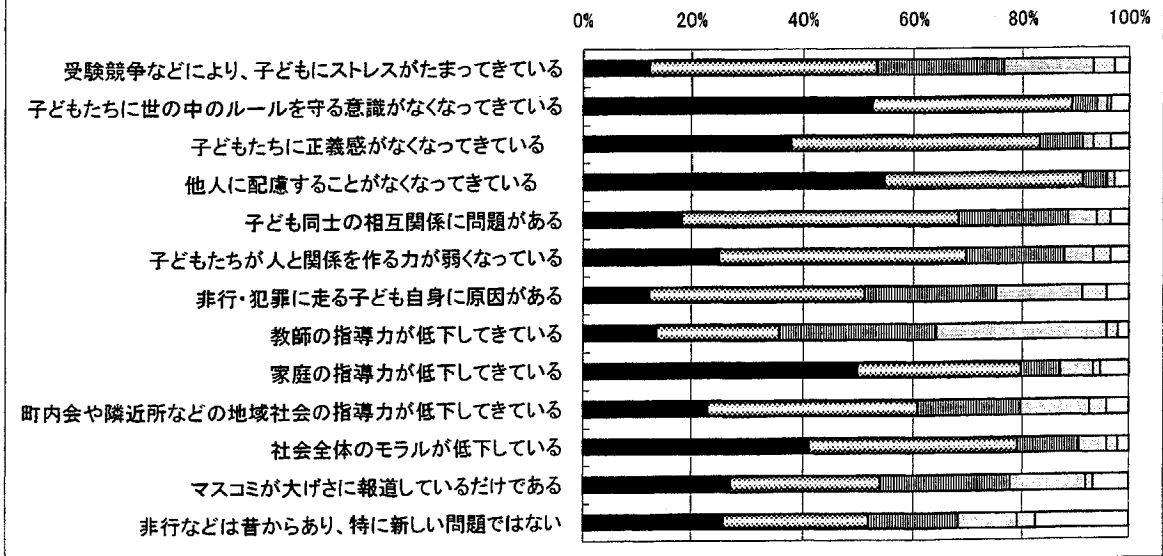
図T-Q11-Fukushima

■ そう思う □ ややそう思う ▨ あまりそう思わない □ そう思わない □ わからない □ NA



図T-Q11-Nashville

■ そう思う □ ややそう思う ▨ あまりそう思わない □ そう思わない □ わからない □ NA

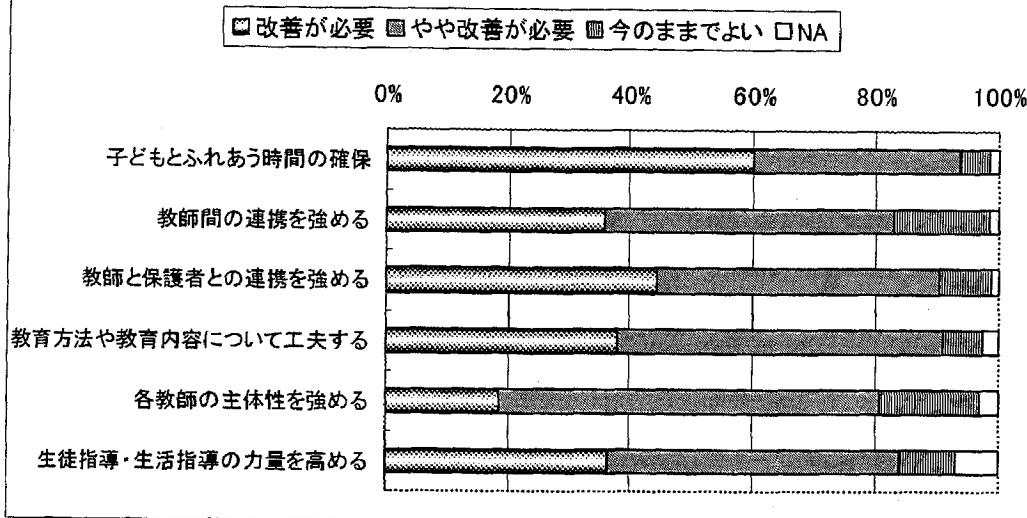


Q12. 生徒の問題行動の解決に学校が早急に取り組むべきことは何か

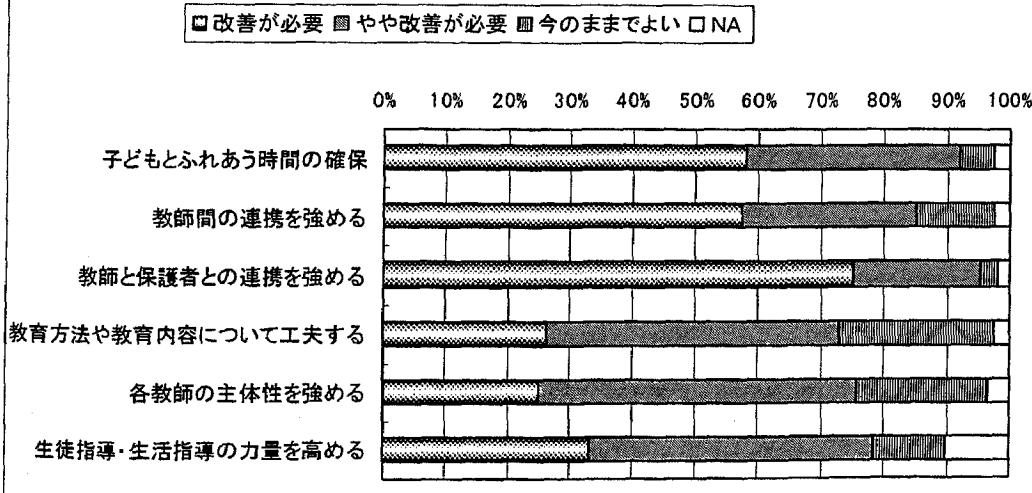
生徒の問題行動の解決に学校が早急に取り組むべきこととして、両市の教師共に「子どもとふれあう時間の確保」をあげる。また、「生徒指導・生活指導の力量を高める」という点でも両市に差が認められない。

他方、福島市の教師は、「教育方法や教育内容について工夫をする」を特に強調するのに対して、ナッシュビル市の教師は、「教師と保護者との連携を強める」、「教師間の連携を強める」を特にあげる。つまり、福島市の教師は個人の力量を高めることに関心があるのに対して、ナッシュビル市では教師や保護者間の連携を重視しているといえよう。

図T-Q12-Fukushima



図T-Q12-Nashville



まとめ

以上、福島市とナッシュビル市の中学校教師を対象にして、子どもの問題行動に関する調査結果を報告したが、その結果をまとめると以下ようになる。

1) 福島市の教師は、生徒のほとんどの問題行動について、「とても悪い」と評価し、かつ、担任はそれらすべてに対処すべきだと考えている。これは問題行動の質や専門家の役割分担を考慮するナッシュビル市の教師と著しく異なる点である。福島市の教師がほとんどの問題行動に対処すべきだと考えているのは、倫理観と責任感が優先されており、その結果、多くの問題を抱え込みすぎているのではないかと考えられる。この特徴は、福島市の教師だけの特徴ではなく、多くの日本人教師にもいえることであろう。

2) こうした厳しい倫理感をもつ日本の教師ではあるが、ただ一つ、「学校にどうしも行けない」ことには寛容である。これはわが国の学校では不登校が特別の問題行動であることを示しており、日本の教師には特別の理解が浸透しているからであろう。不登校問題の対処に関して、両市でスクールカウンセラーの介入に有意差がみられなかったが、福島市では、保護者、担任教師、学年主任・教育相談担当教員、それに養護教諭が中心となって対応すべきとする。他方、ナッシュビル市では、不登校に対しては、教師よりもスクールカウンセラーやスクールサイコロジストという専門家が対処すべきであると同時に、校長などの管理職、それに警察が対処すべきであると考えており、この問題を法的にも扱うという姿勢がみられる。

3) 福島市では、すべての問題行動に担任教師と保護者が対処すべきだという考えが非常に強いが、教師が保護者をどうみているかといえば、親が過保護、利己主義であるという批判がナッシュビル市よりも強い。親が子どもを放任しているという傾向は、両市に有意差がなかったものの、ナッシュビル市の教師は親と連携・協力関係ができていないことを問題視している。ナッシュビル市の教師はこうした連携の必要性を感じているためか、福島市よりも学校外の社会資源の活用を行っている。

4) 教師が生徒をどうみているかであるが、福島市の教師は、我慢できない、友人関係がつかれない、勇気がないといった生徒の変容は、物質的に恵まれているが、受験等のストレスがある社会環境の中で起きていると考えている。他方、ナッシュビル市では、生徒自身の中に学習意欲、正直さ、優しさ、責任感、大人

への尊敬等がなくなるとみている。福島市の教師は生徒の問題行動すべてを問題視するのに対して、ナッシュビル市の教師は特に授業妨害、暴力、薬物乱用に対しては厳しい見方をしている。また、ナッシュビル市では、学級崩壊に関しては担任教師が対処すべきとするものの、多くの問題行動は担任よりも校長のような管理職が対応すべきだと考える傾向にある。ここでも、責任分担がみられ、担任教師の抱え込みは少ないとみることができるであろう。

5) 日本ではスクールカウンセラーやスクールサイコロジストといった専門家が少ないが、それを補っているのが養護教諭の役割であろう。養護教諭への期待は多岐にわたるが、特に、不登校、いじめ、喫煙、飲酒、薬物乱用への対処が求められている。

6) 生徒の問題行動の解決に学校が早急に取り組むべきこととして、「子どもとふれあう時間の確保」、「生徒指導・生活指導の力量を高める」という点では両市に差が認められない。一方、福島市の教師は、「教育方法や教育内容について工夫をする」を特に強調するのに対して、ナッシュビル市の教師は、「教師と保護者との連携を強める」、「教師間の連携を強める」を特にあげる。これは、福島市の教師は保護者や教師との連携に普段から時間をさいているので、教育に力をいれたいということであろうし、ナッシュビル市では普段不足している教師や保護者間の連携を重視していることを意味するであろう。

3-4 保護者用アンケート

—子どもの問題行動に関する保護者の意識—

ここでは、アンケート調査の結果を通して福島市とナッシュビル市における保護者の子どもの問題行動に関する意識について検討を加える。

アンケート調査の回答数は、福島市の760に対し、ナッシュビル市は280にとどまった。生徒の回答数から勘案すれば、福島市の回答率が100%に近いのに対し、ナッシュビル市の回答率は30%台前半程度と推測される。また、ナッシュビル市においては、調査先との関係から、一部の質問項目が変更されている。そのため、両者を同列に比較することは困難であると考えられるが、このような調査が前例のないものであり、新たな知見が得られる可能性が高いことから、ここでは、このまま分析を続けることにしたい。

Q1. このアンケートに回答して下さる方はどなたですか。

ここでは、回答者と調査対象となる中学校2年生の生徒（以下、「子ども」と略す）との関係を問うたものである（表3-4-Q1）。質問用紙では、子どもと最も関係の深い保護者に回答を求めており、家族内での子どもと保護者との関係をここからうかがうこともできる。

表3-4-Q1 回答者と子どもとの関係

	福島市		ナッシュビル市	
	人数	割合	人数	割合
父	69	9.1	30	10.7
母	680	89.5	221	78.9
義理の父	0	0.0	0	0.0
義理の母	0	0.0	2	0.7
祖父	0	0.0	0	0.0
祖母	4	0.5	14	5.0
親戚	1	0.1	2	0.7
兄	0	0.0	1	0.4
姉	0	0.0	2	0.4
その他	2	0.3	7	2.5
無回答	4	0.5	1	0.4

【福島市】

福島市は回答者の89.5%を母親が占める。従来より指摘されているように、母親と子どもとの関係が密接であることがうかがわれる。また、父親の比率は9.1%

であり、両者を併せると98.6%に達する。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市においても、回答者で最も多いのは母親で、全体の78.9%を占める。一方、父親の回答率は10.7%で、福島市と大差なかった。両者の合計は89.6%である。ナッシュビル市においては、「祖父」「その他」などの比率がやや高く、それが両親の合計の比率を低下させている。

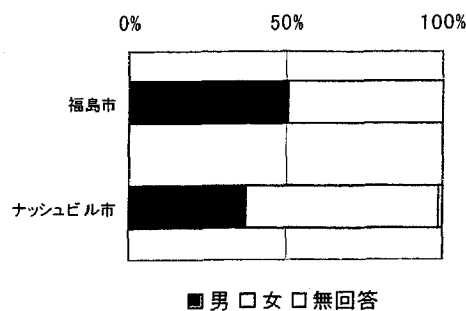
【両市の比較】

両市を比較すると、両市とも回答者に母親の占める比率が圧倒的に高い。福島と同様、ナッシュビルにおいても、程度の差はあれ、家族関係の中では母子関係が最も密接であることがうかがわれる。両市の間で、父母の合計値に約10ポイントの差が見られるが、これは両市の家族構成の差を反映している可能性がある。ただし、前述のようにナッシュビル市の回答率は低いいため、この点は即断できない。

Q2. お子さまの性別はどちらですか。

この質問は、調査対象となった子どもの性別を問うたものである（図3-4-Q2）。福島市がほぼ男女半々であるのに対し、ナッシュビル市は61.8%が女子であり、差が著しい。この理由については不明である。

図3-4-Q2 子どもの性別



Q3. お子さまとあなたまたは他の保護者の方が平日に話し合う時間は1日あたりどれくらいですか。

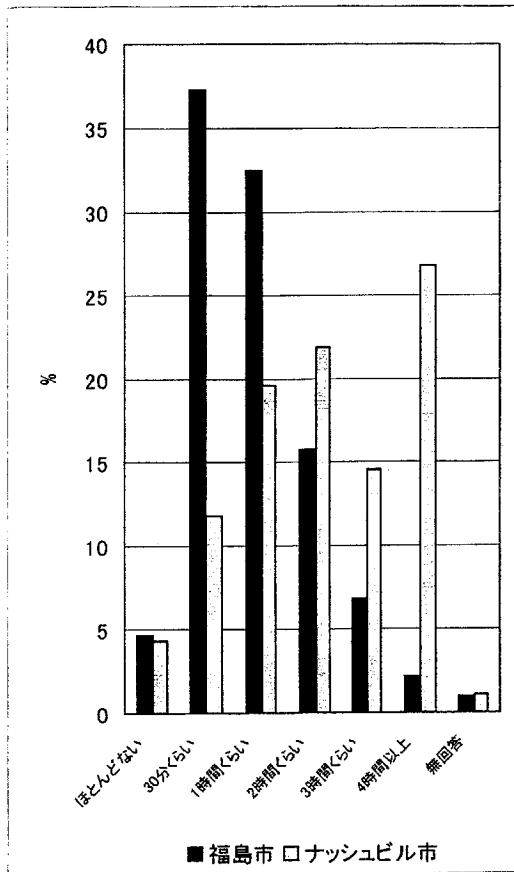
この質問は、子どもと保護者が日常的にどれくらい深く関係を持っているかを問うたものである（図3-4-Q3）。なお、この質問は家族合計を問うており、その対象は必ずしも回答者に限定されない。

【福島市】

福島市で最も多い回答は、「30分くらい」の37.2%で、「1時間くらい」の32.5%がこれに次ぐ。約7割

の家庭で、子どもとの語らいが1日1時間以内となっている。繰り返すが、これは家族全員の会話時間の合計であり、福島市の場合、親子の会話が著しく少ない状態になっている。

図3-4-Q3 子どもと話す時間



【ナッシュビル市】

ナッシュビル市で最も多い回答は「4時間以上」の26.8%であり、「2時間くらい」の21.8%がこれに次ぐ。全体の6割以上の家庭で、毎日2時間以上の会話がなされている。「1時間以内」は全体の3割強に過ぎない。家族の会話が毎日長時間なされていることが分かる。

【両市の比較】

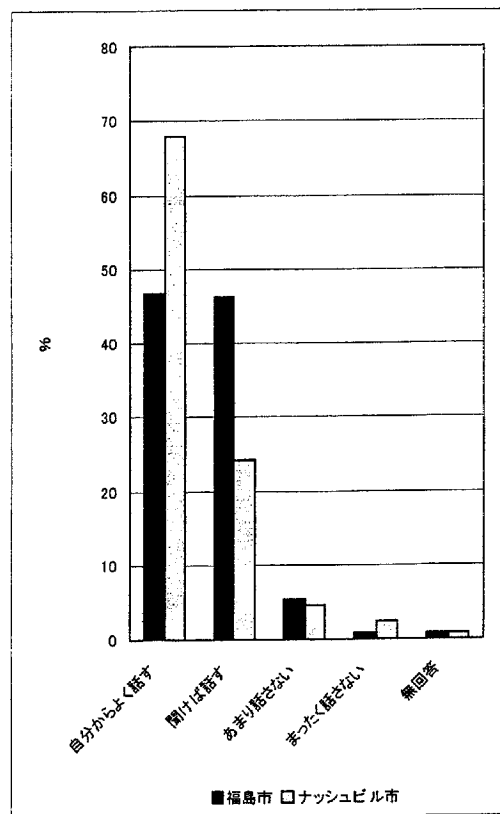
この質問項目では、両市間に著しい回答の差があった。ナッシュビル市に比較し、福島市では家族（親子）の会話が著しく少ない。一般に、日本においては家族の関係が濃密であると言われてきたが、この調査結果はこのような一般論に疑問を投げかけるものである。このような会話の減少－相互理解の欠如－が様々な問題行動の基にあるのではないかと推測される。

Q4. お子さまはあなたに学校や友達のことをよく話しますか。

この質問も、前問に引き続き、家族の対話状況を問うたものである（図3-4-Q4）。

福島市では、「自分からよく話す」との回答が最も多く46.7%を占め、「聞けば話す」の46.3%がこれに次ぐ。全体の9割以上の家庭で学校に関する会話がなされていることが分かる。これに対し、ナッシュビル市では「自分からよく話す」の回答が67.9%を占め、学校に関する話が子どもと活発になされていることがうかがわれる。「聞けば話す」との合計は福島市とほぼ同じであるものの、ナッシュビル市の方が、家族との対話が活発であることが、ここからも裏付けられる結果となった。

図3-4-Q4 学校などに関する子どもとの会話

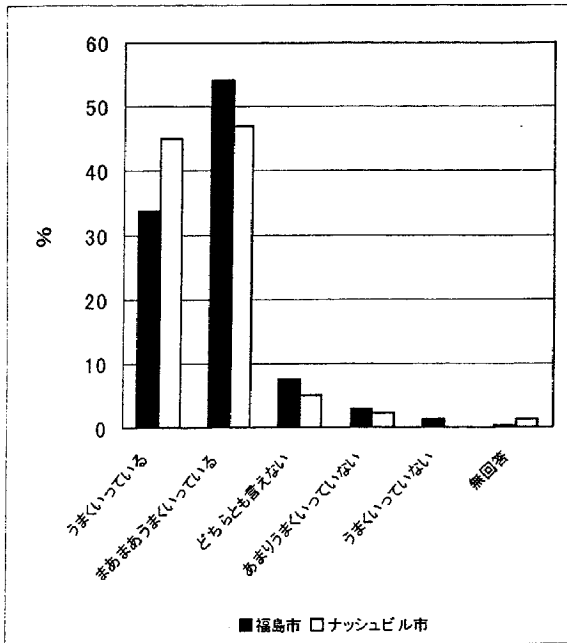


Q5. あなたの家の家族関係はうまくいっていると思いますか。

この質問は、家族関係に関する自己評価を求めたものである（図3-4-Q5）。

福島市においては、「まあまあうまくいっている」が54.1%と最も多く、「うまくいっている」の33.9%が

図3-4-Q5 家族関係の自己評価



これに次ぐ。両者の合計は88%に達し、家族関係が良好な家庭が多いことがうかがわれる。一方、ナッシュビル市は「まあまあうまくいっている」が46.8%で最も多く、「うまくいっている」の45.0%がこれに次ぐ。選択肢の順位は同じであるが、「うまくいっている」の割合が福島に比べて10ポイント以上高いことが注目される。前2問の評価とも合わせ、ナッシュビル市の方が、家族関係について強い自信を持っていることがわかる。

Q6. あなたまたは他の保護者の方がお子さまとよく一緒にされていることがありますか。

この問は前問を受け、家族の中でよく行われるレクリエーションの種類について問うたものである(図3-4-Q6)。

【福島市】

福島市において、保護者と子どもの間で最もよく行われているレクリエーションは「テレビ・ビデオを見る」の81.3%で、「買い物をする」(74.1%)、「ドライブする」(33.2%)、「旅行に行く」(31.2%)、「料理をする」(26.3%)が続く。過半数の家庭で行われているのは上位の2つだけで、多くの家庭で共通して行われるレクリエーションは比較的少ない。また、回答数の合計は1家庭平均4.0であり、行われているレクリエーション活動はそれほど活発ではない。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市において、保護者と子どもの間で最もよく行われているレクリエーションは「テレビ・ビデオを見る」の84.6%で、「買い物をする」(75.7%)、「繁華街(モール)に行く」(64.3%)、「旅行に行く」(63.9%)、「教会に行く」(63.2%)、「料理をする」(55.7%)、「ドライブする」(55.4%)、「映画に行く」(54.3%)の順に続く。8項目が過半数の家庭で行われており、多くの家庭で共通して行われているレクリエーションが多い。また、回答数の合計は1家庭平均7.8であり、各家庭でレクリエーション活動が活発に行われていることがうかがわれる。

【両市の比較】

この質問項目においても、両市の差が大きく現れた。まず家庭で行われるレクリエーション活動の種類が、ナッシュビル市は福島市の倍近い水準に達している。また、ナッシュビル市では多くの家庭で共通して行われているレクリエーションが多い。両市の間では文化的な差も大きく、単純に比較することは危険ではあるが、レクリエーション活動は家族の絆を深める重要なものの一つであり、その多さは家族のつながりの強さを示していると考えられる。

Q7. あなたは日頃お子さまにどのようなことを特に注意し、指導していますか。

この質問は、保護者が子どもを指導するポイントを問うたものである(図3-4-Q7)。なお、回答は3つ以内である。

【福島市】

福島市で最も多い回答は「起床時間、食事等の生活習慣」で、46.8%、次いで「言葉づかい」の44.3%、「学校の成績」の43.8%、「お金の使い方」の31.1%、「外出先や遊びの内容」の28.0%、「服装や髪型」の23.3%となる。全体的に生活指導面に中心がおかれ、勉強等に関する内容は少ない。これは調査時点が中学校2年生の1学期であり、生活指導面の課題が、特に重視される時期であったことも影響していると考えられる。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市で最も多い回答は「学校の成績」の69.3%で、「進学」の38.6%、「外出先や遊びの内容」の35.4%、「言葉づかい」の34.6%がこれに次ぐ。勉強面の指摘が生活指導面を上回るが、これは学校制度の影響があると考えられる。すなわち、日本が6・3・3制をとっているのに対し、ナッシュビル市のあるテ

図 3-4-Q6 家族で行うレクリエーション

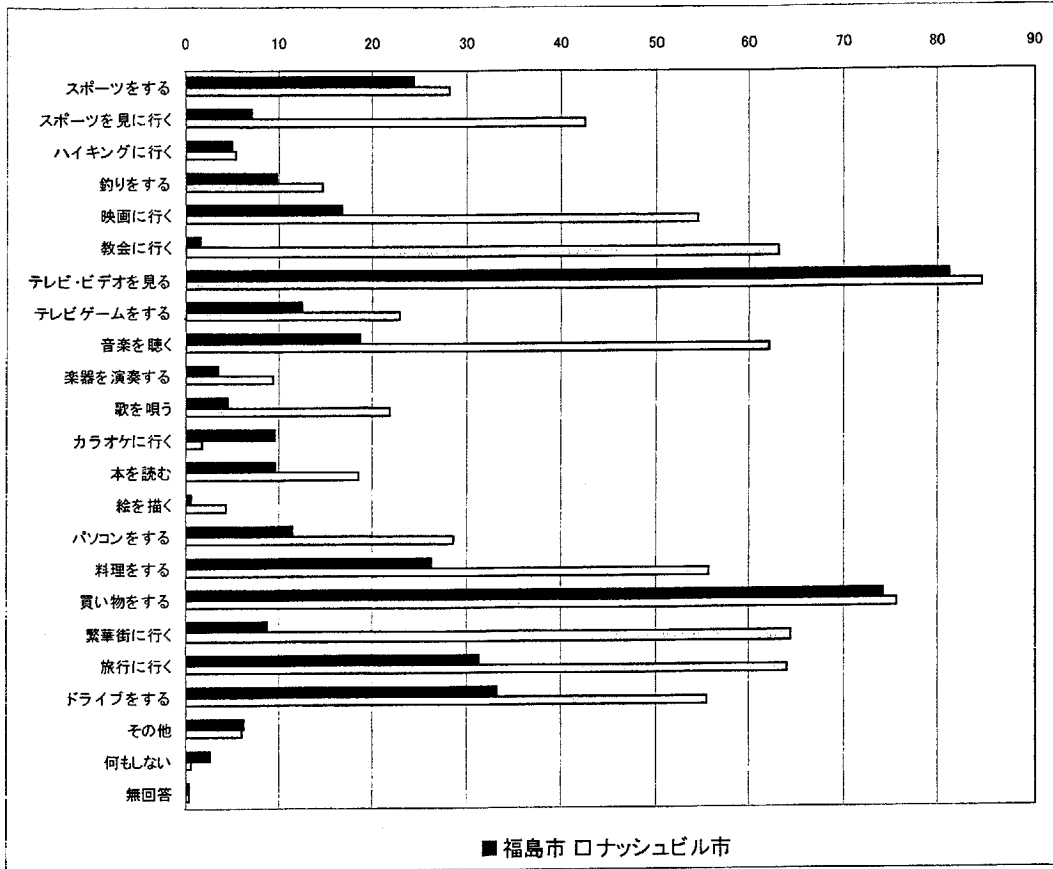
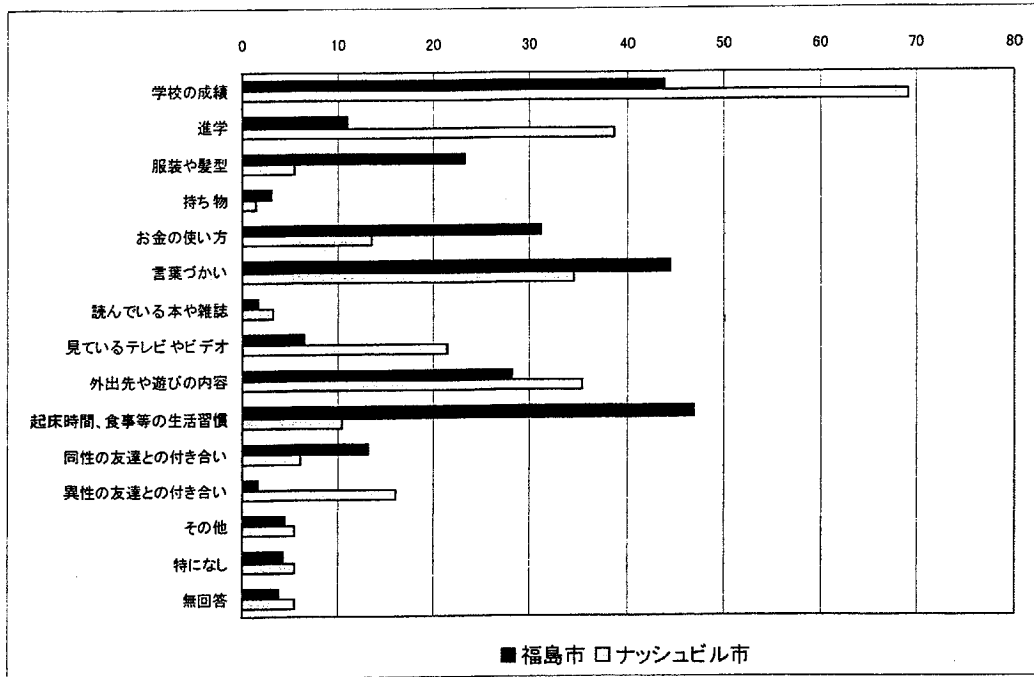


図 3-4-Q7 保護者が子どもに主に注意していること



ネシー州は6・2・4制をとっており、ナッシュビル市では中学2年は受験の年にあたる。アメリカにおいても進学競争は激しく、それがこのような結果となって現れたものと考えられる。

【両市の比較】

この質問では、生活指導を重視する福島市と勉強面を重視するナッシュビル市という、両市の違いが明確に現れた。日本においては、日本の受験競争が特に激しいと考えられているが、アメリカにおける競争は、日本よりも激的な側面を持っている。学校制度の違いを勘案しなければならないものの、ナッシュビル市においても勉強面の競争は激しく、日本以上に子どもにプレッシャーを与えていると考えられる。

また、全体的な比率はそれほど高くはないものの、交友面においては、福島市が同性との交友関係に注意する回答が多いのに対し、ナッシュビル市では異性との交友に注意する回答が多い。福島市とナッシュビル市とでは、異性との交友関係に差があるものと考えられる。

Q8. あなたはお子さまにどのような人間になってほしいと思いますか。

この質問は、保護者に子どもを育てる上での基本方針を問うたものである(回答は3つまで、図3-4-Q8)。

【福島市】

福島市における保護者の子どもの養育方針として、圧倒的多数を占めるのが「自分の行動に責任を持つ人間」(61.8%)である。次いで、「正直な人間」(28.2%)、「自立した人間」(26.3%)、「自分に自信のある人間」(23.4%)、「自分の好きなことをやっていく人間」(22.6%)、「親切でやさしい人間」(22.2%)の順に続く。これに対し、「有名な人間」「高い地位につく人間」「勉強のできる頭のいい人間」「経済的に成功する人間」「リーダーシップを発揮する人間」「勇気のある人間」「正義感の強い人間」などの回答は少ない。

この回答の内容を分析することは難しい。「自分の行動に責任を持つ人間」からは強い意志を持ち、主体

図3-4-Q8-1 子どもに期待する人間像(福島市)

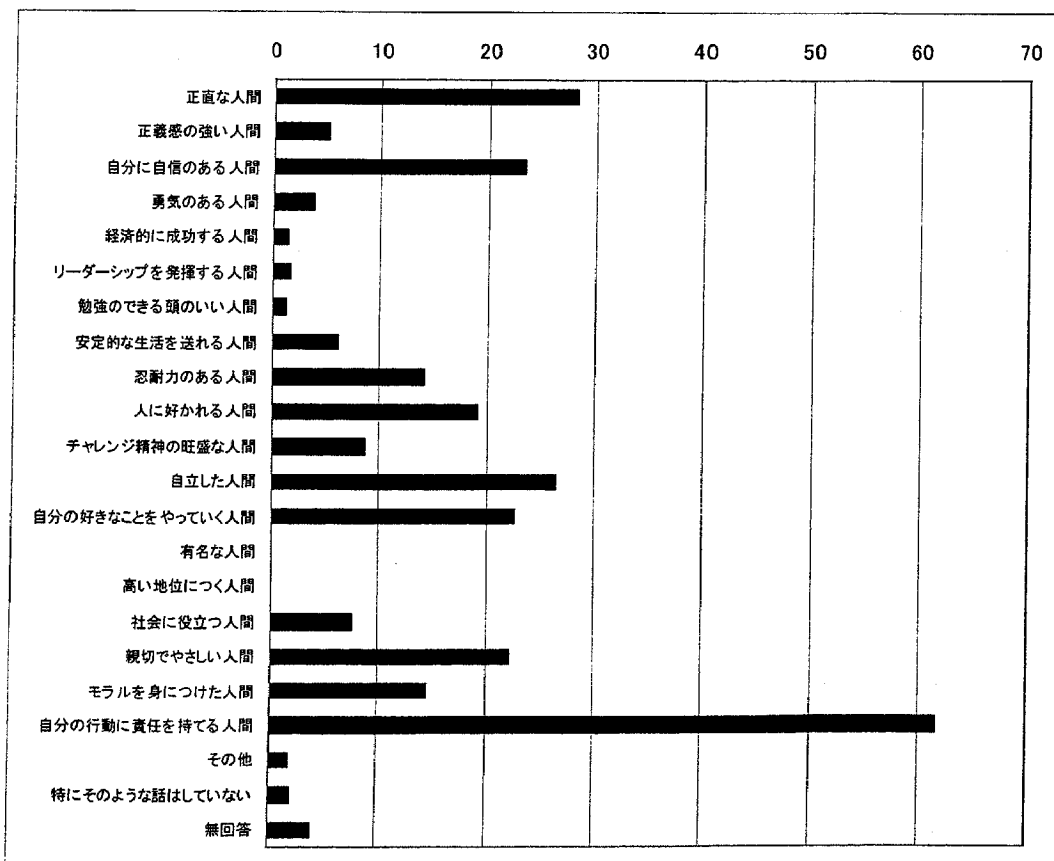
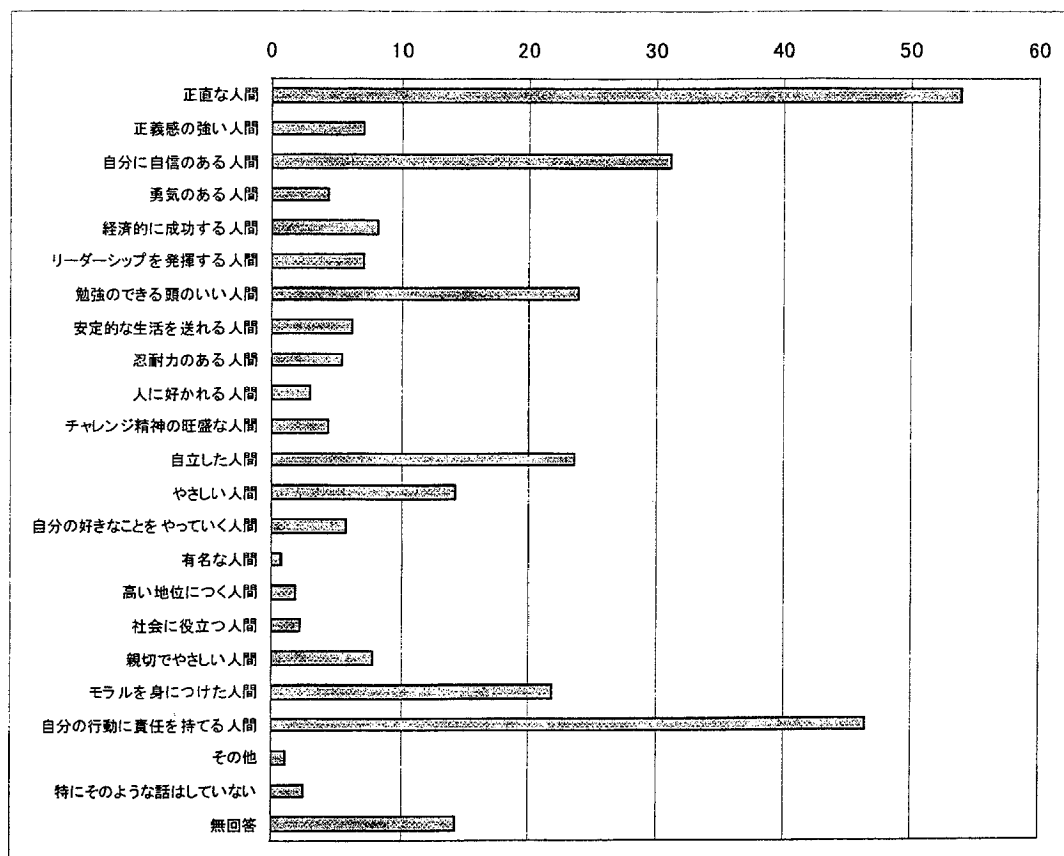


図 3-4-Q8-2 子どもに期待する人間像（ナッシュビル市）



的に、活発に活動するような人間像あるいは社会正義に沿って行動し、道徳性の高い人間像などが連想される。しかし、前者に類する選択肢として比較的多く取り上げられているのは「自立」「自信」だけで、「リーダーシップ」「勇気」「チャレンジ精神」等はあまり取り上げられていない。また、「勉強ができる」「経済的に成功する」などもこれに反するものではないが、選択は少ない。また、後者に類する選択肢である「正義感」「モラル」「社会に役立つ」などの回答も少ない。

全体的に社会的にプラスのイメージのある選択肢を羅列的に取り上げられた感があり、統一性に欠ける印象がぬぐえない結果となっている。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市において保護者の子どもの養育方針として過半数の保護者が指摘しているのは「正直な人間」(53.9%)である。次いで「自分の行動に責任を持てる人間」(46.4%)、「自分に自信のある人間」(31.1%)、「勉強のできる頭のいい人間」(23.9%)、「自立した人間」(23.6%)、「モラルを身につけた人間」(21.8%)の順に続く。これに対し、「有名な人間」「高い地位に

つく人間」「社会に役立つ人間」などの回答は少なくなっている。

ナッシュビル市においては、「正直」「行動に責任を持つ」「モラルを身につけている」など、比較的「自己責任」に関する回答が多くなされている。しかし、その一方で「正義感が強い」「勇気がある」など、これに類似すると考えられる項目の回答数は少なく、社会に対し消極的な、あるいは受け身の姿勢が伺われる。これに対し、「リーダーシップを発揮する」「チャレンジ精神が旺盛」「経済的・社会的に成功する」など、日本ではアメリカ人に特徴的な行動と考えられているような回答の比率は小さい。

ナッシュビル市の保護者は、社会に対し比較的、消極的でモラルを持った行動をする人間像を子どもに期待していると考えられる。

【両市の比較】

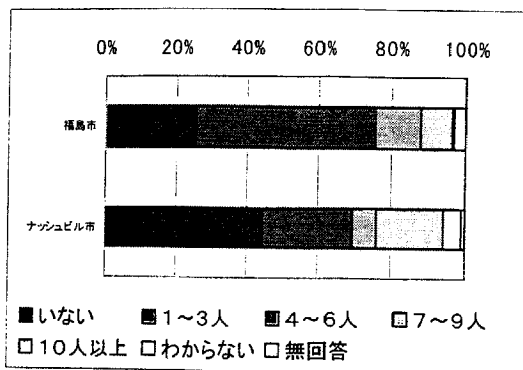
この質問では、保護者は両市ともモラルを持って行動する人間像を子どもに求めていることが明らかになった。しかし、福島市においては全体的に社会的にプラスのイメージがある選択肢が選択される傾向が伺わ

れ、また、ナッシュビル市では比較的消極的な姿勢が認められる。両市とも、子どもに期待する強い人間像を保護者はあまり強く持っていないと考えられる。

Q9. お子さまが付き合っている親しい友人は何人くらいいると思いますか。

この問いは子どもの交友関係とその範囲などを問う一環の質問の一つである(図3-4-Q9)。親しい友人の数は福島市では4~6人が約半数を占めるのに対し、ナッシュビル市では1~3人が最も多い

図3-4-Q9 交際している親しい友人の数



という結果になった。親しい友人がいないとの回答も、わずかではあるがナッシュビル市が福島市を上回っている。一般に、アメリカ人は社交性に富み友人が多いとのイメージがあるが、この調査結果は逆の傾向を示している。ただし、後の質問と合わせて考えると、別の姿も浮かび上がる。

Q10. お子様の交友関係で気になることはありますか。

この質問は、子どもの交友関係の問題点について問うたものである(図3-4-Q10)。

【福島市】

福島市では、約3分の2の保護者が「特に気になることはない」と回答しており、交友関係の問題は少ないものと考えられる。最も多く指摘されている問題点は、「友人はいるが親友はいないようだ」の21.1%である。前問では「親しい友人」の数がかなり多く回答されていたが、その一方で「親友」がいないと指摘されており、友人は多いもののその付き合いは表面的なものにとどまっている傾向が読み取れる。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市では「特に気になることはない」との回答は半数に満たず、多くの保護者が交友関係に問題点を感じている。特に異性との付き合い方と、友人

図3-4-Q10 子どもの交友関係の問題点

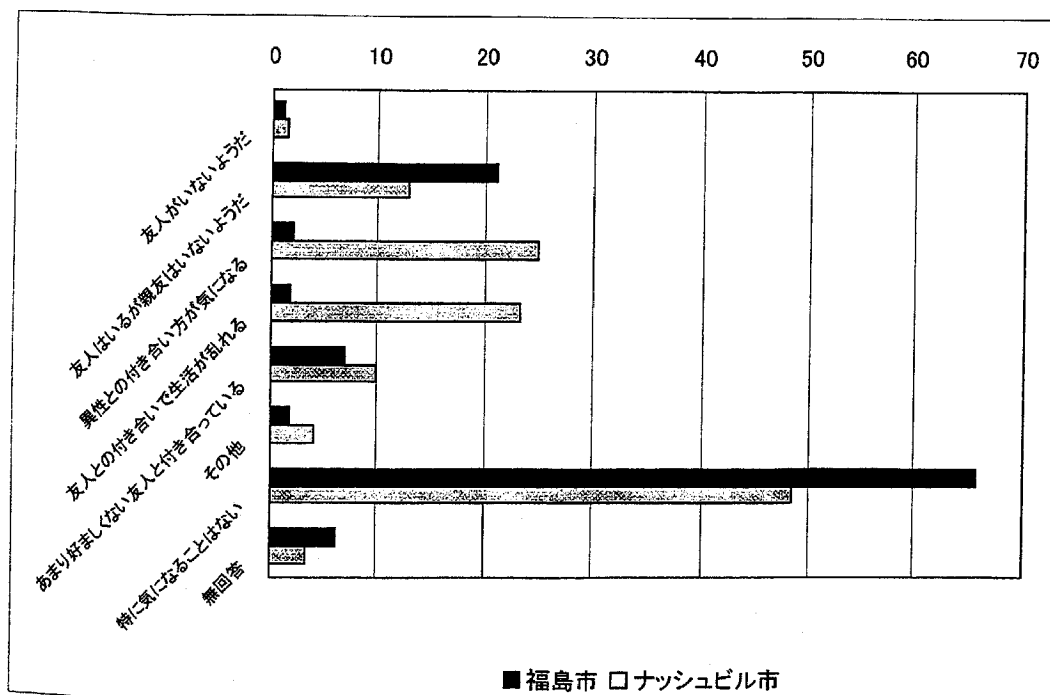
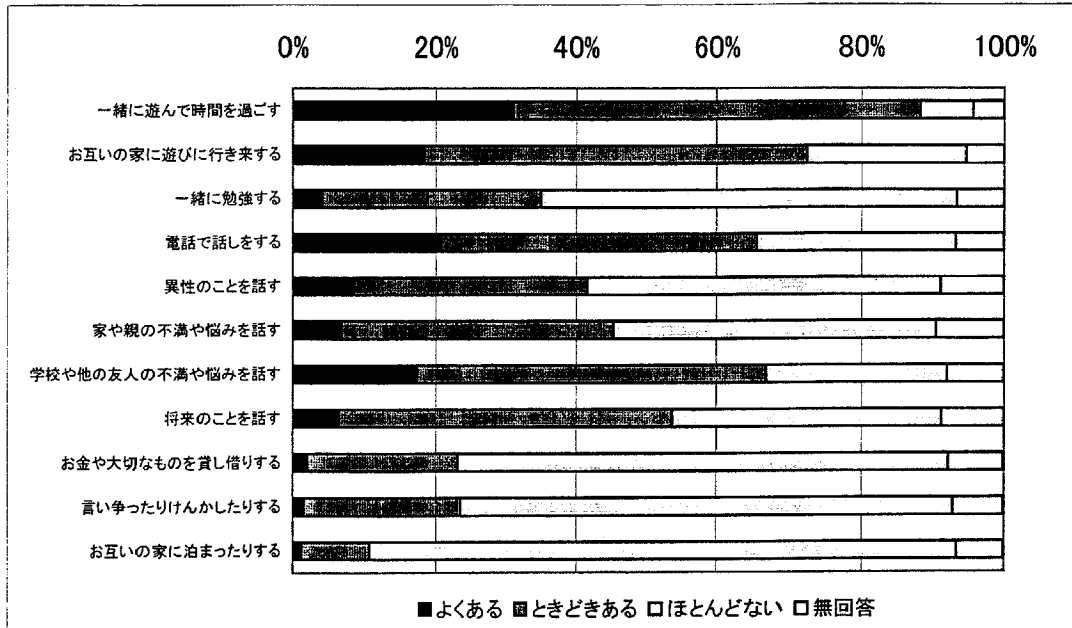


図 3-4-Q11-1 子どもの交友関係の内容（福島市）



との交友から生活が乱れることを懸念する意見が目立つ。これに対し、「友人はいるが親友はいない」との回答は比較的低い比率にとどまっており、前問との矛盾はない。

【両市の比較】

両市を比較すると、ナッシュビル市の方が交友関係に関して問題点を多く認識していることがわかる。交友関係に関する問題点の指摘の比率は単純に見れば福島市の6倍に達しており、子どもの交友関係に対する保護者の目は厳しい。一方、福島市では交友関係に問題を感じている保護者は全体の1割程度に過ぎず、逆にその比率の低さが気にかかる結果となった。

Q11. お子様は仲のいい友達との付き合いの中で、次のようなことをしていると思いますか。

この質問は、子どもの交友関係の内容を問うたものである（図3-4-Q11）。

【福島市】

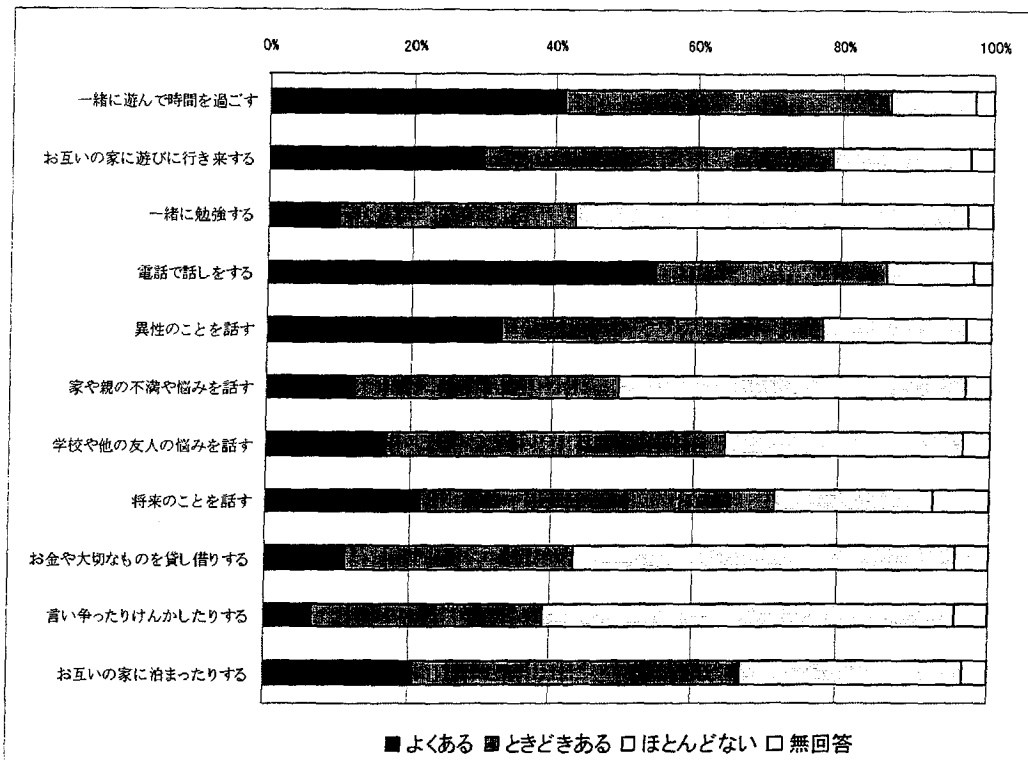
福島市において最もよく行われているのは「一緒に遊んで時間を過ごす」で、「学校や他の友人の不満や悩みを話す」「電話で話をする」がこれに次ぐ。ただし、前者と後二者の間では「ほとんどない」の回答に20ポイント近い差があり、「一緒に遊んで過ごす」比率の高さが際立っている。これに対し、「お互いの家に泊ま

ったりする」「言い争ったりけんかしたりする」「お金や大切なものを貸し借りする」などのような、きわめて親しい間柄でしか行われなようなことは「ほとんどない」の比率がきわめて高く、前問で回答されたように、親友の少なさがうかがわれる。また、「一緒に勉強する」「異性のことを話す」「家や親の不満や悩みを話す」など、思春期の青年であるならばあたりまえに行われているであろう項目についても「ほとんどない」の比率が高い。子どもの交友関係の希薄さが懸念される。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市においては、「一緒に遊んで時間を過ごす」「電話で話をする」「お互いの家に遊びに行き来する」「異性のことを話す」ことなどが最もよく行われている。比較的長時間のコミュニケーションを必要とするような行動が多くとられていると言える。また、学校や他の友人、将来に関する悩みなども多く話合われており、友人同士のつながりが極めて密接であることがわかる。一方、「ほとんどない」回答が多い項目は「言い争ったりけんかしたりする」「お金や大切なものを貸し借りする」「一緒に勉強する」「家や親の不満や悩みを話す」などであり、福島市の結果と共通している。

図 3-4-Q11-2 子どもの交友関係の内容（ナッシュビル市）



【両市の比較】

両市を比較すると、福島市に比べてナッシュビル市の方が深い交友関係が結ばれていることがうかがわれる。上記の項目のほかにも、「お互いの家に泊まったりする」では福島市とナッシュビル市の間で50ポイント以上の差があり、交流の密度がきわめて高いことがうかがわれる。また、両市で共通する「ほとんどない」が多数を占める項目においても、いずれもナッシュビル市の比率の方が低く現れている。このような深い交友が親友を作り上げているものと考えられる。

Q12. 子どもの次のような行為についてどのようにお考えですか。

この質問は、保護者が子どもの問題行動についてどのような認識をもっているのかを明らかにするものである（図3-4-Q12）。

【福島市】

福島市においては、不登校を意味する「学校にどうしてもいけない」に6割以上の保護者があまり悪いことではないとの認識を示している他は、ほとんどの項目で「とても悪い」との回答が目立ち、保護者の規範

意識はきわめて強いと考えられる。ただし、90%以上の保護者が「とても悪い」と回答した項目は「麻薬・覚せい剤」「シンナー」「暴力」「恐喝」など、言わば刑事犯罪に属する行為にとどまっている。また、法律違反となる行為であっても「万引き」「無免許運転」「暴行」「(学校の)器物損壊」などは「とても悪い」との回答は減少し、「悪い」との意識はあっても、その程度は低下している。また、「他人をいじめる」「友達の服などを脱がせる」「授業を妨害する」「喫煙」「飲酒」「深夜徘徊」「無断外出」「学校への凶器持参」など、学校での授業中の問題行動や生活指導上の問題などに関しても2割前後の保護者は「とても悪い」ことではないとの認識を示している。「授業中用もないのに席を離れる」「学校をサボる」に関しては、半分程度の保護者が「とても悪い」ことではないと考えている。他人に害を与えない限り、学校内での授業妨害や問題行動に対しては、比較的寛容な態度が目立っている。また、同様の傾向は「ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る」「異性と性的な関係を持つ」等にも認められる。

福島市の保護者の規範意識は基本的に強いものの、学校内部での問題行動生活上の問題、性的な行動など

図 3-4-Q12-1 子どもの問題行動に対する保護者の意識（福島市）

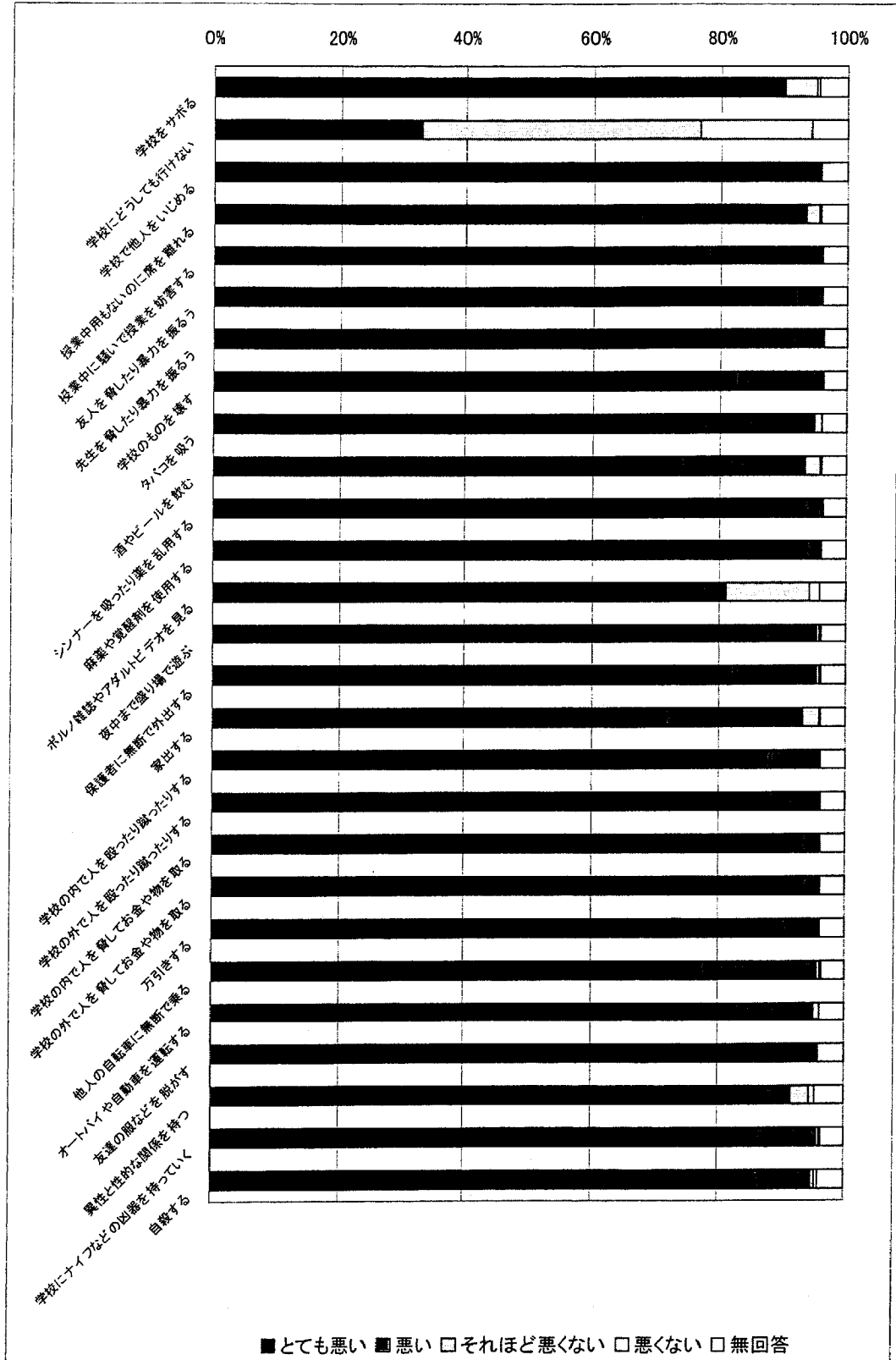
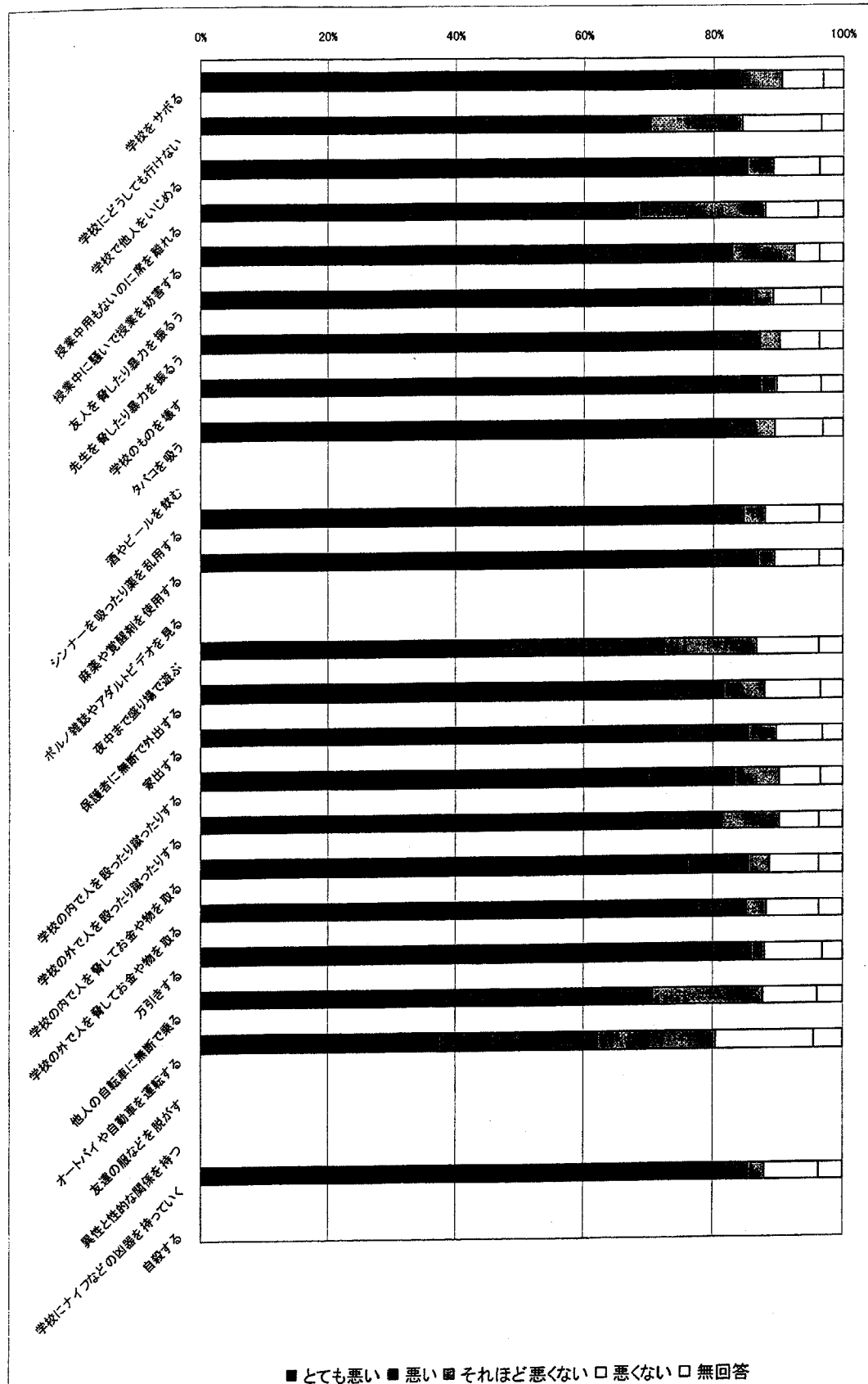


図 3-4-Q12-2 子どもの問題行動に対する保護者の意識（ナッシュビル市）



に関しては比較的寛容であるといえる。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市においては、「悪くない」と「それほど悪くない」を合計して30%を超えるのは「オートバイや自動車を運転する」のみであり、保護者の規範意識が強いことが伺われる。しかし、その一方で「とても悪い」が80%を超えるのは「先生を脅したり暴力をふるう」「シンナー・薬の乱用」「麻薬・覚醒剤の使用」「万引きをする」「学校に凶器を持っていく」の5項目のみであり、これらの行為が「悪い」ことであるとの認識は幅広く持つ一方で、「とても悪い」とは考えていない傾向が認められる。これは特に「授業中用もないのに席を離れる」「授業中に騒いで授業を妨害する」「オートバイや自動車を運転する」などの項目に顕著である。規範意識は強いものの、その一方で価値観が多様化しつつあることが伺われる。

【両市の比較】

両市における保護者の問題行動認識を比較すると、全体的には福島市の方が規範意識は強く現れている。しかし、学校内部での問題行動や生活上の問題、性的な行動などについては、比較的寛容な回答が寄せられている。一方、ナッシュビル市では、保護者の規範意識は比較的強いものの、これらの問題行動を「とても悪い」ととらえる保護者は比較的少なく、価値観の多様化が進み、規範意識はゆるむ傾向にあると考えられる。個別にみると、福島市と同様、学校内部での問題行動などに寛容であることが伺われる。

Q13. 中学生になってから現在までに、お子様は次のようないじめを経験したことがありますか。

この質問は、いじめの実態を問うものである（表3-4-Q13）。

表 3-4-Q13-1 福島市におけるいじめ経験

	した	された	両方ある	両方ない	無回答
無視したり、仲間外れにする	33	95	26	555	51
悪口を言ったりからかう	77	120	112	395	56
持ち物を隠す	16	80	6	607	51
持ち物を汚したり壊す	17	46	10	630	57
言葉で脅す	17	41	15	633	54
殴ったり蹴る	12	26	23	646	53
お金や物を取る	5	16	0	689	50
着ているものを脱がす	2	5	2	701	50
使い走りをさせる	9	16	4	681	50
人が嫌がることを無理にさせる	9	21	9	661	60

表 3-4-Q13-2 ナッシュビル市におけるいじめの経験

	した	された	両方ある	両方ない	無回答
無視したり、仲間外れにする	36	38	66	119	21
悪口を言ったりからかう	42	45	90	89	14
持ち物を隠す	29	24	46	165	16
持ち物を汚したり壊す	22	28	19	197	14
言葉で脅す					
殴ったり蹴る	24	25	45	170	16
お金や物を取る	20	39	12	192	17
着ているものを脱がす	11	11	5	186	67
使い走りをさせる	24	13	33	185	25
人が嫌がることを無理にさせる	14	14	17	165	70

【福島市】

福島市においては、「悪口を言ったりからかう」ことの経験者が約半数に達しているほかは、いずれも「したこともされたこともない」との回答が2割前後を占める。このことは逆にいえば、2割前後の生徒が中学校入学後ほぼ1年間にいじめを経験していることを意味する。特に「悪口を言ったりからかう」「無視したり仲間はずれにする」「持ち物を隠す」などは1割以上の生徒が経験しており、かなり深刻な状況となっていることがうかがわれる。

すべての項目で「されたことがある」との回答が「したことがある」を上回っており、いじめが一对多の関係でなされていることがわかる。しかし、ここで注目されるのは「したこともされたこともある」との回答である。この回答は多くの項目で比率が低いが、「悪口を言ったりからかう」「持ち物を汚したり壊す」「言葉で脅す」「殴ったり蹴る」「着ているものを脱がす」「人が嫌がることを無理にさせる」などの項目においては、その比率が高くなっている。これらの項目の中には比率は小さいものの、悪質なものが多く含まれる。全体的に悪質ないじめになるほど「したこともされたこともある」比率が上昇する傾向があることが認められる。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市においては、「無視したり仲間はず

れにする」「悪口を言ったりからかう」の項目について、過半数の保護者が経験があると回答している。その他の項目も約30%以上の保護者が経験があると回答しており、ナッシュビル市においては福島市とは比較にならないくらい、いじめは非常に深刻な状態となっていることがわかる。特に、上記の3項目においては「したこともされたこともある」との回答が最も多く、このような行為が広範に行われていることが伺われる。

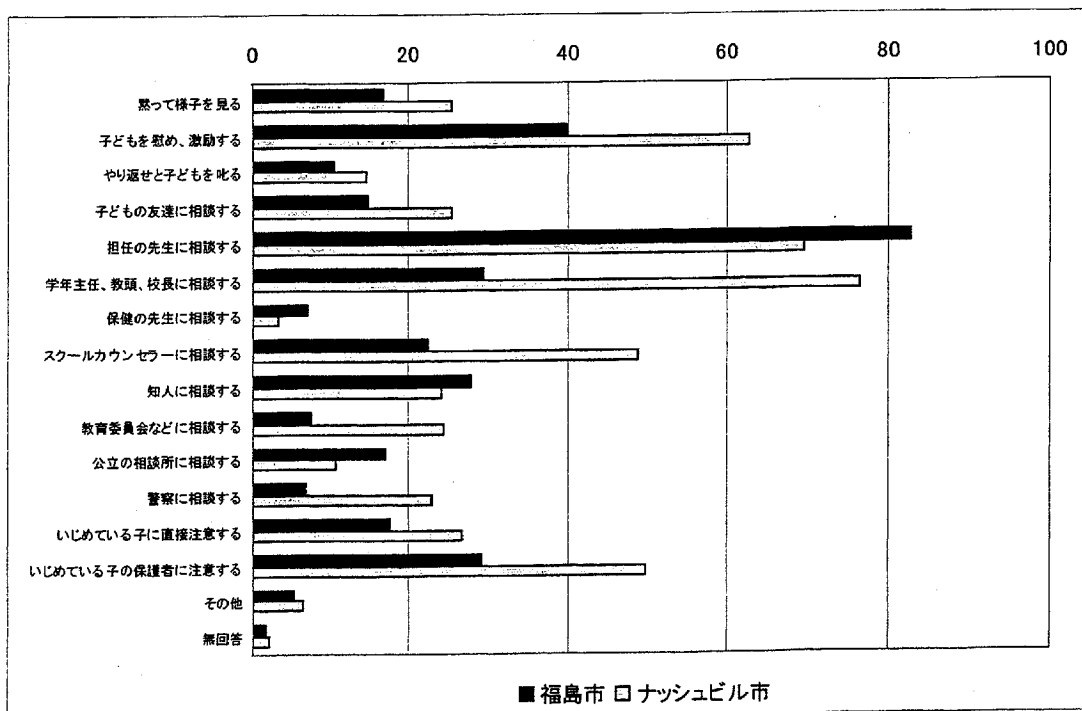
【両市の比較】

従来、いじめは日本社会に特有のものと考えられていたが、実際にはナッシュビル市の方が福島市よりもはるかに深刻な状態にあることが明らかになった。アンケート調査で問うたすべての項目において認知率はナッシュビル市の保護者が上回り、様々なタイプのいじめが日常的に行われていることが伺われる。ただし、これはあくまで保護者が認知しているものであって、実際に発生しているいじめの実態を表すものではない。この点については生徒向けアンケートにおいて詳しく分析する。

Q14. もしお子様がいじめられていると知ったらどうしますか。

この質問は、いじめへの対応を問うものである（複数回答、図3-4-Q14）。

図3-4-Q14 子どもがいじめられた場合の対応



【福島市】

福島市において圧倒的多数を占めるのが、「担任の先生に相談する」(82.6%)である。これ以外の回答で40%を超えるものはない。次いで「子どもを慰め、激励する」(39.9%)、「学年主任、校長、教頭に相談する」(29.5%)、「いじめている子の保護者に注意する」(29.1%)の順となる。ここで注目されるのは、担任の先生への依存が高い一方で、子どもに対応すると回答した保護者が半数にすぎないことである。また、平均回答数も1人あたり3.3項目にとどまっており、学校(特に担任)にいじめの解決を依存している傾向が認められる。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市においては、最も多いのが「教頭・校長に相談する」(76.4%、ナッシュビル調査においては「学年主任」が欠落)で、僅差で「担任の先生に相談する」(69.6%)、「子どもを慰め、激励する」(62.5%)と続く。一般に、日本ではアメリカの学校では担任の影響力が小さいと考えられているが、この結果からは、担任がクラスの運営にあたってきわめて重要な役割を果たしていることがうかがえる。また、保護者が被害にあっている子どもと直接向き合っていることも重要である。次いで「いじめている子の保護者に注意する」「スクールカウンセラーに相談する」となっており、いじめを防ぐために活発な活動を行っている。平均回答数も1人あたり4.9であり、様々な手段でいじめに立ち向かっていることがうかがわれる。

【両市の比較】

いじめへの対応に関しては、両市の保護者の対応は大きく異なる。担任を中心とする学校に基本的に依存する福島市と、学校を中心としつつも様々な方法を組み合わせて対応するナッシュビル市との違いは明瞭である。中でも最も異なるのが、子どもへの対応である。

「黙って様子を見る」比率もナッシュビル市のほうが高いものの、「慰め、激励」したり、「叱咤」する比率は、福島市の50.4%に対し、ナッシュビル市は77.1%に達する。いじめに対して子どもを守る態度が、ナッシュビル市の方が明確である。また、ナッシュビル市では学校においても担任の他、教頭や校長、スクールカウンセラーなど様々な職種の人に対応を求めており、学校全体で協力し合うという態度が明瞭である。この点、対応が担任に特化する福島市とは大きく異なる。また、教育委員会や警察などの関連機関への相談もナッシュビル市では多く見られる。いじめている子の保護者、いじめている子に直接注意する比率もナッシュ

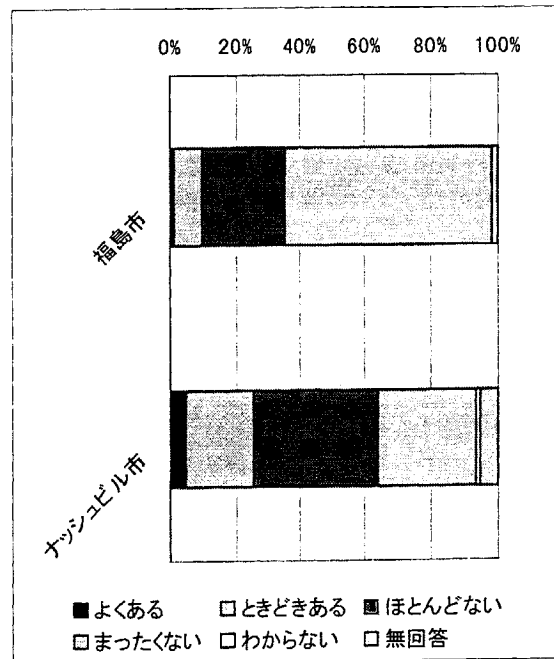
ビル市が福島市を大きく上回っており、注目される。

このように、いじめに対する保護者の対応はナッシュビル市の方が福島市よりもきわめて積極的であり、子どもを守ろうとする態度が明瞭である。福島市は大きな問題を抱えているといえる。

Q15. 中学校になってから、お子様は特に健康上問題がないのに学校を休みたがるようなことがありますか。

この質問は、子どもが不登校的な気分になる程度なっているかを問うたものである(図3-4-Q15)。

図3-4-Q15 子どもが不登校的な気分になる頻度

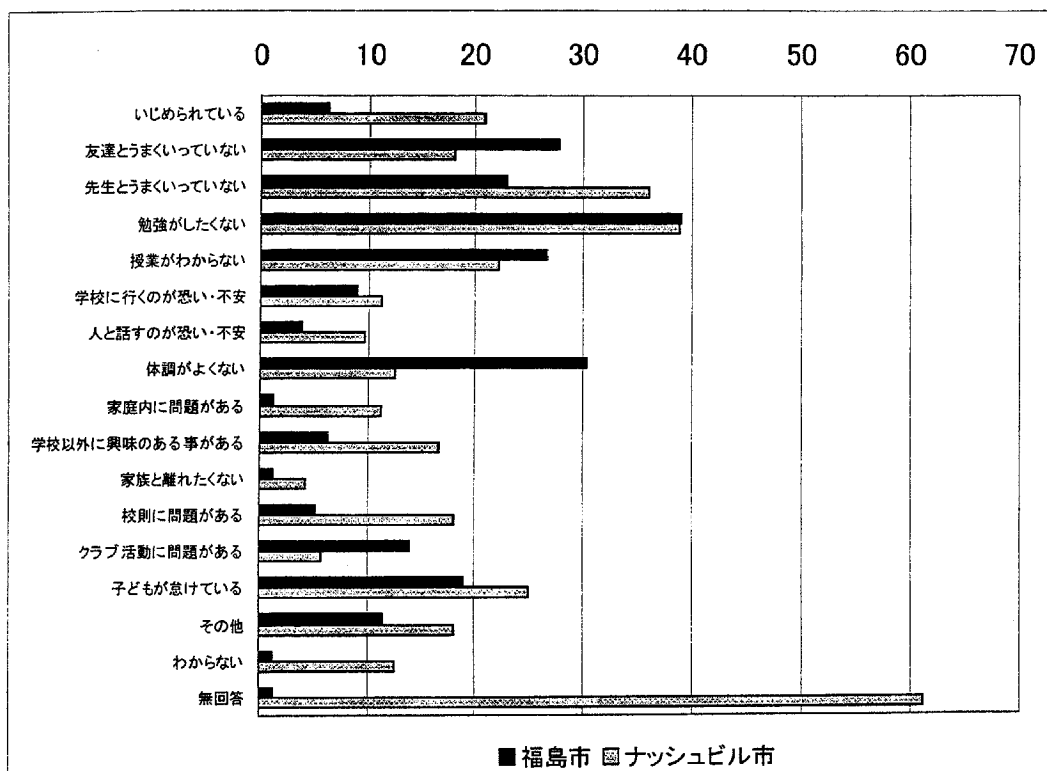


この質問も福島市とナッシュビル市で大きな違いがある。福島市においては「よくある」はわずか1.4%にすぎず、「ほとんどない」と「まったくなく」で87.6%を占め、子どもたちがさほど不登校的な気分になっていないことがわかる。これに対しナッシュビル市は「よくある」と「ときどきある」で25.7%を占め、「まったくなく」は29.3%に過ぎない。ナッシュビル市においてはかなり広範に不登校的な気分が蔓延しているものと考えられる。

Q16. 学校を休みたがる理由は何であるとお考えですか。

この質問は前問を受け、不登校的な気分となる原因

図3-4-Q16 子どもが不登校的な気分になる理由



を把握することを目的としている（図3-4-Q16）。なお、この質問はQ15で「よくある」「ときどきある」と回答したものを対象に、複数回答を求めたものである。

福島市においては、最も多い回答は「勉強がしたくない」(39.2%)で、「体調が良くない」(30.4%)、「友達とうまくいっていない」(27.8%)、「授業がわからない」(26.6%)、「先生とうまくいっていない」(22.8%)の順に続く。なお、「体調が良くない」は医学的な体調不良ではなく、精神面が影響しての体調不良を示している。福島市においては、子どもが不登校的な気分になる原因は勉強面の問題と友人・先生との人間関係面に大きく区分できる。また、比率は落ちるものの、学校関係ではクラブ活動の問題点を指摘する回答が多い。

一方、ナッシュビル市においては、無回答が全体の61.1%を占めた。そのため有効な分析は不可能である。ただし、図表に示した数字は不登校的な気分にとさらさ

れている子どもを持つ保護者の全体に対する数値であり、これらを留保つきながら分析することは許されよう。

ナッシュビル市においても不登校的気分の中心的な要因は勉強と人間関係である。特に「勉強がしたくない」(38.9%)、「授業がわからない」(26.6%)の比率の大きさが目を引く。一方、人間関係については福島と異なり、「先生とうまくいっていない」(36.1%)の占める比率が「友人」(18.1%)を大きく上回っている。ナッシュビルにおいては先生と生徒との関係があまりうまくいっていないことがうかがわれる。また、学校関係では校則の問題が取り上げられているのが目を引く。これまで、アメリカの校則問題に関してはほとんど研究がなされてこなかった。新たな研究課題の指摘と受け止めたい。その他、「学校以外に興味のあることがある」、「家庭内の問題」などの指摘もあり、アメリカ社会の複雑さが問題の背景にあることもうかがわれる。

Q17. 近年、青少年の非行や犯罪が問題となっていますが、あなたはその原因をどのようにお考えですか。

この質問は、青少年の問題行動の原因を問うたものである(図3-4-Q17)。

【福島市】

福島市では、青少年の非行や問題行動に対して「マスコミが大げさに報道しているだけである」(「そう思う」と「ややそう思う」を合計して39.6%)、「非行などは昔からあり特に新しい問題ではない」(同29.3%)と全体の約3分の1の保護者が、子どもの問題行動をさほど深刻なものとはとらえていない。これは福島においてそれほど重大な事件が発生していないためであると考えられる。しかし、過半数の保護者は近年の動向をこれまでとは違っていると認識している。

青少年の非行や犯罪が増加している理由として最も多く指摘されているのは、「子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなってきた」(同84.5%)で、これに「社会全体のモラルが低下してきている」(同82.9%)、「他人を配慮することがなくなってきた」(同81.8%)、「受験戦争などによりストレスがたまってきている」(同80.3%)、「家庭の指導力が低下してきている」(同79.8%)、「子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている」(同76.3%)、「子どもたちの正義感がなくなってきた」(同72.5%)が続く。

原因の指摘は、大きく子どもの要因と社会的な要因に分けられる。子どもの要因としては「ルール意識の欠如」「他人への配慮の欠如」「人間関係の構成力の低下」「正義感の欠如」などのキーワードを導くことができよう。これは「社会性(社会において生活する力)の不足」とまとめることができる。個人個人が孤立し、その中で他人との関係が作れないまま問題行動をおこす子どもの姿が浮き彫りとなっている。

しかし、同様の問題を持っているのは子どもだけではない。受験戦争などで子どもにストレスをためる一方で、社会全体のモラルが低下し、家庭の指導力そのものも弱まってきている。「子ども自身に問題がある」(同47.7%)との回答の比率が低いことはこれを裏付ける。つまり、社会全体が病理に犯されており、子どもの問題行動はその反映に過ぎないととらえられているのである。問題はきわめて大きいと考えられる。

【ナッシュビル市】

ナッシュビル市では、青少年の非行や問題に対して「マスコミが大げさに報道しているだけである」(同49.3%)、「非行などは昔からあり特に新しい問題ではない」(同41.1%)と全体の半数近い保護者が子どもの問題行動をさほど深刻なものとはとらえていない。日本ではアメリカの犯罪などが大きく報道されているが、地方都市においては比較的治安はよく、犯罪などもあまり問題にはなっていない。この回答はそのような社会状況の反映であると考えられる。

そのため、問題点の指摘も福島市に比べると少ないものになっている。問題点として最も多く指摘されているのは「他人を配慮することがなくなってきた」(同78.2%)で、これに「子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなってきた」(同74.6%)、「家庭の指導力が低下してきている」(同72.1%)、「子どもたちの正義感がなくなってきた」(同71.8%)「受験戦争などによりストレスがたまってきている」(同70.7%)が続く。全体的に福島市と同様の項目が上げられており、ナッシュビル市においても福島市と同様の問題が存在していることがうかがわれる。しかし、異なる点もある。

その一つは、「非行・犯罪に走る子ども自身に問題がある」(同57.8%)との回答が比較的多く現れていることである。これは福島市に比べて約10ポイント高い。個人の責任を重視する社会意識の表れであると考えられる。また、「子ども同士の相互関係に問題がある」(同55.4%)、「子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている」(同54.6%)の回答は福島に比較して20ポイント以上も低くなっている。これは、子ども同士の社会関係がナッシュビル市においては依然として強固なものになっていることを示している。また、「社会全体のモラルが低下してきている」(同57.5%)との回答も福島市に比べて約25ポイントも低い数字にとどまっている。

すなわち、ナッシュビル市においては子どもたちの保護者たちは子どもの問題行動を自己中心的な行動の現われとしてとらえており、それを社会病理としてとらえる視点は弱い。これはナッシュビルにおいては社会の紐帯が依然として強固であり、子ども社会においてもその結びつきが強く保たれているためである。

図 3-4-Q17-1 青少年犯罪の原因（福島市）

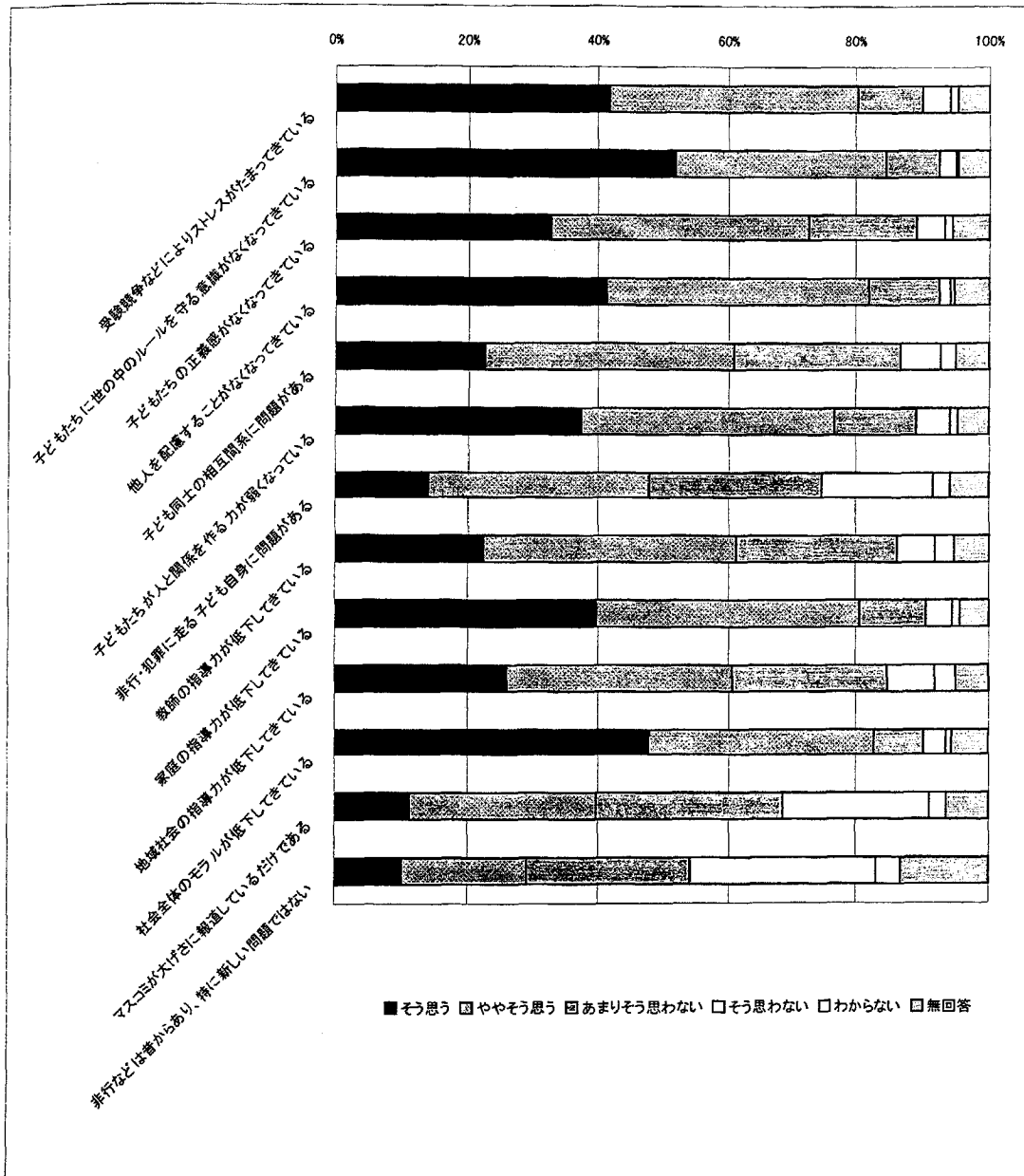
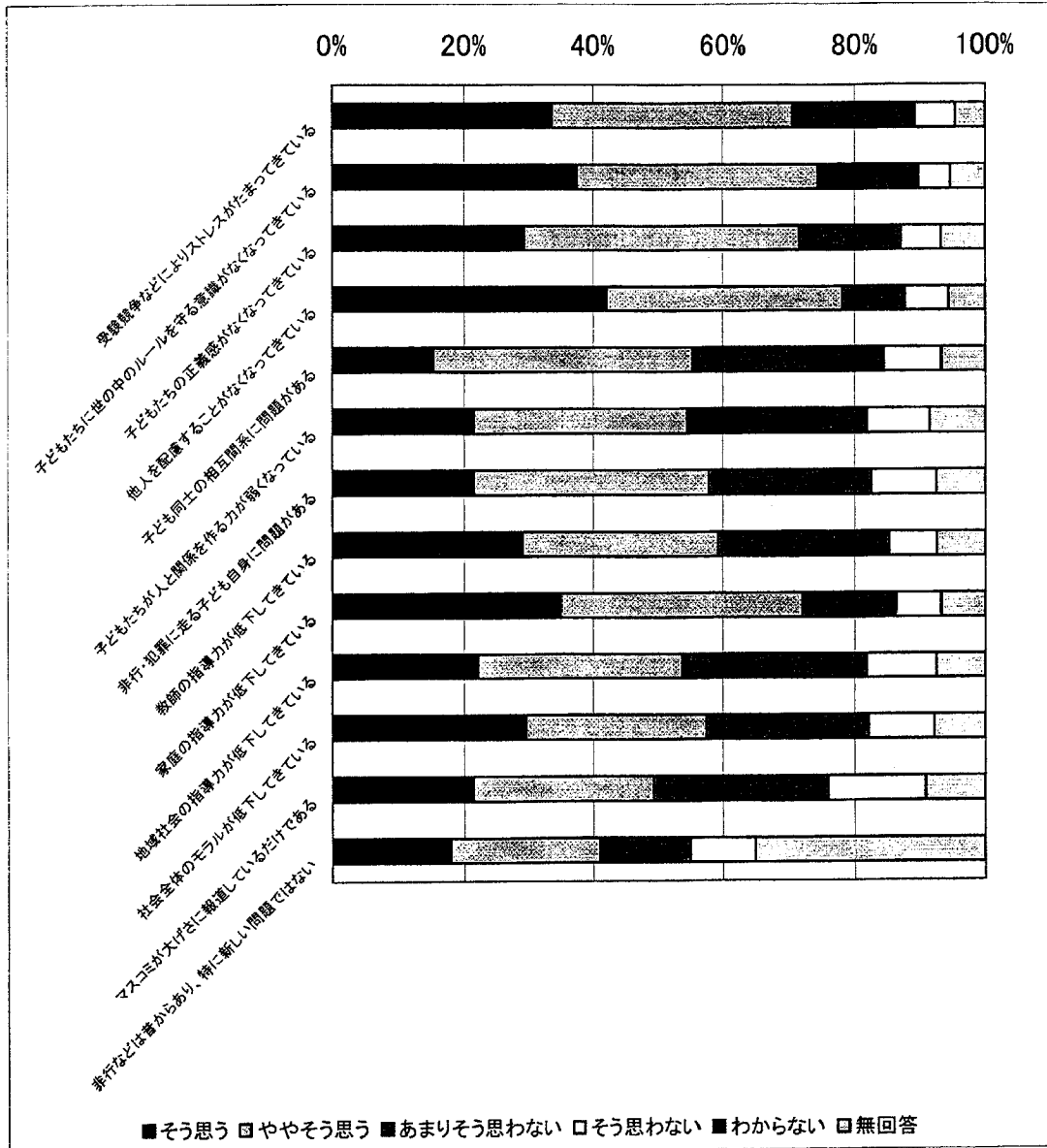


図3-4-Q17-2 青少年犯罪の原因（ナッシュビル市）



【両市の比較】

この質問では、両市の違いが明瞭に現れた。これはこれまでの質問に現れた差異の蓄積の結果である。子どもの問題行動を社会病理の問題であるにとらえる福島市の保護者に対し、ナッシュビル市の保護者はそれを子供の自己中心的な行動の現われにとらえる傾向が強い。これは、社会的紐帯が弱まり、子ども社会（友人関係）も、さらには家庭すらも崩れつつある福島市と、社会や家庭の結びつきが依然として堅固であるナッシュビル市との差であると考えられる。ただし、ナッシュビル市の場合有効回答そのものが少ないということも勘案しなければならないので、これをそのまま

調査の結論とすることは留保したい。

以上からも明らかなように、子どもの問題行動は社会の反映であり、個別的な対処では対応することができない。社会全体として総合的な対処が求められる。

まとめ

以上、福島市とナッシュビル市の中学校2年生の保護者を対象とした子どもの問題行動に関するアンケート調査に分析を加えた。その結果は以下のとおりである。

まず家族関係についてみると、子どもと保護者との関係は福島市に比べてナッシュビル市のほうが深いも

のになっている。対話の時間も長く、学校や友達に関する話し合いも多い。家族で行うレクリエーションについてもナッシュビル市の方が多い。この結果、家族関係もナッシュビル市の方が良好であると認識されている。

子どもの指導についてみると、福島市の保護者が生活指導を重視しているのに対し、ナッシュビル市の保護者は勉強面を重視している。これは学校制度の違いからナッシュビル市では中学2年が受験の年に当たるという要因があるものの、アメリカ社会の激しい競争の表れの一つとも考えられる。

保護者の期待する人間像に関しては、両市ともモラルを持って行動することが求められていた。しかし、両市とも比較的消極的な傾向が認められ、子どもに期待する強い人間像を持っていないと考えられる。

子どもの交友関係については、友人は多いものの深い付き合いは少ない福島市と、友人は少ないものの付き合いは深いナッシュビル市という差異が明瞭に現れた。交友関係の深さの差は重視すべきポイントである。

保護者の、子どもの問題行動に関する規範意識は、福島市の方がナッシュビル市よりも強く現れた。これはナッシュビル市の方が価値観の多様化が進んでいる

ためと考えられる。ただし、両市とも学校内部での問題行動や生活上の問題などに対してはこれを容認する意識があることが認められる。

いじめの実態については、福島市よりもナッシュビル市の方がはるかに深刻であることが明らかになった。従来、いじめは日本社会に特有のものと考えられていたが、ナッシュビル市においては様々なタイプのいじめが日常的に行われていることが明らかになった。

そのため、いじめに対する対応もナッシュビル市の方が積極的である。子どもに対するいじめへの対応については、福島市では担任教諭への依存が圧倒的であるが、ナッシュビル市では様々な方法によって子どもを守るという態度が明瞭である。特に子どもへの働きかけはナッシュビル市の方が格段に強い。

子どもの問題行動に関しても日本では社会病理の表れとして捕らえる傾向が強いが、ナッシュビル市では子どもの自己中心性の表れとらえる傾向が強い。これはその背後にある社会のつながりがナッシュビル市では依然として強いためであると考えられる。

ただし、ナッシュビル市の有効回答は少なく、この結論は直ちに一般化できない。

4. 全体のまとめと考察

4-1. 調査対象地区について

福島市とナッシュビル市を調査対象地区としたのは、第1には調査協力の得やすさという現実的な理由による。この共同研究をおこなった福島大学（福島市）とミドルテネシー州立大学（テネシー州マーフィールズボロー市）は姉妹校の関係にあり、それぞれの教育学部は地元の学校や行政機関に協力をお願いしやすい立場にある。そこで福島県の県都である福島市と、テネシー州の州都であるナッシュビル市を調査対象地区として選んだ。第2の理由は、福島県とテネシー州が、ともに歴史的には農業を中心に発展した地域で、近年では都市部では商業化・工業化が進んでいるが、一方で周辺部には広大な農業地帯を有しているという産業構造の展開と現状の類似性があり、両市とも全国レベルでみれば平均的な地方都市を代表していると考えたからである。

しかし、福島市とナッシュビル市が、それぞれ日本およびアメリカ全体のなかで実際にどういう位置づけになるのか、政治経済・社会・教育のあらゆる指標について検討する作業はまだ実施していない。したがって今回得られた調査結果が、どこまで普遍性をもつかは未知数で、ただちに一般化することには慎重でなければならない。しかし掘り下げた地域研究が、全国規模の電話アンケートよりも本質的で深い知見がえられるように、限地的な比較調査ではあるが、この研究をさらに進めることで、子どもの問題行動の発生メカニズムの解明と対処法について、より本質的で実証的な知見を得ることができるのではないかと期待している。

4-2. 中学生の生活と学習

4-2-1 家族関係

【生徒からみた家族】

福島市では父親との同居率が88.5%であるのに対し、ナッシュビル市では50.4%と低かった。また義理の父母との同居率、および義理の兄弟姉妹との同居率は、福島市ではそれぞれ0.8%、0.4%であるのに対し、ナッシュビル市では14.2%、5.2%と大きな開きがあった。これは両市での離婚率・再婚率の違いをそのまま反映していると思われる。

「家族で一番話しやすい人は誰か」という質問に対し、福島市とナッシュビル市の生徒はともに母親を1番にあげ（F市41.7%、N市51.3%）、2番目に話しやすい相手として兄弟姉妹をあげていた。両市で差が

目立つのは父親との関係で、福島市では父親を一番話しやすい相手とする生徒は6.5%にすぎないが、ナッシュビル市では21.1%にもぼった。日本の平均的な父親の姿であろうが、ナッシュビル市の父親にくらべ、福島市の父親は家族とのかかわりが乏しく、子どもからも話し相手として認められていない様子がうかがえる。

父親との平日の会話時間は、福島市でもナッシュビル市でも「ほとんどない」「30分以内」がもっとも多く、父親と子どもとの会話は乏しい。また、困ったときの相談相手としても、両市とも父親はあまり頼りにされていない。ただ休日に家族と一緒に過ごす時間が福島市では1～3時間なのに対し、ナッシュビル市では6～12時間と多い。ナッシュビル市の父親は休日をより長い時間、家族と過ごすことで、福島市の父親にくらべれば、いくぶん「話しやすい相手」として名誉を挽回しているものと推測される。

家族関係について、福島市でもナッシュビル市でも8割程度の生徒が「うまくいっている」「まあまあ、うまくいっている」と肯定的に答えている。ナッシュビル市の生徒のほうが、肯定的な答えがやや多い。

【保護者からみた家族】

子どもとの平日の会話時間は、福島市では30分～1時間とする回答が約7割でもっとも多く、ナッシュビル市では2～4時間とする回答が約6割になる。両市とも平日の会話の相手は主として母親であるが、子どもから見ても母親との会話の時間は福島市では30分～1時間が約5割ともっとも多いのに対し、ナッシュビル市では4時間以上という回答が3割でもっとも多い。

平日の会話時間とともに、福島市よりもナッシュビル市の家族のほうが、子どもと一緒にレクリエーション活動を活発におこなっている。ナッシュビル市では保護者のほうも、家族と一緒に過ごす時間を大切にしたい、できるだけ子どもと過ごす時間を多くしようと努力している様子がうかがえる。

家族関係について、9割ちかい保護者が「うまくいっている」「まあまあ、うまくいっている」と肯定的に答えている。ナッシュビル市の保護者のほうが、「うまくいっている」と自信をもった回答がやや多い。保護者のほうが子どもより、自分の家族は問題がないと思いたがる傾向がみられるが、両者間でそう大きな認知のズレはなく、親子とも8～9割が自分の家族関係には問題がないと認知している。

【教師からみた家族】

「親子の会話や意思疎通が少なくなっている」と感じている教師が、「問題である」「やや問題である」の両方をふくめると、福島市で約9割、ナッシュビル市で8割弱におよぶ。両市の教師とも、「親が子どもの生活習慣やモラルについて放任」していることを親の問題として、もつとも重視している。生徒用アンケートの結果からすれば、福島市の生徒はナッシュビル市の生徒にくらべると高い規範意識をもっているが、教師の目からすると「まだ手ぬるい」ということかもしれない。

「親が子どもに過保護である」「親に利己主義的な傾向が強い」という保護者に対する批判は福島市で9割、ナッシュビル市で約7割になる。大きな傾向とすれば、福島市の教師は親の養育態度を問題視し、ナッシュビル市の教師は親との連携の難しさをより問題視しているといえる。

4-2-2 友人関係

【生徒からみた友人関係】

「親しい友人は何人くらいいますか」という質問に対し「10人以上」という回答が両市とも最も多く、福島市では4～5割、ナッシュビル市では3～4割になる。つぎに多いのは福島市では「4～6人」「7～9人」、ナッシュビル市では「1～3人」「4～6人」で、福島市の生徒のほうが親しい友人を多く持っていると回答している。しかし、親友とどのような付き合い方をしているかを聞くと、「一緒に遊んで時間を過ごす」とか「学校や他の友人の不満や悩みを話す」のは福島市の生徒のほうが多いが、それ以外のすべての項目、すなわち「一緒に勉強する」「電話で話をする」「異性のことを話す」「家や親の不満や悩みを話す」「将来のことを話す」「お金や大切な物を貸し借りする」「言い合ったりけんかしたりする」「友達の家泊まる」などは福島市の生徒では少なく、ナッシュビル市の生徒のほうが活発におこなっている。言い換えれば、福島市での友人関係は浅くひろい付き合い方、ナッシュビル市での友人関係は数を絞ったより深い付き合い方といえる。

【保護者からみた友人関係】

「お子さまが付き合っている親しい友人は何人くらいいると思いますか」との質問に、福島市の保護者の過半数が「4～6人」、ナッシュビル市では「1～3人」と答えている。生徒が申告している人数より少ないのは、両親が実際に自分たちが見聞きする友人の数がその程度ということで、この数のほうがお互いの家に行

き来したりするほどの真に親しい友人の数である可能性がある。

子どもの交友関係で気になることはあるか、という質問に、福島市では7割弱の保護者が「特に気になることはない」と答えているが、2割強の保護者が「友人はいるが親友はいないようだ」と答えている。いまの中学生は親世代からすれば、かなり浅い付き合いの友だちも「親友」と捉えているが、親からみればそれはただの友人で「親友」ではない、という認識のズレがあるのかもしれない。

ナッシュビル市では、「特に気になることはない」という回答は5割に満たず、福島市の7割弱からすると少ない。ナッシュビル市では「親友がいないようだ」という保護者の心配は1割程度と少なく、「異性との付き合い方」や「友人との付き合いで生活が乱れる」などを4分の1程度の保護者が気にかけている。

子どもが仲のいい友達との付き合いの中で、どんなことをしていると思うかと質問すると、福島市でもナッシュビル市でも、保護者は子どもの交友関係の内容まで、意外に良く把握している様子にみえる。

【教師からみた友人関係】

生徒が「良好な友人関係を形成できない」ことを問題だと感じている教師は、福島市で37%、ナッシュビル市で16%あり、やや問題と感じている教師を含めると、それぞれ72%、76%にもものぼる。保護者と同じく教師もまた、生徒が良好な友人関係を結べなくなっていることを感じていることがわかる。

生徒の問題行動の原因として、「子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている」からだと思うかどうか聞いたところ、福島市では「そう思う」が49%、「ややそう思う」を入れると91%もの教師が、生徒の対人スキルの低下が問題行動の背景にあると答えている。同じ質問に対し、ナッシュビル市では「そう思う」が25%、「ややそう思う」を入れると70%の教師が同意しており、福島市と共通の認識がみられる。

4-2-3 学習

【生徒からみた学習】

「家庭で毎日、平均してどのくらい勉強しているか」と尋ねたところ、福島市の生徒では30分～1時間というグループが62%と多く、「ほとんどしていない」が18%になる。ナッシュビル市では「ほとんどしていない」が22%と福島市より多いが、3～5時間以上勉強するというグループが福島市の3.2%に対し、ナッシュビル市では8.4%と多い。日本の中学生は受験競争

のため勉強におわれ、過酷な状況にあるという理解が世間にあるが、自宅での勉強時間をみるかぎり、そうしたステレオタイプ化された見方が妥当かどうか疑問である。

学校に行くのがいやになった理由として、「勉強がきらい」だからと答える生徒が福島市では29%、ナッシュビル市では50%、「授業がわからない」からという理由が福島市で15%、ナッシュビル市で25%になる。

福島市では自分は勉強が「できる」と思っている生徒が22%、「できない」と思っている生徒が44%であるのに対し、ナッシュビル市では53%が「できる」、32%が「できない」と感じており、勉強に関して福島市の生徒のほうが自己評価がひくい。

【保護者からみた学習】

子どもが学校を休みたがる理由として、「勉強がしたくない」からと答えた保護者は福島市で39%、ナッシュビル市で39%であり、「授業がわからないから」という見方は福島市で27%、ナッシュビル市で22%である。福島市の保護者は生徒以上に「勉強がきらい」や「授業がわからない」ことを「学校がきらい」の原因だと過大評価し、ナッシュビル市では過小評価する傾向がある。

【教師からみた学習】

生徒が「学ぶ意欲をなくしている」と思っている教師は、福島市で23%、ナッシュビル市で68%にのぼる。「やや問題」と思う層もふくめると、福島市で81%、ナッシュビル市で96%と大多数の教師が、生徒が学ぶ意欲をなくしており、それが問題だと感じている。日々、生徒に接して教える立場にあるだけに、両市の教師とも切実な実感があって、上記の高い数字になっているのであろう。

4-2-4 将来の希望

【子どもの希望と親の期待】

福島市では、将来の希望としてもっとも人気が高いのが「自分の好きな生き方」であり、生徒の37%が望んでいる。つぎに「人並みの暮らし」「お金持ち」「世の中に役立つ人」が各13~15%で2番人気となる。「人の上に立つ偉い人」は3%に満たない。保護者の期待も、「自分の好きなことをやっていく人間」が23%と高く、「安定的な生活を送れる人」が6%、「社会に役立つ人間」が8%で、「高い地位につく人」は0.1%しかない。

ナッシュビル市では、子どもの最大の希望は「お金持ち」で28%、「自分の好きな生き方」が14%、「人並

みの暮らし」「タレントのような有名人」「人の上に立つ偉い人」などが各11~12%、「世の中の役に立つ人」はもっとも不人気で3%に満たない。いっぽう保護者の期待はといえば、「経済的に成功する人」が8%、「安定した生活を送れる人間」が6%で、「社会に役立つ人間」は2%と少ない。

福島市でもナッシュビル市でも、生徒の希望と親の期待は驚くほど相似しており、子どもが保護者の価値観や期待をそのまま自己の希望として内在化していることがうかがえる。どの社会でも子どもの姿は、そのまま親の姿を反映したものであることを、あらためて教えられる。

4-3. 中学生と問題行動

4-3-1 いじめ

【保護者の気づき】

子どもがいじめを経験したことを、どれだけ知っているか確認するための設問が、保護者用アンケートのQ13である。

福島市の保護者があげるいじめの形態を多い順にあげると、①悪口やからかい、②無視、仲間はずれ、③持ち物隠しであり、これは生徒が経験したと答えた順序にほぼ一致している。ただ、保護者のほうに「いじめは経験していない」という回答が多い。子どもはいじめの事実を親にも言わないことが多いので、保護者も把握しきれていないということだろう。「殴る蹴る」のいじめを経験したと答えている生徒は19.3%もあるが、保護者では8%しか経験したと答えておらず、殴る蹴るといった深刻ないじめについても、保護者はなかなか気づかないでいるようだ。

ナッシュビル市でも福島市と同様な傾向がみられる。悪口やからかい、無視・仲間外れ、持ち物隠しなどはある程度、把握している様子だが、「殴る蹴る」が生徒では54%もあるのに、保護者では「ある」という回答は34%にすぎず、61%が「ない」と回答している。深刻ないじめほど、かえって子どもは保護者にも言わずに隠す傾向があるため、こうした認識のズレが生じていると推測される。

4-3-2 学校がきらいの原因

【保護者の認識】

福島市の生徒が「学校に行くのがいやになった理由」としてあげているのは、①勉強がきらい29%、②友だちとうまくいかない25%、③先生がきらい23%、④体の調子がわるい22%、⑤特に理由はない21%の順であ

った。福島市の保護者が考える「学校を休みたがる理由」は、①勉強がしたくない39%、②体調がよくない30%、③友達とうまくいっていない28%、④授業がわからない27%、⑤先生とうまくいっていない、である。この質問に関しては、生徒と保護者の認識はかなり合致している。

ナッシュビル市の生徒が学校ぎらいの理由としてあげるのは、①勉強がきらい50%、②先生がきらい49%、③学校の外におもしろいことがある38%、④校則に不満がある35%、⑤特に理由はない26%であった。一方、ナッシュビル市の保護者が考える学校ぎらいの理由は、①勉強がしたくない39%、②先生とうまくいっていない36%、③子どもが怠けている25%、④授業がわからない22%、⑤いじめられている21%、などである。福島市にくらべナッシュビル市のほうが一致率が低い印象がある。

子どもが登校を嫌がれば保護者はとうぜんその理由を聞き、子ども理由を言わざるをえないので、学校ぎらいに関しては、保護者と生徒間の認識のズレは少ないのだと推測される。

4-3-3 規範意識

【生徒-保護者-教師の認識の差】

学校をさぼる、どうしても行けない

「学校をさぼる」ことに関して「悪いこと」だという認識は、福島市では生徒71%、保護者90%、教師94%、ナッシュビル市では生徒74%、保護者85%、教師54%となる。ナッシュビル市では教師の寛容さ（あきらめ？）が目立つほかは、福島市でもナッシュビル市でも、生徒も保護者も「学校をさぼる」ことは悪いことだという意識を共有している。

「学校にどうしても行けない」という場合については、「悪くない」とする意見が福島市の生徒で76%、保護者で18%、教師で67%となる。どうしても登校できないという場合については教師がもっとも許容的で、保護者がもっとも不寛容だという興味ぶかい結果になっている。

ナッシュビル市の場合、生徒46%、保護者18%、教師38%となり、福島市と同様に保護者がもっとも不寛容である。

「学校にどうしても行けない」という場合に、もっとも不寛容なのは両市とも保護者である。おそらく生徒に登校への心理的圧力と登校刺激を与えつづける最大の実行者は教師ではなく、むしろ保護者であることを裏づける結果といえる。

学校で他人をいじめる

福島市では生徒の94%、保護者の96%、教師の97%がいじめは悪いことだと答えている。ナッシュビル市では生徒の78%、保護者の96%、教師の62%が悪いことだと回答している。ナッシュビル市では、学校でのいじめを「それほど悪くない」「悪くない」と許容する教師が37%と多いことが注目される。

これは教師の規範意識が福島市にくらべ低いことを意味するわけではない。いじめたり、いじめられたり、仲直りをしたりする中で生徒は対人関係を学んでいくのであり、単にいじめを悪いことだと決めつけ禁止しても教育的意味はない、という考えが定着しているからではないかと思う。ナッシュビル市には各学校に資格をもった常勤の学校カウンセラーが配置され、子どもの対人的スキルを高めるためのさまざまなプログラムを実施している。コンフリクト・レゾリューションやピア・メディエーションといった、子ども同士のトラブルの解決を、子ども同士でどう解決させるかを指導するプログラムが用意され、積極的に取り組まれている。日本の多くの学校では、いまなおいじめには禁止一辺倒で、いじめっ子を呼んで説諭したりする対症療法的な対応がとられていることが多いが、他の先進諸国での実践と研究から知られているように、これはいじめを潜行させ深刻化させるだけで本質的な解決にはならない。

友人を脅し暴力をふるう

福島市では生徒の96%、保護者の96%、教師の98%が「友人を脅し暴力をふるう」ことは悪いことだと答え、ナッシュビル市では生徒の80%、保護者の86%、教師の77%が悪いと答えている。いじめについては許容的なナッシュビル市の教師も、「脅しや暴力」については悪いとする回答が多くなるが、それでも保護者より10%ちかく低いのは、「暴力」は悪いが、「脅し」は先にのべた理由で、むしろ良い教育機会だという認識があるためかもしれない。

異性との性的な関係

これは英語版では削除を求められたため、福島市だけで実施した質問項目である。

福島市において、異性との性関係を「悪くない」と許容するのは生徒で47%もあるが、保護者では4%にすぎない。これは当然の結果ともいえる。それにしても、中学生のあいだでの性の許容度の高さは、性の開放化がいつそう低年齢化していることを示唆している。同様の結果はすでに都心部の調査では指摘されていたが、福島市も同じだという調査結果となった。

おわりに

子どもの問題行動について、福島市とナッシュビル市で2000年7月と2001年2月に実施した生徒・教師・保護者を対象としたアンケート調査の結果を報告した。福島市とナッシュビル市では現象面では大きな差異があったが、問題行動が成立する背景とプロセスには共通する構造もありそうなのことがわかった。

国際的な比較研究は、手間暇のかかる仕事である。実際、われわれも用語や概念の擦り合わせに多くの時間をかけ、討論を重ねる必要があった。たとえば、われわれは初めのうちはイジメ＝bullyingと単純に考えていたが、テネシー州で共同研究者や学校カウンセラーなどと話し合ってみると、日米ではイメージに余りにも懸隔があることに驚いた。「問題行動」という言葉ですら、それでイメージする内容自体が大きく異なっていた。日本で生徒の問題行動といえば不登校・いじめ・校内暴力といったところで、より低学年では学級崩壊などがイメージされる。万引きや飲酒・タバコなど比較的軽微な逸脱行動はあっても、警察と連携しなければ処理しきれないような非行や触法行為は例外的である。ところがアメリカでは、生徒の「問題行動」としてまずイメージされるのは、銃・ドラッグ・10代の妊娠と出産であると聞かされた。テネシー州では比較的問題が少ないので、入り口に金属探知機を設置している学校は少ないと説明を受けたが、どの学校を訪問してもピストルを腰におびた警察官が常駐しているのには驚き、違和感をもった。しかし、それが銃社会アメリカの深刻な実情でもある。

家庭をふくむ社会のあり様や学校制度も大きく異なるので、単純な比較はむづかしい。それでもなお、子どもの問題行動のような社会文化的要因に大きく規定される現象の解明には、今回、試みたような比較文化的研究が有用で、

かつ不可欠であると思う。精神医学の領域では比較文化精神医学がすでに長い歴史をもち、重要な研究領域として地歩を築いているが、学校臨床においても必要な研究だと考える。比較文化的な研究法の利点については、すでに「はじめに」で触れたのでくり返さない。

いじめや不登校、学級崩壊などの「解決法」を書いたハウツー本は、書店に所狭しと並べられている。それを求める切実なニーズがあるからこそ、そうした「商品」が大量に生産されているのであろう。気になるのは「親も教師も、もっと子どもを厳しくしつけるべきだ」という論調の書籍と、「もっと、のびのびと自由に子どもを育て、学校という呪縛から開放してやらなければいけない」という、まったく逆の論調の書籍とが混在しており、かえって親や教師を混乱させないかということだ。しかもその多くが実証的な根拠もないままに、著者の個人的な経験や主義主張から書かれている。

いま必要なのは、回りくどいようではあっても、子どもの問題行動についての実証的な研究の積重ねではないかと思う。近年、医学の分野では個人的な経験主義から脱し、事実に基づいた実証的な治療を実践していこうとするEBM (Evidence-based Medicine) の流れが、徐々に定着しつつある。われわれも学校臨床でのEBMをめざし、真に実効のあがる治療法や予防法を開発したいと考えている。

謝辞：

この調査を実施するにあたり、福島市とナッシュビル市の教育委員会、各学校の先生方、保護者および生徒の方々に多大なご協力をいただきました。あつくお礼申しあげます。

研究組織（研究代表者および研究分担者）

氏名	所属・職	専門	備考
昼田源四郎	福島大学・教育学部・教授	臨床精神医学	研究代表者
松崎博文	福島大学・教育学部・教授	特殊教育	
中野明德	福島大学・教育学部・教授	学校臨床	
高野岳彦	福島大学・教育学部・教授	地理学	
初澤敏生	福島大学・教育学部・助教授	地理学	
佐久間康之	福島大学・教育学部・助教授	比較文化	
三石初雄	(福島大学・教育学部・教授)		
富田祐一	(福島大学・教育学部・助教授)		途中で転出
海外共同研究者			
Jane Williams	MTSU・教育学部・教授	教育行政	
Phil Waldrop	MTSU・教育学部・教授	特殊教育	
Bella Higdon	MTSU・教育学部・教授	特殊教育	
Doug Heffington	MTSU・教育学部・教授	文化地理学	
Billie Pickleseimer	(MTSU・教育学部・助教授)		

(注) MTSU＝ミドルテネシー州立大学（米国テネシー州）

交付決定額（配分額）

(金額単位：千円)

	直接経費	間接経費	合計
平成10年度	1,200	0	1,200
平成11年度	1,600	0	1,600
平成12年度	1,000	0	1,000
総計	3,800	0	3,800

既刊研究報告一覧

Hiruta, G., Waldrop, P., and Hatsuzawa, T.: Behavior problems of students in Japan and America. 福島大学教育学部論集 (教育・心理学部門) 67; 35 - 53, 1999

ピックルザイマー, B., 中野明德: アメリカ合衆国のスクールカウンセリング. 福島大学教育学部論集 (教育・心理学部門) 67; 55 - 66, 2000

ウィリアムズ, J., 中野明德: アメリカの学校における問題行動の取り組み. 福島大学教育学部論集 (教育・心理学部門) 68; 19 - 24, 2000

ワールドロップ, P.: 屋田源四郎: アメリカの学校における生徒の問題行動. 福島大学教育学部論集 (教育・心理学部門) 70; 43 - 49, 2001

【資料】

1. 調査結果（表）	
生徒用アンケート 90
教師用アンケート 113
保護者用アンケート 123
2. アンケート用紙	
日本語版 138
英語版 150

表Q1. あなたの性別はどちらですか。

	福島市 Fukushima		ナッシュビル市 Nashville	
	人数(N)	%	人数(N)	%
男 Male	426	50.9	387	48.4
女 Female	406	48.5	396	49.5
無回答・不明 NA, DN	5	0.6	17	2.1
計 Total	837	100.0	800	100.0

表Q2. 現在あなたが一緒に住んでいるのはどなたですか。当てはまる人すべてに○をつけてください。
Which family members are living with you at present? Circle all the apply:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較1)
	男(Male)	女(Female)	計(Total)	男(Male)	女(Female)	計(Total)	
1.父 Father	88.8%	87.4	88.5	55.2	45.6	50.4	***
2.母 Mother	97.7	98.3	98.0	83.7	88.6	86.3	***
3.兄弟姉妹 Brothers&Sisters	85.9	88.9	87.5	64.0	71.9	67.9	***
4.祖父 Grandfather	27.4	27.3	27.4	4.9	3.8	4.3	***
5.祖母 Grandmother	38.2	37.6	37.8	11.4	9.9	10.6	***
6.義理の父または母 Step Parents	0.9	0.7	0.8	13.7	14.9	14.2	***
7. 義理の兄弟姉妹 Step-brothers and/or step-sisters	0.2	0.5	0.4	4.7	5.3	5.2	***
8.その他 Others	3.3	4.2	3.8	10.1	12.4	11.1	***

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表Q3. 家族で一番話しやすい人は誰ですか。当てはまる人すべてに○をつけてください。
Who are the family members that you find it easier to talk with? Circle all that apply:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較1)
	男(Male)	女(Female)	計(Total)	男(Male)	女(Female)	計(Total)	
1.父 Father	9.6%	3.2 2)***	6.5	28.4 2)***	12.9	21.1	***
2.母 Mother	33.7	50.0	41.7	51.0	51.0	50.6	***
3.兄弟姉妹 Brothers&Sisters	34.9	31.0	32.9	40.7	39.6	39.6	***
4.祖父 Grandfather	0.7	0.2	0.5	8.6 2)***	2.5	5.7	***
5.祖母 Grandmother	2.6	1.5	2.0	18.2	19.3	18.7	***
6.義理の父または母 Step Parents	0.0	0.0	0.0	3.4	4.3	3.8	***
7. 義理の兄弟姉妹 Step-brothers and/or step-sisters	0.0	0.0	0.0	2.3	5.8	4.3	***
8.その他 Others	4.7	2.0	3.3	20.5	31.8	26.3	***
無回答・不明 NA, DN	13.4	12.3	13.1	0.5	0.8	1.3	***

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

2)The Comparisons between Male and Female

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表Q4. あなたは、次の人と平日に平均すると一日どのくらい話をしますか。当てはまる番号に○をつけてください。の質問は、Q2で○をつけた人についてだけ教えてください。

On weekdays, on the average, how long do you talk with each of the following people each day?

Circle one choice for the person whom you circled in Q2.

1=ほとんどない: Almost no time

2=30分 :30 minutes

3=1時間 :An hour

4=2時間 :Two hours

5=3時間 :Three hours

6=4時間以上 :More than four hours

	福島市 Fukushima							ナッシュビル市 Nashville							両市の 比較1)
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6			
1.父 男(Male)	32.8	33.3	16.4	6.6	4.0	2.9	51.8	29.1	24.5	7.3	11.8	18.2			
Father 女(Female)	42.2	26.0	13.7	7.0	4.2	3.1	66.1	41.7	20.0	13.3	6.7	21.1	***		
計(Total)	36.4	29.0	14.7	6.6	4.0	3.0	58.3	34.8	22.5	10.0	9.5	19.5			
2.母 男(Male)	10.6	32.5	27.4	12.7	7.0	6.3	11.6	22.1	18.8	9.9	8.4	26.6			
Father 女(Female)	4.8	23.3	23.8	17.0	13.0	15.5	11.7	20.3	19.7	11.4	8.3	34.9	***		
計(Total)	7.7	28.0	25.6	14.8	9.9	10.8	11.7	21.2	19.3	10.7	8.3	30.8			
3.兄弟姉妹 男(Male)	18.0	27.0	20.4	13.4	9.8	8.2	28.6	21.2	15.3	14.1	10.2	32.9			
Brothers&Sisters 女(Female)	11.7	21.4	18.9	16.4	12.0	18.1	19.0	20.4	18.3	12.7	9.2	35.9	***		
計(Total)	14.9	24.2	19.7	14.3	10.9	13.1	23.6	20.8	16.9	13.4	9.6	34.5			
4.祖父 男(Male)	52.0	37.6	13.7	3.4	2.6	2.6	39.5	8.3	4.7	2.3	2.1	1.8			
Grandfather 女(Female)	57.3	25.8	5.6	4.0	0.8	3.2	37.1	9.3	3.3	1.0	1.8	1.5	***		
計(Total)	54.8	31.5	9.5	3.7	1.7	2.9	38.3	8.8	4.0	1.7	2.0	1.7			
5.祖母 男(Male)	37.4	38.0	10.4	8.0	3.1	2.5	30.2	17.3	9.0	4.4	2.8	3.9			
Grandmother 女(Female)	39.9	31.4	9.8	10.5	3.9	7.8	26.0	15.2	8.1	3.5	3.3	5.3	*		
計(Total)	38.6	34.8	10.1	9.2	3.5	5.1	28.1	16.3	8.6	4.0	3.1	4.6			
6.義理の父または母 男(M)	4.9	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	23.5	5.9	3.6	1.8	1.8	0.8			
Step Parents 女(F)	3.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	23.7	5.3	3.8	2.0	0.8	1.5			
計(Total)	4.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	23.6	5.6	3.7	1.9	1.3	2.4			
7. 義理の兄弟姉妹 男(M)	4.9	0.2	0.7	0.0	0.2	0.5	24.8	2.6	2.3	2.1	0.8	2.1			
Step-brothers and/ 女(F)	3.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	6.3	2.3	1.0	0.3	2.3			
or step-sisters 計(T)	4.4	0.2	4.7	0	0.1	0.2	22.9	4.5	2.3	1.5	0.5	2.2			
8.家庭内の他の大人 男(M)	6.1	0.5	0.0	0.0	0.5	0.2	24.3	7.5	2.3	2.6	1.3	2.3			
Other adults at home 女(F)	4.2	1.2	0.2	0.2	0.2	0.2	20.5	5.8	5.1	2.5	2.3	2.5	*		
計(Total)	5.1	0.9	0.1	0.1	0.3	0.2	22.4	6.6	3.7	2.5	1.8	2.4			

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

注)福島市の男女間で、母親については0.1%水準で、兄弟姉妹については1%水準で有意差あり。

表Q5. 休日に家族と一緒に何かをして過ごす時間は、平均して一日どのくらいですか。

On weekends and holidays, on the average, how much time do you spend doing things with your family members? Circle one:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市間の比較 1)
	男(Male)*	女(Female)	全体(Total)	男(Male)	女(Female)	全体(Total)	
1.ほとんどない Almost no time	14.8	14.3	14.7	4.4	4.3	4.4	***
2.30分 About 30 minutes	8.4	6.4	7.5	3.4	2.3	2.7	
3.1時間 About an hour	15.2	9.1	12.3	5.2	4.3	4.9	
4.2時間 About two hours	17.1	14.0	15.5	5.4	4.5	4.9	
5.3時間 About three hours	11.7	13.8	12.7	12.4	10.1	11.4	
6.4時間 About four hours	7.5	8.4	7.9	7.2	10.9	9.0	
7.5時間 About five hours	9.1	9.4	9.2	11.6	11.4	11.3	
8.6~12時間 About six to twelve hours	8.4	16.3	12.2	22.2	22.7	22.0	
9.12時間以上 More than twelve hours	6.6	8.4	7.4	26.8	28.8	28.3	

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

2)The Comparisons between Male and Female

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

※福島市の男女間に5%水準で有意差あり。ナッシュビル市については有意差なし。

表Q6. あなたの家の家族関係はうまくいっていると思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。
Do you think that your family members are getting along well together? Circle one:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市間の 有意差1)
	男(Male)	女(Female)	計(Total)	男(Male)	女(Female)	計(Total)	
1.うまくいっている Very Well	31.4	32.5	32.0	33.5	35.1	34.8	無(None)
2.まあまあ、うまくいっている Fairly well	44.0	44.1	44.0	48.2	43.7	45.4	無(None)
3.どちらともいえない Not well but not poorly	15.0	13.8	14.5	11.6	13.9	12.7	無(None)
4.あまり、うまくいってない Poorly	7.0	5.2	6.1	3.1	4.5	3.8	無(None)
5.うまくいってない Extremely poorly	2.1	3.7	2.9	2.6	2.3	2.6	無(None)
無回答・不明 NA, DN	0.5	0.7	0.6	0.8	0.3	0.6	無(None)

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表Q7. 現在あなたが付き合っている親しい友達は何人くらいいますか。当てはまる番号に○をつけてください。

How many close friends do you have?

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較1)
	男(Male)**	女(Female)	計(Total)	男(Male)	女(Female)	計(Total)	
1.いない Nones	2.3	1.0	1.7	2.6	1.3	2.0	
2.1~3人 1 to 3	7.5	10.6	9.0	23.6	32.6	27.5	***
3.4~6人 4 to 6	19.4	29.6	24.4	23.9	25.7	25.0	
4.7~9人 7 to 9	15.9	21.7	18.6	9.6	11.5	10.7	***
5.10人以上 10 or more	54.1	36.7	45.8	39.8	28.8	34.4	***
無回答・不明 NA, DN	0.7	0.5	0.6	0.8	0.8	0.8	

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

2)The Comparisons between Male and Female

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

※福島市の男女間に1%水準で有意差あり。ナッシュビル市の男女間には有意差なし。

表Q8. Q7で答えたあなたが付き合っている親しい友達はどこで知り合った人ですか。当てはまる番号にすべて○をつけてください。

Where did you get acquainted with your close friends in Q7? Circle all apply:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の比較1)
	男(M)	女(F)	計(Total)	男(M)	女(F)	計(Total)	
1.同じクラスの人 Friends in the same class	96.0	90.4	93.2	69.8	74.7	72.3	***
2.同じクラブ・部活動の人 Others in the same club activities and/ or on the same sports teams at school	77.0	80.3	78.6	26.6	28.3	27.5	***
3.1, 2以外の同じ学校の人 Others in the same school, apart from 1 & 2	43.4	42.9	43.1	35.7	46.2	40.9	
4.学校以外のクラブやスポーツチームで知り合った人 Others I got acquainted with at club activities and/ or sports teams outside school	15.3	9.4	12.4	23.0	14.4 2)**	19.3	***
5.塾やけいこごとで知り合った人 Others I got acquainted with at lessons taken outside school(e.g., art or music, etc.)	12.2	11.3	11.7	7.0	8.3	7.8	**
6.近所の人 Others in the neighborhood	14.1	14.5	14.5	59.9	47.0	53.5	***
7.ゲームセンターその他の遊び場で知り合った人 People I got acquainted with at such places as the mall, arcades, or movie theater	3.5	2.5	3.0	19.1	25.8	22.6	***
8.その他の人 Others not mentioned above	4.5	6.9	5.6	16.5	17.4	22.6	***

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

2)The Comparisons between Male and Female

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表Q9. あなたは友人関係や家族関係の悩みは誰に相談しますか。当てはまる上位3つまでの番号に○をつけてください。

Who do you consult about relationships with family and friends? Please circle the three that best apply:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の比較1)
	男(Male)	女(Female)	計(Total)	男(Male)	女(Female)	計(Total)	
1.父 Father	21.6 2)***	8.6	15.2	26.9 2)***	9.3	18.0	*
2.母 Mother	44.6 2)*	57.6	50.7	42.6	47.5	45.3	
3.兄弟姉妹 Brothers & Sisters	26.3	34.2	30.2	32.0	29.0	30.5	
4.祖父 Grandfather	1.6	3.4	2.5	3.9	1.3	2.5	*
5.祖母 Grandmother	4.9	4.4	4.8	9.8	11.6	10.6	***
6.義理の父または母 Step-parents	0.5	0.5	0.5	2.3	2.0	2.1	**
7.義理の兄弟姉妹 Step-brothers and step-sisters	0.2	0.2	0.2	1.6	2.0	1.8	**
8.親戚の大人 Adults in relatives	1.2	1.7	1.4	8.3	7.1	7.9	***
9.同性の友人 Friends of the same sex	49.5 2)***	82.0	65.2	42.9 2)***	59.8	51.0	***
10.異性の友人 Friends of the opposite sex	9.4	15.3	10.5	33.6	28.5	31.1	***
11.先輩 Older friends	9.4	11.8	10.5	19.6	24.0	21.6	***
12.後輩 Younger friends	1.9	3.4	2.6	3.6	4.5	4.1	*
13.学校の先生 School teachers	6.6	5.2	6.0	1.8	2.0	2.0	***
14.スクールカウンセラー School counselors	1.2	3.0	2.0	1.0	1.8	1.4	
15.その他 Others	0.2	0.2	0.2	5.9 2)**	8.6	7.5	***
16.誰にも相談しない I do not consult with anybody	35.7 2)***	20.9	28.7	12.1 2)*	4.8	8.4	***

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

2)The Comparisons between Male and Female

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表Q10. あなたは親しい友達との付き合いの中で、どんなことをしていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

How often do you do the following with your friends? Circle one of the following choices for each item, with:

1=よくある: very often

2=ときどきある: sometimes

3=ほとんどない: almost never or never

		福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較1)
		1	2	3	1	2	3	
1.一緒に遊んで時間を過ごす Spending time playing with friends	男(Male)	66.9	28.4	4.2	44.4	39.5	11.6	***
	女(Female)	65.8	27.3	6.2	37.1	45.5	14.4	
	計(Total)	66.3	27.9	5.2	40.7	42.5	13.0	
2.お互いの家に遊びに行き来する Coming and going to friends' houses	2)**男(Male)	43.9	40.6	14.8	34.6	43.9	16.5	
	女(Female)	28.1	46.6	24.1	39.6	43.2	14.1	
	計(Total)	36.2	43.5	19.4	37.2	43.6	15.3	
3.一緒に勉強する Studying together	2)*男(Male)	3.5	28.9	66.4	11.9	25.3	30.0	***
	女(Female)	10.3	40.4	47.5	14.1	35.9	46.2	
	計(Total)	6.9	34.5	57.2	13.0	30.7	38.2	
4.電話で話をする Talking with friends on the phone	2)***男(Male)	17.1	39.0	43.0	41.3	35.7	16.8	***
	女(Female)	42.6	37.4	18.7	65.2	19.2	12.9	
	計(Total)	29.6	38.2	31.1	53.4	27.3	14.8	
5.異性のことを話す Talking with friends about people of the opposite sex	2)***男(Male)	18.3	34.0	46.2	42.4	29.5	20.2	***
	女(Female)	44.8	33.5	20.4	55.8	27.0	12.9	
	計(Total)	31.3	33.8	33.7	49.2	28.2	16.5	
6.家や親の不満や悩みを話す Complaining about home and parents to friends	2)***男(Male)	7.7	26.3	64.3	20.9	34.6	38.5	***
	女(Female)	21.4	34.0	43.6	25.8	38.4	32.1	
	計(Total)	14.4	30.0	40.6	23.4	36.5	35.2	
7.学校や他の友人の不満や悩みを話す Complaining about school and/ or peers to friends	2)***男(Male)	19.7	40.6	37.8	33.1	39.3	21.4	*
	女(Female)	49.5	33.7	15.3	33.8	42.2	19.4	
	計(Total)	34.3	37.3	26.8	33.5	40.7	20.4	
8.将来のことを話す Talking with friends about the future	男(Male)	11.5	35.2	51.4	31.3	38.0	23.3	***
	女(Female)	11.1	35.5	52.5	32.8	43.2	20.5	
	計(Total)	11.3	35.3	51.9	32.1	40.6	21.8	
9.お金や大切な物を貸し借りする Borrowing or lending money and valuables	男(Male)	14.4	35.4	53.6	22.2	42.4	27.9	***
	女(Female)	7.6	28.3	63.3	21.7	45.5	28.5	
	計(Total)	8.7	32.0	58.4	22.0	43.9	28.2	
10.言い争ったりけんかしたりする Quarreling or scuffling with friends	男(Male)	8.0	38.7	51.9	20.4	30.5	41.6	***
	女(Female)	10.3	36.9	51.0	12.9	39.4	42.2	
	計(Total)	9.1	37.9	51.4	16.6	35.0	41.9	
11.友達の家泊まる Staying the night at friends' houses	男(Male)	4.7	16.7	76.5	25.6	42.1	26.4	***
	女(Female)	3.4	16.5	78.3	33.6	42.7	19.9	
	計(Total)	4.1	16.6	77.8	29.6	42.4	23.1	

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

2)The Comparisons between Male and Female

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表Q11. あなたは趣味や好きな活動は何ですか。当てはまる番号にいくでも○をつけてください。
What are your hobbies or favorite activities? Cercle all that apply:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較1)
	男(Male)	女(Female)	計(Total)	男(Male)	女(Female)	計(Total)	
1.スポーツをする Participating in sports	68.5 2)***	53.7	61.3	81.1 2)***	55.8	68.5	**
2.スポーツを見に行く Attending sports events	19.5 2)***	8.4	14.0	53.2 2)***	30.6	41.9	***
3.ハイキングに行く Hiking	7.0	6.2	6.7	16.5 2)*	8.3	12.4	***
4.釣りをする Fishing	36.9 2)***	5.2	21.4	27.0 2)***	7.1	21.9	
5.テレビやビデオを見る Watching TV and videos	71.4 2)*	77.8	74.7	77.3	80.3	78.3	
6.映画館に行く Going to the movies	45.3	48.8	47.0	67.2 2)***	82.8	75.3	***
7.テレビゲームをする Playing video games on TV	86.4 2)***	32.5	60.0	69.5 2)***	33.3	51.1	**
8.ゲームセンターに行く Going to video arcades	34.0	27.3	30.9	27.6 2)***	11.1	19.6	***
9.音楽を聴く Listening to music	50.2 2)***	74.3	61.8	79.6 2)***	92.2	85.8	***
10.楽器を演奏する Playing musical instruments	9.4 2)***	30.8	19.7	24.5	17.7	21.1	
11.歌を歌う(カラオケを除く) Singing(except going to KARAOKE)	10.1 2)***	41.4	25.2	14.5 2)***	50.8	32.5	***
12.カラオケに行く Going to the KARAOKE room to singing songs	10.6 2)***	44.1	26.4	19.1 2)*	26.8	22.8	***
13.漫画を読む Reading comic books	74.6	71.4	73.2	10.9 2)*	3.0	6.9	***
14.漫画以外の本を読む Reading books other than comics	22.3 2)**	30.8	26.4	19.1	26.8	22.8	
15.絵や漫画を描く Drawing pictures and cartoons	12.0 2)***	31.0	21.1	35.1	26.5	30.6	***
16.電話で話す Talking on the phone	14.6 2)***	47.3	30.5	56.8 2)***	81.8	69.5	***
17.パソコンをする Personal computers	20.0	22.7	21.3	49.1	42.4	45.6	***
18.料理をする Cooking	11.0 2)***	28.6	19.5	26.1	35.6	30.9	***
19.買い物をする Shopping	30.5 2)***	75.6	52.6	34.4 2)***	80.3	57.5	*
20.繁華街に行く Going to the mool	10.8	14.5	12.5	58.1 2)***	86.6	72.8	***
21.教会に行く Going to the church	2.1	1.0	1.6	41.6	57.6	49.5	***

1)The Comparisons between Fukushima and Nashville City

2)The Comparisons between Male and Female

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表Q12 あなたは家庭で毎日、平均してどのくらい勉強をしていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

On average, how much time each day do you study at home? Circle one:

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較1)
	男(Male)	女(Female)	計(Total)	男(Male)	女(Female)	計(Total)	
1.ほとんどしていない Almost none	19.0	17.0	17.9	23.5	21.0	22.3	***
2.30分くらい About 30 minutes	25.3	21.2	23.3	25.6	25.3	25.0	
3.1時間くらい About an hour	37.6	39.7	38.4	27.9	26.0	27.1	
4.2時間くらい About 2 hours	16.2	17.2	16.5	13.2	19.2	16.4	
5.3時間くらい About 3 hours	1.6	2.7	2.2	2.6	5.6	4.0	
6.4時間くらい About 4 hours	0.0	0.5	0.2	3.1	2.0	2.6	
7.5時間以上 More than 5 hours	0.2	1.0	0.8	2.8	0.5	1.8	

1) The Comparisons between Fukushima and Nashville City

* p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

※福島市、ナッシュビル市共に男女間には有意差なし。

表S-Q13. あなたは中学生になってから、学校に行くのがいやになったことがありますか。
 Since the 7th grade, how often have you wished you could be absent from school?

* p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001

※ A comparison between Fukushima and Nashville City.

	福島市 Fukushima		ナッシュビル市 Nashville		両市の 比較 ※
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
よくある very often	14.8	12.6	17.6	18.4	18.0
ときどきある Sometimes	18.6	21.4	18.3	19.7	19.0
たまにある Once a while	45.7	53.2	35.4	32.8	34.1
まったくない Never	20.6	12.6	27.1	27.8	27.5
無回答、不明 NA, DN	0.3	0.2	1.6	1.3	1.4
計 Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

┌ * ─┐

┌ n.s. ─┐

表S-Q14. 学校に行くのがいやになったのは、どういう理由からですか。(複数回答)

What caused you to dislike going to school? (Multiple choices)

* p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001

※ The comparisons between Fukushima and Nashville City.

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較 ※
	男 Male	女 Female	性差 Total	男 Male	女 Female	性差 Total	
	友だちにいじめられる I am bullied by fellow students	4.7	4.2	4.5	9.8	7.1	
友だちとうまくいかない I do not get along with fellow students	15.1	36.1***	25.3	16.5	17.5	17.0	***
先生がきらい I do not like teachers	21.5	24.2	22.8	35.9	33.8	34.8	***
勉強がきらい I don't feel like studying	28.6	30.0	29.3	36.7	34.3	35.5	**
授業がわからない I don't understand the subjects we study at school	11.7	18.3**	14.9	14.7	20.8	17.8	
学校に行くのがこわくて不安 I am afraid of going to school	3.1	3.7	3.4	4.4	2.8	3.6	
人と話すのがこわい I am afraid of talking with people	2.6	3.7	3.1	2.8	1.8	2.3	
体の調子がわるい I am often sick	20.8	22.7	21.7	8.3	6.9	7.6	***
家庭がおもしろくない My home is unpleasant for me	2.3	3.2	2.8	4.4	6.9	5.6	**
学校の外におもしろいことがある I have interesting things to do outside school	4.9	5.7	5.3	30.0	23.1	26.5	***
親と離れたくない I don't want to be away from my parents	0.0	0.2	0.1	4.9	5.1	5.0	***
校則に不満がある I am dissatisfied with school regulations	14.5	16.9	15.7	24.8	24.6	24.7	***
学校の部活動が負担 A club activity at school is a burden for me	12.2	15.8	13.9	3.9	1.5	2.7	***
特に理由がない There is no particular reason	22.8	18.7	20.8	18.1	18.0	18.0	
その他 Other reasons	10.8	13.1	11.9	11.1	18.7**	14.6	

表S-Q15. 学校に行くのがいやになったとき、あなたはどうしましたか。
What did you do when you felt reluctant to go to school?

*** p<0.001

	※ A comparison between Fukushima and Nashville city.				両市の比較 ※	
	福島市 Fukushima		ナッシュビル市 Nashville			
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female		
一度も休んだことがない I have never been absent from school	68.9	70.4	69.6	9.5	9.2	9.3
遅刻や早退をしたが、休まなかった I have been late for school or I have left school earlier than usual, but I have never been absent from school	9.6	7.9	8.8	15.0	11.7	13.3
1～6日くらい休んだ I have been absent from school for about one day to six days	11.2	13.3	12.2	31.3	34.9	33.1
1～3週間くらい休んだ I have been absent from school for about one week to three weeks	1.2	1.2	1.2	6.6	8.1	7.4
1ヶ月以上休んだ I have been absent from school for more than one month	0.2	0.2	0.2	1.3	2.0	1.7
無回答、不明 NA, DN	8.9	7.0	8.0	36.3	34.1	35.2
計 Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

└n.s.┘

└n.s.┘

表S-Q16. 中学生になってから、あなたはクラスの中で次のようないじめを経験しましたか。
Have you experienced bullying in any of the following ways since 7th grade?

- 1 = した I've done these things
 2 = された I have had these things done to me
 3 = 両方ある I've done these things and they have been done to me
 4 = 両方なし I have not done these things and they have not been done to me
 5 = 無回答、不明 NA, DN

* p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001
 ※ The comparisons between Fukushima and Nashville.

	福島市 Fukushima					ナッシュビル市 Nashville					両市の 比較 ※	
		1	2	3	合計		1	2	3	合計		
		男 Female	女 Total	男 Female	女 Total		計 Total	男 Female	女 Total	男 Female		女 Total
無視したり、仲間外れにする Ignoring and leaving someone out of the group	15.2	4.2	10.1	29.5	29.5	***	27.9	15.6	22.1	65.6		
悪口をいったり、からかう Making fun of and calling someone naames	14.3	12.1	9.1	35.5	35.5		26.8	15.2	27.8	69.8		
持ち物を隠す Hiding someone's belongings	26.0	9.8	22.0	57.8	57.8		23.0	11.6	41.6	76.2	***	***
持ち物を汚したり壊す Destroying or dirtying someone's belongings	23.6	13.3	19.2	56.1	56.1		21.5	16.4	36.4	74.3		
言葉で脅す Threatening someone with words	24.8	11.5	20.6	56.9	56.9		22.2	14.0	39.0	75.2		***
殴ったり、けったりする Hitting and/or kicking classmates	5.2	7.3	5.9	18.4	18.4	***	24.7	13.2	19.7	57.6	***	***
お金や物を取る Taking away money and belongings	1.7	9.4	1.0	12.1	12.1		14.6	11.6	18.9	45.1		
着ている物を脱がす (英語版では除外)	3.5	8.3	3.5	15.3	15.3		19.6	12.4	19.3	51.3		***
使い走りさせる Ordering to do errands	3.5	5.2	6.1	14.8	14.8	***	11.1	11.7	8.3	31.1	***	***
人が嫌がることを無理にさせる Forcing someone to do what they dislike	2.0	5.2	0.2	7.4	7.4		10.4	9.1	3.0	22.5	***	***
その他 Another form of bullying	2.8	5.2	3.2	11.2	11.2		10.8	10.4	5.6	26.8		***
	8.9	7.7	8.0	24.6	24.6	***	17.1	12.7	23.1	52.9	***	***
	3.9	4.4	3.7	12.0	12.0		18.2	11.6	19.0	48.8		***
	6.5	6.1	5.9	18.5	18.5		17.7	12.2	21.0	50.9		***
	9.4	6.8	14.8	31.0	31.0	***	22.2	7.8	24.5	54.5	***	***
	1.0	1.8	2.3	5.1	5.1		18.5	8.1	18.5	45.1	***	***
	5.3	4.3	8.6	18.2	18.2		20.3	7.9	21.5	49.7		***
	0.5	3.0	0.7	4.2	4.2		12.1	10.1	5.4	27.6	***	***
	0.2	2.0	0.7	2.9	2.9		6.3	10.1	5.1	21.5	***	***
	0.4	2.5	0.7	3.6	3.6		9.2	10.1	5.2	24.5		***
	2.6	2.8	3.0	8.4	8.4	***				0.0		
	0.5	1.2	0.7	2.4	2.4					0.0		
	1.6	2.0	1.9	5.5	5.5					0.0		
	4.4	2.3	3.7	10.4	10.4	**	7.0	5.5	4.9	17.4	***	***
	1.5	2.0	1.2	4.7	4.7		5.1	3.1	3.6	11.8		***
	2.2	2.5	2.5	7.2	7.2		6.0	4.2	4.2	14.4		***
	3.5	3.7	4.4	11.6	11.6	*	14.2	7.2	11.6	33.0	*	***
	1.2	5.4	1.7	8.3	8.3		12.1	8.1	10.9	31.1		***
	2.4	4.6	3.1	10.1	10.1		13.2	7.7	11.2	32.1		***
	3.0	0.0	0.0	3.0	3.0	*	6.7	7.8	5.4	19.9	*	***
	7.1	0.2	0.0	7.3	7.3		4.1	6.9	5.6	16.6		***
	5.0	0.1	0.0	5.1	5.1		5.4	7.3	5.5	18.2		***

表S-Q17. あなたは今のクラスの中で「いじめ」を目撃したとき、どのように振る舞いましたか。
 What did you do when you saw someone bullying others?

*** p<0.001

※ A comparison between Fukushima and Nashville city.

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較 ※
	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	
	とめようとした I tried to stop it.	17.1	9.6	13.4	29.5	30.6	
大人に話した I told an adult.	6.1	11.3	8.6	5.2	9.6	7.4	
その場から逃げた I ran away from the scene.	3.7	3.9	3.8	2.6	6.1	4.3	
何もしなかった I did nothing.	50.1	49.5	49.8	34.9	28.6	31.7	***
面白がって見ていた I watched with interest but did not actively participated.	6.3	3.7	5.0	16.3	18.5	17.4	
いじめに加わった I actively participated.	2.3	0.7	1.6	2.6	0.5	1.5	
無回答、不明 NA, DN	14.4	21.3	17.8	8.9	6.1	7.6	
計 Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

┌ *** ─┐

└ *** ─┘

表S-Q18. 中学生の次のような行為についてどのようにお考えですか。(No. 1)
What do you think about the following behaviors of 7th to 9th graders?

- 1=とても悪い Very Bad
2=悪い Bad
3=それほど悪くない Not so bad
4=悪くない Not bad at all
5=無回答、不明 NA, DN

* p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001

※ The comparisons between Fukushima and Nashville city.

	福島市 Fukushima						ナッシュビル市 Nashville						両市の 比較 ※
	1	2	3	4	5	計 Total	1	2	3	4	5	計 Total	
	学校をさぼる Skipping school without reason.	31.6	38.9	20.1	8.7	0.7	100.0	37.6	31.1	15.5	9.6	6.2	
学校にどうしても行けない Would like to go to school but is too afraid to go.	13.2	13.7	40.8	30.7	1.6	100.0	25.1	18.7	20.7	26.7	8.8	100.0	
学校で他人をいじめる Bullying others at school.	4.2	16.3	47.5	31.8	0.2	100.0	30.8	27.5	18.8	19.3	3.6	100.0	
授業中、用もないのに席を離れる Leaving your seat without any reason.	8.8	14.9	44.1	31.2	1.0	100.0	28.0	23.1	19.8	23.0	6.1	100.0	
授業中に騒いで授業を妨害する Disrupting class by being noisy.	55.9	35.9	4.7	1.9	1.6	100.0	41.5	28.8	13.5	9.1	7.1	100.0	
友人を脅したり暴力を振るう Threatening or using violence on peers.	61.0	33.3	3.7	1.5	0.5	100.0	52.0	27.0	8.8	7.3	4.9	100.0	
先生を脅したり暴力を振るう Threatening or using violence on teachers.	58.4	34.7	4.2	1.7	1.0	100.0	46.8	27.9	11.1	8.2	6.0	100.0	
学校の物を壊す Damaging school property.	32.8	44.5	16.9	4.2	1.6	100.0	18.5	22.4	31.0	20.8	7.3	100.0	
タバコを吸う Smoking	26.8	48.8	19.5	4.2	0.7	100.0	10.6	17.2	41.5	26.8	3.9	100.0	
	29.9	46.6	18.1	4.2	1.2	100.0	14.5	19.8	36.3	23.9	5.5	100.0	
	44.3	39.3	11.7	3.5	1.2	100.0	26.4	32.6	21.4	11.9	7.7	100.0	
	44.1	39.9	12.6	3.2	0.2	100.0	17.0	35.4	34.7	8.6	4.3	100.0	
	44.2	39.6	12.1	3.4	0.7	100.0	21.6	34.0	28.1	10.2	6.1	100.0	
	63.6	30.0	3.3	1.9	1.2	100.0	48.8	24.0	10.3	9.6	7.3	100.0	
	78.0	18.5	1.2	2.2	0.1	100.0	58.1	19.2	10.9	7.6	4.2	100.0	
	70.6	24.4	2.3	2.0	0.7	100.0	53.5	21.6	10.6	8.6	5.7	100.0	
	62.5	26.5	5.2	4.4	1.4	100.0	59.2	11.1	8.8	12.7	8.2	100.0	
	68.5	23.9	3.7	3.2	0.7	100.0	64.1	15.7	6.6	9.6	4.0	100.0	
	65.4	25.2	4.4	3.8	1.2	100.0	61.7	13.4	7.7	11.1	6.1	100.0	
	46.6	41.2	8.2	3.0	1.0	100.0	43.2	26.9	10.3	11.6	8.0	100.0	
	45.1	45.1	7.6	2.2	0.0	100.0	38.8	32.0	15.0	10.2	4.0	100.0	
	45.9	43.1	7.9	2.6	0.5	100.0	41.0	29.4	12.7	10.9	6.0	100.0	
	62.5	23.9	8.2	4.4	1.0	100.0	53.2	14.0	10.9	14.2	7.7	100.0	
	63.1	27.1	6.7	3.1	0.0	100.0	56.8	17.9	10.6	10.6	4.1	100.0	
	62.8	25.5	7.4	3.8	0.5	100.0	55.0	16.0	10.7	12.4	5.9	100.0	

表S-Q18. 中学生の次のような行為についてのどのような考えですか。(No. 2)
What do you think about the following behaviors of 7th to 9th graders?

酒やビールを飲む Drinking alcohol.	男	52.7	27.2	13.6	5.9	0.6		100.0	53.7	14.7	11.1	12.7	7.8		100.0
	女	53.4	28.6	14.0	3.9	0.1		100.0	61.4	12.9	9.8	12.1	3.8		100.0
	計	53.1	27.6	13.8	4.9	0.6		100.0	57.6	13.8	10.5	12.4	5.7		100.0
シナーを吸ったり薬を乱用する Sniffing solvents or abusing drugs.	男	79.9	13.3	2.8	2.6	1.4]*	100.0	59.9	11.1	7.5	13.2	8.3]**	100.0
	女	83.3	13.8	0.7	2.2	0.0		100.0	71.0	11.4	5.3	8.3	4.0		100.0
	計	81.5	13.6	1.8	2.4	0.7		100.0	65.5	11.2	6.4	10.7	6.2		100.0
麻薬や覚醒剤を使用する Taking narcotics or stimulants.	男	80.1	13.3	3.0	2.3	1.3		100.0	52.7	16.5	9.6	13.2	8.0		100.0
	女	84.0	13.1	0.7	1.7	0.5		100.0	61.9	12.4	8.4	12.2	5.1		100.0
	計	82.0	13.2	1.9	2.0	0.9		100.0	57.4	14.5	9.0	12.7	6.4		100.0
ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る (英語版では除外)	男	31.9	25.3	22.0	18.3	2.5]*	100.0							
	女	38.9	27.3	20.7	12.6	0.5		100.0							
	計	35.3	26.3	21.4	15.5	1.5		100.0							
夜中まで盛り場で遊ぶ Playing around at the mall, arcade, or movies till late at night.	男	37.0	32.3	19.7	9.6	1.4		100.0	14.7	17.6	25.6	33.6	8.5		100.0
	女	39.7	36.0	17.0	7.3	0.0		100.0	11.4	17.9	30.3	35.9	4.5		100.0
	計	38.3	34.1	18.4	8.5	0.7		100.0	13.0	17.8	28.0	34.7	6.5		100.0
保護者に無断で外泊する Staying out overnight without guardian's consent.	男	30.9	46.1	15.0	5.9	2.1]**	100.0	19.9	27.5	19.7	23.3	9.6]**	100.0
	女	36.0	44.1	17.5	2.2	0.2		100.0	22.0	30.3	25.5	17.9	4.3		100.0
	計	33.4	45.1	16.2	4.1	1.2		100.0	21.0	28.9	22.6	20.6	6.9		100.0
家出する Running away from home.	男	23.9	32.3	29.5	12.2	2.1		100.0	41.1	24.3	13.4	12.9	8.3		100.0
	女	21.7	38.7	28.3	10.8	0.5]*	100.0	43.5	29.0	12.7	10.4	4.4		100.0
	計	22.8	35.4	28.9	11.5	1.4		100.0	42.3	26.7	13.1	11.7	6.2		100.0
学校の中で人を殴ったり蹴ったりする Hitting and kicking others at school.	男	48.0	39.8	8.7	1.6	1.9]**	100.0	32.6	33.3	14.7	11.6	7.8		100.0
	女	66.3	29.3	2.7	1.5	0.2		100.0	36.7	34.2	17.2	7.8	4.1		100.0
	計	56.9	34.7	5.8	1.6	1.0		100.0	34.7	33.8	16.0	9.7	5.8		100.0
学校の外で人を殴ったり蹴ったりする Hitting and kicking others outside of school.	男	54.1	35.6	6.3	1.9	2.1]**	100.0	31.2	26.8	16.4	17.4	8.2]**	100.0
	女	70.0	27.3	1.0	1.5	0.2		100.0	36.9	26.0	21.2	11.4	4.5		100.0
	計	61.8	31.6	3.7	1.7	1.2		100.0	34.1	26.4	18.8	14.3	6.4		100.0
学校の中で人を脅してお金や物をとる Extorting money or belongings from others by threat at school.	男	66.3	28.6	1.9	1.2	2.0]**	100.0	49.7	21.8	8.3	12.7	7.5]*	100.0
	女	77.1	21.2	0.5	1.0	0.2		100.0	57.3	22.0	8.8	7.6	4.3		100.0
	計	71.5	25.0	1.2	1.1	1.2		100.0	53.6	21.9	8.6	10.1	5.8		100.0
学校の外で人を脅してお金や物をとる Extorting money or belongings from others by threat outside of school.	男	67.2	27.6	1.6	1.4	2.2]**	100.0	48.7	19.0	12.0	13.0	7.3]**	100.0
	女	77.5	20.7	0.5	1.0	0.3		100.0	55.8	23.5	8.1	8.3	4.3		100.0
	計	72.2	24.3	1.1	1.2	1.2		100.0	52.3	21.3	10.0	10.6	5.8		100.0

表S-Q18. 中学生の次のような行為についての考えか。(No. 3)
 What do you think about the following behaviors of 7th to 8th graders?

万引きする Shoplifting.	男	27.4	2.3	2.1	2.4		100.0	50.3	19.9	8.3	13.5	8.0	100.0
	女	72.9	1.2	1.2	0.6		100.0	60.3	20.1	8.4	7.6	3.6	100.0
	計	69.3	1.8	1.7	1.4		100.0	55.3	20.0	8.3	10.5	5.9	100.0
他人の自転車に無断で乗る Riding other's bicycle without permission.	男	56.0	30.2	9.4	1.9	2.5	100.0	25.9	26.9	22.0	17.6	7.6	100.0
	女	62.6	33.5	1.7	2.0	0.2	100.0	18.1	25.7	32.8	19.1	4.3	100.0
	計	59.2	31.8	5.6	1.9	1.5	100.0	22.0	26.3	27.5	18.4	5.8	100.0
オートバイや自動車を運転する Driving a motorbike or a car.	男	55.5	30.0	7.5	4.9	2.1	100.0	19.2	12.4	19.4	41.5	7.5	100.0
	女	66.3	26.8	4.2	2.5	0.2	100.0	16.5	10.9	26.6	41.9	4.1	100.0
	計	60.7	28.5	5.9	3.7	1.2	100.0	17.8	11.7	23.1	41.7	5.7	100.0
友達の服などを脱がす (英語版では除外)	男	55.2	29.8	7.5	4.9	2.6	100.0						
	女	70.0	23.9	3.9	1.7	0.5	100.0						
	計	62.4	26.9	5.8	3.4	1.5	100.0						
異性と性的な関係をもつ (英語版では除外)	男	28.1	22.7	25.1	20.6	3.5	100.0						
	女	26.4	25.9	26.1	20.2	1.4	100.0						
	計	27.3	24.1	25.6	20.4	2.6	100.0						
学校にナイフなどの凶器を持っていく Bringing a knife or other weapons to school.	男	61.6	23.9	8.0	4.2	2.3	100.0	61.2	12.1	6.5	12.1	8.1	100.0
	女	64.3	26.4	5.9	2.7	0.7	100.0	71.5	9.6	6.3	8.8	3.8	100.0
	計	62.9	25.1	7.0	3.5	1.5	100.0	66.4	10.9	6.4	10.5	5.8	100.0
自殺する (英語版では除外)	男	66.0	15.9	6.3	9.8	2.0	100.0						
	女	63.8	18.7	8.9	7.6	1.0	100.0						
	計	64.9	17.3	7.6	8.8	1.4	100.0						

表S-Q19. 現在の自分について、あてはまる番号に○をつけてください。(No. 1)
Which of the following are you? For each item, circle the number that applies.

- 1 = 当てはまる Very much like me
 2 = 少し当てはまる A little like me
 3 = どちらでもない Undecided
 4 = 少し当てはまらない Not much like me
 5 = 当てはまらない Not like me at all
 6 = 無回答、不明 NA, DN

* p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001

※ The Comparisons between Fukushima and Nashville City.

	福島市 Fukushima						ナッシュビル市 Nashville						両市の 比較 ※	
	1	2	3	4	5	6	計 Total	1	2	3	4	5		6
私は勉強ができる I am good at studying.	男 Male	6.3	14.5	34.0	17.8	25.8	1.6	15.8	29.5	14.2	18.6	14.5	7.4	100.0
	女 Female	3.9	18.7	33.7	20.2	23.2	0.3	19.9	35.9	14.4	16.2	10.9	2.7	100.0
	計 Total	5.2	16.6	33.9	19.0	24.5	0.6	99.8	17.9	32.7	14.3	17.4	12.6	5.1
私はクラスで人気がある I am popular with my classmates.	男 Male	3.5	11.2	45.0	18.0	19.9	2.4	30.2	33.9	12.7	8.0	7.2	8.0	100.0
	女 Female	2.5	8.4	46.3	17.5	24.9	0.4	36.6	32.6	11.4	7.8	8.6	3.0	100.0
	計 Total	3.0	9.8	45.6	17.8	22.3	1.5	100.0	33.5	33.2	12.0	7.9	5.5	100.0
私は活動的である I am active.	男 Male	14.1	21.5	30.4	15.9	15.5	2.6	53.7	19.6	9.6	5.2	2.6	9.3	100.0
	女 Female	13.1	22.4	27.6	20.9	15.3	0.7	47.8	27.8	10.1	6.1	5.3	2.9	100.0
	計 Total	13.6	22.0	29.1	18.4	15.4	1.5	50.8	23.8	9.8	5.6	4.0	6.0	100.0
私は正直である I am honest.	男 Male	10.8	24.6	34.9	16.4	10.5	2.8	30.6	30.1	21.0	7.3	2.8	8.2	100.0
	女 Female	10.6	22.9	35.5	20.2	10.1	0.7	36.4	37.1	13.9	6.8	2.8	3.0	100.0
	計 Total	10.7	23.8	35.2	18.2	10.3	1.8	100.0	33.5	33.6	17.4	7.0	2.8	5.7
私は他人に親切でやさしい I am kind and gentle to others.	男 Male	10.3	15.7	45.9	16.6	9.4	2.1	26.6	31.8	19.9	7.5	4.9	9.3	100.0
	女 Female	8.6	25.1	40.9	15.3	9.1	1.0	34.7	38.5	13.9	6.1	3.5	3.3	100.0
	計 Total	9.5	20.3	43.5	16.0	9.2	1.5	100.0	30.7	35.2	16.9	6.8	4.2	6.2
私は正義感がつよい I have a strong sense of justice.	男 Male	7.0	13.8	45.2	19.7	11.9	2.4	36.0	25.6	19.2	8.0	3.4	7.8	100.0
	女 Female	10.3	17.7	37.9	19.7	13.8	0.6	41.0	28.1	18.0	5.3	3.0	4.6	100.0
	計 Total	8.6	15.7	41.7	19.7	12.8	1.5	100.0	38.5	26.9	18.6	6.7	3.2	6.1
私は勇気がある I am courageous.	男 Male	8.0	11.5	45.2	19.4	13.8	2.1	32.4	29.0	17.9	7.3	5.2	8.2	100.0
	女 Female	7.9	13.8	37.5	22.2	18.0	0.6	33.2	34.2	18.7	5.6	3.8	4.5	100.0
	計 Total	7.9	12.6	41.5	20.8	15.9	1.3	100.0	32.8	31.6	18.3	6.4	4.5	6.4

表S-Q19. 現在の自分について、あてはまる番号に○をつけてください。(No. 2)
Which of the following are you? For each item, circle the number that applies.

私は忍耐がある I am patient.	男	8.4	14.5	44.0	16.9	13.6	2.6		100.0	22.5	25.4	16.8	13.7	11.7	9.9	100.0
	女	8.4	14.0	38.4	21.4	17.0	0.8		100.0	24.5	27.8	15.4	12.1	15.4	4.8	100.0
	計	8.4	14.3	41.3	19.1	15.2	1.7		100.0	23.5	26.6	16.1	12.9	13.6	7.3	100.0
私はリーダーシップを発揮している I am a leader.	男	5.2	11.2	35.6	22.7	23.0	2.3		100.0	46.8	18.6	12.9	7.0	5.7	9.0	100.0
	女	6.4	11.6	31.8	23.2	26.8	0.2		100.0	42.9	25.8	15.2	7.3	4.0	4.8	100.0
	計	5.8	11.4	33.7	22.9	24.8	1.4		100.0	44.8	22.2	14.0	7.2	4.9	6.9	100.0
私は自立している I am independent.	男	5.9	10.8	45.2	19.7	16.2	2.2	***	100.0	45.7	23.8	13.2	4.9	3.4	9.0	100.0
	女	4.7	13.8	36.0	22.9	22.2	0.4		100.0	55.4	24.6	9.9	3.8	2.0	4.3	100.0
	計	5.3	12.2	40.7	21.2	19.1	1.5		100.0	50.6	24.2	11.5	4.3	2.7	6.7	100.0
私は社会的なモラルを身につけている I am a moral person.	男	7.3	10.8	41.9	22.2	15.9	1.9		100.0	30.5	28.4	22.0	5.4	4.1	9.6	100.0
	女	6.7	9.4	40.6	20.7	21.9	0.7		100.0	42.0	23.5	21.8	4.3	3.5	4.9	100.0
	計	7.0	10.1	41.3	21.5	18.8	1.3		100.0	36.3	26.0	21.9	4.9	3.8	7.1	100.0
私は自分に自信がある I have confidence in myself.	男	8.7	12.7	37.8	19.7	18.5	2.6	***	100.0	57.5	17.4	8.0	3.9	4.4	8.8	100.0
	女	4.4	7.4	37.4	22.9	26.8	1.1		100.0	58.8	19.2	7.3	5.6	5.1	4.0	100.0
	計	6.6	10.1	37.6	21.3	22.6	1.8		100.0	58.2	18.3	7.7	4.7	4.7	6.4	100.0
私は自分の行動に責任をもてる I can conduct responsibly.	男	9.4	17.1	33.7	23.2	14.8	1.8		100.0	50.3	21.5	10.9	6.0	3.6	7.7	100.0
	女	8.6	17.2	36.7	23.6	12.8	1.1		100.0	56.6	24.7	8.1	4.3	3.0	3.3	100.0
	計	9.0	17.2	35.2	23.4	13.8	1.4		100.0	53.5	23.1	9.5	5.1	3.3	5.5	100.0

表S-Q20 あなたは次のようなことをしたいと思ったり思っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。
Have you ever wanted to do the following things? For each item, circle the number that applies, with:

- 1=よくある Very often
2=時々ある Sometimes
3=ほとんどない Almost never
4=ない Never
5=無回答、不明 NA, DN

* p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001

※ The Comparisons between Fukushima and Nashville City.

	福島市 Fukushima						ナッシュビル市 Nashville						両市の 比較 ※
	1	2	3	4	5	性差 計 Total	1	2	3	4	5	性差 計 Total	
思いきり誰かを殴ってみたいと思うことがある I want to give somebody a good beating	29.3	33.7	22.2	13.3	1.5	100.0	37.1	40.9	10.2	11.2	0.3	100.0	
手あたりしだい物を壊してみたいと思うことがある I want to destroy anything I can lay my hand on	17.7	36.0	26.8	19.0	0.5	100.0	35.2	33.7	15.2	15.2	0.3	100.0	
誰も知らないところに行きたいと思うことがある I want to go somewhere that nobody knows	23.6	34.8	24.5	16.1	1.0	100.0	36.1	37.2	12.8	13.3	0.3	100.0	
死んだら楽になれると思うことがある (英語版では除外)	24.4	23.9	26.0	23.7	2.0	100.0	19.9	24.1	21.5	34.1	0.0	100.0	
	20.2	33.7	24.1	21.2	0.8	100.0	16.2	19.7	20.0	43.8	0.0	100.0	
	22.3	28.7	25.1	22.4	1.5	100.0	18.0	21.8	20.7	39.2	0.0	100.0	
	32.3	25.5	20.1	20.1	2.0	100.0	35.3	27.5	11.0	25.9	0.0	100.0	
	34.0	30.3	18.7	16.5	0.5	100.0	36.5	22.6	12.2	28.5	0.0	100.0	
	33.1	27.9	19.4	18.4	1.2	100.0	35.9	24.9	11.6	27.2	0.0	100.0	
	11.5	10.1	21.1	55.7	1.6	100.0							
	10.9	19.3	20.7	47.9	1.2	100.0							
	11.2	14.5	20.9	51.9	1.5	100.0							

注) ナッシュビル市の1校がこの質問を除外して回答した。One school in Nashville skipped this question.

表S-Q21. あなたは将来どんな大人になりたいですか？ 最も当てはまる番号を一つだけ選んで○をつけてください。
 What kind of a person do you want to be in the future? Circle one that most applies:

* p<0.05 ** p<0.01 ***p<0.001

※ A comparison between Fukushima and Nashvill.

	福島市 Fukushima			ナッシュビル市 Nashville			両市の 比較 ※
	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	
	お金持ちになりたい I want to be rich	15.0	10.1	12.6	27.3	15.1	
偉い人になって、人の上にたちたい I want to be a person in a high position	3.3	1.2	2.3	8.9	8.2	8.5	
テレビにでるタレントのように有名になりたい I want to be a famous person like TV stars	9.6	10.1	9.8	6.5	10.2	8.4	
お金や名誉よりも自分の好きなように生きたい I want to live freely as I like rather than to be rich or to be famous	30.0	32.8	31.3	10.4	11.0	10.7	
目立たないが人並みに暮らしていい人になりたい I want to be a person who can live an ordinary life	12.6	14.3	13.4	7.0	10.2	8.6	***
世の中や社会のために役立つ人になりたい I want to be a person who serves society and the community	11.5	14.0	12.7	2.3	2.3	2.3	
わからない I don't know what kind of person I want to be	4.4	7.4	5.9	6.3	5.9	6.1	
その他 Others (Please specify:)	2.6	3.0	2.8	7.8	10.2	9.0	
無回答、不明 NA, DN	11.0	7.1	9.2	23.5	26.9	25.3	
計 Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

「*」

「***」

表T-Q1. 調査回答者
The number of teachers

The Comparisons between Fukushima and Nashville City
*p<0.05 ** p<0.01 *** p<0.001

都市	男 Male	女 Female	不明 NA	総計 Total
福島市 Fukushima	183 51.3%	174 48.7%	0 0.0%	357 100.0%
ナッシュビル市 Nashville	42 28.4%	105 70.9%	1 0.7%	148 100.0%

(カイ2乗検定:***p<0.001)

表T-Q2. あなたは何年生の担任をしていますか。
What grade is your homeroom?

都市	中1 7th grade	中2 8th grade	中3 9th grade	担任せず No homeroom responsibilities	その他 Other	無回答 NA	総計 Total
Fukushima	19.6%	19.3%	18.8%	39.8%	2.0%	0.6%	100.0%
Nashville	21.6%	27.0%	0.0%	36.5%	9.5%	5.4%	100.0%
Total	20.2%	21.6%	13.3%	38.8%	2.4%	2.0%	100.0%

(カイ2乗検定:***p<0.001)

表T-Q3. あなたは、主に何年生を担当されていますか。(複数回答)
What grade(s) do you teach?

都市	中1 7th grade	中2 8th grade	中3 9th grade	担当せず No teaching responsibilities
Fukushima	46.5%	50.7%	49.9%	8.7%
Nashville	52.0%	52.7%	1.4%	4.1%
Total	48.1%	51.3%	35.6%	7.3%
χ^2 test	**		***	

表T-Q4. あなたの教職歴は、およそ何年くらいですか。
Approximately how many years have you worked in schools?

1=5年以内 Less than 5 years
2=6-10 years
3=11-15 years
4=16-20 years

5=21-25 years
6=26-30 years
7=31年以上 More than 31 years
8=NA

都市	1	2	3	4	5	6	7	8
Fukushima	7.6%	14.3%	24.6%	18.2%	13.2%	5.0%	17.1%	0.0%
Nashville	31.1%	20.3%	8.8%	11.5%	8.8%	9.5%	6.8%	3.4%
Total	14.5%	16.0%	20.0%	16.2%	11.9%	6.3%	14.1%	1.0%

(カイ2乗検定:***p<0.001)

表T-Q5. あなたは学校で何を担当していますか。(複数回答)
 What is your area of responsibility? Circle all that apply

	Fukushima	Nashville	Total	χ^2 test 1)
1. 国語 English	14.3%	28.4%	18.4%	***
2. 社会 social studies	11.5%	24.3%	15.2%	***
3. 数学 mathematics	14.6%	20.9%	16.4%	
4. 理科 science	14.3%	23.6%	17.0%	**
5. 外国語 foreign language	12.9%	2.7%	9.9%	***
6. 音楽 music	5.6%	6.1%	5.7%	
7. 美術 art	4.5%	2.7%	4.0%	
8. 体育 physical education	10.6%	5.4%	9.1%	
9. 技術 industrial arts	4.5%	1.4%	3.6%	
10. 家庭 domestic science	4.2%	1.4%	3.4%	
11. スクールカウンセラー school counselor	0.3%	1.4%	0.6%	
12. スクールサイコロジスト school psychologist	0.3%	0.0%	0.2%	
13. 管理職 administrator	10.1%	1.4%	7.5%	**
14. 養護教諭 school nurse	3.4%	0.0%	2.4%	*
15. 特殊学級担任 special education teacher	2.5%	10.8%	5.0%	***
16. 図書館司書 librarian	1.1%	1.4%	1.2%	
17. 教務員 school resource officer	0.0%	0.7%	0.2%	
18. その他 other	3.1%	7.4%	4.4%	*

1) The Comparisons between Fukushima and Nashville City

* $p < 0.05$ ** $p < 0.01$ *** $p < 0.001$

表 T-Q 6. あなたは生徒の親（保護者）について、以下の事項に関してどの程度問題だとお考えですか
Have you had any of the following things bothering you about a student's parents or gurdians recently?

- 1 = 問題になっている a serious problem
 2 = やや問題になっている a small problem
 3 = 問題になっていない not a problem
 4 = 無回答, 不明 NA, DK

1) The Comprisons between Fukushima and Nashville City
 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

質問項目	都市	1	2	3	4	総計	χ ² test 1)
Q6-1	Fukushima	33.3%	53.5%	10.9%	2.2%	100.0%	
Q6-1	Nashville	29.1%	46.6%	16.9%	7.4%	100.0%	
Q6-2	Fukushima	16.2%	58.3%	23.2%	2.2%	100.0%	***
Q6-2	Nashville	30.4%	46.6%	18.9%	4.1%	100.0%	
Q6-3	Fukushima	14.0%	58.5%	26.1%	1.4%	100.0%	**
Q6-3	Nashville	26.4%	47.3%	21.6%	4.7%	100.0%	
Q6-4	Fukushima	53.8%	38.9%	5.3%	2.0%	100.0%	
Q6-4	Nashville	46.6%	39.2%	8.8%	5.4%	100.0%	
Q6-5	Fukushima	38.9%	51.0%	9.2%	0.8%	100.0%	***
Q6-5	Nashville	23.6%	40.5%	31.1%	4.7%	100.0%	
Q6-6	Fukushima	38.9%	49.9%	10.4%	0.8%	100.0%	***
Q6-6	Nashville	23.0%	45.3%	27.7%	4.1%	100.0%	

- Q6-1= 親子の会話や意志疎通が少なくなっている
Less time for communication between parents and students
- Q6-2= 教師への期待が親によりバラバラである
Differents expectations of teachers among parents
- Q6-3= 親が教師に協力的でない
Parents are not cooperative with teachers
- Q6-4= 親が子どもの生活習慣やモラルについて放任
Parents show little interest in their children's daily habits and morals
- Q6-5= 親が子どもに過保護である
Parents are overprotevtive toward their children
- Q6-6= 親に利己主義的な傾向が強い
Parents tend to be self-centered

表T-Q7. あなたは、生徒の生活実態に関する以下の項目について、どの程度問題だと思いますか。
How would you rate the following tendencies among middle school students?

- 1 = 問題になっている a serious problem
 2 = やや問題になっている somewhat of a problem
 3 = 問題になっていない not a problem
 4 = 無回答, 不明 NA, DK

1) The Comparisons between Fukushima and Nashville
 *p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

質問項目	都市	1	2	3	4	総計	χ ² (test 1)
Q7-1	Fukushima	23.2%	57.4%	16.8%	2.5%	100.0%	***
Q7-1	Nashville	68.2%	27.7%	2.7%	1.4%	100.0%	
Q7-2	Fukushima	37.3%	51.3%	9.0%	2.5%	100.0%	***
Q7-2	Nashville	16.2%	59.5%	23.0%	1.4%	100.0%	
Q7-3	Fukushima	13.7%	58.3%	25.5%	2.5%	100.0%	
Q7-3	Nashville	16.2%	58.8%	23.0%	2.0%	100.0%	
Q7-4	Fukushima	16.8%	52.7%	27.7%	2.8%	100.0%	***
Q7-4	Nashville	31.1%	58.1%	8.8%	2.0%	100.0%	
Q7-5	Fukushima	22.7%	55.7%	19.0%	2.5%	100.0%	***
Q7-5	Nashville	40.5%	52.0%	6.1%	1.4%	100.0%	
Q7-6	Fukushima	30.3%	51.5%	15.1%	3.1%	100.0%	
Q7-6	Nashville	27.7%	58.1%	12.2%	2.0%	100.0%	
Q7-7	Fukushima	24.9%	55.5%	16.2%	3.4%	100.0%	**
Q7-7	Nashville	13.5%	55.4%	29.1%	2.0%	100.0%	
Q7-8	Fukushima	68.3%	26.1%	2.8%	2.8%	100.0%	***
Q7-8	Nashville	45.9%	48.0%	4.7%	1.4%	100.0%	
Q7-9	Fukushima	21.8%	56.9%	17.4%	3.9%	100.0%	
Q7-9	Nashville	31.1%	54.7%	12.2%	2.0%	100.0%	
Q7-10	Fukushima	33.1%	55.2%	8.7%	3.1%	100.0%	
Q7-10	Nashville	29.7%	54.7%	12.8%	2.7%	100.0%	
Q7-11	Fukushima	52.1%	39.5%	6.2%	2.2%	100.0%	
Q7-11	Nashville	54.1%	41.2%	3.4%	1.4%	100.0%	
Q7-12	Fukushima	20.7%	60.2%	16.5%	2.5%	100.0%	***
Q7-12	Nashville	39.9%	49.3%	9.5%	1.4%	100.0%	
Q7-13	Fukushima	30.0%	57.4%	10.1%	2.5%	100.0%	***
Q7-13	Nashville	64.9%	30.4%	3.4%	1.4%	100.0%	
Q7-14	Fukushima	23.2%	51.3%	22.7%	2.8%	100.0%	***
Q7-14	Nashville	4.7%	51.4%	41.9%	2.0%	100.0%	
Q7-15	Fukushima	40.3%	42.9%	13.7%	3.1%	100.0%	***
Q7-15	Nashville	20.3%	42.6%	35.8%	1.4%	100.0%	
Q7-16	Fukushima	33.1%	50.1%	13.7%	3.1%	100.0%	***
Q7-16	Nashville	63.5%	31.8%	2.7%	2.0%	100.0%	
Q7-17	Fukushima	38.7%	50.1%	8.1%	3.1%	100.0%	***
Q7-17	Nashville	11.5%	60.1%	27.0%	1.4%	100.0%	

- | | |
|---------------------------|--|
| Q7-1=学ぶ意欲をなくしている | Students may lack the will to study |
| Q7-2=良好な友人関係を形成できない | Students may lack the social skills to develop good friendship |
| Q7-3=行動が消極的である | Students may be passive |
| Q7-4=正直さがなくなっている | Students may not be honest |
| Q7-5=他人に対する優しさがなくなっている | Students may not be kind to others |
| Q7-6=正義感がなくなっている | Students may lack a sense of justice |
| Q7-7=勇気がなくなっている | Students may lack courage |
| Q7-8=我慢強さがなくなっている | Students may lack perseverance |
| Q7-9=指導力がなくなっている | Students may lack leadership |
| Q7-10=自立性がなくなっている | Students may not be independent |
| Q7-11=社会的な習慣やモラル形成ができていない | Students may not have well-developed morals and social habits |
| Q7-12=自分に自信を持っていない | Students may have little self-respect |
| Q7-13=自分の行動に責任を持っていない | Students may not assume responsibility for their actions |
| Q7-14=忙しすぎて自由な時間をもてない | Students may be too busy to take time for themselves |
| Q7-15=物質的に恵まれすぎている | Students may be too well off in material terms |
| Q7-16=大人を尊敬しなくなっている | Students may have little respect for adults |
| Q7-17=多くのストレスをかかえている | Students may have too much stress |

表T-Q8. あなたは、子どもの次のような行為についてどのようにお考えですか。
What do you think about the following behaviors of students?

1=とても悪い Very bad
2=悪い Bad
3=それほど悪くない Notb so bad
4=悪くない Not bad at all
5=無回答, 不明 N.A,DK

1) The Comprisons between Fukushima and Nashville
*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

質問項目	都市	1	2	3	4	5	総計	χ ² test 1)
Q8-1	Fukushima	46.8%	47.1%	3.6%	0.6%	2.0%	100.0%	***
Q8-1	Nashville	25.7%	28.4%	31.1%	14.2%	0.7%	100.0%	
Q8-2	Fukushima	3.6%	26.9%	45.4%	21.6%	2.5%	100.0%	***
Q8-2	Nashville	17.6%	18.2%	26.4%	37.2%	0.7%	100.0%	
Q8-3	Fukushima	87.4%	9.8%	1.1%	0.3%	1.4%	100.0%	***
Q8-3	Nashville	39.2%	23.0%	30.4%	6.1%	1.4%	100.0%	
Q8-4	Fukushima	53.5%	42.9%	2.2%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-4	Nashville	20.3%	42.6%	29.7%	6.8%	0.7%	100.0%	
Q8-5	Fukushima	88.5%	9.5%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-5	Nashville	40.5%	36.5%	19.6%	2.0%	1.4%	100.0%	
Q8-6	Fukushima	96.4%	1.7%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-6	Nashville	45.9%	15.5%	28.4%	8.8%	1.4%	100.0%	
Q8-7	Fukushima	95.0%	2.8%	0.8%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-7	Nashville	39.9%	10.1%	25.7%	22.3%	2.0%	100.0%	
Q8-8	Fukushima	87.7%	10.4%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-8	Nashville	45.9%	23.6%	18.9%	10.1%	1.4%	100.0%	
Q8-9	Fukushima	77.6%	20.2%	0.8%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-9	Nashville	27.0%	19.6%	23.0%	29.1%	1.4%	100.0%	
Q8-10	Fukushima	75.1%	23.0%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-10	Nashville	36.5%	12.2%	13.5%	35.8%	2.0%	100.0%	
Q8-11	Fukushima	96.1%	2.0%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-11	Nashville	40.5%	6.8%	15.5%	35.1%	2.0%	100.0%	
Q8-12	Fukushima	96.9%	1.1%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-12	Nashville	41.2%	6.8%	14.9%	33.8%	3.4%	100.0%	
Q8-13	Fukushima	83.2%	14.6%	0.8%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-13	Nashville	16.9%	30.4%	29.7%	18.9%	4.1%	100.0%	
Q8-14	Fukushima	80.4%	17.4%	0.8%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-14	Nashville	32.4%	20.9%	14.2%	28.4%	4.1%	100.0%	
Q8-15	Fukushima	79.6%	15.7%	2.5%	0.6%	1.7%	100.0%	***
Q8-15	Nashville	38.5%	7.4%	23.0%	26.4%	4.7%	100.0%	
Q8-16	Fukushima	95.2%	2.8%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-16	Nashville	35.8%	31.1%	20.9%	9.5%	2.7%	100.0%	
Q8-17	Fukushima	95.5%	2.5%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-17	Nashville	32.4%	27.7%	22.3%	14.9%	2.7%	100.0%	
Q8-18	Fukushima	96.4%	1.7%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-18	Nashville	35.1%	15.5%	22.3%	25.7%	1.4%	100.0%	
Q8-19	Fukushima	96.6%	1.4%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-19	Nashville	35.1%	13.5%	21.6%	27.0%	2.7%	100.0%	
Q8-20	Fukushima	90.5%	7.6%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-20	Nashville	35.1%	14.2%	19.6%	26.4%	4.7%	100.0%	
Q8-21	Fukushima	78.4%	18.8%	1.4%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-21	Nashville	10.8%	14.9%	29.1%	39.9%	5.4%	100.0%	
Q8-22	Fukushima	84.9%	13.2%	0.6%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q8-22	Nashville	17.6%	16.9%	17.6%	43.2%	4.7%	100.0%	
Q8-23	Fukushima	84.3%	13.2%	0.8%	0.0%	1.7%	100.0%	***
Q8-23	Nashville	41.2%	6.8%	16.2%	33.8%	2.0%	100.0%	

Q8-1= 学校をさぼる Skipping school without reason
Q8-2= 学校にどうしても行けない Would like to go to school but is afraid to go
Q8-3= 学校で他人をいじめる Bullying others at school
Q8-4= 授業中用もないのに席を離れる Leaving seat without any reason
Q8-5= 授業中に騒いで授業を妨害する Disruppting class by being noisy
Q8-6= 友人を脅したり暴力を振るう Threatening or using violence on peers

Q8-7=	先生を脅したり暴力を振るう	Threatening or using violence on teachers
Q8-8=	学校の物を壊す	Damaging school property
Q8-9=	タバコを吸う	Smoking
Q8-10=	酒やビールを飲む	Drinking alcohol
Q8-11=	シンナーを吸ったり薬を乱用する	Sniffing solvents or abusing drugs
Q8-12=	麻薬や覚醒剤を使用する	Taking narcotics or stimulants
Q8-13=	夜中まで盛り場で遊ぶ	Playing around at the mall, arcade, or movies till late at night
Q8-14=	保護者に無断で外泊する	Staying out overnight without guardians' consent
Q8-15=	家出する	Running away from home
Q8-16=	学校の中で人を殴ったり蹴ったりする	Hitting and kicking others at school
Q8-17=	学校の外で人を殴ったり蹴ったりする	Hitting and kicking others outside of school
Q8-18=	学校の中で人を脅してお金や物をとる	Extorting money or belongings from others by threat at school
Q8-19=	学校の外で人を脅してお金や物をとる	Extorting money or belongings from others by threat outside of school
Q8-20=	万引きする	Shoplifting
Q8-21=	他人の自転車に無断で乗る	Riding other's bicycle without permission
Q8-22=	オートバイや自動車を運転する	Driving a motorbike or a car
Q8-23=	学校にナイフなどの凶器を持ってくる	Bringing a knife or other weapons to school

表T-Q9. 生徒の次のような問題行動が起こったとき、あなたは誰が対応するのがいいと思いますか。(複数回答)
In your school, who do you think would be the right person to respond to the following problematic behaviors?

- | | | | |
|-----------------|--|------------------|--|
| 1=保護者 | Guardians | 8=校長や教頭職の管理職 | School administrators |
| 2=担任の教師 | Homeroom teacher | 9=教育センター | The local teacher center |
| 3=学年主任・教育相談担当教員 | Department head/ lead teacher/ advisor | 10=教育委員会 | The local board of education |
| 4=養護教諭 | School nurse | 11=児童相談所等の公立の相談所 | Public resources such as child guidance center |
| 5=特殊学級担当教諭 | The special education teacher | 12=警察 | Police |
| 6=スクールカウンセラー | School counselor | 13=その他 | Other |
| 7=スクールサイコロジスト | School psychologist | | |

*p<0.05 **p<0.0 ***p<0.001

質問項目	都市	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
Q-1	Fukushima	96.9%	92.7%	66.7%	13.4%	1.4%	19.3%	1.7%	21.0%	1.4%	0.8%	3.1%	1.1%	0.8%
Q-1	Nashville	54.1%	20.3%	1.4%	0.0%	0.0%	31.8%	7.4%	47.3%	1.4%	6.8%	10.8%	31.8%	7.4%
	χ^2 test	***	***	***	***		***	**	***		***	**	***	***
Q-2	Fukushima	95.0%	90.8%	75.1%	50.4%	0.6%	56.6%	4.8%	29.4%	18.5%	3.4%	13.7%	0.3%	1.4%
Q-2	Nashville	43.2%	18.9%	3.4%	2.0%	0.7%	60.8%	33.8%	35.1%	0.0%	2.0%	8.1%	10.8%	0.7%
	χ^2 test	***	***	***	***			***		***			***	
Q-3	Fukushima	86.8%	96.4%	87.1%	26.6%	2.8%	46.2%	7.0%	52.9%	5.6%	3.6%	11.2%	7.6%	1.7%
Q-3	Nashville	43.2%	27.7%	4.7%	0.0%	2.0%	49.3%	19.6%	62.8%	0.0%	0.0%	4.1%	12.2%	0.0%
	χ^2 test	***	***	***	***			***	**	**	*	*		
Q-4	Fukushima	68.3%	88.2%	91.3%	12.9%	2.2%	27.2%	6.7%	84.0%	6.2%	10.6%	3.6%	2.5%	2.0%
Q-4	Nashville	44.6%	41.9%	12.8%	0.0%	4.7%	22.3%	8.1%	59.5%	0.7%	2.7%	2.0%	7.4%	0.7%
	χ^2 test	***	***	***	***				***	**	**		**	
Q-5	Fukushima	85.2%	96.6%	89.1%	14.6%	1.1%	27.2%	5.0%	66.7%	3.4%	9.5%	13.2%	32.2%	0.8%
Q-5	Nashville	42.6%	23.6%	9.5%	0.0%	0.7%	27.0%	14.2%	69.6%	0.0%	8.1%	4.1%	42.6%	0.7%
	χ^2 test	***	***	***	***			***		*		**	**	
Q-6	Fukushima	83.5%	87.4%	87.7%	11.2%	2.8%	27.2%	5.6%	83.8%	2.0%	18.8%	18.5%	52.1%	2.0%
Q-6	Nashville	40.5%	13.5%	6.1%	1.4%	0.7%	18.2%	10.1%	70.3%	1.4%	17.6%	2.7%	51.4%	0.0%
	χ^2 test	***	***	***	***			*	*			***		
Q-7	Fukushima	86.0%	93.6%	84.9%	8.4%	1.7%	22.7%	4.2%	72.5%	1.4%	8.7%	9.0%	30.0%	1.4%
Q-7	Nashville	40.5%	11.5%	5.4%	0.7%	0.0%	14.2%	6.1%	67.6%	0.0%	5.4%	2.7%	52.7%	0.0%
	χ^2 test	***	***	***	***							*	***	
Q-8	Fukushima	93.3%	90.5%	70.0%	39.8%	1.1%	24.6%	3.1%	50.7%	1.1%	2.2%	7.6%	18.2%	3.4%
Q-8	Nashville	52.7%	10.8%	3.4%	5.4%	0.0%	27.7%	9.5%	74.3%	0.0%	5.4%	4.7%	23.0%	0.7%
	χ^2 test	***	***	***	***			**	***					
Q-9	Fukushima	93.3%	89.4%	78.4%	37.0%	1.1%	24.9%	2.8%	51.3%	1.1%	2.2%	7.6%	18.2%	3.4%
Q-9	Nashville	54.1%	10.1%	2.7%	4.7%	0.0%	29.1%	11.5%	66.9%	0.0%	5.4%	4.7%	23.0%	0.7%
	χ^2 test	***	***	***	***			***	***		*		***	
Q-10	Fukushima	93.6%	86.0%	77.3%	45.7%	1.1%	31.4%	3.9%	64.4%	2.8%	9.8%	31.7%	71.7%	2.0%
Q-10	Nashville	54.1%	10.8%	3.4%	6.8%	0.0%	27.7%	13.5%	59.5%	0.7%	6.8%	11.5%	43.2%	0.7%
	χ^2 test	***	***	***	***			***				***	***	
Q-11	Fukushima	92.2%	84.6%	75.9%	43.7%	1.1%	30.5%	3.9%	66.9%	2.2%	12.6%	34.2%	81.8%	2.0%
Q-11	Nashville	54.1%	10.1%	3.4%	6.8%	0.0%	27.0%	12.8%	55.4%	0.7%	6.8%	12.2%	46.6%	0.7%
	χ^2 test	***	***	***	***			***				***	***	
Q-12	Fukushima	95.5%	80.1%	73.4%	14.3%	2.0%	19.3%	3.1%	51.8%	1.4%	3.4%	20.4%	60.8%	1.4%
Q-12	Nashville	67.6%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	10.1%	4.1%	10.8%	0.7%	1.4%	12.8%	37.8%	5.4%
	χ^2 test	***	***	***	***		*		***				***	*
Q-13	Fukushima	95.8%	81.2%	71.1%	11.8%	1.1%	21.0%	3.9%	45.1%	1.4%	2.0%	18.5%	24.9%	0.8%
Q-13	Nashville	62.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.2%	5.4%	9.5%	0.0%	1.4%	14.2%	41.2%	4.7%
	χ^2 test	***	***	***	***				***				***	**
Q-14	Fukushima	94.1%	82.1%	75.1%	13.4%	0.8%	25.5%	4.2%	63.0%	1.1%	8.1%	23.2%	66.4%	1.4%
Q-14	Nashville	64.9%	4.7%	0.7%	0.0%	0.0%	21.6%	15.5%	16.2%	0.0%	2.7%	18.2%	54.1%	4.1%
	χ^2 test	***	***	***	***			***	***		*		*	

- | | | |
|-------|-------------------|--|
| Q-1= | 学校を無断でさぼること | Truancy from school |
| Q-2= | 学校にどうしても登校できないこと | Would like to go to school but is afraid to go |
| Q-3= | いじめがあること | Bullying problems |
| Q-4= | クラスが崩壊状態にあること | Class is disrupted by the behavioral problems of students |
| Q-5= | 生徒間で暴力行為があること | Violence against students |
| Q-6= | 先生を脅かしたり暴力を振るうこと | Threatening and violence against teachers |
| Q-7= | 学校の物を壊すこと | Vandalism at school |
| Q-8= | タバコを吸うこと | Smoking |
| Q-9= | 酒やビールを吸うこと | Drinking alcohol such as beer or whisky |
| Q-10= | シンナーを吸ったり薬を乱用すること | Sniffing solvents or abusing drugs |
| Q-11= | 覚醒剤や麻薬などの薬物を使うこと | Taking narcotics or stimulant drugs |
| Q-12= | 夜中まで盛り場で遊んでいること | Playing around at the mall, arcade, or movies till late at night |
| Q-13= | 親に無断で外泊すること | Staying out overnight without guardians' consent |
| Q-14= | 家出をすること | Running away from home |

表T-Q10. 学校での問題行動に対処できないときに、あなたは以下のところに相談したことがありますか。
If you needed assistance in handling a behavior problem in the school, have you ever asked the help of the following outside resources?

0=ない No
1=よく対応してくれた very satisfactory
2=一応対応してくれた satisfactory
3=あまり対応してくれなかった unsatisfactory
4=対応してくれなかった very unsatisfactory
5=無回答、不明 NA,DK

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

質問項目	都市	0	1	2	3	4	5	総計	χ ² test
Q10-1	Fukushima	66.7%	13.4%	14.8%	3.1%	0.6%	1.4%	100.0%	**
Q10-1	Nashville	59.5%	4.7%	18.9%	7.4%	2.7%	6.8%	100.0%	
Q10-2	Fukushima	87.4%	5.0%	4.5%	0.3%	0.0%	2.8%	100.0%	***
Q10-2	Nashville	75.0%	2.0%	11.5%	4.1%	0.7%	6.8%	100.0%	
Q10-3	Fukushima	66.7%	17.6%	11.5%	1.4%	0.3%	2.5%	100.0%	
Q10-3	Nashville	58.8%	13.5%	17.6%	3.4%	0.7%	6.1%	100.0%	
Q10-4	Fukushima	74.5%	11.2%	10.1%	2.0%	0.0%	2.2%	100.0%	***
Q10-4	Nashville	59.5%	6.8%	19.6%	4.7%	2.7%	6.8%	100.0%	
Q10-5	Fukushima	79.6%	9.5%	6.4%	1.1%	0.6%	2.8%	100.0%	*
Q10-5	Nashville	70.3%	4.7%	11.5%	5.4%	1.4%	6.8%	100.0%	
Q10-6	Fukushima	73.9%	12.6%	9.2%	1.1%	0.8%	2.2%	100.0%	
Q10-6	Nashville	77.0%	4.1%	9.5%	2.0%	1.4%	6.1%	100.0%	
Q10-7	Fukushima	94.7%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	2.5%	100.0%	*
Q10-7	Nashville	87.8%	0.7%	5.4%	0.7%	0.0%	5.4%	100.0%	
Q10-8	Fukushima	55.7%	2.5%	1.1%	0.0%	0.6%	40.1%	100.0%	*
Q10-8	Nashville	88.5%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	6.8%	100.0%	

Q10-1= 児童相談所 Child guidance center
Q10-2= 精神保健福祉センター Mental health center
Q10-3= 警察 Police
Q10-4= 精神科の医者 Psychiatrist
Q10-5= 児童裁判所や家庭裁判所 Juvenile court or family court
Q10-6= 教育センター The teacher center
Q10-7= 電話相談 Telephone crisis hotline
Q10-8= その他 Other

表T-Q11. 最近、生徒の問題行動が話題になっています。あなたは、その理由についてどのように考えますか。
 In recent years, juvenile delinquency has increasingly become a problem.
 To what extent do you think each of the following is a reason for this?

- 1=そう思う Strongly agree that it's a reason
 2=ややそう思う Agree that it's a reason
 3=あまりそう思わない Disagree that it's a reason
 4=そう思わない Strongly disagree that it's a reason
 5=わからない I don't know
 6=無回答、不明 NA

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

質問項目	都市	1	2	3	4	5	6	総計	χ ² test
Q11-1	Fkushima	17.4%	40.6%	27.5%	12.3%	0.3%	2.0%	100.0%	**
Q11-1	Nashville	12.2%	41.2%	23.0%	16.9%	4.1%	2.7%	100.0%	
Q11-2	Fkushima	59.9%	32.2%	4.5%	2.2%	0.0%	1.1%	100.0%	
Q11-2	Nashville	52.7%	36.5%	4.7%	2.0%	0.7%	3.4%	100.0%	
Q11-3	Fkushima	34.2%	46.5%	15.1%	3.1%	0.0%	1.1%	100.0%	**
Q11-3	Nashville	37.8%	45.3%	8.1%	2.0%	3.4%	3.4%	100.0%	
Q11-4	Fkushima	38.1%	50.1%	9.0%	1.7%	0.0%	1.1%	100.0%	**
Q11-4	Nashville	54.7%	36.5%	4.7%	1.4%	0.0%	2.7%	100.0%	
Q11-5	Fkushima	25.8%	52.9%	16.8%	2.2%	0.8%	1.4%	100.0%	
Q11-5	Nashville	18.2%	50.0%	20.3%	5.4%	2.7%	3.4%	100.0%	
Q11-6	Fkushima	48.5%	42.6%	6.2%	1.1%	0.3%	1.4%	100.0%	***
Q11-6	Nashville	25.0%	44.6%	18.2%	5.4%	3.4%	3.4%	100.0%	
Q11-7	Fkushima	14.8%	43.7%	27.2%	12.0%	0.8%	1.4%	100.0%	*
Q11-7	Nashville	12.2%	39.2%	23.6%	16.2%	4.7%	4.1%	100.0%	
Q11-8	Fkushima	10.1%	52.9%	28.9%	5.3%	1.7%	1.1%	100.0%	***
Q11-8	Nashville	13.5%	22.3%	28.4%	31.8%	2.0%	2.0%	100.0%	
Q11-9	Fkushima	55.2%	40.6%	2.2%	0.3%	0.3%	1.4%	100.0%	***
Q11-9	Nashville	50.0%	29.7%	7.4%	6.1%	1.4%	5.4%	100.0%	
Q11-10	Fkushima	53.2%	40.6%	3.6%	0.8%	0.6%	1.1%	100.0%	***
Q11-10	Nashville	23.0%	37.8%	18.9%	12.8%	3.4%	4.1%	100.0%	
Q11-11	Fkushima	64.4%	28.3%	5.0%	0.8%	0.0%	1.4%	100.0%	***
Q11-11	Nashville	41.2%	37.8%	11.5%	5.4%	2.0%	2.0%	100.0%	
Q11-12	Fkushima	13.4%	36.4%	29.4%	15.4%	2.5%	2.8%	100.0%	**
Q11-12	Nashville	27.0%	27.0%	23.6%	14.2%	1.4%	6.8%	100.0%	
Q11-13	Fkushima	6.2%	20.7%	30.3%	33.6%	1.1%	8.1%	100.0%	***
Q11-13	Nashville	25.7%	26.4%	16.2%	10.8%	3.4%	17.6%	100.0%	

- Q11-1= 受験競争などにより、子どもにストレスがたまってきている Children are under much stress these days
 Q11-2= 子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなっている Children lack a sense of the need for rules in society
 Q11-3= 子どもたちに正義感がなくなっている Children lack a sense of justice
 Q11-4= 他人に配慮することがなくなっている Children lack consideration for others
 Q11-5= 子ども同士の相互関係に問題がある Children have problems in relationships with their friends
 Q11-6= 子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている Children lack the social skills to establish relationship with others
 Q11-7= 非行・犯罪に走る子ども自身に原因がある Children who become delinquent or commit crimes have
 personality problems
 Q11-8= 教師の指導力が低下してきている Leadership qualities of teachers have declined
 Q11-9= 家庭の指導力が低下してきている Leadership qualities of families have declined
 Q11-10= 町内会や隣近所などの地域社会の指導力が低下してきている Leadership qualities of community groups such as churches,
 neighborhood-based agencies, etc. have declined
 Q11-11= 社会全体のモラルが低下している The morality of the whole society has declined
 Q11-12= マスコミが大げさに報道しているだけである The mass media have exaggerated the situation
 Q11-13= 非行などは昔からあり、特に新しい問題ではない Juvenile delinquency is not a new problem

表T-Q12. あなたは生徒の問題行動の解決に、学校として早急に取り組むべきことは何であると考えますか。
How urgent are each of the following tasks to be done at school in order to solve the behavior problems of students?

1 = 改善が必要 very urgent
2 = やや改善が必要 somewhat urgent
3 = 今のままでよい not urgent
4 = 無回答, 不明 NA, DK

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

質問項目	都市	1	2	3	4	総計	χ ² test
Q12-1	Fukushima	60.2%	33.3%	4.8%	1.7%	100.0%	
Q12-1	Nashville	58.1%	33.8%	5.4%	2.7%	100.0%	
Q12-2	Fukushima	35.6%	47.3%	15.4%	1.7%	100.0%	***
Q12-2	Nashville	57.4%	27.7%	12.2%	2.7%	100.0%	
Q12-3	Fukushima	44.5%	45.7%	8.4%	1.4%	100.0%	***
Q12-3	Nashville	75.0%	20.3%	2.7%	2.0%	100.0%	
Q12-4	Fukushima	38.1%	52.7%	6.7%	2.5%	100.0%	***
Q12-4	Nashville	26.4%	46.6%	24.3%	2.7%	100.0%	
Q12-5	Fukushima	18.5%	62.2%	16.0%	3.4%	100.0%	*
Q12-5	Nashville	25.0%	50.7%	20.9%	3.4%	100.0%	
Q12-6	Fukushima	36.4%	47.3%	9.2%	7.0%	100.0%	
Q12-6	Nashville	33.1%	45.3%	11.5%	10.2%	100.0%	

Q12-1= 子どもとふれあう時間の確保 Time to interact with children
Q12-2= 教師間の連携を強める Cooperation among teachers
Q12-3= 教師と保護者との連携を強める Communication with parents
Q12-4= 教育方法や教育内容について工夫する Study of new teaching methods and materials
Q12-5= 各教師の主体性を強める Establish teacher's independence
Q12-6= 生徒指導・生活指導の力量を高める Improve the guidance and counseling skills of teachers

保護者用アンケート集計結果

Results of research questionnaire for Parents/Guardians

	福島市 Fukushima	ナッシュビル市 Nashville
回答数 Total number of Parents/Guardians	760	280

表G-Q1. このアンケートに回答して下さる方はどなたですか。

Table G-Q1. What is your relationship to the student?

	福島市 Fukushima (%)		ナッシュビル市 Nashville (%)	
父 Father	69	9.1	30	10.7
母 Mother	680	89.5	221	78.9
義理の父 Stepfather	0	0.0	0	0.0
義理の母 Stepmother	0	0.0	2	0.7
祖父 Grandfather	0	0.0	0	0.0
祖母 Grandmother	4	0.5	14	5.0
親戚 Relative	1	0.1	2	0.7
兄 Brother	0	0.0	1	0.4
姉 Sister	0	0.0	2	0.4
その他 Other	2	0.3	7	2.5
無回答 N.A.	4	0.5	1	0.4

表G-Q2. お子さまの性別はどちらですか。

Table G-Q2. Which sex is your child?

	福島市 Fukushima	ナッシュビル市 Nashville
男 Male	383	104
女 Female	375	173
無回答 N.A.	2	3

表G-Q3. お子さまとあなたまたは他の保護者の方が平日に話し合う時間は1日あたりどれくらいですか。

Table G-Q3. On average, how long does your child talk with you or with other parents/guardians on each weekday?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
ほとんどない Almost no time	4.6	4.3
30分くらい About 30 minutes	37.2	11.8
1時間くらい About an hour	32.5	19.6
2時間くらい About two hours	15.8	21.8
3時間くらい About three hours	6.8	14.6
4時間以上 More than four hours	2.1	26.8
無回答 N.A.	0.9	1.1

表G-Q4. お子さまはあなたに学校や友達のことをよく話しますか。

Table G-Q4. How often does your child talk with you about his/her school and friends?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
自分からよく話す My child often talks willingly	46.7	67.9
聞けば話す My child does not talk willingly, but if I ask him/her, he/her often talks	46.3	24.2
あまり話さない Even if I ask my child, he/she does not talk very much	5.4	4.6
まったく話さない My child does not talk at all about school and friends	0.7	2.5
無回答 N.A.	0.9	0.7

表G-Q5. あなたの家の家族関係はうまくいっていると思いますか。

Table G-Q5. Do you think that your family members get along well each other?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
うまくいっている Very well	33.9	45.0
まあまあうまくいっている Fairly well	54.1	46.8
どちらとも言えない Not well but not poorly	7.6	5.0
あまりうまくいっていない Poorly	2.8	2.1
うまくいっていない Extremely poorly	1.2	0.0
無回答 N.A.	0.4	1.1

表G-Q6. あなたまたは他の保護者の方がお子さまとよく一緒にされていることがありますか。

Table G-Q6.What do you often do with your child?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
スポーツをする Playing sports together	24.4	28.2
スポーツを見に行く Attending sports events	7.0	42.5
ハイキングに行く Hiking	5.0	5.4
釣りをする Fishing	9.7	14.6
映画に行く Going to the movies	16.6	54.3
教会に行く Going to church	1.7	63.2
テレビ・ビデオを見る Watching TV and videos	81.3	84.6
テレビゲームをする Playing video games	12.6	22.9
音楽を聴く Listening to music	18.7	62.1
楽器を演奏する Playing musical instruments	3.6	9.3
歌を唄う Singing(except going to Karaoke)	4.5	21.8
カラオケに行く Going to Karaoke room to sing songs	9.6	1.8
本を読む reading books	9.5	18.6
絵を描く Painting pictures	0.7	4.3
パソコンをする Spending time together on personal computers	11.4	28.6
料理をする Cooking	26.3	55.7
買い物をする Shopping	74.1	75.7
繁華街に行く Going to the mall	8.7	64.3
旅行に行く Taking trip together	31.2	63.9
ドライブをする Going for a drive	33.2	55.4
その他 Other	6.3	6.1
何もしない I do nothing with the child	2.8	0.7
無回答 N.A.	0.5	0.4

表G-Q7. あなたは日頃お子さまにどのようなことを特に注意し指導していますか。
 Table G-Q7. Of the following, which are the three things you are most concerned about regarding your child?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
学校の成績 School grades	43.8	69.3
進学 Going on the next level of education	10.9	38.6
服装や髪型 Clothing and hairstyle	23.3	5.4
持ち物 Belongings	3.0	1.4
お金の使い方 Use of money	31.1	13.6
言葉づかい Appropriate use of language (courteous and respectful)	44.3	34.6
読んでいる本や雑誌 Books and magazines that your child reads	1.7	3.2
見ているテレビやビデオ TV programs and videos that your child watches	6.6	21.4
外出先や遊びの内容 Where your child goes and what your child does	28.0	35.4
起床時間、食事等の生活習慣 Living habits such as daily routine	46.8	10.4
同性の友達との付き合い Association with friends of the same sex	13.3	6.1
異性の友達との付き合い Association with friends of the opposite sex	1.6	16.1
その他 Other	4.5	5.4
特になし Nothing in particular	4.3	5.4
無回答 N.A.	3.8	5.4

表G-Q8. あなたはお子さまにどのような人間になってほしいと思いますか。

Table G-Q8 Which of the following do you tell your child to be?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
正直な人間 I tell my child to be an honest person	28.2	53.9
正義感の強い人間 I tell my child to be a person who has a strong sense of justice	5.1	7.1
自分に自信のある人間 I tell my child to be a person with self-confidence	23.4	31.1
勇気のある人間 I tell my child to be a courageous person	3.8	4.3
経済的に成功する人間 I tell my child to be a person who succeeds economically	1.4	8.2
リーダーシップを発揮する人間 I tell my child to be a person who has leadership qualities	1.7	7.1
勉強のできる頭のいい人間 I tell my child to be a smart person who does well at school	1.2	23.9
安定的な生活を送れる人間 I tell my child to be a person who can live a stable life	6.2	6.1
忍耐力のある人間 I tell my child to be a person with perseverance	14.2	5.4
人に好かれる人間 I tell my child to be a person who is liked by people	19.1	2.9
チャレンジ精神の旺盛な人間 I tell my child to be a person who enjoys a challenge	8.7	4.3
自立した人間 I tell my child to be an independent person	26.3	23.6
やさしい人間 I tell my child to be a kind-hearted person		14.3
自分の好きなことをやっていく人間 I tell my child to be a person who can find his/her own way	22.6	5.7
有名な人間 I tell my child to be a famous person	0.0	0.7
高い地位につく人間 I tell my child to be a person in a high position	0.1	1.8
社会に役立つ人間 I tell my child to be a person who serve society and the community	7.8	2.1
親切でやさしい人間 I tell my child to be a kind and gentle person	22.2	7.9
モラルを身につけた人間 I tell my child to be a moral person	14.6	21.8
自分の行動に責任を持てる人間 I tell my child to be a person who can take responsibility for his/her actions	61.8	46.4
その他 Othe	1.8	1.1
特にそのような話はしていない I do not tell my child what to do	2.1	2.5
無回答 N.A.	4.1	14.3

表G-Q9. お子さまが付き合っている親しい友人は何人くらいいると思いますか。

Table G-Q9 How many close friends do you think that your child has?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
いない None	0.1	2.1
1～3人 One to three	25.1	42.1
4～6人 Four to six	50.1	25.0
7～9人 Seven to nine	11.7	7.1
10人以上 More than ten	8.7	17.9
わからない I do not know	0.1	4.6
無回答 N.A.	3.2	1.1

表G-Q10. お子さまの交友関係で気になることがありますか。

Table G-Q10 Do you have any concerns about your child's relationship with friends?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
友人がいないようだ He/She seems to have no friends.	1.2	1.4
友人はいるが親友はいないようだ He/She seems to have some acquaintances, but no close friends.	21.1	12.9
異性との付き合い方が気になる I am something concerned about his/her relationship with a friends of the opposite sex	2.1	25.0
友人との付き合いで生活が乱れる He/She is sometimes negatively influenced by his/her friends.	1.8	23.2
あまり好ましくない友人と付き合っている He/She seems to associate with less desirable friends.	7.1	10.0
その他 Other concerns	1.8	4.3
特に気になることはない I have no concerns in particular.	65.8	48.6
無回答 N.A.	6.3	3.6

表G-Q11.お子さまは仲のいい友達との付き合いの中で、次のようなことをしていると思
いますか。

Table G-Q11 How often do you think that your child does the following things while
associating with friends?

	福島市 Fukushima(%)				
	よくある Very often does	ときどきある Sometimes does	ほとんどない almost never does	無回答 N.A.	
一緒に遊んで時間を過ごす Spending time playing with friends	31.1	57.2	7.4	4.3	
お互いの家に遊びに行き来する Going and coming to each other's house	18.3	54.1	22.4	5.3	
一緒に勉強する Studying together	4.1	31.1	58.3	6.6	
電話で話しをする Talking with friends on the phone	20.7	44.7	27.9	6.7	
異性のことを話す Talking with friends about people of the opposite sex	8.4	33.2	49.6	8.8	
家や親の不満や悩みを話す Complaining about home and parents to friends	6.8	38.6	45.1	9.5	
学校や他の友人の不満や悩みを話す Complaining about school and/or peers to friends	17.2	49.5	25.4	7.9	
将来のことを話す Talking with friends about the future	6.4	46.8	37.6	8.7	
お金や大切なものを貸し借りする Borrowing or lending money and valuables each other	2.0	21.2	69.1	7.8	
言い争ったりけんかしたりする Arguing or quarrelling with friends	1.4	22.1	69.3	7.1	
お互いの家に泊まったりする Staying the night at each other's house	1.2	9.5	82.8	6.6	
	ナッシュビル市 Nashville(%)				
	よくある Very often does	ときどきある Sometimes does	ほとんどない almost never does	無回答 N.A.	
一緒に遊んで時間を過ごす Spending time playing with friends	41.4	45.0	11.1	2.5	
お互いの家に遊びに行き来する Going and coming to each other's house	30.0	48.6	18.6	2.9	
一緒に勉強する Studying together	10.0	32.9	53.9	3.2	
電話で話しをする Talking with friends on the phone	54.3	31.8	11.4	2.5	
異性のことを話す Talking with friends about people of the opposite sex	32.5	45.0	19.3	3.2	
家や親の不満や悩みを話す Complaining about home and parents to friends	12.5	36.8	47.5	3.2	
学校や他の友人の不満や悩みを話す Complaining about school and/or peers to friends	16.8	47.5	32.1	3.6	
将来のことを話す Talking with friends about the future	22.1	51.4	22.1	7.5	
お金や大切なものを貸し借りする Borrowing or lending money and valuables each other	11.4	31.8	52.5	4.3	
言い争ったりけんかしたりする Arguing or quarrelling with friends	6.8	32.1	56.8	4.3	
お互いの家に泊まったりする Staying the night at each other's house	20.7	46.1	30.0	3.2	

表G-Q12.子どもの次のような行為について、どのようにお考えですか。
Table G-Q12 What do you think about the following behaviors of 7th to 9th graders?

	福島市					無回答 N.A.
	Fukushima(%)					
	とても悪い Very bad	悪い Bad	それほど悪くない Not so bad	悪くない Not bad at all		
学校をサボる Skipping school for no good reason	43.2	46.6	5.4	0.5	0.4	
学校にどうしても行けない Would like to go to school but is too afraid to go	7.6	25.3	0.3	17.9	5.7	
学校で他人をいじめる Bullying others at school	82.4	13.2	2.2	0.1	4.1	
授業中用もないのに席を離れる Leaving their seat in school without any reason	56.2	37.2	2.2	0.3	4.1	
授業中に騒いで授業を妨害する Disrupting class by being noisy	77.9	17.9	0.1	0.3	3.8	
友人を脅したり暴力を振るう Threatening or using violence on peers	91.7	4.2	0.0	0.1	3.9	
先生を脅したり暴力を振るう Threatening or using violence on teachers	91.2	5.0	0.0	0.1	3.7	
学校のを壊す Damaging school property	82.2	13.7	0.3	0.1	3.7	
タバコを吸う Smoking	77.0	17.9	1.2	0.1	3.8	
酒やビールを飲む Drinking	73.7	19.7	2.5	0.3	3.8	
シンナーを吸ったり薬を乱用する Sniffing solvents or abusing drugs	93.6	2.5	0.1	0.1	3.7	
麻薬や覚醒剤を使用する Taking narcotics or stimulants	93.8	2.2	0.0	0.1	3.8	
ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る Watching pornography	44.3	36.6	13.4	1.4	4.2	
夜中まで盛り場で遊ぶ Playing in the mall, arcade or movies until late at night	81.4	13.9	0.5	0.3	3.8	
保護者に無断で外出する Staying out over night without guardians' consent	81.7	13.7	0.5	0.3	3.8	
家出する Running aways from home	71.4	21.8	2.5	0.4	3.8	
学校の内でも人を殴ったり蹴ったりする Hitting and kicking others at school	87.1	8.9	0.0	0.1	3.8	
学校の外でも人を殴ったり蹴ったりする Hitting and kicking others outside of school	87.8	8.3	0.0	0.1	3.8	
学校の内でも人を脅してお金や物を取る Extorting money or belongings from others by threat at school	93.3	2.6	0.0	0.1	3.9	
学校の外でも人を脅してお金や物を取る Extorting money or belongings from others by threat outside of school	93.4	2.6	0.0	0.1	3.8	
万引きする Shoplifting	89.9	6.1	0.1	0.1	3.8	
他人の自転車に無断で乗る Riding other's bicycle without permission	77.0	18.7	0.5	0.1	3.7	
オートバイや自動車を運転する Driving a moterbike or a car	82.6	12.4	1.1	0.1	3.8	
友達の服などを脱がす Pulling off someone's clothes	82.0	13.7	0.1	0.1	4.1	
異性と性的な関係を持つ Have sexual intercourse with friends	64.5	26.8	3.2	0.9	4.6	
学校にナイフなどの凶器を持っていく Bringing a knife or other weapons to school	85.9	9.7	0.5	0.1	3.7	
自殺する Kill himself/herself	85.7	9.1	0.5	0.7	4.1	

	ナッシュビル市 Nashville(%)					無回答 N.A.
	とても悪い Very bad	悪い Bad	それほど悪くない Not so bad	悪くない Not bad at all		
学校をサボる Skipping school for no good reason	73.6	11.1	6.1	6.4	2.9	
学校にどうしても行けない Would like to go to school but is too afraid to go	44.6	25.7	14.3	12.1	3.2	
学校で他人をいじめる Bullying others at school	71.8	13.6	3.9	7.1	3.6	
授業中用もないのに席を離れる Leaving their seat in school without any reason	31.4	36.8	20.0	7.9	3.9	
授業中に騒いで授業を妨害する Disrupting class by being noisy	49.3	33.9	9.6	3.6	3.6	
友人を脅したり暴力を振るう Threatening or using violence on peers	79.3	6.8	3.2	7.5	3.2	
先生を脅したり暴力を振るう Threatening or using violence on teachers	80.7	6.8	2.9	6.1	3.6	
学校のを壊す Damaging school property	73.6	13.9	2.5	6.8	3.2	
タバコを吸う Smoking	68.9	17.5	3.2	7.5	2.9	
酒やビールを飲む Drinking						
シンナーを吸ったり薬を乱用する Sniffing solvents or abusing drugs	80.7	4.3	3.2	8.2	3.6	
麻薬や覚醒剤を使用する Taking narcotics or stimulants	80.0	7.1	2.5	6.8	3.6	
ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る Watching polnography						
夜中まで盛り場で遊ぶ Playing in the mall, arcade or movies until late at night	40.0	32.5	14.3	9.6	3.6	
保護者に無断で外出する Staying out over night without guardians' consent	66.8	15.0	6.4	8.6	3.2	
家出する Running aways from home	74.6	11.1	4.3	7.1	2.9	
学校の中で人を殴ったり蹴ったりする Hitting and kicking others at school	70.0	13.6	6.8	6.4	3.2	
学校の外で人を殴ったり蹴ったりする Hitting and kicking others outside of school	68.2	13.6	8.6	6.1	3.6	
学校の中で人を脅してお金や物を取る Extorting money or belongings from others by threat at school	76.1	9.6	3.2	7.5	3.6	
学校の外で人を脅してお金や物を取る Extorting money or belongings from others by threat outside of school	77.9	7.5	3.2	7.9	3.6	
万引きする Shoplifting	80.0	6.1	2.1	8.9	2.9	
他人の自転車に無断で乗る Riding other's bicycle without permission	38.2	32.5	17.1	8.2	3.9	
オートバイや自動車を運転する Driving a moterbike or a car	37.5	24.6	18.6	15.0	4.3	
友達の服などを脱がす Pulling off someone's clothes						
異性と性的な関係を持つ Have sexual intercourse with friends						
学校にナイフなどの凶器を持っていく Bringing a knife or other weapons to school	82.1	3.6	2.5	8.2	3.6	
自殺する Kill himself/herself						

表G-Q13 中学生になってから現在までに、お子様は次のようないじめを経験したことがありますか。
Table G-Q13 Has your child ever been bullied in any of the following ways since he/she became a junior high school student?

福島市 Fukushima(%)					
	したことがある He/She has done	されたことがある He/She has been done	両方ある He/She has done and has been done	両方ない He/She has not done and has not been done	無回答 N.A.
無視したり、仲間外れにする Ignoring and leaving someone out of the group	4.3	12.5	3.4	73.0	6.7
悪口を言ったりからかう Making fun of and calling someone name	10.1	15.8	14.7	52.0	7.4
持ち物を隠す Hiding someone's belongings	2.1	10.5	0.8	79.9	6.7
持ち物を汚したり壊す Destroying or dirtying someone's belongings	2.2	6.1	1.3	82.9	7.5
言葉で脅す Threatening someone with words	2.2	5.4	2.0	83.3	7.1
殴ったり蹴る Hitting and/or kiching classmates	1.6	3.4	3.0	85.0	7.0
お金や物を取る Taking away money and belongings	0.7	2.1	0.0	90.7	6.6
着ているものを脱がす Pulling off someone's clothes	0.3	0.7	0.3	92.2	6.6
使い走りをさせる Ordering to do errands	1.2	2.1	0.5	89.6	6.6
嫌がることを無理にさせる Forcing someone to do what they dislike	1.2	2.8	1.2	87.0	7.9
ナッシュビル市 Nashville(%)					
	したことがある He/She has done	されたことがある He/She has been done	両方ある He/She has done and has been done	両方ない He/She has not done and has not been done	無回答 N.A.
無視したり、仲間外れにする Ignoring and leaving someone out of the group	12.9	13.6	23.6	42.5	7.5
悪口を言ったりからかう Making fun of and calling someone name	15.0	16.1	32.1	31.8	5.0
持ち物を隠す Hiding someone's belongings	10.4	8.6	16.4	58.9	5.7
持ち物を汚したり壊す Destroying or dirtying someone's belongings	7.9	10.0	6.8	70.4	5.0
言葉で脅す Threatening someone with words	8.6	8.9	16.1	60.7	5.7
殴ったり蹴る Hitting and/or kiching classmates	7.1	13.9	4.3	68.6	6.1
お金や物を取る Taking away money and belongings	3.9	3.9	1.8	66.4	23.9
着ているものを脱がす Pulling off someone's clothes	8.6	4.6	11.8	66.1	8.9
使い走りをさせる Ordering to do errands	5.0	5.0	6.1	58.9	25.0
人が嫌がることを無理にさせる Forcing someone to do what they dislike					

表G-Q14.もし、お子さまがいじめられていると知ったらどうしますか。

Table G-Q14 What would you do if you knew that your child was being bullied?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
黙って様子を見る Take a "wait and see" attitude	16.8	25.4
子どもを慰め、激励する Comfort and encourage my child	39.9	62.5
やり返せと子どもを叱る Scold my child and tell him/her to fight back	10.5	14.6
子どもの友達に相談する Talk with my child's friends	14.9	25.4
担任の先生に相談する Talk with classroom teacher	82.6	69.6
学年主任、教頭、校長に相談する Talk with an assistant principal and principal	29.5	76.4
保健の先生に相談する Talk with a school nurse	7.0	3.2
スクールカウンセラーに相談する Talk with a school counselor	22.5	48.6
知人に相談する Talk with my adult friends	27.9	24.3
教育委員会などに相談する Talk with the board of education, etc.	7.4	24.6
公立の相談所に相談する Talk with community service agencies such as child guidance clinic and legal affairs office	17.0	10.7
警察に相談する Talk with the police	6.6	22.9
いじめている子に直接注意する Confront the children who are bullying	17.5	26.8
いじめている子の保護者に注意する Confront the parents/guardians of the children who are bullying	29.1	49.6
その他 Other	5.1	6.4
無回答 N.A.	1.6	2.1

表G-Q15.中学校になってから、お子さまは特に健康上問題がないのに学校を休みたがるようなことがありますか。

Table G-Q15 How often has your child wanted to be absent from school since 7th grade in spite of his/her good health?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
よくある Very often	1.4	5.0
ときどきある Sometimes	8.9	20.7
ほとんどない Almost never	25.4	38.2
まったくない Never	62.2	29.3
わからない I do not know	0.3	1.4
無回答 N.A.	1.7	5.4

表G-Q16.学校を休みたがる理由は何であるとお考えですか。

Table G-Q16 Why do you think that your child want to skip school?

	福島市 Fukushima(%)	ナッシュビル市 Nashville(%)
いじめられている He/She is bullied by fellow student	6.3	20.8
友達とうまくいっていない He/She does not get along with fellow students/friends	27.8	18.1
先生とうまくいっていない He/She does not get along with teachers	22.8	36.1
勉強がしたくない He/She does not feel like studying	39.2	38.9
授業がわからない HE/She does not understand classes	26.6	22.2
学校に行くのが怖い・不安 He/She afraid of or anxious about going to school	8.9	11.1
人と話すのが怖い・不安 He/She afraid of or anxious about talking with people	3.8	9.7
体調がよくない His/Her physical health is not good	30.4	12.5
家庭内に問題がある There are plobrems at home	1.3	11.1
学校以外に興味のある事がある He/She has interesting things to do outside school	6.3	16.7
家族と離れたくない He/She does not want to be away from his/her parents	1.3	4.2
校則に問題がある He/She is dissatisfied with school regulations	5.1	18.1
クラブ活動に問題がある He/She is dissatisfied with club activities at school	13.9	5.6
子どもが怠けている He/She is a lazy person	19.0	25.0
その他 Other	11.4	18.1
わからない I do not know	1.3	12.5
無回答 N.A.	1.3	61.1

表G-Q17.近年、青少年の非行や犯罪が問題となっていますが、あなたはその原因をどのようにお考えですか。

Table G-Q17 In recent years, juvenile delinquency has increasingly become a problem. To what extent do you think each of the following is a reason for this?

	福島市 Fukushima(%)					無回答 N.A.
	Strongly agree	Agree	Disagree	Strongly disagree		
受験競争などによりストレスがたまってきた	33.6	37.1	18.2	6.4	4.6	
Children are under much stress these days						
子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなってきた	37.5	37.1	15.0	5.0	5.4	
Children lack a sense of the need for rules in society						
子どもたちの正義感がなくなってきた	29.3	42.5	15.0	6.4	6.8	
Children lack a sense of justice						
他人を配慮することがなくなってきた	42.1	36.1	9.3	6.8	5.7	
Children lack consideration for others						
子ども同士の相互関係に問題がある	15.4	40.0	28.9	8.9	6.8	
Children have problems in relationship with their friends						
子どもたちが人と関係を作る力が弱まっている	21.4	33.2	27.1	9.6	8.6	
Children lack the social skills to establish relationship with others						
非行・犯罪に走る子どもも自身に問題がある	21.4	36.4	24.6	10.0	7.5	
Children who become delinquent or commit crime have personality problems						
教師の指導力が低下してきている	29.3	30.4	26.1	7.5	7.5	
Leadership qualities of teachers have declined						
家庭の指導力が低下してきている	35.0	37.1	13.9	7.1	6.8	
Leadership qualities of families have declined						
地域社会の指導力が低下してきている	22.1	31.8	27.9	10.7	7.5	
Leadership qualities of community groups such as churches, neighborhood-based agencies, etc. have declined						
社会全体のモラルが低下してきている	29.6	27.9	24.6	10.0	7.9	
The morality of the whole society has declined						
マスコミが大げさに報道しているだけである	21.4	27.9	26.8	14.6	9.3	
The mass media have exaggerated the situation						
非行などは昔からあり、特に新しい問題ではない	17.9	23.2	13.9	10.0	35.0	
Juvenile delinquency is not a new problem						

ナッシュビル市 Nashville(%)		Strongly agree	Agree	やや思う	あまりそう思わない	Strongly disagree	無回答
Strongly agree	Agree	Disagree	Strongly disagree	N.A.			
Children are under much stress these days	子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなってきた	33.6	37.1	18.2	6.4	4.6	
Children lack a sense of the need for rules in society	子どもたちの正義感がなくなってきた	37.5	37.1	15.0	5.0	5.4	
Children lack a sense of justice	他人を配慮することがなくなってきた	29.3	42.5	15.0	6.4	6.8	
Children lack consideration for others	子ども同士の相互関係に問題がある	42.1	36.1	9.3	6.8	5.7	
Children have problems in relationship with their friends	子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている	15.4	40.0	28.9	8.9	6.8	
Children lack the social skills to establish relationship with others	非行・犯罪に走る子ども自身に問題がある	21.4	33.2	27.1	9.6	8.6	
Children who become delinquent or commit crime have personality problems	教師の指導力が低下してきている	21.4	36.4	24.6	10.0	7.5	
Leadership qualities of teachers have declined	家庭の指導力が低下してきている	29.3	30.4	26.1	7.5	7.5	
Leadership qualities of families have declined	地域の指導力が低下してきている	35.0	37.1	13.9	7.1	6.8	
Leadership qualities of community groups such as churches, neighborhood-based agencies, etc. have declined	社会全体のモラルが低下してきている	22.1	31.8	27.9	10.7	7.5	
The morality of the whole society has declined	マスコミが大げさに報道しているだけである	29.6	27.9	24.6	10.0	7.9	
The mass media have exaggerated the situation	非行などは昔からあり、特に新しい問題ではない	21.4	27.9	26.8	14.6	9.3	
Juvenile delinquency is not a new problem		17.9	23.2	13.9	10.0	35.0	

中学生の日常生活に関するアンケート

生徒用

お 願 い

このアンケートは、日本およびアメリカの中学生が学校や家庭でどのような生活を送っているのかを調べることを目的としています。

アンケートに名前を書く必要はありませんし、結果はコンピューターで統計的に処理しますので、思ったままに答えてください。このアンケートはアメリカでも同一項目で実施されるので、いくつかの項目は不的確な表現があるかもしれませんが、ご協力をお願いいたします。

Q1. あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男 2. 女

Q2. 現在あなたが一緒に住んでいるのはどなたですか。あてはまる人にすべて○をつけてください。

1. 父 2. 母 3. 兄弟姉妹 4. 祖父 5. 祖母 6. 義理の父または母
7. 義理の兄弟姉妹 8. その他

Q3. 家族で一番話しやすい人は誰ですか。あてはまる人に○をつけてください。

1. 父 2. 母 3. 兄弟姉妹 4. 祖父 5. 祖母 6. 義理の父または母
7. 義理の兄弟姉妹 8. その他

Q4. あなたは、次の人と平日に平均すると一日どのくらい話をしますか。あてはまる番号に○をつけてください。
この質問は、Q2で○をつけた人についてだけ答えてください。

- | | | | | | | |
|-------------|-----------|--------|--------|--------|--------|----------|
| (1)父 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |
| (2)母 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |
| (3)兄弟姉妹 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |
| (4)祖父 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |
| (5)祖母 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |
| (6)義理の父または母 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |
| (7)義理の兄弟姉妹 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |
| (8)家庭内の他の大人 | 1. ほとんどない | 2. 30分 | 3. 1時間 | 4. 2時間 | 5. 3時間 | 6. 4時間以上 |

Q5. 休日に家族と一緒に何かをして過ごす時間は、平均して一日どのくらいですか。

1. ほとんどない 2. 30分 3. 1時間 4. 2時間 5. 3時間
6. 4時間 7. 5時間 8. 6~12時間 9. 12時間以上

Q6. あなたの家の家族関係はうまくいっていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. うまくいっている 2. まあまあ、うまくいっている
3. どちらともいえない 4. あまり、うまくいっていない 5. うまくいっていない

Q7. 現在あなたがつきあっている親しい友達は何人くらいいますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. いない 2. 1~3人 3. 4~6人 4. 7~9人 5. 10人以上

Q 8. Q 7で答えたあなたがつきあっている親しい友達はどこで知り合った人ですか。あてはまる番号にすべて○をください。

- | | | |
|----------------------------|--------------------------|------------------|
| 1. 同じクラスの人 | 2. 同じクラブ・部活動の人 | 3. 1, 2以外の同じ学校の人 |
| 4. 学校以外のクラブやスポーツチームで知り合った人 | 5. 塾やけいこごとで知り合った人 | |
| 6. 近所の人 | 7. ゲームセンターその他の遊び場で知り合った人 | |
| 8. その他の人 () | | |

Q 9. あなたは友人関係や家族関係の悩み事は誰に相談しますか。あてはまる上位3つまでの番号に○をつけてください。

- | | | | | | |
|-------------|--------------|----------------|-----------|--------|-------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. 兄弟姉妹 | 4. 祖父 | 5. 祖母 | 6. 義理の父または母 |
| 7. 義理の兄弟姉妹 | 8. 親戚の大人 | 9. 同性の友人 | 10. 異性の友人 | 11. 先輩 | |
| 12. 後輩 | 13. 学校の先生 | 14. スクールカウンセラー | | | |
| 15. その他 () | 16. 誰にも相談しない | | | | |

Q10. あなたは親しい友達とのつきあいの中で、どんなことをしていますか。当てはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------|---------|-----------|-----------|
| (1)一緒に遊んで時間を過ごす | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (2)おたがいの家に遊びに行き来する | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (3)一緒に勉強する | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (4)電話で話をする | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (5)異性のことを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (6)家や親の不満や悩みを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (7)学校や他の友人の不満や悩みを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (8)将来のことを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (9)お金や大切な物を貸し借りする | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (10)言い争ったりけんかしたりする | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (11)友達の家泊まる | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |

Q11. あなたの趣味や好きな活動は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|----------------|-------------------|---------------|
| 1. スポーツをする | 2. スポーツを見に行く | 3. ハイキングに行く | 4. 釣りをする |
| 5. テレビやビデオを見る | 6. 映画館に行く | 7. テレビゲームをする | 8. ゲームセンターに行く |
| 9. 音楽を聴く | 10. 楽器を演奏する | 11. 歌を唄う(カラオケを除く) | 12. カラオケに行く |
| 13. マンガを読む | 14. マンガ以外の本を読む | 15. 絵やマンガを描く | 16. 電話で話す |
| 17. パソコンをする | 18. 料理をする | 19. 買い物をする | 20. 繁華街に行く |
| 21. 教会に行く | 22. その他 () | | |

Q12. あなたは家庭で毎日、平均してどのくらい勉強をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほとんどしていない | 2. 30分くらい | 3. 1時間くらい | 4. 2時間くらい |
| 5. 3時間くらい | 6. 4時間くらい | 7. 5時間以上 | |

Q13. あなたは中学生になってから、学校に行くのがいやになったことがありますか。

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. たまにある | 4. まったくない |
|---------|-----------|----------|-----------|

14. 学校に行くのがいやになったのはどういう理由からですか。あてはまるものにすべて○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|----------------|------------------|
| 1. 友だちにいじめられる | 2. 友だちとうまくいかない | 3. 先生がきらい |
| 4. 勉強がきらい | 5. 授業がわからない | 6. 学校に行くのがこわくて不安 |
| 7. 人と話すのがこわい | 8. 体の調子がわるい | 9. 家庭がおもしろくない |
| 10. 学校の外におもしろいことがある | | 11. 親と離れたくない |
| 12. 校則に不満がある | 13. 学校の部活動が負担 | 14. 特に理由はない |
| 15. その他() | | |

Q15. 学校に行くのがいやになったとき、あなたはどうしましたか。あてはまる番号に一つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------------------|-------------|
| 1. 一度も休んだことがない | 2. 遅刻や早退をしたが、休まなかった | |
| 3. 1～6日くらい休んだ | 4. 1～3週間くらい休んだ | 5. 1ヶ月以上休んだ |

Q16. 中学生になってから、あなたはクラスの中で次のようないじめを経験しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--|-------|--------|---------|---------|
| (1)無視をしたり、仲間はずれにする | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (2)悪口を言ったり、からかう | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (3)持ち物を隠す | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (4)持ち物を汚したり壊す | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (5)言葉で脅す | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (6)殴ったり、けったりする | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (7)お金や物を取る | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (8)着ている物を脱がす | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (9)使い走りをさせる | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (10)人が嫌がることを無理にさせる | 1. した | 2. された | 3. 両方ある | 4. 両方なし |
| (11)その他、あなたが経験したり見たことがあるいじめがありましたら、教えてください。() | | | | |

Q17. あなたは今のクラスの中で「いじめ」を目撃したとき、どのように振る舞いましたか。

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. とめようとした | 2. 大人に話した | 3. その場から逃げた |
| 4. 何もしなかった | 5. 面白がって見ていた | 6. いじめに加わった |

Q18. 中学生の次のような行為についてどのようにお考えですか。あてはまる番号に、○をつけてください。

- | | | | | |
|----------------------|----------|-------|-------------|---------|
| (1)学校をさぼる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (2)学校にどうしても行けない | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (3)学校で他人をいじめる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (4)授業中用もないのに席を離れる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (5)授業中に騒いで授業を妨害する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (6)友人を脅したり暴力を振るう | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (7)先生を脅したり暴力を振るう | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (8)学校の物を壊す | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (9)タバコを吸う | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (10)酒やビールを飲む | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (11)シンナーを吸ったり薬を乱用する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (12)麻薬や覚醒剤を使用する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (13)ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (14)夜中まで盛り場で遊ぶ | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3. それほど悪くない | 4. 悪くない |

(15)保護者に無断で外泊する	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(16)家出する	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(17)学校の内て人を殴ったり蹴ったりする	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(18)学校の外で人を殴ったり蹴ったりする	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(19)学校の内て人を脅してお金や物をとる	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(20)学校の外で人を脅してお金や物をとる	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(21)万引きする	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(22)他人の自転車に無断で乗る	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(23)オートバイや自動車を運転する	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(24)友達の前などを脱がす	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(25)異性と性的な関係をもつ	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(26)学校にナイフなどの凶器を持っていく	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない
(27)自殺する	1.とても悪い	2.悪い	3.それほど悪くない	4.悪くない

Q19. 現在の自分自身について、あてはまる番号に○をつけてください。

	当てはまる		どちらでもない		当てはまらない
	少し当てはまる		少し当てはまらない		
(1)私は勉強ができる	1.	2.	3.	4.	5.
(2)私はクラスで人気がある	1.	2.	3.	4.	5.
(3)私は活動的である	1.	2.	3.	4.	5.
(4)私は正直である	1.	2.	3.	4.	5.
(5)私は他人に親切でやさしい	1.	2.	3.	4.	5.
(6)私は正義感が強い	1.	2.	3.	4.	5.
(7)私は勇気がある	1.	2.	3.	4.	5.
(8)私は忍耐力がある	1.	2.	3.	4.	5.
(9)私はリーダーシップを発揮している	1.	2.	3.	4.	5.
(10)私は自立している	1.	2.	3.	4.	5.
(11)私は社会的なモラルを身につけている	1.	2.	3.	4.	5.
(12)私は自分に自信がある	1.	2.	3.	4.	5.
(13)私は自分の行動に責任が持てる	1.	2.	3.	4.	5.

Q20. あなたは次のようなことをしたいと思ったことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	よくある	時々ある	ほとんどない	ない
(1)思いきり誰かを殴ってみたいと思うことがある	1.	2.	3.	4.
(2)手あたりしだい物を壊してみたいと思うことがある	1.	2.	3.	4.
(3)誰も知らないところに行きたいと思うことがある	1.	2.	3.	4.
(4)死んだら楽になれると思うことがある	1.	2.	3.	4.

Q21. あなたは将来どんな大人になりたいですか。最も当てはまる番号を一つだけ選んで○をつけてください。

1. お金持ちになりたい。
2. 偉い人になって、人の上にたちたい。
3. テレビにでるタレントのように有名になりたい。
4. お金や名譽よりも自分の好きなように生きたい。
5. 目立たないが人並みに暮らしていける人になりたい。
6. 世の中や社会のために役立つ人になりたい。
7. わからない
8. その他 ()

ご協力ありがとうございました。

中学生の問題行動とその対応に関するアンケート

教師用

お 願 い

このアンケートは、中学生の問題行動と、それに対する対応について調べることを目的としています。アンケート調査用紙にお名前を書く必要はありません。集約結果は統計的に処理し、各個人にご迷惑をおかけすることはありませんので、思ったままにお答えください。このアンケートはアメリカでも同一項目で実施されるので、いくつかの項目は、不的確な表現があるかもしれませんが、ご協力をお願いいたします。

Q 1. あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 男 2. 女

Q 2. あなたは何年生の担任をしていますか。あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 中学1年 2. 中学2年 3. 中学3年 4. 担当していない

Q 3. あなたは、主に何年生を担当されていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 中学1年 2. 中学2年 3. 中学3年 4. 担当していない

Q 4. あなたの教職歴は、およそ何年くらいですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 5年以内 2. 6-10年 3. 11-15年 4. 16-20年 5. 21-25年
6. 26-30年 7. 31年以上

Q 5. あなたは、学校で何を担当していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 国語 2. 社会 3. 数学 4. 理科 5. 外国語 6. 音楽 7. 美術
8. 体育 9. 技術 10. 家庭 11. スクールカウンセラー
12. スクールサイコジスト 13. 管理職（校長、教頭、教務主任） 14. 養護教諭
15. 特殊学級担任 16. 図書館司書 17. 教務員 18. その他

Q 6. あなたは生徒の親（保護者）について、以下の事項に関してどの程度問題だとお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | 問題となっている | 問題になっていない |
|--------------------------|------------|-----------|
| | やや問題となっている | |
| (1) 親子の会話や意志疎通が少なくなっている | 1. | 2. 3. |
| (2) 教師への期待が親によりバラバラである | 1. | 2. 3. |
| (3) 親が、教師に協力的でない | 1. | 2. 3. |
| (4) 親が子どもの生活習慣やモラルについて放任 | 1. | 2. 3. |
| (5) 親が子どもに過保護である | 1. | 2. 3. |
| (6) 親に利己主義的な傾向が強い | 1. | 2. 3. |

Q 7. あなたは、生徒の生活実態に関する以下の項目について、どの程度問題だと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

	問題となっている	やや問題となっている	問題となっていない
(1) 学ぶ意欲をなくしている	1.	2.	3.
(2) 良好な友人関係を形成できない	1.	2.	3.
(3) 行動が消極的である	1.	2.	3.
(4) 正直さがなくなっている	1.	2.	3.
(5) 他人に対する優しさがなくなっている	1.	2.	3.
(6) 正義感がなくなっている	1.	2.	3.
(7) 勇気がなくなっている	1.	2.	3.
(8) 我慢強さがなくなっている	1.	2.	3.
(9) 指導力がなくなっている	1.	2.	3.
(10) 自立性がなくなっている	1.	2.	3.
(11) 社会的な習慣やモラル形成ができていない	1.	2.	3.
(12) 自分に自信を持っていない	1.	2.	3.
(13) 自分の行動に責任を持っていない	1.	2.	3.
(14) 忙しすぎて自由な時間をもてていない	1.	2.	3.
(15) 物質的に恵まれすぎている	1.	2.	3.
(16) 大人を尊敬しなくなっている	1.	2.	3.
(17) 多くのストレスをかかえている	1.	2.	3.

Q 8. あなたは、子どもの次のような行為についてどのようにお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。

	とても悪い	悪い	それほど悪くない	悪くない
(1) 学校をさぼる	1.	2.	3.	4.
(2) 学校にどうしても行けない	1.	2.	3.	4.
(3) 学校で他人をいじめる	1.	2.	3.	4.
(4) 授業中用もないのに席を離れる	1.	2.	3.	4.
(5) 授業中に騒いで授業を妨害する	1.	2.	3.	4.
(6) 友人を脅したり暴力を振るう	1.	2.	3.	4.
(7) 先生を脅したり暴力を振るう	1.	2.	3.	4.
(8) 学校の物を壊す	1.	2.	3.	4.
(9) タバコを吸う	1.	2.	3.	4.
(10) 酒やビールを飲む	1.	2.	3.	4.
(11) シンナーを吸ったり薬を乱用する	1.	2.	3.	4.
(12) 麻薬や覚醒剤を使用する	1.	2.	3.	4.
(13) ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る	1.	2.	3.	4.
(14) 夜中まで盛り場で遊ぶ	1.	2.	3.	4.
(15) 保護者に無断で外泊する	1.	2.	3.	4.
(16) 家出する	1.	2.	3.	4.
(17) 学校の内でも人を殴ったり蹴ったりする	1.	2.	3.	4.
(18) 学校の外でも人を殴ったり蹴ったりする	1.	2.	3.	4.
(19) 学校の内でも人を脅してお金や物をとる	1.	2.	3.	4.
(20) 学校の外でも人を脅してお金や物をとる	1.	2.	3.	4.
(21) 万引きする	1.	2.	3.	4.
(22) 他人の自転車に無断で乗る	1.	2.	3.	4.
(23) オートバイや自動車を運転する	1.	2.	3.	4.
(24) 友達の服などを脱がす	1.	2.	3.	4.
(25) 異性と性的な関係をもつ	1.	2.	3.	4.
(26) 学校にナイフなどの凶器を持って来る	1.	2.	3.	4.
(27) 自殺する	1.	2.	3.	4.

Q 9. 生徒の次のような問題行動が起こったとき、あなたは誰が対応するのがいいと思いますか。次の
 択肢からあてはまるものをすべて選び、その番号を括弧内に記入してください。

選択肢		
1. 保護者	2. 担任の教師	3. 学年主任・教育相談担当教員など
4. 養護教諭	5. 特殊学級担当教諭	6. スクールカウンセラー
7. スクールサイコロジスト	8. 校長や教頭等の管理職	9. 教育センター
10. 教育委員会	11. 児童相談所等の公立の相談所	12. 警察
13. その他		

- (1) 学校を無断でさぼること ()
- (2) 学校にどうしても登校できないこと ()
- (3) いじめがあること ()
- (4) クラスが崩壊状態にあること ()
- (5) 生徒間で暴力行為があること ()
- (6) 先生を脅かしたり、暴力をふるうこと ()
- (7) 学校の物を壊すこと ()
- (8) タバコを吸うこと ()
- (9) 酒やビールを飲むこと ()
- (10) シンナーを吸ったり薬を乱用すること ()
- (11) 覚醒剤や麻薬などの薬物を使うこと ()
- (12) ポルノ雑誌やアダルトビデオを見ること ()
- (13) 夜中まで盛り場で遊んでいること ()
- (14) 親に無断で外泊すること ()
- (15) 家出をすること ()

Q 10. 学校での問題行動に対処できないときに、あなたは以下のところに相談したことがありますか。
 「ない」「ある」のどちらかに○をつけてください。

●「ある」とお答えになった場合→そのとき、その相談相手はどのような対応をしてくれましたか
 あてはまる番号に○をつけてください。

		よく対応してくれた		あまり対応してくれなかった	
		1	2	3	4
(1) 児童相談所	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(2) 精神保健福祉センター	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(3) 警察	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(4) 精神科の医者	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(5) 児童裁判所や家庭裁判所	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(6) 教育センター	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(7) 教育委員会	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(8) 電話相談	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
(9) その他 ()	ない	ある→	1. 2.	3.	4.
()	ない	ある→	1. 2.	3.	4.

Q11. 最近、生徒の問題行動が話題となっています。あなたは、その理由についてどのように考えますか。
 あてはまる番号に○をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1. 受験競争などにより、子どもにストレスがたまってきている	1.	2.	3.	4.	5.
2. 子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなっている	1.	2.	3.	4.	5.
3. 子どもたちに正義感がなくなっている	1.	2.	3.	4.	5.
4. 他人を配慮することがなくなっている	1.	2.	3.	4.	5.
5. 子ども同士の相互関係に問題がある	1.	2.	3.	4.	5.
6. 子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている	1.	2.	3.	4.	5.
7. 非行・犯罪に走る子ども自身に原因がある	1.	2.	3.	4.	5.
8. 教師の指導力が低下してきている	1.	2.	3.	4.	5.
9. 家庭の指導力が低下してきている	1.	2.	3.	4.	5.
10. 町内会や隣近所などの地域社会の指導力が低下してきている	1.	2.	3.	4.	5.
11. 社会全体のモラルが低下している	1.	2.	3.	4.	5.
12. マスコミが大きさに報道しているだけである	1.	2.	3.	4.	5.
13. 非行などは昔からあり、特に新しい問題ではない	1.	2.	3.	4.	5.
14. その他お考えのことがあれば、お聞かせください。	1.	2.	3.	4.	5.

()

Q12. あなたは生徒の問題行動の解決に、学校として早急に取り組むべきことは何であると考えますか。
 以下の事について、あてはまる3の番号に○をつけてください。

	改善が必要	やや改善が必要	今のままでよい
(1) 子どもとふれあう時間の確保	1.	2.	3.
(2) 教師間の連携を強める	1.	2.	3.
(3) 教師と保護者との連携を強める	1.	2.	3.
(4) 教育方法や教育内容について工夫する	1.	2.	3.
(5) 各教師の主体性を強める	1.	2.	3.
(6) 生徒指導・生活指導の力量を高める	1.	2.	3.
(7) その他お考えのことがあれば、次のQ13. の欄にご記入ください。			

Q13. あなたは、生徒の問題行動に取り組むにあたって、学校や家庭、地域にどのような活動が必要と考えますか。学校、家庭、地域社会別に、自由にご記入ください。

(1) 学校

(2) 家庭

(3) 地域社会

ご協力ありがとうございました。

中学生の日常生活と親子関係に関するアンケート

保護者用

お願い

このアンケートは、日本とアメリカの中学生が学校や家庭でどのような生活を送っているか、また、親子関係はどのようになっているかを調べることを目的としています。このアンケートには名前を書く必要はありませんし、結果はコンピュータで統計的に処理しますので、思ったままに答えて下さい。このアンケートはアメリカでも同一項目で実施されるので、いくつかの項目は不的確な表現があるかもしれませんが、ご協力をお願いします。

このアンケートは、この用紙を持ち帰った中学生のお子さまと、普段、最も長い時間接していらっしゃる保護者の方にご記入をお願いいたします。なお、このアンケートの中で「お子さま」とあるのは、「このアンケートをお宅に持ち帰った中学生のお子さま」のことです。

- Q 1. このアンケートに回答して下さる方は、どなたですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。なお、父、母などは、このアンケートを持ち帰った「お子さま」から見た父、母などを指します。
- 1.父 2.母 3.義理の父 4.義理の母 5.祖父 6.祖母 7.親戚 8.兄 9.姉 10.その他
- Q 2. 「お子さま」の性別はどちらですか。あてはまる方を○でかこんでください。
- 1.男 2.女
- Q 3. 「お子さま」とあなた、または他の保護者の方が、平日にいろいろ話し合う時間は、平均すると1日あたりどれくらいになりますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。
- 1.ほとんどない 2.30分くらい 3.1時間くらい 4.2時間くらい 5.3時間くらい 6.4時間以上
- Q 4. 「お子さま」はあなたに学校や友達のことをよく話しますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。
- 1.自分からよく話す 2.自分からは言い出さないが、聞けば話す
3.いろいろ聞いても、あまり話そうとしない 4.聞いても、まったく話さない
- Q 5. あなたの家の家族関係はうまくいっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。
- 1.うまくいっている 2.まあまあ、うまくいっている
3.どちらともいえない 4.あまり、うまくいっていない 5.うまくいっていない
- Q 6. あなた、または他の保護者の方が「お子さま」とよく一緒にされていることがありますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。
- 1.スポーツをする 2.スポーツを見に行く 3.ハイキングに行く 4.釣りをする
5.映画に行く 6.教会に行く 7.テレビ・ビデオを見る 8.テレビゲームをする
9.音楽を聴く 10.楽器を演奏する 11.歌を唄う(カラオケを除く) 12.カラオケに行く
13.本を読む 14.絵を描く 15.パソコンをする 16.料理をする
17.買い物をする 18.繁華街に行く 19.旅行に行く 20.ドライブをする
21.その他() 22.何もしない

Q 7. あなたは日頃、「お子さま」にどのようなことを特に注意し、指導をしていますか。主なものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | | | | |
|-------------------|-----------------|----------------|----------|-----------------|
| 1. 学校の成績 | 2. 進学 | 3. 服装や髪型 | 4. 持ち物 | 5. お金の使い方 |
| 6. 言葉づかい | 7. 読んでいる本や雑誌 | 8. 見ているテレビやビデオ | | 9. 外出先や遊びの内容 |
| 10. 起床時間、食事等の生活習慣 | 11. 同性の友達とのつきあい | | | 12. 異性の友達とのつきあい |
| 13. その他 () | | | 14. 特になし | |

Q 8. あなたは「お子さま」に、どのような人間になってほしいと思いますか。普段よく言い聞かせていることを3つまで選んで○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 正直な人間になる | 2. 正義感の強い人間になる | 3. 自分に自信のある人間になる |
| 4. 勇気のある人間になる | 5. 経済的に成功する人間になる | 6. リーダーシップを発揮する人間になる |
| 7. 勉強のできる頭のいい人間になる | | 8. 安定的な生活を送れる人間になる |
| 9. 忍耐力のある人間になる | 10. 人に好かれる人間になる | 11. チャレンジ精神の旺盛な人間になる |
| 12. 自立した人間になる | 13. 自分の好きなことを見つけてやっていく人間になる | |
| 14. 有名な人間になる | 15. 高い地位につく人間になる | 16. 社会に役立つ人間になる |
| 17. 親切で優しい | 18. モラルを身につけた人間になる | 19. 自分の行動に責任を持てる人間になる |
| 20. その他 () | | 21. 特にそのような話はしていない |

Q 9. 「お子さま」がつきあっている親しい友人は何人くらいいると思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. いない 2. 1～3人 3. 4～6人 4. 7～9人 5. 10人以上 6. わからない

Q 10. 「お子さま」の交友関係で気になることがありますか。あてはまることをすべて○でかこんでください。

1. 友人がいないようだ
2. 友人はいるが、表面的なつきあいだけで、親友はいないようだ
3. 異性とのつきあい方が、気になることがある
4. 友人とのつきあいを通して生活が乱れることがある
5. あまり好ましくない友人とつきあっているようだ
6. その他 ()
7. 特に気になることはない

Q 11 「お子さま」は、仲のいい友達とのつきあいの中で、次のようなことをしていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|----------------------|---------|-----------|-----------|
| (1)一緒に遊んで時間を過ごす | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (2)おたがいの家に遊びに行き来する | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (3)一緒に勉強する | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (4)電話で話をする | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (5)異性のことを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (6)家や親の不満や悩みを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (7)学校や他の友人の不満や悩みを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (8)将来のことを話す | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (9)お金や大切な物を貸し借りする | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (10)言い争ったりけんかしたりする | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |
| (11)おたがいの家に泊まったりする | 1. よくある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない |

Q12. 子どもの次のような行為についてどのようにお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|------------------------|----------|-------|------------|---------|
| (1) 学校をさぼる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (2) 学校にどうしても行けない | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (3) 学校で他人をいじめる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (4) 授業中用もないのに席を離れる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (5) 授業中に騒いで授業を妨害する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (6) 友人を脅したり暴力を振るう | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (7) 先生を脅したり暴力を振るう | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (8) 学校の物を壊す | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (9) タバコを吸う | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (10) 酒やビールを飲む | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (11) シンナーを吸ったり薬を乱用する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (12) 麻薬や覚醒剤を使用する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (13) ポルノ雑誌やアダルトビデオを見る | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (14) 夜中まで盛り場で遊ぶ | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (15) 保護者に無断で外泊する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (16) 家出する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (17) 学校の内で人を殴ったり蹴ったりする | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (18) 学校の外で人を殴ったり蹴ったりする | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (19) 学校の内で人を脅してお金や物をとる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (20) 学校の外で人を脅してお金や物をとる | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (21) 万引きする | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (22) 他人の自転車に無断で乗る | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (23) オートバイや自動車を運転する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (24) 友達の服などを脱がす | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (25) 異性と性的な関係をもつ | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (26) 学校にナイフなどの凶器を持っていく | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |
| (27) 自殺する | 1. とても悪い | 2. 悪い | 3.それほど悪くない | 4. 悪くない |

Q13. 中学生になってから現在までに、「お子さま」は次のような「いじめ」を経験したことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|---|------------|-------------|---------|-----------|
| (1) 無視をしたり、仲間はずれにする | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (2) 悪口を言ったり、からかう | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (3) 持ち物を隠す | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (4) 持ち物を汚したり壊す | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (5) 言葉で脅す | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (6) 殴ったり、ける | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (7) お金や物を取る | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (8) 着ている物を脱がす | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (9) 使い走りをさせる | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (10) 人が嫌がることを無理にさせる | 1. したことがある | 2. されたことがある | 3. 両方ある | 4. どちらもない |
| (11) その他、「お子さま」が経験したり見たことがあるいじめがありましたら、教えてください。 | | | | |

()

Q14. もし、「お子さま」がいじめられていると知ったら、どうしますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 黙って様子を見る | 2. 子どもを慰め、激励する | 3. やりかえせと子どもを叱る |
| 4. 子どもの友達に相談する | 5. 担任の先生に相談する | 6. 学年主任の先生や教頭先生、校長先生に相談する |
| 7. 保健の先生に相談する | 8. スクールカウンセラーに相談する | 9. 知人に相談する |
| 10. 教育委員会などに相談する | 11. 公立の相談所（児童相談所、法務局等）に相談する | |
| 12. 警察に相談する | 13. いじめている子に直接注意する | 14. いじめている子の保護者に注意する |
| 15. その他（ | ） | |

Q15. 中学生になってから、「お子さま」は特に健康上問題がないのに、学校を休みたがるようなことがありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない 4. まったくない 5. わからない

3、4、5を選んだ方はQ17に進んでください。

Q16. 学校を休みたがる理由は何であるとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------------|
| 1. いじめられている | 2. 友達とうまくいっていない | 3. 先生とうまくいっていない |
| 4. 勉強がしたくない | 5. 授業がわからない | 6. 学校に行くのが怖い・不安 |
| 7. 人と話すのが怖い・不安 | 8. 体調が良くない | 9. 家庭内に問題がある |
| 10. 学校以外に興味のあることがある | | 11. 家族と離れたくない |
| 12. 校則に問題がある | 13. クラブ活動に問題がある | 14. 子どもがなまけている |
| 15. その他（ | ） | |
| | | 16. わからない |

Q17. 近年、青少年の非行や犯罪が問題となっていますが、あなたはその原因をどのようにお考えですか。あてはまる番号に○をつけてください。

	そう思う		あまりそう思わない		わからない
	1.	2.	3.	4.	
1. 受験競争などにより、子どもにストレスがたまってきている	1.	2.	3.	4.	5.
2. 子どもたちに世の中のルールを守る意識がなくなってきている	1.	2.	3.	4.	5.
3. 子どもたちに正義感がなくなってきている	1.	2.	3.	4.	5.
4. 他人を配慮することがなくなってきている	1.	2.	3.	4.	5.
5. 子ども同士の相互関係に問題がある	1.	2.	3.	4.	5.
6. 子どもたちが人と関係を作る力が弱くなっている	1.	2.	3.	4.	5.
7. 非行・犯罪に走る子ども自身に原因がある	1.	2.	3.	4.	5.
8. 教師の指導力が低下してきている	1.	2.	3.	4.	5.
9. 家庭の指導力が低下してきている	1.	2.	3.	4.	5.
10. 町内会や隣近所などの地域社会の指導力が低下してきている	1.	2.	3.	4.	5.
11. 社会全体のモラルが低下している	1.	2.	3.	4.	5.
12. マスコミが大げさに報道しているだけである	1.	2.	3.	4.	5.
13. 非行などは昔からあり、特に新しい問題ではない	1.	2.	3.	4.	5.
14. その他お考えのことがあれば、お聞かせください。	1.	2.	3.	4.	5.

()

ご協力ありがとうございました

F&M Joint Research Questionnaire (For Students)

When you complete this questionnaire you are participating in a research project comparing the school and home lives of 8th graders in the U.S. and in Japan. Please do not write your name on this questionnaire – your responses are anonymous. Your responses will not be analyzed individually, but only as a part of the entire group. No one will be able to identify you or your answers. Some of the items may seem unusual for American students – these items are on the questionnaire because they are familiar to Japanese students, who are also completing this survey.

Q1. Which are you? Circle one:

1. Male 2. Female

Q2. Which family members are living with you at present? Circle all that apply:

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1. Father | 5. Grandmother |
| 2. Mother | 6. Step-parents |
| 3. Brothers & Sisters | 7. Step-brothers and/or step-sisters |
| 4. Grandfather | 8. Others |

Q3. Who are the family members that you find it easiest to talk with? Circle all that apply:

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1. Father | 5. Grandmother |
| 2. Mother | 6. Step-parents |
| 3. Brothers & sisters | 7. Step-brothers and/or step-sisters |
| 4. Grandfather | 8. Others |

Q4. On weekdays, on the average, how long do you talk with each of the following people each day?

Circle one choice for the person whom you circled in Q2.

- | | | |
|--------------------------------------|-------------------|-------------------------|
| 1. Father | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |
| 2. Mother | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |
| 3. Brothers & sisters | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |
| 4. Grandfather | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |
| 5. Grandmother | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |
| 6. Step-parents | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |
| 7. Step-brothers and/or step-sisters | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |
| 8. Other adults at home | 1. Almost no time | 4. Two hours |
| | 2. 30 minutes | 5. Three hours |
| | 3. An hour | 6. More than four hours |

Q5. On weekends and holidays, on the average, how much time do you spend doing things with your family members? Circle one:

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. Almost no time | 6. Four hours |
| 2. 30 minutes | 7. Five hours |
| 3. An hour | 8. Six to twelve hours |
| 4. Two hours | 9. More than twelve hours |
| 5. Three hours | |

Q6. Do you think that your family members are getting along well together? Circle one:

1. Very well
2. Fairly well
3. Not well but not poorly
4. Poorly
5. Extremely poorly

Q7. How many close friends do you have?

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. None | 4. 7 to 9 |
| 2. 1 to 3 | 5. 10 or more |
| 3. 4 to 6 | |

Q8. Where did you get acquainted with your close friends in Q7? Circle all that apply:

1. Friends in the same class
2. Others in the same club activities and/or on the same sports teams at school
3. Others in the same school, apart from 1 & 2.
4. Others I got acquainted with at club activities and/or sports teams outside school
5. Others I got acquainted with at lessons taken outside school (e.g., art or music lessons, etc.)
6. Others in the neighborhood
7. People I got acquainted with them at recreation spots such as the mall, arcade, or movies.
8. Others not mentioned above (please specify: _____)

Q9. Who do you consult about relationships with family and friends? Please circle the three that best apply.

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. Father | 9. Friends of the same sex |
| 2. Mother | 10. Friends of the opposite sex |
| 3. Brothers & Sisters | 11. Older friends |
| 4. Grandfather | 12. Younger friends |
| 5. Grandmother | 13. School teachers |
| 6. Step-parents | 14. School counselors |
| 7. Step-brothers and step-sisters | 15. Others (_____) |
| 8. Adults in relatives | 16. I do not consult with anybody. |

Q10. How often do you do the following things with your friends? Circle one of the following choices for each Item, with:

- 1 very often
- 2 sometimes
- 3 almost never or never

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. Spending time playing with friends | 1 | 2 | 3 |
| 2. Coming and going to friends' houses | 1 | 2 | 3 |
| 3. Studying together | 1 | 2 | 3 |
| 4. Talking with friends on the phone | 1 | 2 | 3 |
| 5. Talking with friends about people of the opposite sex | 1 | 2 | 3 |
| 6. Complaining about home and parents to friends | 1 | 2 | 3 |
| 7. Complaining about school or about other students | 1 | 2 | 3 |
| 8. Talking with friends about the future | 1 | 2 | 3 |
| 9. Borrowing or lending money and valuables | 1 | 2 | 3 |
| 10. Quarrelling or scuffling with friends | 1 | 2 | 3 |
| 11. Staying the night at friends' houses | 1 | 2 | 3 |

Q11. What are your hobby or favorite activities? Circle all that apply:

- | | |
|---|--|
| 1. Doing sports | 12. Going to the <i>Karaoke</i> room to sing songs |
| 2. Go watching sports | 13. Reading comic books |
| 3. Hiking | 14. Reading books other than comics |
| 4. Fishing | 15. Drawing pictures and cartoons |
| 5. Watching TV and videos | 16. Talking by telephone |
| 6. Going to the movies | 17. Personal computers |
| 7. Playing TV games | 18. Cooking |
| 8. Going to the playing spots | 19. Shopping |
| 9. Listening to music | 20. Going to the mall |
| 10. Playing musical instruments | 21. Going to the church. |
| 11. Singing (except going to <i>Karaoke</i>) | 22. Others (|

Q12. On average, how much time each day do you study at home? Circle one:

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. Almost none | 5. About 3 hours |
| 2. About 30 minutes | 6. About 4 hours |
| 3. About an hour | 7. More than 5 hours |
| 4. About 2 hours | |

Q13. Since the 7th grade, how often have you wished you could quit school? Circle one:

1. Very often
2. Sometimes
3. Once in a while
4. Never

If you circled #4 (Never), please skip questions 14 and 15.

Q14. What caused you to dislike going to school. Circle all that apply:

1. I am bullied by fellow students.
2. I do not get along with fellow students.
3. I do not like teachers.
4. I don't feel like studying.
5. I don't understand the subjects we study at school.
6. I am afraid of going to school.
7. I am afraid of talking with people.
8. I am often sick.
9. My home is unpleasant for me.
10. I have interesting things to do outside school.
11. I don't want to be away from my parents.
12. I am dissatisfied with school regulations, etc.
13. A club activity at school is a burden for me.
14. There's no particular reason.
15. Other reasons. (please specify:

Q15. What did you do when you felt reluctant to go to school? Circle one:

1. I have never been absent from school.
2. I have been late for school or I have left school earlier than usual, but I have never absent from school.
3. I have been absent from school for about one day to six days.
4. I have been absent from school for about one week to three weeks.
5. I have been absent from school for more than one month.

Q16. Have you experienced bullying in any of the following ways since 7th grade? Circle all items that apply, with:

1= I've done these things.

2= I have had these things done to me.

3= I've done these things and they have been done to me.

4= I have not done these things and they have not been done to me.

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1. Ignoring and leaving someone out of the group | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. Making fun of and calling someone names | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. Hiding someone's belongings | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. Destroying or dirtying someone's belongings | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. Threatening someone with words | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. Hitting and/or kicking classmates | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. Taking away money and belongings | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. Pulling off someone's clothes | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. Ordering to do errands | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. Forcing someone to do what they dislike | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. If you watched or experienced another form of bullying, please write it in the parenthesis. (| | | |) |

Q17. What did you do when you saw someone bullying others? Circle one:

1. I tried to stop it.
2. I told an adult.
3. I ran away from the scene.
4. I did nothing.
5. I watched with interest but did not actively participate.
6. I actively participated in the bullying.

Q18. What do you think about the following behaviors of 7th to 9th graders? For each item, circle one, with:

1. Very bad
2. Bad
3. Not so bad
4. Not bad at all

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| 1. Skipping school without reason. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. Would like to go to school but is too afraid to go | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. Bullying others at school. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. Leaving their seat without any reason. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. Disrupting class by being noisy. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. Threatening or using violence on peers. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. Threatening or using violence on teachers. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. Damaging school properties. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. Smoking. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. Drinking alcohol such as beer or whisky. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. Sniffing solvents or abusing drugs. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. Taking narcotics or stimulants. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13. Playing around at the mall, arcade, or movies until late at night. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 14. Staying out overnight without guardians' consent. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 15. Running away from home | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 16. Hitting and kicking others at school. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 17. Hitting and kicking others outside of school. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 18. Extorting money or belongings from others by threat at school. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 19. Extorting money or belongings from others by threat outside of school. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 20. Shoplifting. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 21. Riding other's bicycle without permission. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 22. Driving a motorbike or a car. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 23. Bringing a knife or other weapons to school. | 1 | 2 | 3 | 4 |

Q19. Which of the following are you? For each item, circle the number that applies, with:

1. Very much like me 2. A little like me 3. Undecided
4. Not much like me 5. Not like me at all

1. I am good at studying.	1	2	3	4	5
2. I am popular with my classmates.	1	2	3	4	5
3. I am active.	1	2	3	4	5
4. I am honest	1	2	3	4	5
5. I am kind and gentle to others.	1	2	3	4	5
6. I have a strong sense of justice.	1	2	3	4	5
7. I am courageous.	1	2	3	4	5
8. I am patient.	1	2	3	4	5
9. I have leadership ability.	1	2	3	4	5
10. I am independent.	1	2	3	4	5
11. I am a moral person.	1	2	3	4	5
12. I have confidence in myself.	1	2	3	4	5
13. I can conduct myself responsibly.	1	2	3	4	5

Q20. Have you ever wanted to do the following things? For each item, circle the number that applies, with:

1. Very often 2. Sometimes 3. Almost never 4. Never

1. I have wanted to give somebody a good beating.	1.	2.	3.	4.
2. I have wanted to destroy anything I can lay my hand on.	1.	2.	3.	4.
3. I have wanted to go somewhere that nobody knows.	1.	2.	3.	4.
4. Other (please specify: _____)				

Q21. What kind of a person do you want to be in the future? Circle one that most applies:

1. I want to be rich.
2. I want to be a person in a higher position.
3. I want to be a famous person such as TV stars.
4. I want to live freely as I like rather than to be rich or to be famous.
5. I want to be a person who can live an ordinary life.
6. I want to be a person who serves society and the community.
7. I don't know what kind of person I want to be.
8. Other (please specify: _____)

Thank you for your cooperation!

F & M Joint Research Questionnaire (For Teachers)

Please complete this questionnaire about your middle school students. Please do not write your name on this questionnaire—your responses are anonymous. Your responses will not be analyzed individually, but only as a part of the entire group. No one will be able to identify you or your answers. Some of the items may seem unusual for American teachers. These items are on the questionnaire because they are familiar to Japanese students, teachers and guardians who are also completing this survey.

Q1. Which are you? Circle one:

1. Male 2. Female

Q2. What grade is your homeroom?

1. 7th grade 2. 8th grade 3. 9th grade 4. No homeroom responsibilities

Q3. What grade(s) do you teach? Circle all that apply:

- (1) 7th grade (2) 8th grade (3) 9th grade (4) No teaching responsibilities

Q4. Approximately how many years have you worked in schools? Circle one.

- (1) Less than 5 years (2) 6-10 years (3) 11-15 years (4) 16-20 years
(5) 21-25 years (6) 26-30 years (7) More than 31 years

Q5. What is your area of responsibility? Circle all that apply

- (1) English (Native language and literature) (2) social studies
(3) mathematics (4) science (5) foreign language (6) music
(7) art (8) physical education (9) industrial arts
(10) Domestic science (11) School counselor (12) School psychologist
(13) Administrator (Principal, Vice-principal, Curriculum coordinator)
(14) School nurse (15) Teacher of the special education
(16) Librarian (17) School resource officer (18) Other (please specify _____)

Q6. Have you had any of the following things bothering you about a student's parents or guardians recently?

Circle one for each item with:

1 = a serious problem 2 = a small problem 3 = not a problem

- | | | | |
|---|----|----|----|
| (1) Less time for communication between parents and students | 1. | 2. | 3. |
| (2) Different expectations of teachers among parents | 1. | 2. | 3. |
| (3) Parents are not cooperative with teachers | 1. | 2. | 3. |
| (4) Parents show little interest in their children's daily habits and morals. | 1. | 2. | 3. |
| (5) Parents are overprotective toward their children | 1. | 2. | 3. |
| (6) Parents tend to be self-centered. | 1. | 2. | 3. |

Q7. How would you rate the following tendencies among middle school students?

Circle one for each item with:

1 = a serious problem; 2 = somewhat of a problem; 3 = not a problem.

- | | | | |
|---|----|----|----|
| (1) Students may lack the will to study. | 1. | 2. | 3. |
| (2) Students may lack the social skills to develop good friendships | 1. | 2. | 3. |
| (3) Students may be passive. | 1. | 2. | 3. |
| (4) Students may not be honest. | 1. | 2. | 3. |
| (5) Students may not be kind to others. | 1. | 2. | 3. |
| (6) Students may lack a sense of justice. | 1. | 2. | 3. |
| (7) Students may lack courage. | 1. | 2. | 3. |
| (8) Students may lack perseverance | 1. | 2. | 3. |
| (9) Students may lack leadership | 1. | 2. | 3. |
| (10) Students may not be independent. | 1. | 2. | 3. |
| (11) Students may not have well-developed morals and social habits. | 1. | 2. | 3. |
| (12) Students may have little self-respect | 1. | 2. | 3. |
| (13) Students may not assume responsibility for their actions | 1. | 2. | 3. |
| (14) Students may be too busy to take time for themselves. | 1. | 2. | 3. |
| (14) Students may be too well off in material terms. | 1. | 2. | 3. |
| (15) Students may have little respect for adults | 1. | 2. | 3. |
| (16) Students may have too much stress | 1. | 2. | 3. |

Q8. What do you think about the following behaviors of students. For each item, circle the number that applies, with

1. Very bad
2. Bad
3. Not so bad
4. Not bad at all

(1) Skipping school without reason.	1	2	3	4
(2) Would like to go to school but is too afraid to go.	1	2	3	4
(3) Bullying others at school.	1	2	3	4
(4) Leaving their seat without any reason.	1	2	3	4
(5) Disrupting class by being noisy.	1	2	3	4
(6) Threatening or using violence on peers.	1	2	3	4
(7) Threatening or using violence on teachers.	1	2	3	4
(8) Damaging school property.	1	2	3	4
(9) Smoking.	1	2	3	4
(10) Drinking alcohol such as beer or whisky.	1	2	3	4
(11) Sniffing solvents or abusing drugs.	1	2	3	4
(12) Taking narcotics or stimulants.	1	2	3	4
(13) Playing around at the mall, arcade, or movies until late at night.	1	2	3	4
(14) Staying out overnight without guardians' consent.	1	2	3	4
(15) Running away from home	1	2	3	4
(16) Hitting and kicking others at school.	1	2	3	4
(17) Hitting and kicking others outside of school.	1	2	3	4
(18) Extorting money or belongings from others by threat at school.	1	2	3	4
(19) Extorting money or belongings from others by threat outside of school.	1	2	3	4
(20) Shoplifting.	1	2	3	4
(21) Riding other's bicycle without permission.	1	2	3	4
(22) Driving a motorbike or a car.	1	2	3	4
(23) Bringing a knife or other weapons to school.	1	2	3	4

Q9. In your school, who do you think would be the right person to respond to the following problematic behaviors? Write the numbers that apply in the parenthesis.

- | | | |
|--|-----------------------------------|---|
| 1. Guardians | 2. Homeroom teacher | 3. Department head/lead teacher/advisor |
| 4. School nurse | 5. The special education teacher | |
| 6. School counselor | 7. School psychologist | |
| 8. School administrators (Principal, Vice-principal, Curriculum coordinator) | | |
| 9. The local teacher center | 10. The local board of education. | |
| 11. Public resources such as child guidance center | 12. Police | 13. Other |

(1) Truancy from school	()
(2) Would like to go to school but is too afraid to go.	()
(3) Bullying problems	()
(4) Class is disrupted by the behavioral problems of students	()
(5) Violence against students.	()
(6) Threatening and violence against teachers	()
(7) Vandalism at school	()
(8) Smoking	()
(9) Drinking alcohol such as beer or whisky.	()
(10) Sniffing solvents or abusing drugs.	()
(11) Taking narcotics or stimulant drugs.	()
(13) Playing around at the amusement district till late at night.	()
(14) Staying out overnight without guardians' consent.	()
(15) Running away from home	()

Q10. If you needed assistance in handling a behavior problem in the school, have you ever asked the help of the following outside resources? Circle No or Yes. If you circled "Yes," how was the response of the outside resource? Please circle the number that applies, with

	1 = very satisfactory	2 = satisfactory	3 = unsatisfactory	4 = very unsatisfactory
(1) Child guidance center	No	Yes	1.	2. 3. 4.
(2) Mental health center	No	Yes	1.	2. 3. 4.
(3) Police	No	Yes	1.	2. 3. 4.
(4) Psychiatrist	No	Yes	1.	2. 3. 4.
(5) Juvenile court or family court	No	Yes	1.	2. 3. 4.
(6) The teacher center	No	Yes	1.	2. 3. 4.
(7) Telephone crisis hotline	No	Yes	1.	2. 3. 4.
(8) Other (specify _____)	No	Yes	1.	2. 3. 4.

Q11. In recent years, juvenile delinquency has increasingly become a problem. To what extent do you think each of the following is a reason for this? Please circle one for each item with:
1=Strongly agree that it's a reason 2=Agree that it's a reason 3=Disagree that it's a reason
4=Strongly disagree that it's a reason 5=I don't know

(1) Children are under much stress these days	1	2	3	4	5
(2) Children lack a sense of keeping the rules of society	1	2	3	4	5
(3) Children lack a sense of justice	1	2	3	4	5
(4) Children lack consideration for others	1	2	3	4	5
(5) Children have problems in relationships with their friends	1	2	3	4	5
(6) Children lack the social skills to establish relationship with others	1	2	3	4	5
(7) Children become delinquent or commit crimes because they have personality problems	1	2	3	4	5
(8) Leadership qualities of teachers have declined.	1	2	3	4	5
(9) Leadership qualities of families have declined.	1	2	3	4	5
(10) Leadership qualities of community groups such as churches, neighborhood-based agencies, etc. have declined.	1	2	3	4	5
(11) The morality of the whole society has declined.	1	2	3	4	5
(12) The mass media have exaggerated the situation	1	2	3	4	5
(13) Juvenile delinquency is not a new problem	1	2	3	4	5
(14) Other (please specify: _____)					

Q12. How urgent are each of the following tasks to be done at school in order to solve the behavior problems of students?

Please circle one for each item which you think urgent and important, with:
1 = very urgent 2 = somewhat urgent 3 = not urgent

(1) Time to interact with children	1.	2.	3.
(2) Cooperation among teachers	1.	2.	3.
(3) Communication with parents	1.	2.	3.
(4) Study of new teaching methods and materials	1.	2.	3.
(5) Establish teacher's independence	1.	2.	3.
(6) Improve the guidance and counseling skills of teachers	1.	2.	3.
(7) If you have other ideas, please write them in Q13.			

Q13. What actions do you suggest schools, families, and communities take to address students' behavior problems?

Schools:

Families:

Communities:

Thank you very much for your cooperation.

F&M Joint Research Questionnaire (For Parents/Guardians)

Please complete this questionnaire about your 8th grade child, one questionnaire per child. Please do not write your name on this questionnaire – your responses are anonymous. Your responses will not be analyzed individually, but only as a part of the entire group. No one will be able to identify you or your answers. Some of the items may seem unusual for American families – these items are on the questionnaire because they are familiar to Japanese students, who are also completing this survey.

Q1. What is your relationship to the student? Circle one.

- | | | | |
|---------------|----------------|-------------|-----------|
| 1. Father | 4. Stepmother | 7. Relative | 10. Other |
| 2. Mother | 5. Grandfather | 8. Brother | |
| 3. Stepfather | 6. Grandmother | 9. Sister | |

Q2. Which sex is your child? Circle one.

1. Male 2. Female

Q3. On average, how long does your child talk with you or with other parents/guardians on each weekday? Circle one.

- | | | |
|--------------------|----------------------|-------------------------|
| 1. Almost no time | 2. About 30 minutes | 3. About an hour |
| 4. About two hours | 5. About three hours | 6. More than four hours |

Q4. How often does your child talk with you about his / her school and friends? Circle one.

1. My child often talks willingly
2. My child does not talk willingly, but if you ask him / her, he / she often talks
3. Even if I ask my child, he / she does not talk very much
4. My child does not talk at all about school and friends.

Q5. Do you think that your family members get along well each other? Circle one.

1. Very well 2. Fairly well 3. Not well but not poorly 4. Poorly 5. Extremely poorly

Q6. What do you often do with your child? Please circle as many answers as are applicable.

- | | | | |
|---|-----------------------------|--|------------|
| 1. Playing sports together | 2. Attending sports event s | 3. Hiking | 4. Fishing |
| 5. Going to the movies | 6. Going to church | 7. Watching TV and videos | |
| 8. Playing video games | 9. Listening to music | 10. Playing musical instruments | |
| 11. Singing (except going to <i>Karaoke</i>) | | 12. Going to karaoke room to sing songs | |
| 13. Reading books | 14. Painting pictures | 15. Spending time together on personal computers | |
| 16. Cooking | 17. Shopping | 18. Going to the mall | |
| 19. Taking trips together | 20. Going for a drive | | |
| 21. Other (please specify: _____) | | | |
| 22. I do nothing with the child | | | |

Q7. Of the following, which are the three things you are most concerned about regarding your child? Circle three.

- | | |
|---|---|
| 1. School grades | 8. TV programs and videos that your child watches |
| 2. Going on to the next level of education | 9. Where your child goes and what your child does |
| 3. Clothing and hairstyle | 10. Living habits such as daily routine. |
| 4. Belongings | 11. Association with friends of the same sex |
| 5. Use of money | 12. Association with friends of the opposite sex |
| 6. Appropriate use of language (courteous and respectful) | 13. Other (please specify: _____) |
| 7. Books and magazines that your child reads | 14. Nothing in particular |

Q8. Which of the following do you tell your child to be? Circle three.

1. I tell my child to be an honest person
2. I tell my child to be a person who has a strong sense of justice
3. I tell my child to be a person with self-confidence
4. I tell my child to be a courageous person
5. I tell my child to be a person who succeeds economically
6. I tell my child to be a person who has leadership qualities.
7. I tell my child to be a smart person who does well at school.
8. I tell my child to be a person who can live a stable life
9. I tell my child to be a person with perseverance.
10. I tell my child to be a person who is liked by people.
11. I tell my child to be a person who enjoys a challenge.
12. I tell my child to be an independent person.
13. I tell my child to be a kind-hearted person
14. I tell my child to be a person who can find his/her own way
15. I tell my child to be a famous person
16. I tell my child to be a person in a high position
17. I tell my child to be a person who serves society and the community
18. I tell my child to be a kind and gentle person.
19. I tell my child to be a moral person
20. I tell my child to be a person who can take responsibility for his/her actions.
21. Other (please specify: _____)
22. I do not tell my child what to be.

Q9. How many close friends do you think that your child has? Circle one.

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. None | 4. Seven to nine |
| 2. One to three | 5. Ten or more |
| 3. Four to six | 6. I don't know. |

Q10. Do you have any concerns about your child's relationship with friends? Circle all that

1. He/she seems to have no friends.
2. He/she seems to have some acquaintances, but no close friends
3. I am sometimes concerned about his/her relationship with a friend of the opposite sex.
4. He/she is sometimes negatively influenced by his/her friends.
5. He/she seems to associate with less desirable friends.
6. Other concerns (_____)
7. I have no concerns in particular.

Q11. How often do you think that your child does the following things while associating with

Please respond to each by circling one of the following choices:

Circle 1 if you think he/she very often does

Circle 2 if you think he/she sometimes does

Circle 3 if you think he/she almost never does.

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. Spending time playing with friends | 1 | 2 | 3 |
| 2. Going and coming to each other's house | 1 | 2 | 3 |
| 3. Studying together | 1 | 2 | 3 |
| 4. Talking with friends on the phone | 1 | 2 | 3 |
| 5. Talking with friends about people of the opposite sex. | 1 | 2 | 3 |
| 6. Complaining about home and parents to friends | 1 | 2 | 3 |
| 7. Complaining about school and/or peers to friends | 1 | 2 | 3 |
| 8. Talking with friends about the future | 1 | 2 | 3 |
| 9. Borrowing or lending money and valuables each other | 1 | 2 | 3 |
| 10. Arguing or quarrelling with friends | 1 | 2 | 3 |
| 11. Staying the night at each other's house | 1 | 2 | 3 |

Q12. What do you think about the following behaviors of 7th to 9th graders. Please respond to each by circling one of the following choices.

1. Very bad
2. Bad
3. Not so bad
4. Not bad at all

(1) Skipping school for no good reason.	1	2	3	4
(2) Would like to go to school but is too afraid to go	1	2	3	4
(3) Bullying others at school.	1	2	3	4
(4) Leaving their seat in school without any reason.	1	2	3	4
(5) Disrupting class by being noisy.	1	2	3	4
(6) Threatening or using violence on peers.	1	2	3	4
(7) Threatening or using violence on teachers.	1	2	3	4
(8) Damaging school property.	1	2	3	4
(9) Smoking.	1	2	3	4
(11) Sniffing solvents or abusing drugs.	1	2	3	4
(12) Taking narcotics or stimulants.	1	2	3	4
(13) Playing in the mall, arcade or movies until late at night.	1	2	3	4
(14) Staying out overnight without guardians' consent.	1	2	3	4
(15) Running away from home	1	2	3	4
(17) Hitting and kicking others at school.	1	2	3	4
(18) Hitting and kicking others outside of school.	1	2	3	4
(19) Extorting money or belongings from others by threat at school.	1	2	3	4
(20) Extorting money or belongings from others by threat outside of school.	1	2	3	4
(21) Shoplifting.	1	2	3	4
(22) Riding other's bicycle without permission.	1	2	3	4
(23) Driving a motorbike or a car.	1	2	3	4
(24) Bringing a knife or other weapons to school.	1	2	3	4

Q13. Has your child ever been bullied in any of the following ways since he / she became a junior high school student? Please respond to each by circling one of these choices:

- 1 My child has done these things.
- 2 My child has had these things done to him/her.
- 3 My child has done these things and they have been done to him/her.
- 4 My child has not done these things and they have not been done to him/her.

(1) Ignoring and leaving someone out of the group	1	2	3	4
(2) Making fun of and calling someone names	1	2	3	4
(3) Hiding someone's belongings	1	2	3	4
(4) Destroying or dirtying someone's belongings	1	2	3	4
(5) Threatening someone with words	1	2	3	4
(6) Hitting and/or kicking classmates	1	2	3	4
(7) Taking away money and belongings	1	2	3	4
(8) Pulling off someone's clothes	1	2	3	4
(9) Ordering to do errands	1	2	3	4
(10) Forcing someone to do what they dislike	1	2	3	4
(11) If your child has watched or experienced another form of bullying, please write it in the parenthesis. ()				

Q14. What would you do if you knew that your child was being bullied? Circle all that apply.

1. Take a "wait and see" attitude
2. Comfort and encourage my child
3. Scold my child and tell him/her to fight back.
4. Talk with my child's friends
5. Talk with classroom teachers
6. Talk with an assistant principal or principal.
7. Talk with a school nurse.
8. Talk with a school counselor
9. Talk with my adult friends
10. Talk with the board of education, etc.
11. Talk with community service agencies such as child guidance clinic and legal affairs office.
12. Talk with the police
13. Confront the children who are bullying
14. Confront the parents/guardians of the children who are bullying
15. Other (please specify: _____)

Q15. How often has your child wanted to be absent from school since 7th grade in spite of his/her good health. Circle one that applies.

1. Very often.
2. Sometimes.
3. Almost never.
4. Never.
5. I don't know.

If you chose items 3, 4, or 5 please skip question 16.

Q16. Why do you think that your child might want to skip school? Circle all that apply.

1. He / She is bullied by fellow students.
2. He / She does not get along with fellow students/friends.
3. He / She does not get along with teachers.
4. He / She does not feel like studying.
5. He / She does not understand classes.
6. He / She is afraid of or anxious about going to school.
7. He / She is afraid of or anxious about talking with people.
8. His/ Her physical health is not good.
9. There are problems at home.
10. He / She has interesting things to do outside school.
11. He / She does not want to be away from his/her parents.
12. He / She is dissatisfied with school regulations.
13. He / She is dissatisfied with club activities at school.
14. He / She is a lazy person.
15. Other reasons (please specify: _____)
16. I don't know.

Q17. In recent years, juvenile delinquency has increasingly become a problem. To what extent do you think each of the following is a reason for this?

Please circle one for each item with: 1=Strongly agree that it's a reason; 2=Agree that it's a reason 3=Disagree that it's a reason; 4=Strongly disagree that it's a reason.

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| (1) Children are under much stress these days | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (2) Children lack a sense of the need for rules in society | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (3) Children lack a sense of justice | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (4) Children lack consideration for others | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (5) Children have problems in relationships with their friends | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (6) Children lack the social skills to establish relationship with others | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (7) Children who become delinquent or commit crimes have personality problems | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (8) Leadership qualities of teachers have declined. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (9) Leadership qualities of families have declined. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (10) Leadership qualities of community groups such as churches, neighborhood-based agencies, etc. have declined. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (11) The morality of the whole society has declined. | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (12) The mass media have exaggerated the situation | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (13) Juvenile delinquency is not a new problem | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (14) Other (please specify: _____) | | | | |

Thank you very much for your cooperation.